

平成30年度

松阪市主要施策の成果及び実績報告書

三重県松阪市

目 次

一 般 会 計	3
平成30年度 松阪市一般会計歳入歳出決算額の総括表	4
平成30年度 一般会計歳入決算状況	6
平成30年度 一般会計歳出目的別・性質別決算状況	7
(款) 1 議会費	8
(項) 1 議会費	8
(款) 2 総務費	13
(項) 1 総務管理費	13
2 徴税費	59
3 戸籍住民基本台帳費	66
4 選挙費	70
5 統計調査費	72
6 監査委員費	74
(款) 3 民生費	75
(項) 1 社会福祉費	75
2 老人福祉費	94
3 児童福祉費	100
4 生活保護費	120
5 災害救助費	123
(款) 4 衛生費	124
(項) 1 保健衛生費	124
2 清掃費	151
(款) 5 労働費	161
(項) 1 労働諸費	161
(款) 6 農林水産業費	166
(項) 1 農業費	166
2 林業費	187
3 水産業費	196
(款) 7 商工費	199
(項) 1 商工費	199
(款) 8 土木費	233
(項) 1 土木管理費	233
2 道路橋りょう費	234
3 河川費	240
4 港湾費	245
5 都市計画費	246
6 住宅費	254
(款) 9 消防費	256
(項) 1 消防費	256
(款) 10 教育費	260
(項) 1 教育総務費	260
2 小学校費	271
3 中学校費	277
4 幼稚園費	283
5 社会教育費	286
6 保健体育費	289
7 青少年教育費	303
(款) 11 災害復旧費	308
(項) 1 農林水産業施設災害復旧費	308
2 公共土木施設災害復旧費	311

3 厚生労働施設災害復旧費	315
4 文教施設災害復旧費	316
5 商工施設災害復旧費	318
(款)12 公債費	319
(項) 1 公債費	319
(款)14 諸支出金	320
(項) 1 基金費	320
特別会計	321
競輪事業	322
国民健康保険事業	325
介護保険事業	329
後期高齢者医療事業	335
簡易水道事業	338
戸別合併処理浄化槽整備事業	339
農業集落排水事業	341
住宅新築資金等貸付事業	343
地方自治法第241条第5項の規定による書類	345
基金の運用状況	346

注) 一般会計の職員給については、記載をしていません。

注) 前年度決算額は説明の参考として付記しているものであり、按分等のため、必ずしも前年度決算書の金額と一致しない場合があります。

注) 説明の性質上、機構改革前の課名を記載している場合があります。

注) 基金の現在高は平成30年度の予算執行後の増減を示しているため、決算書(3月末)の数値とは差異があります。

注) (繰越分)の前年度決算額は、前年度に繰越分事業費が予算計上されていた事業費の決算額です。

注) 前年度事業を統合した場合は、説明末尾に統合した事業名を記載し、前年度決算額は統合した事業の合算で記載しています。

一 般 会 計

平成30年度 松阪市一般会計歳入歳出決算額の総括表

(歳入)

(単位：千円)

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額	総 額 対 する 割 合	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
1 市 税	21,638,944	22,034,377	31.6%	395,433
2 地 方 譲 与 税	559,426	559,426	0.8%	0
3 利 子 割 交 付 金	48,217	48,217	0.1%	0
4 配 当 割 交 付 金	97,128	97,128	0.1%	0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	78,103	78,103	0.1%	0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	3,031,759	3,031,759	4.4%	0
7 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	44,395	44,395	0.1%	0
8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	213,090	213,090	0.3%	0
9 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	300	344	0.0%	44
10 地 方 特 例 交 付 金	127,044	127,044	0.2%	0
11 地 方 交 付 税	14,368,285	14,368,285	20.6%	0
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	21,606	21,606	0.0%	0
13 分 担 金 及 び 負 担 金	936,725	956,892	1.4%	20,167
14 使 用 料 及 び 手 数 料	858,907	906,758	1.3%	47,851
15 国 庫 支 出 金	10,003,117	9,412,481	13.5%	△590,636
16 県 支 出 金	4,681,980	4,492,407	6.4%	△189,573
17 財 産 収 入	42,708	44,405	0.1%	1,697
18 寄 附 金	699,736	699,737	1.0%	1
19 繰 入 金	1,897,341	1,860,018	2.7%	△37,323
20 繰 越 金	2,136,850	2,136,851	3.1%	1
21 諸 収 入	905,923	1,159,940	1.7%	254,017
22 市 債	9,359,200	7,346,500	10.5%	△2,012,700
歳 入 合 計	71,750,784	69,639,763	100.0%	△2,111,021

(歳 出)

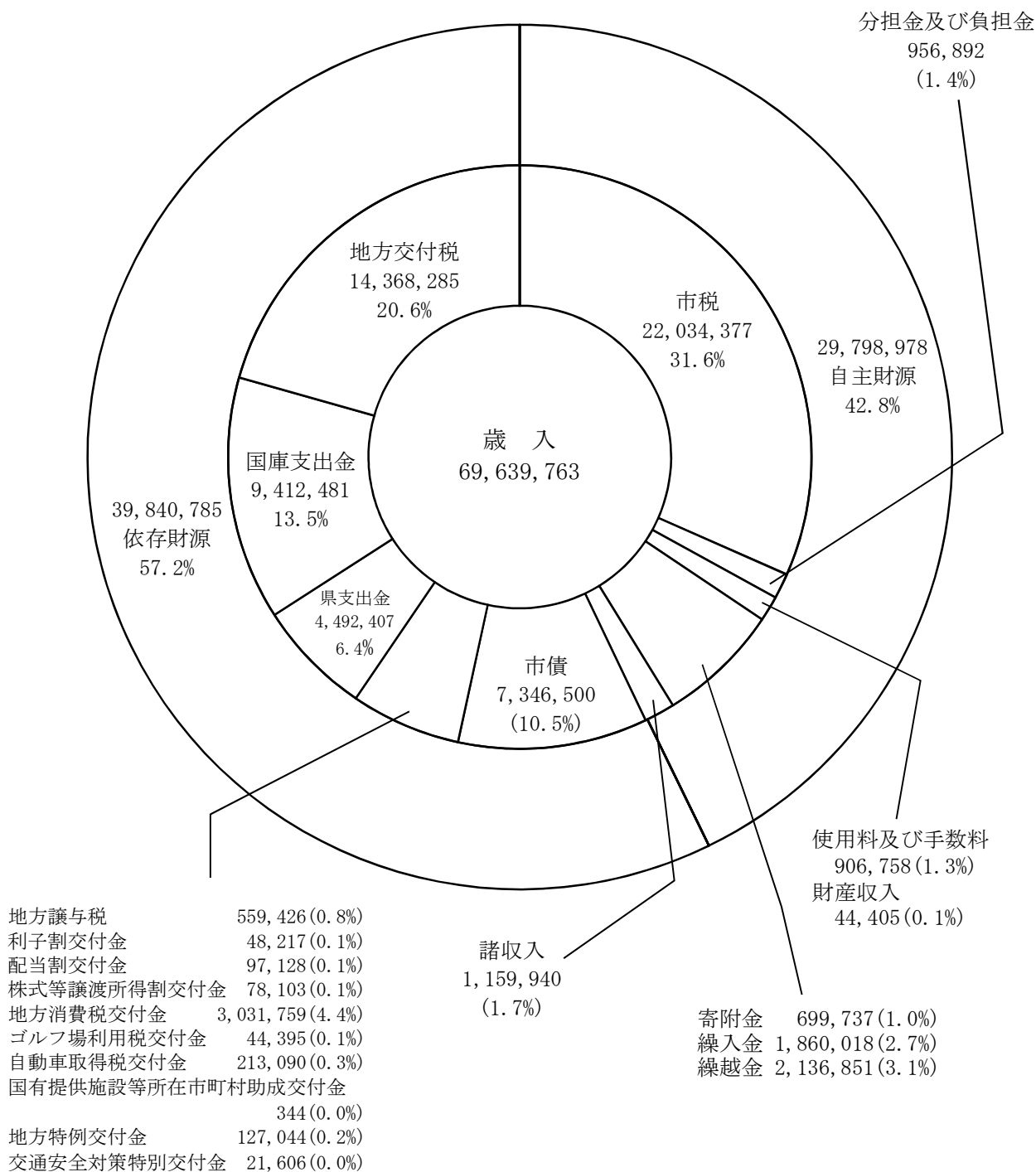
(単位：千円)

区 分	予算現額	支出済額	総額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1 議 会 費	371,691	364,221	0.5%	0	7,470
2 総 務 費	6,667,652	6,536,271	9.7%	0	131,381
3 民 生 費	27,500,681	26,382,081	39.4%	19,919	1,098,681
4 衛 生 費	5,167,109	4,964,148	7.4%	48,166	154,795
5 労 働 費	126,587	124,473	0.2%	0	2,114
6 農 林 水 産 業 費	1,919,717	1,718,688	2.6%	176,409	24,620
7 商 工 費	2,664,131	2,525,007	3.8%	6,569	132,555
8 土 木 費	6,570,889	6,009,219	9.0%	488,467	73,203
9 消 防 費	2,319,084	2,310,262	3.4%	0	8,822
10 教 育 費	10,968,528	8,989,149	13.4%	1,340,766	638,613
11 災 害 復 旧 費	838,979	521,096	0.8%	117,306	200,577
12 公 債 費	5,792,736	5,787,731	8.6%	0	5,005
13 予 備 費	30,000	0	0.0%	0	30,000
14 諸 支 出 金	813,000	813,000	1.2%	0	0
歳 出 合 計	71,750,784	67,045,346	100.0%	2,197,602	2,507,836

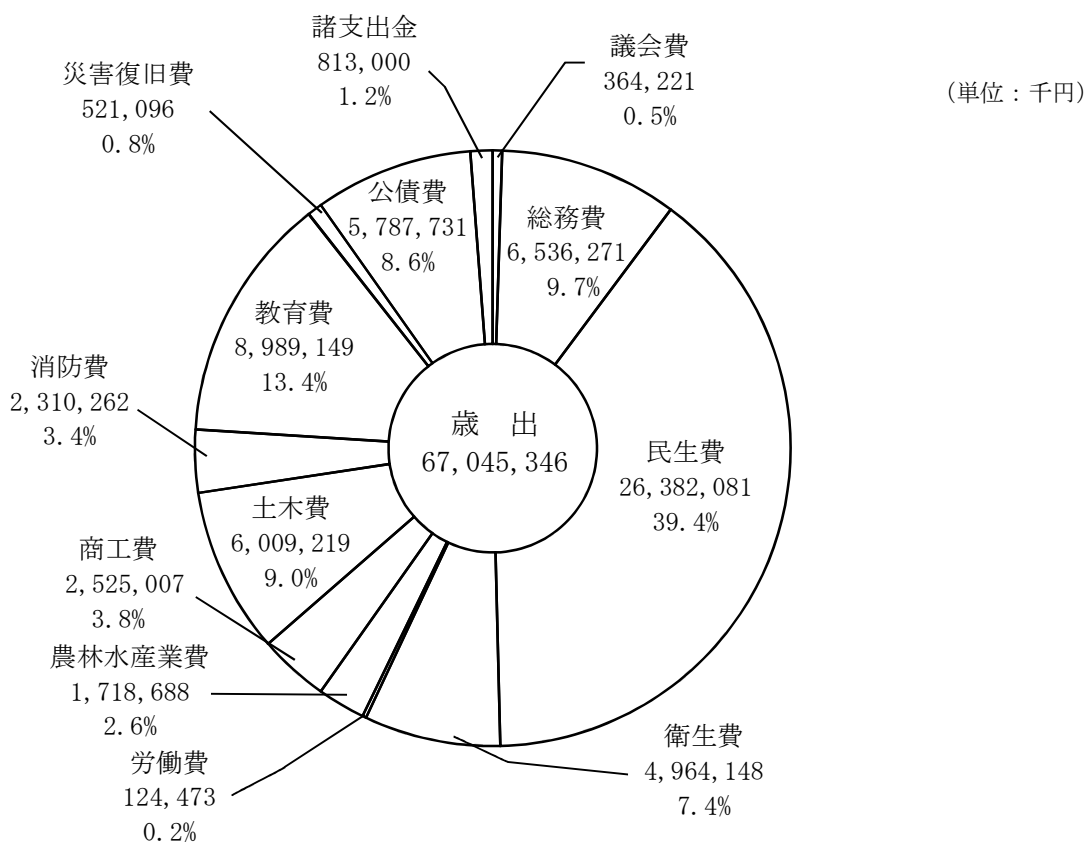
歳 入 歳 出 差 引 額	2,594,417
翌 年 度 へ 繰 り 越 す べ き 財 源	272,246
実 質 収 支 額	2,322,171

平成30年度 一般会計歳入決算状況

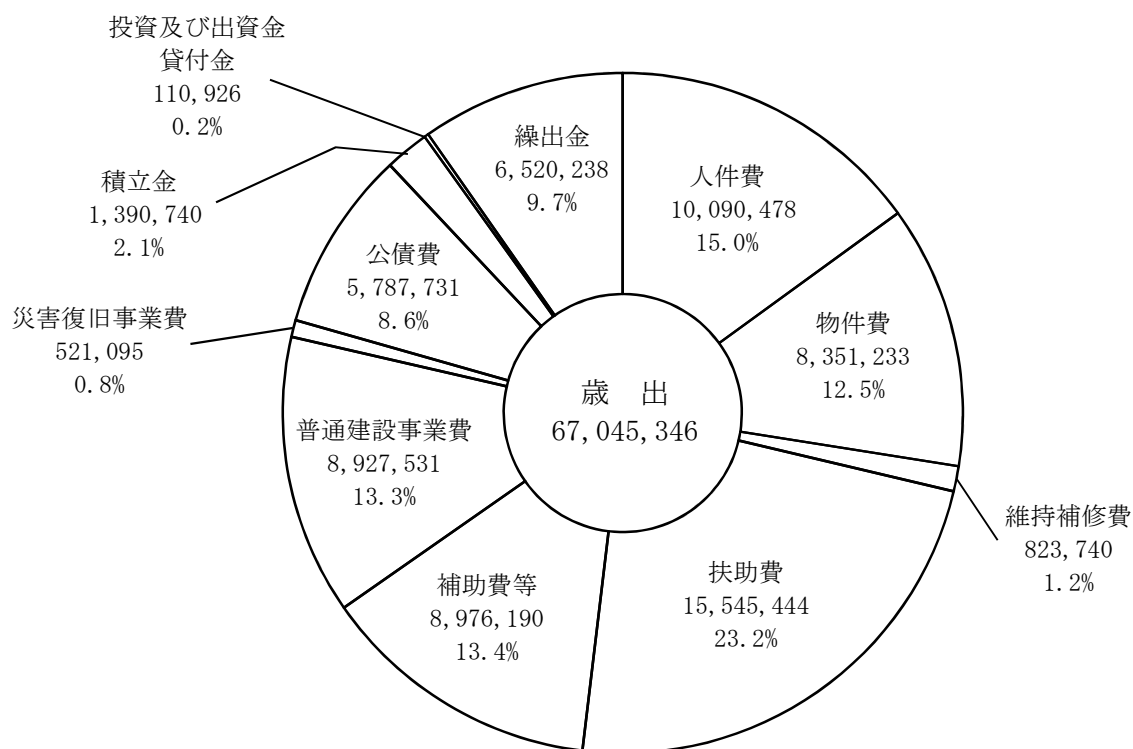
(単位：千円)



平成30年度 一般会計歳出目的別決算状況



平成30年度 一般会計歳出性質別決算状況



(款) 1議会費 (項) 1議会費 (目) 1議会費

(単位 円)

事業名	議員報酬・期末手当					議会事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
199,436,158						199,436,158	195,409,620

市議会議員28人の報酬及び期末手当を支給した。

正副議長及び議員報酬 149,951,998円

正副議長及び議員期末手当 49,484,160円

(参考) 月額報酬 議長 558,000円、副議長 498,000円、議員 440,000円

事業名	議員共済会負担金					議会事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
56,838,880						56,838,880	59,056,480

地方公務員等共済組合法の一部を改正する法律に基づき、平成23年6月に議員年金制度が廃止となったが、経過措置として議員年金等受給者に対する共済給付金公費負担分を支出した。なお、負担金の算出根拠は各年度の4月1日における当該市議会議員の標準報酬月額の内額が基準となるとともに、事務費については各年度の4月1日における議員の数(条例定数)が基準となる。

負担金 440,000円×38.2%×28人×12か月=56,474,880円

事務費 13,000円×28人=364,000円

事業名	議長交際費					議会事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
34,810						34,810	5,000

議会を代表し議長の対外的な活動を行った。

区分	件数	金額
慶弔費	0件	0円
会費	2件	12,000円
贈答費	5件	18,300円
協賛金	0件	0円
懇談会費	0件	0円
広告経費	0件	0円
その他	2件	4,510円
計	9件	34,810円

*その他の理由

- ・議員研修会講師お礼
- ・議員研修会講師昼食代

事業名	議会活動事業費					議会事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
5,272,117						5,272,117	4,874,174

全国市議会議長会及び各加盟協議会等へ出席することにより、市政の現状把握及び課題等を認識できるとともに、市議会議員の資質並びに政策形成及び立案能力の向上を図るための一環として議員研修会や行政視察調査等の取組みを実施した。

議会基本条例に基づき、市民に開かれた議会を目指すことを目的として、市内12か所で議会報告会を開催した。秋の報告会では、初めて中学校を会場として開催した。

2部の意見交換会では、「地域防災について」「地域の中の学校づくり」とテーマを設定し、市民との意見交換を行った。

第10回				
開催日	場 所	参加者	場 所	参加者
H30. 4. 18	橋西地区市民センター	37人	阿坂構造改善センター	34人
	徳和地区市民センター	33人	大石地区市民センター	23人
	小 計			127人
H30. 4. 19	港地区市民センター	16人	射和地区市民センター	26人
	漕代地区市民センター	29人	花岡地区市民センター	48人
	小 計			119人
H30. 4. 21	嬉野生涯学習センター	18人	飯南産業文化センター	12人
	ハートフルみくもスポーツ文化センター	24人	飯高総合開発センター	11人
	小 計			65人
合 計				311人
第11回				
開催日	場 所	参加者	場 所	参加者
H30. 11. 13	殿町中学校	22人	西中学校	2人
	久保中学校	7人	松阪公民館	20人
	小 計			51人
H30. 11. 14	鎌田中学校	11人	中部中学校	13人
	東部中学校	19人	嬉野中学校	11人
	小 計			54人
H30. 11. 16	大江中学校	24人	飯南中学校	7人
	三雲中学校	14人	飯高中学校	9人
	小 計			54人
合 計				159人

議員研修会講師謝礼金 200,000円

- 実施内容 ・平成30年11月2日開催 (市議会第3・第4委員会室)
市民の課題解決が図れる議会を目指して ~議会からの政策形成~
・平成31年1月31日開催 (松阪公民館)
小規模多機能自治を学ぶ

各委員会行政視察調査旅費 3,285,260円

(総務企画委員会、環境福祉委員会、文教経済委員会、建設水道委員会、議会運営委員会、
広報広聴委員会、議会改革特別委員会作業部会)

各種議長会出席等旅費 621,000円

特別委員会証人出頭に係る旅費 777円

各種議長会負担金等 1,108,892円

その他、備品消耗品購入等 56,188円

事業名	政務活動費補助金				議会事務局	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
4,992,314					4,992,314	2,758,162

地方自治法第100条第14項から第16項及び、松阪市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき交付する補助金で、松阪市議会議員の政策立案、調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、松阪市議会における会派及び会派に所属しない議員に対して交付した。

交付額 月額 25,000円×28人×12か月=8,400,000円

精算後交付額 =4,992,314円 (執行率59.43%)

事業名	議会広報事業費				議会事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,873,602					9,873,602	9,902,855

議会活動における取組み及び成果について積極的に発信し、説明責任を十分に果たすことを目的に、市議会だより「みてんか」を年間5回発行するとともに、市議会に対する理解の深化や市民参加型議会を目指し、議会白書「松阪市議会のトリセツ」を発行した。

市議会だより印刷製本費 3,580,200円
 市議会だより折込手数料等 861,862円
 議会白書印刷製本費 1,132,660円 (67,000部)

市議会だより号数	発行月	発行部数	ページ数	主な掲載内容	
第70号	2月定例会号	平成30年 6月発行	65,000	28	2月定例会概要、代表質問等 第10回議会報告会等
第71号	6月定例会号	平成30年 9月発行	65,000	20	5月定例会概要、一般質問等
第72号	8月臨時会号	平成30年10月発行	65,000	4	常任委員会及び各委員会の構成等
第73号	9月定例会号	平成31年 1月発行	65,000	24	9月定例会概要、決算審査状況、 第11回議会報告会等
第74号	11月定例会号	平成31年 3月発行	65,000	20	11月定例会概要、行政視察調査報告 等
計			325,000	96	

本会議の全日程をケーブルテレビによる生中継やYouTubeによるネット配信を実施し、市民に向けて、議会のより開かれた審議状況を提供することができた。

放送機器操作業務委託費 3,650,400円
 光ファイバーケーブル等利用料 648,480円

事業名	会議録作成事業費				議会事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,662,576					4,662,576	3,469,667

本会議及び全員協議会並びに委員会等の会議内容を記録整理し、会議録を作成した。

本会議会議録作成	1,748ページ	1,272,348円	
会議名	ページ数	会議名	ページ数
第53号 2月定例会号	563ページ	第55号 8月臨時会号	404ページ
第54号 6月定例会号	432ページ	9月定例会号	
		第56号11月定例会号	349ページ
全員協議会会議録作成	27ページ	21,384円	
会議名	ページ数		
平成30年3月全員協議会	27ページ		
委員会等会議録作成	3,345ページ	2,370,816円	
会議名	ページ数	会議名	ページ数
総務企画委員会	307ページ	地区集会所建設事業補助 金交付事務に関する調査 特別委員会	1,332ページ
環境福祉委員会	249ページ		
文教経済委員会	386ページ		
建設水道委員会	166ページ	地域医療と松阪市民病院 のあり方調査特別委員会	85ページ
予算説明会	106ページ		
決算調査特別委員会 及び各委員会分科会	394ページ	自治会連合会理事と松阪 市議会議員との懇談会	30ページ
議会改革特別委員会 及び同作業部会	290ページ		

会議録をホームページ上に掲載し、会議録の検索が容易にできるような形でのインターネット配信を行った。

インターネット配信及び保守管理業務費 194,400円

データ作成業務費（4,252ページ×189円）803,628円

事業名	議会一般経費				議会事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,147,278				3,094	6,144,184	6,296,746

議会運営及び議会活動に関する一般事務経費や議会事務局職員としての知識等を深めるための研修会へ参加した経費

議会事務局職員研修参加等旅費 40,700円

議場等音声・映像設備保守業務委託費 1,613,520円

その他非常勤職員賃金、一般事務用品、法令追録代等 4,493,058円

※ 会議開催状況

本会議 定例会 開催回数 4回（会期日数 128日 実会議日数 29日）

臨時会 開催回数 1回（会期日数 2日 実会議日数 2日）

区 分	定例会	臨時会	区 分	定例会	臨時会
議 案	154件	1件	請 願	8件	0件
原案可決	133件	—	採 択	6件	—
否 決	—	—	一部採択	1件	—
承 認	4件	—	不採択	1件	—
同 意	3件	1件	選 挙	3件	11件
認 定	4件	—	選 挙	—	7件
賛 成	10件	—	選 任	3件	4件
報 告	35件	0件	動 議	2件	0件
発 議	17件	4件	可 決	—	—
原案可決	17件	2件	否 決	2件	—
許 可	—	2件	その他	3件	0件
			承 認	2件	—
			報 告	1件	—

委員会

区 分	回 数	区 分	回 数
総務企画委員会（勉強会6回含む）	15回	地域医療と松阪市民病院のあり方調査特別委員会（準備会1回含む）	3回
環境福祉委員会	6回	決算調査特別委員会	2回
文教経済委員会（勉強会1回含む）	8回	総務企画分科会	1回
建設水道委員会	6回	環境福祉分科会	1回
議会運営委員会	30回	文教経済分科会	1回
議会改革特別委員会	3回	建設水道分科会	1回
作業部会	10回	広報広聴委員会（打合会12回含む）	23回
地区集会所建設事業補助金交付事務に関する調査特別委員会（準備会19回含む）	36回		

その他会議

区 分	回 数
全員協議会	1回
総務企画委員会協議会	3回
環境福祉委員会協議会	6回
文教経済委員会協議会	6回
建設水道委員会協議会	4回
議員研修会	1回
会派代表者会議	9回
予算説明会	2回

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 1 一般管理費

(単位 円)

事業名	市長交際費					秘書広報課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
94,240					94,240	100,400

市政に関与された関係者の慶弔費などを支出した。

区分	件数(件)	金額(円)
慶弔費	8	84,240
会費	0	0
贈答費	0	0
賛助金	0	0
懇談会等	1	10,000
計	9	94,240

事業名	市長会等事業費					秘書広報課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,567,640					2,567,640	2,460,430

県下、東海、全国各市間の連絡調整を図り、地方自治の伸展に関する市からの要望や意見を国政に反映させるとともに、国政からの情報を得、市政の運営に資することができた。平成30年度は、「地方創生の推進に関する重点提言」をはじめとする計22件の重点提言を全国市長会から関係府省等に行った。

全国市長会分担金 705,000円

三重県市長会分担金 1,657,000円

旅費 185,640円 ほか

全国市長会（東京都）、東海市長会（愛知県・桑名市）、その他会議等（東京都ほか）

事業名	市政功労等顕彰事業費					秘書広報課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
81,518					81,518	98,772

市政功労者等に対する表彰式を開催

市勢の伸展に各分野で貢献された個人を、市政功労者として表彰した。

また、市に対して高額の寄付をされた個人及び団体を、市政特別協力者として表彰した。

市政功労者表彰（個人4人）

市政特別協力者表彰（個人1人、3団体）

事業名	大学奨学金給付事業費					総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,990,810				4,980,000	10,810	4,330,930

社会に有為な人間の育成を目的として、奨学金を給付した。

月額 30,000円×12か月×10人（県外大学奨学生）

月額 20,000円×12か月×5人（県内大学奨学生）

月額 30,000円×6か月×1人（県外大学奨学生・6か月休学）

選考委員会を1回開催し、大学奨学生を公平公正に選考した。

応募者33人から4人を採用した。

県内大学1人 県外大学3人

事業名	大学奨学基金積立金					総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
25,698				25,698		1,131,393

大学奨学基金利子に伴う積立金
平成30年度末基金現在高 56,102,334円

事業名	情報公開事業費					総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,542,399				206,598	1,335,801	1,542,329

平成30年度情報公開制度実施状況
請求(申出)件数 464件 請求延人数 464人
公開 381件 部分公開 141件 非公開 5件 公文書不存在 22件 存否応答拒否 4件 計 553件
審査請求件数 1件
情報公開審査会の開催 1回

事業名	個人情報保護事業費					総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
165,360					165,360	211,080

平成30年度個人情報保護制度実施状況
開示請求件数 41件 請求延人数 41人
開示 36件 部分開示 7件 取下げ 1件 不開示1件 不存在 1件 計 46件
審査請求件数 0件
個人情報保護審査会の開催 0回
個人情報保護制度研修会 (11/7)
講師 第一法規株式会社 営業局東海営業第二部長 出席人数 181人

事業名	弁護士法務支援事業費					総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,948,720					1,948,720	1,954,120

適正な行政運営を行うため、複雑化・高度化する市業務について、法務上あるいは政策選択上の相談を行った。
定期法務相談件数 29件 臨時法務相談件数 46件 計 75件

事業名	文書管理事業費					総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,509,819					7,509,819	8,020,898

郵便物等の取扱い 150,548件
公文書廃棄処理 27.1トン
市の本庁と各施設との連絡文書等の集配業務 35か所

事業名	指定寄附基金積立金					総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
23,132,781				23,132,781		7,777,194

市に対する寄附金及び指定寄附基金利子に伴う積立金
平成30年度末基金現在高 70,798,472円

事業名	電子入札システム事業費					契約監理課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
29,133,255					29,133,255	28,701,678

電子入札システムは、建設工事について平成16年度から、物品調達について平成22年度からそれぞれ導入している。平成30年度は、建設工事464件（全507件のうち91.5%）、物品調達255件（全306件のうち83.3%）について電子入札を実施した。電子入札システムの使用により入札及び契約に係る業務の効率化、速報性の向上、透明性の確保とともに、入札参加者においても入札事務が省力化されるよう努めた。また、導入から長期間経過したサーバー機器類の老朽化やOSのサポート切れ等に伴いシステムの更新を行い、今後も安定的に一般競争入札を継続して実施できるよう対応を行った。

事業名	行政不服審査事業費					総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
46,440					46,440	—

松阪市行政不服審査会の開催 0回 審査請求 3件

行政不服審査法に基づく3件の審査請求のうち2件は、ともに不適法なものとして却下し、1件は年度内に松阪市行政不服審査会を開催しなかった。

事業名	秘書一般経費					秘書広報課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,738,669					3,738,669	3,730,470

秘書業務を円滑に進めることができた。

旅費 462,110円

松浦武四郎生誕200年記念各種イベント、東京駐在官業務報告等

広告料 550,818円

加入団体会費 476,400円 ほか

事業名	総務一般経費					総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,098,846					11,098,846	11,288,965

法令書籍追録 3,283,411円 例規集データベース更新業務委託 4,360,608円

大型印刷機賃借料 1,178,064円 行政手続基準管理システム利用料 416,016円 ほか

事業名	契約監理事業費				契約監理課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,917,945				5,376	3,912,569	3,958,913

【工事関係】

工事関係入札件数 507件（工事 397件、委託86件、不調等24件）

建設工事の入札においては、条件付き一般競争入札により、工事の品質を確保しつつ、公正性、公平性、競争性、透明性の確保に努めた。また、低入札価格調査制度による入札を23件実施し、うち低入札調査を経た調査基準額未滿での契約は16件となり、競争性を高めながらも工事品質の確保を図った。また、平成29年度から試行実施している工事評定点や災害復旧工事の受注実績などを参加条件としたインセンティブ型入札制度による工事発注を引き続き実施し、市内業者の技術力向上や社会的貢献への意欲向上につなげた。

平成30年度入札実施件数

(単位 件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土木一式	12	9	18	23	21	16	12	32	17	19	2	3	184
建築一式	6	6	15	3	1	5	6	3	7	2	0	0	54
水道本管、給水管	0	1	4	7	5	5	0	1	1	0	0	0	24
舗装	9	2	1	1	6	2	3	0	2	1	0	0	27
電気	3	2	1	7	2	6	4	2	6	4	0	0	37
造園	1	0	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	6
造園	11	2	1	0	0	1	1	0	2	1	0	0	19
その他	1	7	11	3	7	4	6	4	2	0	1	0	46
委託	16	8	14	12	5	6	10	6	5	2	1	1	86
不調	0	0	0	0	0	2	0	9	6	0	0	1	18
中止	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1	6
計	59	38	66	58	48	48	42	59	49	29	5	6	507

【検査関係】

工事検査件数 544件（工事395件、委託122件、その他27件）

検査においては、専任の検査員4人と併任検査員31人を任命し、建設工事・業務委託の完成検査、中間・出来高検査を行い目的物の品質確保に努めた。併任検査員へは検査指導を行い評価基準の平準化を図り検査を行った。また、完成検査においては評価をもとに、優遇措置や処分規定を設け受注業者の指導・育成に努めた。

平成30年度工事検査実施件数

(単位 件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土木関係	6	9	10	13	12	17	18	22	25	20	28	82	262
建築関係	0	0	2	6	7	8	15	4	14	4	7	43	110
水道関係	0	1	2	1	0	0	0	3	1	0	4	11	23
委託関係	0	0	6	2	6	5	7	4	15	1	13	63	122
その他	0	0	0	3	4	2	1	4	3	0	0	10	27
計	6	10	20	25	29	32	41	37	58	25	52	209	544

※区分欄の「その他」は、補助金交付に係る履行確認、物品調達に係る納品確認、出来高検査、中間検査、設備修繕の完成確認とする。

【物品業務委託関係】

物品業務委託関係入札等件数306件（条件付き一般競争入札161件、定時見積合せ135件、不調等10件）

物品調達の入札においては、条件付き一般競争入札、定時見積合せを原則として契約における公正性、公平性、競争性、透明性の確保に努めた。物品調達においてグリーン購入推進については、単価契約物品51品目のうち32品目を対象商品とし、各課の調達品目についても対象商品を優先して購入するよう努めた。

平成30年度物品入札件数

(単位 件)

区分	条件付き一般競争入札	定時見積合せ	計
リース、賃借	57	0	57
一般印刷	14	28	42
消耗品	21	28	49
電算帳票印刷	0	2	2
備品	43	53	96
原材料	2	0	2
燃料	0	24	24
業務委託	24	0	24
不調	1	0	1
中止	7	2	9
計	169	137	306

【入札等監視委員会】

入札及び契約の過程並びに契約内容の透明性及び公正性の確保を目的とし、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の指針に基づき設置する学識経験者等による第三者機関である。定例会5回、臨時会2回を開催し、全契約案件から172件を抽出して入札及び契約の内容等について審議し、入札制度の更なる改善につなげるべく意見具申を行った。

【参考 所属別契約件数】

平成30年度契約件数一覧（契約監理課契約分を除く。）（単位 件）

所属	指名競争	随意契約	一般競争	プロポーザル	計
秘書広報課	2	15	0	0	17
防災対策課	1	10	0	1	12
環境生活部	10	31	0	1	42
企画振興部	3	20	0	0	23
総務部	1	39	0	0	40
健康福祉部	9	79	1	2	91
建設部	7	74	0	0	81
産業文化部	20	111	0	1	132
上下水道部	15	43	0	0	58
教育委員会事務局	21	58	0	1	80
農業委員会	0	1	0	0	1
選挙管理委員会	0	4	0	0	4
計	89	485	1	6	581

※表中の件数は、建設工事公表要領及び物件等公表要領に基づき公表された件数の集計であり、各所属において契約を行った件数である。

（工事は予定価格130万円以上、工事以外は予定価格50万円以上に限る。）

事業名	被災地支援事業費					職員課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,021,978				7,000	1,014,978	500,570

東日本大震災による被災地の復旧・復興支援および行政機能の回復と復興事業推進のため、職員を1年間陸前高田市に派遣した。

また、平成30年7月豪雨被災地への業務支援派遣を行った。

【7/14～7/22】(熊野町・避難所運営)防災対策課(8泊9日)2人	108,960円
【7/30～8/2】(熊野町・避難所運営)生涯学習課(3泊4日)1人	32,480円
【8/5～8/11】(熊野町・保健師戸別訪問)健康づくり課(6泊7日)1人	110,060円
【8/11～8/19】(熊野町・三重県本部隊事務補助、保健師業務補助)資産税課(8泊9日)2人	108,120円
【10/1～12/31】東広島市への派遣旅費(固定資産業務)	215,440円
【1/1～3/31】東広島市への派遣旅費(引継ぎのための旅費含む)(固定資産業務)	241,500円
陸前高田市派遣職員業務報告等にとまなう旅費(2回)	103,760円
事務用品等	101,658円

事業名	債権回収対策事業費					債権回収対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,523,843				5,376	2,518,467	2,659,774

担当課で徴収困難と判断された未収金について聞き取りの結果、「介護保険料」「後期高齢者医療保険料」「保育園保育料」「下水道受益者負担金」の公課について移管を受け、滞納処分等の徴収を行った。

非強制徴収公債権・私債権においては担当課と共同し3債権5人に対し支払督促・少額訴訟を行った。滞納者に滞納処分をすることができる財産がない等、回収見込みがない他の公課については所管課へのアドバイスをを行い、債権管理の適正化を図った。

債権の適正管理についての職員研修を2回(第1回:14課31人出席、第2回:15課28人出席)開催した。

【移管引継滞納額】 単位:人・円

	人数	本料	督促	計
介護	86	11,686,322	107,360	11,793,682
後期	17	3,002,251	10,880	3,013,131
保育	32	5,223,810	18,720	5,242,530
下水	7	2,047,900	6,960	2,054,860
計	142	21,960,283	143,920	22,104,203

【徴収実績】 単位:人・円・%

	人数	本料	督促	延滞金	計	収納率
介護	71	4,004,097	33,040	259,111	4,296,248	34.23
後期	14	1,250,338	3,440	116,400	1,370,178	41.61
保育	22	1,280,349	3,520	501,140	1,785,009	24.49
下水	7	566,880	3,600	31,330	601,810	27.76
計	114	7,101,664	43,600	907,981	8,053,245	32.33

※収納率は延滞金を除く

【差押状況】

単位：人・円

	差押滞納額			差押換価額				
	人数	本料	督促	人数	本料	督促	延滞金	計
介護	20	1,900,834	19,680	23	208,473	2,720	0	211,193
後期	1	31,296	640	0	0	0	0	0
保育	11	1,716,029	7,680	10	56,919	160	5,800	62,879
下水	1	81,470	560	1	81,470	560	10,400	92,430
計	33	3,729,629	28,560	34	346,862	3,440	16,200	366,502

※合計人数は延人数

【訴訟及び強制執行等状況】

単位：人・円

	人数	債権額（元本）	経過及び実績（平成31年3月末現在）
児童扶養手当返還金	2	318,150	訴訟手続中（1件）、分納誓約（1件）
医療費助成返還金	1	99,200	分納誓約（1件）
休日・夜間診療費	2	10,960	訴訟手続中（1件）、不送達（1件）

事業名	行財政改革推進事業費				市政改革課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
673,552					673,552	774,910

『松阪市行財政改革推進方針』の推進と進捗管理

平成28年度策定の『総合計画』がめざす将来像を実現するため、「持続可能な市政運営の推進」、「公民連携と開かれた市政運営の推進」、「合理的で質の高い市政運営の推進」という行財政改革の方向性を示す「3つの基本方針」と、具体的な取組として「10の改革の視点」で構成する『松阪市行財政改革推進方針』（平成29年3月策定、以下「行革方針」という。）に基づき行財政改革を推進した。

松阪市行財政改革推進委員会

「行革方針」に基づき、行財政改革を推進するため、学識経験者、民間企業の経営者、住民協議会等の地域代表者等で構成する「松阪市行財政改革推進委員会」を開催し、外部視点からの意見や助言等をいただくとともに、各分野における行財政改革の取組の進捗状況等の報告・確認等を実施した。

委員会開催内訳（構成委員数 7人）

開催日	内容	出席人数
8月29日	平成30年度 松阪市行財政改革推進委員会について ほか	6人
11月19日	平成30年度 市民意識調査（速報値）について ほか	5人
2月6日	平成30年度 松阪市行財政改革の取組について（報告） ほか	5人

『部局長の「実行宣言」』の作成（17部局長）

各施策の責任者である各部局長が、前年度の部局運営を評価し、当該年度の改善や目標設定につなげる「PDCAサイクル」の一環として「実行宣言」を作成した。

「実行宣言」は、事務・事業の成果及び「総合計画」関係施策の進捗状況を、定量的な指標によって評価することで、「施策や事務・事業の進捗管理」及び「事務・事業の見直し」の基礎資料とした。

同時に、市民にとって見やすくわかりやすい内容と表現に努め、市ホームページや本庁舎及び各地域振興局で公表した。

行政経営品質改善活動

部局単位で「行政経営品質改善チーム（17チーム）」を編成し、『部局長の「実行宣言」』において部局長が掲げる「部局マネジメント方針」に基づき、行動計画や目標等を設定し、業務や職場の改善活動を進めた。年度末の行政経営品質改善委員会では各チームの取組結果を報告し、更なる改善活動の推進と職員の意識高揚等を図った。

委員会開催内訳（構成委員数 17人）

委員会名	開催回数
行政経営品質改善委員会	2回

行革かわら版『「行革」ノスゝメ』の発行

行財政改革の推進や「行革方針」の認知度の向上等をめざし、庁内ネットワークを活用し、「行革方針」や「市の行財政改革の取組」等をわかりやすく伝える庁内向け「行革かわら版」を発行した。

号	発行月	タイトル・内容	主な担当課
第5号	5月	事務・事業の見直し	経営企画課
第6号	6月	「ワーク・ライフ・マネジメント」「職員力」の強化	職員課
第7号	8月	市民参画・協働の推進	地域づくり連携課
第8号	10月	公共施設マネジメント	市政改革課
第9号	12月	民間活力の導入	市政改革課
第10号	3月	受益者負担の検証	市政改革課

これからの松阪市行政のあり方の検討

「これからの松阪市行政のあり方庁内検討委員会」が市長から受けた平成29年5月8日付け諮問（「前回（平成28年9月29日付け）答申の課題・継続協議事項等の検討」、「平成29年4月1日組織機構改革の検証」、「市民にとってよりわかりやすく、利用しやすい行政窓口の構築」、「IoT社会の到来に対応した行政のあり方」等）について、平成29年度に引き続き委員会等で検討を行い答申を行った。

委員会等開催内訳（構成委員数 23人）

委員会名	開催回数
庁内検討委員会	4回
分科会（窓口関係ワーキンググループ等）等	4回

主な経過等

区分	実施日	主な内容
報告	9月5日	平成29年4月1日組織改革の検証
報告	10月10日	窓口先進地視察報告
答申	3月13日	窓口案内（サイン表示）と窓口業務の改善 等

視察など

窓口業務の民間委託等にかかる視察（海老名市） 6月14日 職員3人

窓口入力業務の一元処理にかかる視察（千葉市中央区） 7月12日 職員3人

広告審査事業

市の新たな財源を確保し、市民サービスの向上及び地域経済の活性化を図るため、市の財産等を広告媒体（封筒、ホームページ、広報紙、暮らしのガイド、ネーミングライツ等）として活用しており、民間企業等の広告を掲載することに関して、広告内容や表現、事業主の適格性の観点から、広告審査委員会を開催し、審査を行った。

委員会開催内訳（構成委員数 8人）

委員会名	開催回数
広告審査委員会	10回

民間委託等の推進

効率的で効果的な事務・事業の実施、公の施設の最適な管理運営に向けた指定管理者制度の運用、施設整備・運営における民間委託の是非、手法等について、民間委託等検討委員会を開催し、協議・検討を行った。

委員会開催内訳（構成委員数 18人）

委員会名	開催回数
民間委託等検討委員会	4回

研修会開催内訳

・行財政改革研修会（外部講師）

研修内容 「SIM熊本2030」 シミュレーションゲームを通じた「対話」による
まちづくりと事業の「選択と集中」の演習 等

講師 熊本県知事公室 和田 太志 氏

開催日 11月2日 参加人数 46人

・行財政改革研修会（内部講師）

職員の行財政改革に関する認知度・理解度向上等を目的とし、職員課による若年層職員対象の研修の一部として市政改革課（内部講師）による研修を実施した。

実施日	研修名	内容	参加人数
4月13日	平成30年度新任係長級職員研修	行財政改革について	26人
7月5日	平成30年度新規採用職員後期研修	行財政改革について	33人
10月11日	平成29年度採用職員フォロー研修	行財政改革について	24人

研修及び会議など

政策評価研究会（名古屋市） 6月11日 職員2人

窓口総合セミナー（東京都千代田区） 7月13日 職員1人

公務職場における働き方改革研究会 8月17日（津市）ほか4回 職員1人

自治体における「働き方改革実現のための3要素」（名古屋市） 10月16日 職員1人

政策評価に関する統一研修（名古屋市） 12月11日 職員1人

官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム（大阪市） 3月1日 職員1人

[平成29年度の行政経営推進事業費275,080円を統合]

事業名	公共施設マネジメント推進事業費				市政改革課	
	決算額	財源内訳			一般財源	【参考】 前年度決算
国庫支出金		県支出金	市債	その他		
	770,614				770,614	812,491

公共施設マネジメント

公共施設の老朽化が著しい状況の中で、建替え等にかかる財政負担を将来世代へ先送りせず、持続可能な市政運営を実現するために、公共施設の保有総量の適正化及び既存施設の有効活用の取組を進めた。

施設マネジメント推進委員会

施設所管課長等で構成し、公共施設マネジメントの全庁推進体制である「施設マネジメント推進委員会」を開催し、施設所管課等の協力のもとで、『公共施設等総合管理計画』に基づき、保有総量の適正化及び既存施設の有効活用の検討などの公共施設の全体最適化の取組を行った。

委員会開催内容（構成統括推進委員数 11人）

委員会名	開催回数
松阪市施設マネジメント推進委員会	4回

「施設カルテ」の更新及び公表

市が保有する公共施設を対象に施設の現状を的確に把握し、施設の情報を一元化していくため、「施設カルテ」を作成し、3月に公表を行った。平成30年度においては、防災やバリアフリーに関する情報を追加し、一層の施設の可視化を図った。

公共施設マネジメントの横断的協議

施設分野や部局を超えた横断的マネジメントを進めるため関係所管課等による施設の統合や民間活力導入等の具体的なマネジメント手法についての協議を行った。

横断的協議開催内容

協議名	開催回数	協議案件
公共施設マネジメントの横断的協議	2回	7件

研修会開催内訳

公共施設マネジメント研修会（外部講師）

研修内容「公共施設の現状と施設の再編に向けた留意点」

講師 名古屋大学大学院 環境学研究科 准教授 小松 尚

11月22日（午前・午後） 参加人数 計71人

公共施設マネジメント研修会（市政改革課職員）

研修内容「施設マネジメントについて」

1月16日 平成30年度中堅職員研修（職員課主催）において 参加人数 31人

研修及び会議など

公共施設マネジメントセミナー（名古屋市） 6月1日 職員1人

「公共施設等の計画的な維持管理」セミナー（津市） 7月11日 職員2人

官民連携によるPPP/PFIセミナー（名古屋市） 7月24日 職員1人

平成30年度中部地区官庁施設保全連絡会議（津市）8月8日 職員1人

第1回 みえ公民連携共創プラットフォームセミナー（津市）8月22日 職員1人

公共施設マネジメントセミナー（名古屋市） 10月11日 職員1人

事業名	公共施設マネジメント基金積立金				市政改革課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
64,661,443				64,661,443		56,725,340

公共施設マネジメント基金の利子及びクリーンセンター発電電力売電収入（一部）に伴う積立金

平成30年度末基金現在高 2,336,043,738円

(款) 2総務費 (項) 1総務管理費 (目) 2広報費

(単位 円)

事業名	広報松阪発行事業費					秘書広報課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
92,747,817				940,000	91,807,817	94,563,829

広報まつさかを毎月1回発行。自治会等を通じて配布し、市政等の情報を提供した。

12回発行（平成30年5月号～平成31年4月号）発行部数 65,000部/月

A4版 32ページ 2回

36ページ 8回

40ページ 2回

事業名	ホームページ管理運営事業費					秘書広報課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,588,640				2,000,000	1,588,640	3,674,000

平成28年度にリニューアルを行ったホームページのサーバーの適切な維持管理を行い、市政情報を広く提供した。また、ホームページの操作研修を行い、意識と技術の向上を図った。ホームページのあり方等についても情報のかけ橋委員会を定期的を開催し、検討を行った。

情報発信に関する市職員研修 2回

情報のかけ橋委員会（委員6人） 6回

事業名	市民対話活動事業費					秘書広報課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
901,950				28,410	873,540	925,052

市政への関心と理解を深めていただくため、市内の公共施設等を見学する市政バスの実施や、学校や地域の課題を共有する目的で意見交換を行う「市長・教育長と語る会」等を開催した。また、市民の意見を市政に活かすため、電子メール、ファックス、郵便、窓口等幅広い方法で市民の意見を聴いた。市政情報や暮らしに役立つ情報について学んでもらう出前講座を開催した。

市政バス 50回、参加人数 1,075人

市長・教育長と語る会等 小学校 36回、幼稚園・保育園 8回、参加人数 558人

市民の声 123件（Eメール 80件、手紙 36件、電話 1件、FAX 5件、窓口 1件）

出前講座 260回（うち消防 23回）、参加人数 10,812人（うち消防 735人）

事業名	広報広聴業務推進事業費					秘書広報課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
69,621,342					69,621,342	69,655,933

松阪市自治会連合会に、ポスターの掲示、回覧物の周知、懇談会、説明会等への参集呼びかけ等、業務委託を行った。

事業名	行政情報番組制作事業費					秘書広報課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
37,960,988				1,751,246	36,209,742	40,085,984

行政情報番組「アイウエーブまっさか」を制作・放送し、行政情報や地域の話題などを分かりやすく情報提供した。

制作本数

通常番組	96	本	1日18回のリピート放送 週2回更新
特集	33	本	暮らしの安全情報、いきいき健康情報 等
特別番組	10	本	竹上真人の○○な話 等
議会放送	63	回	生中継28回、録画放送35回
文字放送、市民の掲示板	270	件	22件/月

事業名	広報一般経費					秘書広報課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,218,335				5,376	6,212,959	2,894,073

市政の情報を積極的に発信するため記者クラブの円滑な運営を推進した。また、新聞広告や外部のテレビ局の番組を活用し、市政情報の発信を行った。

記者クラブ非常勤職員賃金、共済費 2,082,816円

新聞掲載による広告の活用

夕刊三重 一面カラー広告等 (5回) 2,041,200円

外部のテレビ局の番組の活用

三重テレビ放送番組「とってもワクドキ！」(1回) 1,080,000円

(款) 2総務費 (項) 1総務管理費 (目) 3公平委員会費 (単位 円)

事業名	公平委員会事業費					総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
403,040					403,040	462,660

公平委員会研修会等

審査決定機関としての審査能力を向上するための研修会に参加した。

名 称	開催日	場所	参加人数
全国公平委員会連合会東海支部総会及び事務研究会	5/9	鈴鹿市	3人
全国公平委員会連合会理事会	5/17～18	愛知県名古屋市	2人
全国公平委員会連合会本部研究会	7/12～13	東京都	3人
三重県公平委員会連合会総会及び事務研修会	10/3	松阪市	7人
全国公平委員会連合会理事会	10/25	東京都	2人
全国公平委員会連合会通常総会	10/26	東京都	2人

(款) 2総務費 (項) 1総務管理費 (目) 4人事管理費

(単位 円)

事業名	一般職退職手当					職員課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
933,704,830				58,021,416	875,683,414	773,556,521

退職手当61人分

区分	人数	うち定年退職
行(一)	45人	24人
行(二)	13人	12人
教育	2人	0人
特定任期付	1人	1人
計	61人	37人

退職手当1人平均 15,306,637円

事業名	職員研修事業費					職員課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,767,203				27,150	6,740,053	6,504,373

総合的な職員研修の実施と研修機関への派遣等を実施した。また、平成27年度から実施している接遇向上のため全庁的に接遇診断を実施し、昨年度は事前研修を実施した。

区分	内容	人数等	金額
集合研修	階層別研修	877人	1,617,080
	特別研修	1,192人	2,110,250
	専門研修	239人	170,980
	諸経費等		330,439
	小計	2,308人	4,228,749
派遣研修	自治大学校	1人	444,960
	市町村アカデミー	2人	77,877
	人権大学講座	1人	182,310
	三重県自治会館	311人	526,260
	県、民間、その他	18人	892,980
	団体会費等		50,000
小計	333人	2,174,387	
自己啓発研修	イブニングセミナー	13職場	0
	職場研修専門講師利用	9職場	336,680
	職場研修手話通訳者等報償費等	2件	27,387
	小計		364,067
合計		—	6,767,203

【新規採用職員本庁舎案内体験研修】

目的：市の組織や各部署の業務内容への理解を深め、本庁舎を訪れる市民に対しての案内業務を体験することにより市職員としての心構えや対応の基本を学ぶ。

期間：平成30年4月9日(月)～平成30年11月16日(金)の月曜・水曜・金曜 1人につき1.5日実施

対象者：平成30年度新規採用職員のうち事務・技術職33名

事業名	職員採用試験事業費				職員課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,154,329					3,154,329	1,850,136

令和元年度採用の職員採用試験を行った。(人事試験研究センター等の業者に一部委託)

[一般募集]

- 1次試験 …… 平成30年 9月16日(日) 場所:市立殿町中学校
 2次試験 …… 平成30年10月18日(木)、19日(金)、27日(土)、29日(月)、11月9日(金)
 11月10日(土)、16日(金) 場所:市庁舎本館5階等

[社会人経験者募集]

- 1次試験 …… 書類選考
 2次試験 …… 平成30年 9月16日(日) 場所:市立殿町中学校
 3次試験 …… 平成30年11月18日(日) 場所:市庁舎本館5階

[障がい者対象追加募集]

- 1次試験 …… 書類選考
 2次試験 …… 平成31年 1月20日(日) 場所:市庁舎本館5階等

採用試験受験状況(一般・社会人)

		1次 試験	2次 試験	3次 試験	採用者数
事務職		165人	57人		23人
事務職(障がい者対象)		2人	1人		1人
技術職	土木	10人	7人		4人
	建築	4人	3人		2人
	電気	3人	2人		1人
	機械	2人	2人		1人
幼教・保育士職		47人	37人		22人
保健師職		2人	2人		1人
管理栄養士職		21人	10人		2人
労務職		13人	10人		3人
事務職(社会人経験者)		121人	37人	16人	6人
計		390人	168人	16人	66人

採用試験受験状況(障がい者対象)

		1次 試験	2次 試験	3次 試験	採用者数
事務職(専願)		19人	8人		5人
労務職(専願)		10人	2人		1人
事務職・労務職併願		18人	5人		0人
計		47人	15人		6人

[こども局子ども発達総合支援センター職員募集]

採用試験受験状況(採用試験は子ども発達総合支援センターで実施)

		1次 試験	2次 試験	3次 試験	採用者数
理学療法士職		5人	5人		1人
計		5人	5人		1人

事業名	職員通信教育講座受講補助金					職員課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
275,696					275,696	371,790

職員の自己啓発意欲の支援のため、通信教育修了者に対し受講費用の1/2を補助した。
受講講座修了の44人に対し補助（申込者53人）

事業名	職員資格取得等補助金					職員課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
48,200					48,200	—

職員の現在の担当業務及びその業務に関連のある市政の施策の推進に必要なもので、当該年度に予算化されていない法令に基づく国家資格及び官公庁等が認定する公的資格等の取得に必要な登録料、受講料の1/2を助成した。

3件（狩猟免許9,100円×2件、1級建築士30,000円×1件）

事業名	職員福利厚生事業費					職員課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
122,261,659				251,597	122,010,062	87,540,237

産休・育休・病休等職員の代替非常勤職員の賃金等を支給した。

区分	人数	賃金	共済費
産休・育休代替等	33人	53,914,682	8,218,213
病休代替	4人	3,419,708	434,789
欠員補充	24人	39,584,425	6,456,912
計	61人	96,918,815	15,109,914

労務職員等（144人）に対して作業服の貸与を行った。 2,329,959円

夏用：上着 242着、ズボン 279着
冬用：上着 143着、ズボン 145着

松阪市職員共済組合に業務を委託し、職員が松阪市勤労者サービスセンター会員となり、各種サービスを選択することで、職員の親睦、保健、元気回復などの福利厚生事業を実施した。 7,902,971円

事業名	安全衛生事業費					職員課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,437,120				367,730	10,069,390	40,258,448

療養補償費（非常勤職員の公務災害による治療費等 平成30年度発生1件 支払は令和元年度予定） 0円

こころの健康相談 医師報償費 （相談件数 計10件） 150,000円

産業医委託料 180,000円

健康診断委託料 10,106,160円

その他事務経費 960円

労働安全衛生法に基づき、職員の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。

※三共済組合員の定期健康診断については、健康事業の巡回ドック事業を利用

定期健康診断

		受診結果	
		人数	割合
受診人員		1,165人	100.0%
要治療		73人	6.3%
要二次検査		468人	40.2%
要経過観察		419人	35.9%
軽度異常		122人	10.5%
異常なし		83人	7.1%

ストレスチェック

		受検結果	
		人数	割合
受検人員		1,745人	100.0%
高ストレス者		188人	10.8%

一人あたり単価

健康診断委託料	三共済組合員	7,040円
	非常勤職員等	8,070円
ストレスチェック		660円

事業名	当直関連業務事業費					職員課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,396,710					7,396,710	7,442,988

市役所本庁舎の宿日直、当直職員（9人）の賃金を支給した。

11,570円×615回(年休分含む)

7,115,550円

15,620円×18回(年未年始)

281,160円

事業名	人事評価制度事業費					職員課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,536,661					1,536,661	1,576,879

質の高い市民サービスを提供するため、人材育成型の人事評価制度を運用した。

支援業務委託（株）ぎょうせい 685,800円 ほか

「人事評価制度の運用に関する支援業務」

「評価結果を人事管理に適切に反映するための仕組みづくりにおける指導・助言」

「人事評価制度庁内検討会（計4回）における運営の支援」

事業名	人事管理一般経費					職員課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,789,144				930,900	12,858,244	14,539,957

特別職報酬等審議会報酬（平成31年1月29日、2月1日、2月7日の計3回開催） 133,000円

参与報酬（活動日17日分） 340,000円

源泉徴収票および支払調書作成業務委託料 310,905円

給与支払明細表作成業務委託料 1,960,143円

人事・給与厚生業務委託料 6,472,000円

扶助料（対象者1人） 787,333円

旧恩給組合負担金 239,233円

三重県東京事務所派遣職員公舎使用にかかる負担金 1,476,000円

その他事務経費 2,070,530円

(款) 2総務費 (項) 1総務管理費 (目) 5財政管理費

(単位 円)

事業名	財政管理事業費					財務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,500,028					1,500,028	1,537,293

起債協議・借入、交付税算定、財政公表、予算編成事務等経費

平成31年度当初予算編成事務説明会の開催

開催日	開催場所	出席者数
H30.10.31	産業振興センター3階研修ホール	182人

財政公表

公表対象期間	公表時期
平成29年度下半期(前年10月1日～3月31日)	広報まつさか6月号掲載
平成30年度上半期(4月1日～9月30日)	広報まつさか12月号 折込み 65,300部

(款) 2総務費 (項) 1総務管理費 (目) 6財産管理費

(単位 円)

事業名	庁舎等維持管理事業費					財務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
128,757,994				11,976,488	116,781,506	128,542,560

本庁舎等の維持管理、既存設備の保守管理等

本庁舎等光熱水費(電気・ガス・水道・下水道)	40,710,613 円
本庁舎等維持修繕費	13,228,066 円
本庁舎等電話代等	10,640,217 円
本庁舎管理業務等手数料	1,599,862 円
建物等保険料	16,821,262 円
本庁舎管理等委託料	34,338,744 円
使用料及び賃借料等	11,419,230 円

事業名	庁舎等整備事業費					財務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
372,430,772			213,200,000		159,230,772	50,923,080

本庁舎空調設備の老朽化に伴う改修工事を行い、また、本庁舎駐車場拡幅事業のための用地購入を行った。

本庁舎本館空調設備他改修工事監理業務委託料	8,260,000 円
本庁舎駐車場拡幅事業に係る土地購入費	43,843,000 円
本庁舎駐車場拡幅事業に係る物件移転補償費	100,822,000 円 ほか

工事名	工事内容	工事費
本庁舎本館空調設備他改修工事	本庁舎本館の空調設備を一括空調方式から個別空調方式にする改修工事を行っている。(令和2年3月完成予定)また受水槽及び消火栓ポンプの改修工事を行った。	203,930,000
本庁舎本館放送設備改修工事	本庁舎本館3階放送室内のラック形非常放送設備30局960Wの取替及び音声調整卓30局の取替工事を行った。	10,451,160

本庁舎本館6階屋上防水改修工事	本庁舎本館6階屋上部分の防水改修（ウレタン系塗膜防水88㎡）及び外壁改修（防水型複層塗材42㎡）を行った。	1,912,680
本庁舎第一分館空調設備改修工事	本庁舎第一分館1・2階事務室の空調設備（空冷ヒートポンプエアコン6馬力1台及び2.5馬力1台）の取替工事を行った。	2,412,720

事業名	市有財産管理事業費					財務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,011,670				5,376	7,006,294	5,314,154

総括的な公有財産の把握及び新たに取得した公有財産の台帳整理並びに普通財産の管理

登記業務委託等手数料	156,600 円
草刈清掃等業務委託料	3,851,423 円
パソコン等借上料	62,090 円
その他非常勤職員賃金、消耗品等	2,941,557 円

事業名	車両管理事業費					財務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
21,046,530				178,563	20,867,967	20,750,217

集中管理車両の維持・保守管理等

車検、点検等修理代	437,699 円
自動車燃料費	4,153,377 円
自動車借上料	7,633,596 円
自動車保険料等	8,821,858 円

事業名	財務書類作成事業費					財務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,860,924					10,860,924	—

統一的な基準による地方公会計に則した固定資産台帳更新及び財務書類作成等

固定資産台帳更新及び財務書類作成支援業務委託料	9,655,200円
新地方公会計システムサーバ導入業務委託料	458,784円 ほか

統一的な基準による地方公会計研修（会場：産業振興センター3階 研修ホール）

開催日	研修内容	出席者数
H30.8.8	財務4表の見方に関する説明会	53人
H30.11.12	財務4表作成に関する説明会	70人

事業名	土地開発基金積立金					財務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
584,787				584,787		555,369

土地開発基金の利子等積立金

平成30年度末基金現在高 1,521,986,207 円

事業名	財政調整基金積立金					財務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,322,240				5,322,240		7,130,033

財政調整基金の利子積立金

平成30年度末基金現在高 9,858,953,599 円

事業名	減債基金積立金					財務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
30,186				30,186		56,471

減債基金の利子積立金

平成30年度末基金現在高 75,552,809 円

事業名	財産管理一般経費					財務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
315,282					315,282	357,331

財産管理における一般事務経費

(款) 2総務費 (項) 1総務管理費 (目) 7会計管理費 (単位 円)

事業名	会計管理一般経費					会計管理課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,047,463				485,524	6,561,939	7,011,274

会計管理に係る一般事務経費

会計事務研修の開催

開催日	研修内容
H30. 4. 13	初任者研修 (係長級)
H30. 4. 20	初任者研修 (課長級)
H30. 4. 27	電子決裁操作研修

(款) 2総務費 (項) 1総務管理費 (目) 8企画費 (単位 円)

事業名	定住自立圏構想推進事業費					経営企画課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
77,354					77,354	83,634

平成27年10月に策定した「松阪地域定住自立圏共生ビジョン」に示した圏域の将来像をめざし、圏域市町(松阪市、多気町、明和町、大台町)における連携項目の各分野の代表者等で構成する共生ビジョン懇談会を引き続き設置し、事業の実績や計画を報告するとともに、KPIにより共生ビジョンの進捗管理を行った。

共生ビジョン懇談会開催内訳 (委員数 14人)

回等	開催日	場 所	出席委員数
1	H30. 5. 23	本庁舎議会棟2階第3・4委員会室	12人

委員謝礼金 70,000円 ほか

事業名	松阪市政推進会議事業費					経営企画課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
483,572					483,572	201,684

社会経済情勢の変化や様々な行政課題等へ対応していくため、市政全般に関して、長期的な展望を踏まえた意見を求めるために、外部有識者等で構成する松阪市政推進会議を引き続き設置し、事業構築に向けた新たな視点や事業の取捨選択などについて議論した。

松阪市政推進会議開催内訳（委員数 15人）

回等	開催日	場 所	出席委員数
1（通算11）	H30.5.15	本庁舎議会棟2階第3・4委員会室	11人
2（通算12）	H30.7.27	本庁舎議会棟2階第3・4委員会室	9人
3（通算13）	H30.10.30	本庁舎議会棟2階第3・4委員会室	12人
4（通算14）	H31.1.29	本庁舎議会棟2階第3・4委員会室	8人
5（通算15）	H31.3.26	本庁舎議会棟2階第3・4委員会室	8人

委員報酬 266,000円

委員費用弁償 210,852円 ほか

事業名	総合計画策定事業費					経営企画課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,853,280					2,853,280	2,953,700

施策評価システムにより総合計画の基本計画の進捗を管理し、その結果を検証するとともに、更なる指標の見直しや事業改善等を指示した。また、さまざまな分野の行政サービスに対して市民意識を把握するため、市民3,000人を対象に市民意識調査を実施した。

市民意識調査委託料 2,786,400円 ほか

調査期間 平成30年8月21日～平成30年9月7日

有効回収数 1,562通

有効回収率 52.1%

事業名	若者チャレンジ松阪創造事業費					経営企画課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
168,160					168,160	1,004,996

若者の市政参画への意欲の向上と、若者の意見を次期総合計画策定に生かすことを目的に、16歳から35歳までの市内在住者等を対象に「まつさか若者クラブ～MYC～2nd season」を開催した。次世代を担う若者の感性をもって、30年後のその先も「みんな大好き松阪市」であり続けるために、松阪市がめざすべき姿を構想した。

まつさか若者クラブ～MYC～2nd season開催内訳（参加申込者数 17人）

回等	開催日	場 所	出席者数
1	H30.7.7	産業振興センターカリヨン別館	10人
2	H30.8.25	産業振興センターカリヨン別館	9人
3	H30.9.22	産業振興センターカリヨン別館	7人
4	H30.10.20	産業振興センターカリヨン別館	7人
5	H30.12.15	産業振興センターカリヨン別館	6人
6	H31.1.19	産業振興センターカリヨン別館	5人
7	H31.2.16	産業振興センター3階小研修室	3人
8	H31.3.23	産業振興センターカリヨン別館	7人

通信運搬費 124,000円 ほか

事業名	企画一般経費					経営企画課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
603,159					603,159	673,963	

手話通訳者謝礼 6,000円

旅費 119,384円

通信運搬費 21,758円

プリンター借上料 16,848円

各種団体等負担金 187,800円

全国半島振興市町村協議会負担金 20,000円

全国過疎地域自立促進連盟会費及び三重県ふるさと振興協議会会費 167,800円

事務消耗品 248,969円 ほか

(款) 2総務費	(項) 1総務管理費	(目) 9 I T推進費	(単位 円)
-----------------	-------------------	---------------------	--------

事業名	庁内O A化推進事業費					情報企画課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
64,427,099				5,273,491	59,153,608	56,319,982	

職員用パソコンを調達、貸与し、アンチウイルスシステム等によりセキュリティを向上させて、職員の業務の省力化及び省時間化を図ることができた。また、職員用パソコンの調達は、最新の基本ソフト及びセキュリティソフトにより、操作性や安全性の向上を図ることができた。

職員用パソコン賃借料及び保守委託料 (パソコン1,730台) 57,244,620円

総合行政ネットワーク (LGWAN) 機器賃借料及び保守委託料 4,436,376円 ほか

事業名	システム管理事業費					情報企画課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
203,824,674				34,963,401	168,861,273	205,878,100	

住民基本台帳、国民年金、福祉医療、学齢簿など約30業務について、データの管理及びバッチ処理等の各種電算処理機能の一括運用を行い、事業の円滑化・効率化を図ることができた。また、グループウェア、文書管理、財務会計、職員申請、人事・給与など8業務について、内部事務処理及びバッチ処理等の各種電算処理機能の運用を行った。

住民情報システム賃貸借・保守委託料 163,936,692円

総務管理事務システム賃貸借・保守委託料 32,111,316円

グループウェアシステム運用保守委託料 1,944,000円

ペーパーレス会議システム導入業務委託 1,346,760円

第一別棟電算室空調機修繕料 1,701,000円

無停電電源装置保守点検委託料 777,600円 ほか

事業名	庁内ネットワーク管理事業費					情報企画課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
207,929,789					207,929,789	194,456,733

本庁舎、各地域振興局及び外局施設の間で、各種システム及び各業務に係る情報をつなげるネットワークを適正に管理運用を行うと共に、インターネット分離システムの利用、三重県自治体情報セキュリティクラウドへの接続により、セキュリティを向上させ、安全で安定した庁内ネットワークサービスを提供した。

庁内ネットワーク回線等利用料	44,770,884円	
庁内ネットワーク機器等賃借・保守委託料	142,239,277円	
庁内ネットワーク（保育園無線化分）構築業務委託料	13,109,688円	
庁内ネットワーク配線修繕	2,935,440円	
三重県自治体情報セキュリティクラウド負担金	3,831,825円	ほか

事業名	減債基金積立金					情報企画課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,105,447		1,104,000		1,447		3,282

減債基金積立 1,105,447円

平成30年度末基金現在高 3,185,461円

事業名	情報化推進事業費					情報企画課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
588,227					588,227	508,900

平成29年度に更新した情報化推進計画の実施状況等を評価・分析し、ICTの視点による市民サービスの利便性向上、行政事務の簡素化・合理化のほか、効率的・効果的な業務運営を目指すため、必要に応じて情報化推進計画の見直しを行った。

旅費、負担金、消耗品費 ほか

事業名	社会保障・税番号制度システム改修事業費					情報企画課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,596,688					11,596,688	6,341,487

社会保障・税番号制度（いわゆるマイナンバー制度）の運用において、子育てワンストップサービスを充実するためのシステム改修、特定個人情報データ標準レイアウトの変更に伴うシステム改修等を行った。

特定個人情報の提供の求め等に係る電子計算機の設置等関連業務の委任に係る交付金	2,576,000円	
データ標準レイアウト改版対応業務委託	65,880円	
子育てOSSにおけるマイナポータル連携対応のための住民情報システム改修業務委託	8,123,328円	
子育てOSSにおけるマイナポータル連携対応のための住民情報システム運用保守業務委託	192,564円	
子育てワンストップLGWAN-ASPサービス利用料	447,120円	ほか

事業名	プリンタ等統合事業費					情報企画課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,147,661					2,147,661	6,055,740

本庁、振興局等に存在する情報系プリンタを高機能複合機に置き換え、全体台数の削減と、印刷事務の利便性を旨とするもので、平成27年度から隔年で実施しており、平成27年度に10台、平成29年度に12台の計22台の複合機を導入し計画全体の2/3の配置を終え、最終実施年度の準備を行った。

ICカード認証プリントシステム保守及びライセンス使用 2,003,028円 ほか

事業名	I T推進一般経費					情報企画課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,736,384				5,376	2,731,008	4,868,643

非常勤職員賃金、共済費 2,082,816円 ほか

(款) 2総務費 (項) 1総務管理費 (目) 10地域づくり連携費 (単位 円)

事業名	松阪市自治会連合会補助金					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,500,000					6,500,000	6,500,000

地域の円滑な発展と住民自治の確立に寄与するために、松阪市自治会連合会に補助した。

総会 1回、役員会・理事会・常任理事会等 28回、研究会・委員会等 35回、理事視察研修 1回
市長・教育委員会等との懇談会5回、安全・安心フェスタまつさかの開催
松阪市の住民自治のあり方検討会への出席等

事業名	地域マネジメント推進事業費					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,327,882					1,327,882	1,505,654

住民協議会が核となる地域主体のまちづくりの実現に向けて、次のような取組みを行った。

職員等のサポート体制の確立

地区市民センター所長会議（新任所長研修 1回、情報共有 5回）

サポート連携会議（地域振興課との連携会議） 6回

地域主体のまちづくり講演会 2回

住民協議会の人材育成・情報提供

事務局実務研修 4回、ファシリテーター研修会 2回

地域主体のまちづくり講演会 3回

地域主体のまちづくりのしくみの検討

松阪市の住民自治のあり方検討会 1回

松阪市の住民自治のあり方検討会に係る二者合同会議 5回

活動交付金の充実に向けた検討（地域の元気応援事業審査委員会及び審査会 3回）

事業名	地区集会所建設補助金					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
15,617,000					15,617,000	17,249,000

地区においてのコミュニティ活動の拠点となる集会所の整備等に対し補助することにより、地区のまちづくりを推進した。(対象・19地区集会所)

内訳

種別	実施件数	補助額
新築	2	10,000,000
改修	17	5,617,000
計	19	15,617,000

事業名	住民協議会活動交付金					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
81,307,938				81,307,938		82,958,784

住民協議会の運営及び事業の活性化と安定化を図り、地域の住民自治の拡充に資するため、43の住民協議会の活動に対して交付した。

均等割 22,145,000円 (43地区×515,000円)

人口割 51,263,381円 (人口分 26,017,000円 事務人件費加算 25,246,381円)

地域特定加算 629,557円 (飯高管内火葬場加算 4地区)

コンペ式加算 4,100,000円

(地域力アップ部門 200,000円×15事業、100,000円×1事業

地域づくりスポンサー賞 200,000円×5事業)

ふるさと応援寄附金加算 3,170,000円

(朝見10,000円 掃水40,000円 宇気郷10,000円 大石50,000円 射和80,000円

嬉野宇気郷70,000円 豊地100,000円 嬉野中川50,000円 中原100,000円

天白100,000円 有間野30,000円 粥見100,000円 宮前640,000円 川俣150,000円

森870,000円 波瀬 770,000円)

事業名	地域の元気応援事業市民活動サポート補助金					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
151,404				151,404		300,000

NPOなどの市民活動団体が住民協議会との連携や支援に取り組む優れた事業に対し公開審査会を実施し、採択された事業に対して補助を行った。

市民活動サポート補助金 151,404円

(音楽のアトリエMUSICANO (ムジカーノ) 100,000円

まつさか子育てママチーム 51,404円)

事業名	市民活動振興基金積立金					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,000,000				1,000,000		700,000

企業協賛金を基金に積み立て、住民協議会活動交付金に充当した。

※ふるさと応援寄附金から市民活動振興基金へ積み立てる分 (6,217,700円) は

地域ブランド課で計上。積立額の合計は7,217,700円。

平成30年度末基金現在高 17,676,721円

事業名	市民活動センター管理運営事業費					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
27,439,732				8,724	27,431,008	34,045,449

市民活動センターについて指定管理者制度を活用し、管理・運営を行った。
(平成30年度 登録団体数 468団体、来場者数 22,933人、会議室利用数 1,452回)
管理・事業運營業務委託料 20,791,000円
市民活動センター賃借料 6,619,320円
AED賃借料 29,412円

[平成29年度の地域づくり団体サポート事業費1,526,655円を統合]

事業名	市民活動センター施設整備事業費					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
291,600					291,600	747,144

市民活動センターのLED照明器具等整備を実施した。
玄関ホール・ロビー照明器具改修 291,600円

事業名	地域づくり連携一般経費					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,338,292				5,452	2,332,840	2,406,760

非常勤職員賃金、通信運搬費、一般事務用品代等
地域づくり連携に係る一般経費

事業名	コミュニティ助成事業補助金(地域づくり)					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,000,000				5,000,000		6,900,000

一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用して、テントや長机等自治会活動・イベント用の備品の購入を行い地域の活性化を図った。

団体名	内容	助成決定額
飯南自治会連合会	パイプテントほかイベント・祭り用の備品の整備	2,500,000円
宮前まちづくり協議会	テントほかイベント用備品の整備	2,500,000円
計		5,000,000円

(款) 2総務費 (項) 1総務管理費 (目) 11地区市民センター費 (単位 円)

事業名	地区市民センター管理運営事業費					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
81,506,081				1,449,470	80,056,611	80,321,027

地区市民センター21館の維持・管理・事務経費

非常勤職員賃金	42,414,330円	役務費	2,829,474円
共済費	6,780,059円	委託料	5,093,684円
消耗品費	2,097,436円	使用料及び賃借料	2,394,342円
燃料費	1,107,592円	備品購入費	338,130円
光熱水費	12,970,444円	原材料費	163,640円
修繕料	5,301,950円	研修負担金	15,000円

事業名	地区市民センター施設整備事業費				地域づくり連携課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
44,391,240			37,800,000		6,591,240	62,398,080

伊勢寺地区市民センターほか2棟トイレ改修工事 25,869,240円
阿坂地区市民センターほか1棟トイレ改修工事 13,934,160円
徳和地区市民センター空調機改修工事 4,263,840円 ほか

(款) 2総務費 (項) 1総務管理費 (目) 12地域振興局費 (単位 円)

事業名	嬉野地域振興局管理運営事業費				嬉野地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
35,050,020				255,760	34,794,260	35,847,174

地域振興局管内の経常的経費を一括に管理し、経費の見直し・削減に努めるとともに、事務の合理化・効率化を図った。

事業費	内 訳					
	賃金	需用費	役務費	委託料	使用料	その他
35,050,020	10,352,203	9,280,702	2,622,485	3,941,028	7,823,814	1,029,788

事業名	三雲地域振興局管理運営事業費				三雲地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
23,236,715				1,237,978	21,998,737	23,608,220

地域振興局管内の経常的経費を一括に管理し、経費の見直し・削減に努めるとともに、事務の合理化・効率化を図った。

事業費	内 訳					
	賃金	需用費	役務費	委託料	使用料	その他
23,236,715	8,511,927	8,023,787	1,688,099	2,177,762	1,861,865	973,275

事業名	飯南地域振興局管理運営事業費				飯南地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
21,661,564				506,672	21,154,892	22,183,628

地域振興局管内の経常的経費を一括に管理し、経費の見直し・削減に努めるとともに、事務の合理化・効率化を図った。

事業費	内 訳					
	賃金	需用費	役務費	委託料	使用料	その他
21,661,564	10,626,224	5,299,000	1,375,305	1,038,204	2,169,628	1,153,203

事業名	飯高地域振興局管理運営事業費					飯高地域振興局地域振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
31,875,126				1,422,430	30,452,696	31,796,480

地域振興局管内の経常的経費を一括に管理し、経費の見直し・削減に努めるとともに、事務の合理化・効率化を図った。

事業費	内 訳					
	賃金	需用費	役務費	委託料	使用料	その他
31,875,126	9,999,833	9,621,444	1,624,246	3,829,939	5,698,850	1,100,814

事業名	飯高山岳救助隊支援事業補助金					飯高地域振興局地域振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
248,000					248,000	248,000

飯高管内における山岳救助活動を行う飯高山岳救助隊の支援を行った。

遭難発生件数 1件（飯高山岳救助隊出動1回）、登山口巡視1回、ヘリポート巡視・登山道整備2回

事業名	飯南地域振興局施設整備事業費					飯南地域振興局地域振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,928,880					1,928,880	—

飯南地域振興局庁舎空調機更新工事 1,000,080円

老朽化した空調機を整備し来庁者の利便性を図った。

飯南地域振興局別棟トイレ修繕 928,800円

和式便器を洋式へと改修し来庁者の利便性を図った。

事業名	地域づくり支援事業補助金					嬉野地域振興局地域振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,035,000					1,035,000	1,671,000

市民の自発的なまちづくり活動を支援し、活力あるまちづくりを推進した。

	補助額	団体数	内 容
嬉野管内	565,000	2団体	松阪北部物産振興事業、嬉野ふれあい運動会事業
飯南管内	470,000	2団体	いいなあーこの町交流会事業、要援護高齢者支援事業
計	1,035,000		

事業名	地域活性化事業費					嬉野地域振興局地域振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,150,000					13,150,000	12,654,338

各実行委員会等と協力し、地域特性や歴史・伝統・文化等の地域資源を活かした事業を支援し、地域の活性化を図った。

	委託料	団体数	内 容
嬉野管内	4,750,000	4団体	嬉野おおきん祭り事業、嬉野さくらまつり事業等
三雲管内	5,900,000	3団体	武四郎まつり事業、みくもの七夕笹かざり事業等
飯南管内	1,500,000	1団体	いいなん・ふれあい祭り事業
飯高管内	1,000,000	1団体	香肌峡ふれあいフェスティバル事業
計	13,150,000		

事業名	中山間地域活性化事業補助金					嬉野地域振興局地域振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,176,630					7,176,630	6,863,297

中山間地域の歴史・伝統・文化等の地域資源を活かした地域間交流、地域文化伝承事業を支援し、地域コミュニティの連携、地域の活性化を図った。

	補助額	団体数	内 容
嬉野管内	750,000	2団体	中郷地区活性化事業、宇気郷地区活性化事業
飯南管内	2,610,000	10団体	棚田まつり事業、深野和紙保存事業等
飯高管内	3,816,630	12団体	ふるさと川俣夢まつり事業、香肌峡もり夏まつり事業等
計	7,176,630		

事業名	飯高総合開発センター管理事業費					飯高地域振興局地域振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,681,952				10,800	4,671,152	4,988,120

教育・文化の中心的な施設として、また、地域のコミュニティの拠点施設として地域住民等の利用促進を図った。

利用件数314件、利用人数4,008人

事業名	飯南コミュニティセンター管理事業費					飯南地域振興局地域振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,660,269				30,490	1,629,779	1,869,664

地域コミュニティの拠点施設として、地域住民等の利用促進を図った。

利用状況 研修室 113件 延1,779人、トレーニング室 136件 延1,855人

事業名	出張所管理事業費					飯南地域振興局地域振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,312,350				22,297	11,290,053	11,325,522

地域振興局管内の各出張所の適正な維持管理に努め、地域住民サービスに従事した。

地域	出張所	事業費
飯南	柿野出張所	317,501
飯高	波瀬出張所	295,850
	森出張所	1,078,365
	川俣出張所	985,232
事務補助員賃金等 4人 (柿野、森、川俣、波瀬)		8,635,402
計		11,312,350

事業名	中川新町地域交流センター管理運営事業費					嬉野地域振興局地域振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,121,706				3,603,193	1,518,513	4,999,580

新しい街を形成する地域コミュニティの拠点施設として、中川新町住民とその周辺地域住民の相互交流や多世代間の交流支援事業、市民活動支援事業などを行った。

利用状況

交流室 5,017人(300日) 多目的室 8,687人(721回) 会議室 2,071人(196回)

支援事業

毎週金曜日 絵本の読み聞かせ(延340人)
 毎月第4木曜日 親子体操教室(延235人)
 ふれあい健康体操(13回開催 参加者202人)
 利用者発表会(1月26日 参加者 250人)

事業費	内 訳					
	賃金	需用費	役務費	委託料	使用料	その他
5,121,706	2,487,552	1,438,191	138,196	677,052	40,465	340,250

事業名	地域集会所管理事業費					嬉野地域振興局地域振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
464,508					464,508	79,920

地域コミュニティの拠点施設として、地域住民等の利用促進を図り施設本来の機能を取り戻すための事業を行った。

赤桶集会所屋根、小便器修繕

事業名	中川新町地域交流センター基金積立金					嬉野地域振興局地域振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
37,082				37,082		71,239

平成21年2月10日に嬉野中川駅周辺土地地区画整理組合から1億円の指定寄付を受け、松阪市中川新町地域交流センターに要する経費に充てる目的で積み立てた基金に発生した利息の積立金

平成30年度末基金現在高 87,614,211円

事業名	空き家バンク活用補助金					飯南地域振興局地域振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,007,000					1,007,000	2,350,000

空家の有効活用と移住を推進するため改修補助金と空家バンクにより契約が成立した空家への移住者に対する奨励による支援を行った。

松阪市空家改修事業補助金(2件) 660,000円
 松阪市空家バンク利用奨励金(8人) 160,000円
 松阪市空家バンク家財処分補助金(2件) 187,000円

事業名	過疎地域交流施設管理運営事業費				飯南地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,660,155		795,970			3,864,185	4,675,804

飯南・飯高過疎地域の歴史文化遺産、自然スポットを訪れる行楽客等が、公衆トイレや遊歩道などを気持ちよく利用できるように維持管理を行い観光交流と地域の活性化を図った。

公衆トイレ維持関連経費 2,326,492 円
 飯南深野公衆トイレほか8か所
 遊歩道整備業関連経費 2,333,663 円
 富士見ヶ原ほか8か所

[平成29年度観光施設管理運営事業費の一部 4,675,804円を統合]

事業名	過疎地域魅力アップ整備事業費				飯南地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,997,020			3,600,000		7,397,020	—

富士見ヶ原、宮ノ谷遊歩道等の豊かな自然環境及び地域資源を整備し安全で気軽に楽しんでもらう環境を確保を行い、交流人口の増加、過疎地域を活性化を図った。

施設設備修繕料 525,340円
 飯南白猪山登山道看板修繕ほか2件
 植栽管理業務委託料 1,490,400円
 飯南富士見ヶ原植栽管理業務委託料ほか2件
 宮ノ谷遊歩道整備工事 8,981,280円

事業名	田舎暮らし交流移住促進事業費				飯南地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,383,637		1,424,000		28,000	3,931,637	1,746,882

中山間地域の自然や歴史文化を生かす体験イベント等をはじめ、お試し住宅などを通じ田舎暮らしを促進し、地域の活性化と交流人口の増加及び若者等の移住・定住を図った。

体験イベント等 2,570,174円

事業内容	開催日	参加者数
まつさかサイクルチャレンジin香肌峡	平成30年9月～12月・3月	延94人
田舎暮らし体験	平成30年6月～平成31年3月	16組(76人)
魅力いっぱい「香肌峡」自然体験	年3回	延42人
出逢い創出イベント	平成31年3月10日	56人
地域活性化セミナー	年5回	延172人

田舎暮らしお試し住宅 807,300円
 実施期間 平成30年4月16日～平成31年3月31日
 利用世帯数 4世帯

情報発信 1,214,240円
 パンフレット 10,000部
 Webサイト作成
 雑誌掲載 「家族で楽しむ子どもSimple」特別増刊号(2ページ)

[平成29年度の移住促進事業費 754,367円を統合]

[平成29年度の出逢い創出事業費 130,094円を統合]

[平成29年度の田舎暮らし推進事業費 862,421円を統合]

(款) 2総務費 (項) 1総務管理費 (目) 13防災対策費

(単位 円)

事業名	防災一般経費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,846,747				5,448	12,841,299	12,615,718

防災対策に係る一般管理経費、防災対策業務管理及び非常勤職員の雇用等により、各種防災対策に係る基礎業務を展開した。
 加えて、職員の防災士育成や、被災地を忘れないための支援活動に結び付けるために東日本大震災追悼式の参列等を実施した。

- 非常勤職員賃金、保険料等（第2種：1人） 2,122,445円
- 出張旅費（会議、東日本大震災追悼式等：延14人） 568,870円
- 防災士養成講座（1人） 73,880円
- 消耗品、コピーカウント等 853,090円
- 郵送料 253,674円
- 防火防災訓練災害補償等共済制度 163,000円
- 自動車借上料（公用車1台） 179,046円
- 自動車燃料代（公用車1台） 149,169円
- レンタカー借上料（東日本大震災追悼式等） 27,693円
- 有料道路通行料 2,880円
- 危機管理士等講座受講料等 43,000円
- 三重県防災ヘリコプター連絡協議会負担金 5,408,000円
- 三重県防災行政無線運営協議会分担金 2,992,000円
- 中越大地震ネットワークおぢや協議会会費 10,000円

事業名	防災啓発事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,112,287				56,000	6,056,287	11,649,472

市民の防災意識高揚を図るため、出前講座等を実施するとともに、小学生親子を対象とした親子防災キャンプ、電光式避難所看板の設置等を実施した。
 また、三重県が指定する土砂災害警戒区域等を対象に土砂災害ハザードマップの作成を行った。

- 親子防災キャンプ（H30.8.18 開催：49人） 66,840円
- 土砂災害ハザードマップ（川俣、森、波瀬） 1,220,400円
- 講演会チラシ、災害対策本部情報収集シート等 87,480円
- 電光式避難所看板設置委託 3,974,400円
- 防災アドバイザー謝礼金（2人） 140,000円
- 安全・安心フェスタ業務委託等 396,705円
- 消耗品等 226,462円

事業名	防災訓練事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
756,551					756,551	800,000

市民・地域の防災意識の向上や災害に対応する技術習得を図るとともに各防災関係機関との連携をより強固なものとするために総合防災訓練を実施し、災害発生時の迅速な対策の確立や被害の最小限化等に努めた。

- 開催日 : H30.10.21（日）
- 開催場所 : 宮前小学校付近
- 参加者 : 451人
- 防災訓練実施業務委託 756,551円

事業名	一般木造住宅耐震診断事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
25,303,950	11,329,000	5,211,000			8,763,950	18,355,896

昭和56年5月31日以前に建てられた一般木造住宅の耐震診断を実施し、住宅の耐震性能の把握と耐震補強工事等への手掛かりとするとともに家屋倒壊の被害の減少に努めた。
また、住宅の耐震に関する意識高揚、診断の受診率を向上させるために業務委託を行い、専門的知見から耐震診断についてきめ細かく説明することで、更なる普及啓発を図った。

耐震診断（450戸） 20,844,000円
耐震化促進啓発業務委託 4,410,000円
耐震診断PRチラシ（9,000枚） 49,950円

事業名	防災設備等管理事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
40,210,090				1,620,000	38,590,090	40,138,261

防災対策に関わる防災行政無線をはじめとする各種防災対策システムの保守点検、円滑な防災情報入手のための市民向け「防災情報メール」、「緊急速報メール（エリアメール等）」等を含めた維持管理・修繕等を行い、各関係機関等との連絡体制の整備・災害対策業務の体制確立に努めた。他に本部機能強化として、IP無線機の購入を行った。

防災行政無線屋外拡声子局等電気代 2,588,083円
防災行政無線（同報系）等修繕 9,226,008円
防災情報メール・職員参集メール等利用料 529,562円
災害用衛星携帯電話・携帯電話使用料 847,752円
防災行政無線等遠隔操作等通信費 675,315円
河川監視カメラ等インターネット通信費 304,560円
災害対策本部通信システム借上等 162,264円
災害対策本部用電話回線利用料 151,526円
災害対策本部用ファクシミリ借上、使用料 46,268円
防災地震計電話回線使用料 427,020円
飯南管内音声告知用帯域利用料 430,920円
防災行政無線（同報系・移動系）等保守点検 20,694,312円
防災行政無線電柱共架料 122,700円
防災行政無線（同報系・移動系）電波利用料 429,000円
IP無線購入費（50台） 3,542,400円
河川監視カメラ電力申請代行手数料 32,400円

事業名	一般木造住宅耐震補強等事業費補助金					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
26,065,000	5,564,000	2,097,000			18,404,000	9,296,000

昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅で耐震診断の結果、補強工事が必要と判断された家屋の耐震補強にかかる設計費と工事費及び耐震補強工事と同時施工のリフォーム工事や除却工事に対し補助金を交付し、家屋倒壊被害の減少に努めた。

耐震補強設計補助（5戸） 800,000円
耐震補強工事補助（2戸） 2,265,000円
除却工事補助（77戸） 23,000,000円

事業名	自主防災組織活動支援事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1, 226, 259					1, 226, 259	224, 620

自主防災組織の活動をより推進するため2地区で講演会を開催し人づくり、組織づくり、体制づくりを総合的に支援し、地域防災力の向上を図った。また、災害対策基本法に基づく避難行動要支援者名簿の作成及び情報提供に対する本人同意確認を行うための送付文書作成業務を委託し、平成30年度は大石、西黒部、鶴の3地区の対象者への送付文書を作成した。

大石地区防災講演会講師謝礼金（H30. 6. 30 開催：84人） 40, 000円
 臨海地域防災ネットワーク講演会謝礼金（H30. 11. 10 開催：80人） 27, 040円
 避難行動要支援者名簿作成及び名簿情報提供意向確認文書作成業務委託料 1, 159, 219円

事業名	防災行政無線整備事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
271, 723, 040			271, 600, 000		123, 040	108, 678, 514

市域全域に防災行政無線の親局、中継局、屋外拡声子局等を年次的に整備し、市域に迅速かつ的確な緊急情報の提供に努めた。

飯南・飯高管内のデジタル化にむけて平成29年度に行った実施設計に基づき整備工事を平成30年度、令和元年度の2年間で行う。また、全国瞬時警報システム（J-ALERT）受信機更新を行った。

J-ALERT新型受信機更新業務委託料 2, 570, 400円
 防災行政無線（飯南・飯高管内デジタル同報系）整備工事監理業務委託料 2, 096, 000円
 防災行政無線（飯南・飯高管内デジタル同報系）整備工事 267, 000, 000円
 検査旅費等 56, 640円

事業名	高齢者世帯家具等転倒防止支援事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1, 279, 476		639, 000			640, 476	258, 480

65歳以上の高齢者のみの世帯又は身体障がい者等が居住する世帯の家具等の転倒防止対策を講じること
 で、地震による家屋内での圧死等を未然に防止し、発災時における人的被害の防止に努めた。

家具固定事業実施業務委託（99世帯） 1, 279, 476円

事業名	国民保護法推進事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
135, 184					135, 184	194, 444

武力攻撃やテロ等に備え、「松阪市国民保護計画」の不断の見直しを行うとともに、松阪市国民保護協議会を開催し、国民保護をめぐる情勢の共有や国民保護計画について関係機関との連携を図った。

（松阪市国民保護協議会：H31. 2. 20 開催、29人）
 委員報酬（17人分） 119, 000円
 Em-net・安否情報システム端末リース代（PC2台） 14, 904円
 コピーカウント料 1, 280円

事業名	防災行政無線基地局舎管理事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,566,337					3,566,337	3,519,034

同報系防災行政無線の親局及び松阪市における災害対策の拠点となる防災行政無線基地局舎（第四別棟）の維持管理経費及び各地域振興局等への防災行政無線専用線通信経費等

防災行政無線基地局舎電気代 752,148円
 防災行政無線基地局舎ガス代 11,189円
 防災行政無線基地局舎電話代 216,111円
 防災行政無線基地局舎通信費 2,369,568円
 防災行政無線基地局舎警備委託料 58,320円
 防災行政無線基地局舎ファクシミリ等借上 87,936円
 防災行政無線基地局舎ケーブルテレビ視聴料 49,248円
 防災行政無線基地局舎NHK放送受信料 21,817円

事業名	防災情報・被災者台帳システム構築事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
36,740,196			36,700,000		40,196	227,910

災害時の庁内での情報共有及び意思決定を支援するための「防災情報システム」と、災害により生じた被災者への生活再建制度の的確な適用と迅速な罹災証明書の発行を目的とした「被災者台帳システム」を公募型プロポーザルにより構築し、迅速かつ的確な災害対応を実施できるよう機能強化した。

防災情報・被災者台帳システム構築業務委託料 36,740,196円

事業名	地域防災計画策定事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,468,608					1,468,608	20,159,096

平成29年度改定・策定した地域防災計画及び飯南・飯高版の避難所マップを作製した。松阪市防災会議にて、防災関係者参画のもと多角的に審議・共有し、各防災関係機関の連携を強化した。

（松阪市防災会議：H31.2.20 開催、31人）

委員報酬（17人分） 119,000円
 地域防災計画印刷代（平成29年度改定） 941,760円
 松阪市避難所マップ（飯南・飯高版、2,000部） 375,948円
 消耗品等 31,900円

事業名	災害用備蓄管理事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,518,752		1,646,000			11,872,752	14,621,881

災害時における被災住民の生命の安全と安心を確保するために、災害用資機材等の保守・点検及び非常食料、災害用資機材等の備品整備を図った。災害時の指定避難所を中心にフリーズドライご飯、飲料水、毛布、排便収納袋、LEDバルーン照明（発電機付）、プライベートルーム等を配備し、災害時初動期及び避難生活で必要となる資機材等の配備を行った。

災害備蓄用フリーズドライご飯（20,000食） 6,048,000円
 災害備蓄用飲料水（250箱）・毛布（400箱）・排便収納袋（3,000枚） 5,103,000円
 災害備蓄用LEDバルーン照明（発電機付：5セット） 1,258,200円
 災害備蓄用プライベートルーム（7張） 381,780円
 災害備蓄用簡易ベッド（7台） 101,304円
 災害備蓄用ろ水機保守点検（20機） 238,788円
 災害備蓄用コンテナ点検作業等業務委託 292,680円
 アレルギー対応災害時備蓄品調達業務委託 95,000円

事業名	地域防災活動推進助成金				防災対策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
373,000					373,000	482,000

地域の防災力向上を図るため、住民協議会単位で実施する防災訓練やその他防災活動、自治会単位を主体とし、5年以上の防災活動実績のある自主防災組織の防災資機材修繕や、追加配備に要する経費への助成を行い、ソフト、ハード両面からの地域防災活動に関する支援を行った。

防災訓練 単位：円

NO	管内	組織名	補助金額
1	本庁	花岡住民協議会	51,000
2	本庁	伊勢寺地区住民協議会	30,000
3	三雲	天白まちづくり協議会	16,000
4	三雲	米ノ庄住民協議会	30,000
5	嬉野	嬉野宇気郷住民協議会	30,000
6	本庁	機殿まちづくり協議会	30,000
7	三雲	鶴まちづくり協議会	25,000
8	本庁	宇気郷住民協議会	22,000
9	本庁	鈴の森住民協議会	48,000
計			282,000

防災活動 単位：円

NO	管内	組織名	補助金額
1	本庁	花岡住民協議会	34,000
計			34,000

資格取得 単位：円

NO	管内	組織名	補助金額
1	飯高	宮前まちづくり協議会	9,000
2	嬉野	豊地まちづくり協議会	9,000
計			18,000

資機材修繕 単位：円

NO	管内	組織名	補助金額
1	本庁	小阿坂町自治会	19,000
2	嬉野	下之庄自治会	20,000
計			39,000

事業名	避難路沿道建築物耐震診断補助金					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,900,000	4,360,000	3,270,000			3,270,000	3,089,000

耐震診断義務付け路線として指定された避難路（緊急輸送道路等）沿道にある「通行障害既存耐震不適合建築物」について、耐震診断が義務化されたことから、避難路沿道建築物の耐震化を促進することで緊急輸送路や避難路の確保ができ、円滑な被災者支援が期待できるよう努めた。

避難路沿道建築物耐震診断事業費補助金（2件） 10,900,000円

事業名	津波避難対策事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,153,000					4,153,000	—

津波発生時の本市の避難対象地域や優先的な避難路・地区・町別の津波緊急避難場所や、津波避難困難地域の解消に向けた津波避難施設の整備方針等を示した津波避難計画を策定した。また、津波避難困難地域2地区にて松阪市防災アドバイザーを招いてワークショップ等を行い地区防災計画を策定し市民や地域の「自助」「共助」に対する意識高揚に繋げた。

地区避難計画策定アドバイザー謝礼金（西黒部地区3回、鶴地区4回、全体1回） 162,400円
津波避難計画策定等支援業務委託料 3,990,600円

事業名	風水害対策事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,860,000			4,600,000		260,000	—

風水害時の迅速な避難情報の発令に備えるために河川監視カメラを3台増設した。風水害時に係る河川監視等を行うことでいち早く避難情報発令の判断を行うことができ、市民の安全・安心の確保につながるとともに、事後検証を通じて風水害対応の迅速かつ的確化を図ることができた。

河川監視カメラシステム増設工事（3台増設） 4,860,000円

事業名	危険ブロック塀等除却事業補助金					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,682,000					5,682,000	—

避難道路狭あい地域や通学路等に面するブロック塀等について、地震での倒壊等による事故を未然に防止し、通行人の安全と避難経路の確保を図るため、倒壊等の危険性のあるブロック塀を除却する費用に対して補助を行い、震災時における避難経路の確保や住民及び通行人の安全確保に努めた。

除却件数 76件 5,682,000円

（款）2総務費 **（項）1総務管理費** **（目）14交通安全対策費** （単位 円）

事業名	交通安全対策事業基金積立金					地域安全対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,212				3,212		7,967

松阪市交通安全対策事業基金（元金）から生じる利子を交通安全対策事業基金に積み立てた。
平成31年3月29日基金廃止に伴い、残額を交通安全啓発事業費及び交通安全教育推進事業費に充当した。

事業名	交通安全啓発事業費				地域安全対策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,574,782				2,280,000	2,294,782	5,837,237

悲惨な交通事故の犠牲者を1人でも少なくするため、関係機関・団体等との連携を密にして、幼児から高齢者または地域へと、幅広く交通安全啓発を行った。

市民参加イベントでの交通安全啓発活動

内 容	実施日	啓発人員等
七夕まつり鈴の音市	8月4日	300人
健康フェスティバル2018	9月9日	700人
しょうわ交通安全フェスタ2018	9月24日	300人
いいたか文化祭2018	10月27日	100人
第7回深野棚田まつり	10月27日	100人
第57回氏郷まつり	11月3日	2,000人
香肌峡ふれあいフェスティバル	11月11日	200人
飯南ふれあいまつり	11月18日	300人
安全・安心フェスタまつさか	12月2日	1,500人
武四郎祭り	2月25日	300人
スケアードストレート方式による交通安全教室	3月22日	70人

松阪市交通安全の日における早朝街頭指導（毎月11日）
交通安全の日における防災行政無線を活用した市長の交通安全メッセージ
四季の交通安全運動の実施（懸垂幕掲示、市公用車への広報用マグネット貼付）
中学校交通安全推奨像リレー 4校
交通安全啓発スポット事業（FM三重ラジオコマーシャル）
路線バス（5台）への広告掲載
松阪市交通安全サポート事業所の登録募集
関係団体への啓発ポスター・チラシの配布（ポスター 1,700枚、チラシ 17,000枚）
交通安全標語入り年賀スタンプコーナーの設置及びアンケート調査（12月1日～12月28日）
保育園、幼稚園新入園児への交通安全啓発チラシの配布（57園、5,647枚）

事業名	交通安全教育推進事業費				地域安全対策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,320,175				1,828,079	6,492,096	8,330,792

市民一人ひとりに交通安全意識を浸透させ、正しい交通ルールやマナーを周知徹底するために、交通安全教育指導員「とまとーず」を活用して、市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校での交通安全教育や高齢者に対する交通安全教室を行った。また、プロスタントマンが実際の事故に近い状況を再現するスケアード・ストレート方式による交通安全教室を市内4中学校及び松阪自動車学校で開催した。

「とまとーず」による交通安全教室の開催

H30	対象	回数	対象人数
	保育園	80回	延5,220人
	幼稚園	52回	延2,946人
	小学校	74回	延5,592人
	中学校	15回	延1,846人
	高齢者	24回	延1,068人
	一般その他	13回	延802人
	計	258回	延17,474人

スクエアード・ストレート方式による交通安全教室の開催（4校ほか、1,142人）

対象	回数	対象人数
中学校	4回	延1,072人
一般その他	1回	延70人

事業名	地域交通安全対策活動事業費				地域安全対策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,930,872					1,930,872	2,924,382

交通事故のない松阪を実現するためには、市民一人ひとりの交通事故防止の意識高揚を図っていく必要があることから、啓発物品の配布等、地域の状況に応じた交通安全対策を行った。また、交通指導員を設置し、地域における通学時等の安全確保を行った。

地域への啓発物品の配布

リストバンド等の反射材（535個）

交通安全啓発のぼり旗（797枚）

路面標示シート（418枚）

交通指導員の設置 36人（新規：11人、継続：25人）

各地域での交通安全指導

平成30年4月4日、委嘱状交付式及び研修会開催

平成30年11月28日、研修会開催

事業名	自転車駐車対策事業費				地域安全対策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,397,862				1,405,440	7,992,422	9,215,757

松阪駅・伊勢中川駅周辺において自転車の放置を防止することで、通行機能の確保と市民安全を図るため、巡視員による放置自転車の確認業務、市営有料自転車駐車場の受付業務及び市営無料自転車駐車場の整理業務を行った。また、松ヶ崎駅、伊勢中原駅、櫛田駅周辺の市営無料自転車駐車場の整備及び管理を行い、良好な道路交通環境を構築した。

放置禁止区域自転車撤去台数（H31.3.31時点）

区分	台数
所有者引取台数	36台
警察引渡台数（盗難車）	6台
保管台数	55台
計	97台

市営有料自転車駐車場登録件数（納付件数）

月	件数	月	件数
4月	68件	10月	84件
5月	60件	11月	44件
6月	50件	12月	49件
7月	56件	1月	56件
8月	46件	2月	38件
9月	28件	3月	55件
計		634件	

事業名	交通安全対策一般経費				地域安全対策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5, 222, 136				5, 337	5, 216, 799	5, 118, 256

交通災害等の諸対策を推進するため交通安全対策委員会を開催し、対策事項等に関する協議を行った。また、交通安全活動を直接推進すべき任務をもつ各機関と団体が積極的かつ緊密な連携体制を確立し、統一的意志のもとにその活動を円滑かつ効率的に推進し、もって交通事故のない明るい社会づくりに寄与することを目的とした松阪多気地区交通安全対策会議に対し、負担金を支出した。

松阪市交通安全対策委員会 平成30年10月3日（委員 21 人出席） 委員報酬 14人 98,000円
 交通事故相談の実施 年12回 54,000円
 非常勤職員賃金・一般事務用品代等
 松阪多気地区交通安全対策会議負担金 1,815,000円

(款) 2総務費 (項) 1総務管理費 (目) 15人権啓発費 (単位 円)

事業名	人権啓発活動推進事業費				人権・男女共同参画課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1, 703, 006					1, 703, 006	1, 588, 980

人権問題について考える機会を提供し、人権意識の高揚を図るため、小中学生に対して人権図画ポスターの募集を行った。弁護士による人権相談を実施し、人権侵害における被害者の救済に努めた。

人権図画ポスターの募集及び表彰 応募総数 536件（小学生 190作品、中学生 346作品）
 小学生の部 5作品、中学生の部 5作品が入選
 弁護士人権相談の実施 24件
 全国研究集会等への参加（市民公募 4人）
 松阪人権擁護委員協議会への助成（H29. 4. 1現在人口×6円）

事業名	人権啓発事業費				人権・男女共同参画課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3, 567, 001		373, 000			3, 194, 001	3, 632, 742

市民の人権意識の高揚を図り、人権問題についての正しい理解と認識を深めていただくため、人権啓発を集中的に行う6月の人権啓発強調月間や12月の人権週間にあわせて街頭啓発や講演会、映画会等のさまざまな催しにより、啓発を行った。また、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、恒久平和の実現に向けて戦争と平和を考えるパネル展を開催した。

人権啓発強調月間

区分	内 容
街頭啓発	H30. 6. 1に松阪駅、伊勢中川駅、市内大型店舗等9か所、道の駅「飯高駅」にて、人権擁護委員、法務局職員、県職員、市職員による街頭啓発を行い、人権尊重の大切さを訴えた。啓発物品3,600個を配布
人権 パネル展	H30. 6. 1～H30. 6. 29、市役所本館ロビーと松阪公民館ギャラリー及びH30. 6. 24農業屋コミュニティ文化センターロビーにおいて、「2017年度松阪市人権図画ポスター入選作品」「第17回人・命・ふれあい人権フォトコンテスト入選作品」（三重県人権センター所有）のパネル展示を行った。
人権講演会	H30. 6. 24農業屋コミュニティ文化センターで落語家の露の団姫さんを迎え「一隅を照す～自分の持場で一所懸命～」と題した講演会を開催した。 ・入場者数 410人 啓発物品、相談窓口チラシ等を配布

人権啓発 ビデオの放映	H30. 6. 19～H30. 6. 25の午前9時と正午と午後7時の3回、ケーブルテレビ123chにて、「心の声を聴かせてください」を放映し啓発を行った。
その他	人権啓発強調月間（講演会）のチラシを自治会、市施設、市内保・幼・小・中学校、市内企業へ配布 チラシ…17,000枚 ポスターを公共施設、スーパー、ドラッグストア等へ配布 ポスター…200枚 人権啓発標語入りマグネットシートを公用車106台に貼付して道行く人に人権尊重の大切さを訴えた。 本庁舎前・各地域振興局前懸垂幕の掲出 松阪市行政チャンネルやモニター広告の活用 広報、各新聞社（記者クラブ）、市ホームページ、フェイスブック等の活用

戦争と平和を考えるパネル展

H30. 8. 1～H30. 8. 15 市役所本館ロビー

「平和首長会議原爆展ポスター」パネル、松阪市戦没兵士の手紙集
「ふるさとの風や」松阪市編の一部を展示

H30. 8. 1～H30. 8. 15 各地域振興局・松阪公民館ギャラリー

「原爆展」等のパネルを展示

本庁舎前懸垂幕の掲出 H30. 8. 1～H30. 8. 15

人権文化フェスティバル松阪

区分	内 容
人権のつどい 劇、映画会等	H30. 12. 1 人権講演会 伊藤真波 人権のつどいうれしの（人権標語発表・表彰人権作文発表・表彰、作品展示） 嬉野ふるさと会館 （参加：260人）
	H30. 12. 2 L G B Tトーク&コンサート 悠以 ハートフルみくもスポーツ文化センター （参加：59人）
	H30. 12. 9 人権啓発映画会「ズートピア」及び人権図画ポスターの表彰、 人権擁護委員サンサングループ人形劇「パパふたりって楽しいな」 農業屋コミュニティ文化センター （参加：150人）
	H30. 12. 15 人権講演会 やなせなな 青少年健全育成ならびに人権に関する作品表彰式 飯南産業文化センター （参加：125人）
	H30. 12. 19 人権講演会 来世楽（らせら）津軽三味線と人権 飯高地域振興局 2階大会議室 （参加：56人）
その他	人権文化フェスティバル啓発チラシを自治会、市施設、市内保・幼・小・中学校、市内企業へ配布 チラシ…12,000枚 氏郷まつり（H30. 11. 3）街頭啓発 人権擁護委員と市職員が参加 1,000セットのチラシと啓発物品を配布 人権擁護委員のブースで風車をつくり啓発を行った。 本庁舎前懸垂幕の掲出（H30. 12. 1～H30. 12. 10） 広報、各新聞社（記者クラブ）、市ホームページ等の活用 県主催街頭啓発（H30. 12. 4）松阪駅、伊勢中川駅、市内大型店舗等

人権啓発映画・講座

H30. 8. 10 人権啓発映画上映会「この世界の片隅に」（嬉野ふるさと会館）211人

H31. 2. 23 トーク&ライブ～知ろうとするより感じてほしい～RAMO（産業振興センター）140人

H31. 2. 28 講座「障がい者の人権」原田朋記（嬉野ふるさと会館）64人

事業名	人権施策推進事業費					人権・男女共同参画課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
220,420					220,420	285,219

人権に係る職員や企業社員等の実践力と人権意識を高めるため、人権関係職員等養成講座を開催し、人権教育啓発リーダーの養成を行った。

区分	開催日	開催場所	講座内容	参加人数
人権関係職員等養成講座	9/6・13・20・27の4日間 (8講座)	産業振興センター 人材育成講座室 ほか	ワークショップ、高齢者の人権、子どもの人権、女性の人権、インターネットと人権、同和問題、障がい者の人権など	40人 (延193人)

事業名	弁護士委託等事業費					人権・男女共同参画課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,296,815					1,296,815	108,000

損害賠償等請求控訴事件に伴う弁護士委託料

委託契約締結日 H30.6.18

契約相手方 楠井法律事務所

事件番号 平成30年(ネ)第468号 損害賠償等請求控訴事件
(原審 津地方裁判所 平成28年(ワ)第335号)

事業名	多文化共生推進事業費					人権・男女共同参画課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
304,863					304,863	854,911

多文化共生社会づくりのため外国人住民と日本人が、異なる文化や生活習慣の違いについて、相互理解を深める、講演会を開催した。

松阪やたいむら2018

開催日 H30.7.29 松阪農業公園ベルファーム

台風12号により事業中止

多文化共生講演会「外国人にもこれで伝わる！やさしい日本語」

開催日 H31.2.6 産業振興センター

参加者 20人

事業名	地域自殺対策強化事業費					人権・男女共同参画課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,096,783		530,000			566,783	787,377

自殺対策基本法の改正によりすべての市町村に「地域自殺対策推進計画」の策定が義務付けられたことから、「松阪市自殺対策推進計画」を策定した。また、市民に命の大切さを認識し、関心を持っていただくため、講演会や街頭啓発等の取り組みを実施する一方、市民に対する生きる支援策として三重県や民間団体等と連携し合同相談会や、相談窓口の関係担当者に人材養成を目的とした研修会を実施した。

松阪市自殺対策推進計画策定

自殺対策計画策定委員会開催

第1回 (H30.11.16) 出席者数 5人 報酬対象者 4人

第2回 (H30.12.14) 出席者数 5人 報酬対象者 4人

人材養成事業

相談業務担当職員及び関係機関従事者に対する人材養成研修会

開催3回 受講者 99人

普及啓発事業

水谷 修さん講演会 入場者数 465人

開催日 H31.3.3 農業屋コミュニティ文化センター

メンタルパートナー出前講座

開催5回 受講者 155人

街頭啓発

H30.9.10 自殺予防週間による啓発 県市職員等 21人参加 1,500個配布

H31.3.1 自殺対策強化月間による啓発 県市職員等 26人参加 1,200個配布
三重県、いのちの電話協会と連携協力し、松阪駅及び伊勢中川駅で啓発を行った。

啓発物品・・・アルコールウェットティッシュ、ティッシュ、相談窓口一覧、パンフレット、いのちの電話協会パンフレット等

自殺対策強化月間懸垂幕の掲出

H31.3.8～H31.3.29 本庁舎前懸垂幕の掲出

H31.3.1～H31.3.29 各地域振興局前懸垂幕の掲出

自殺対策に関するパネル展

H30.9.3～H30.9.18 本庁舎ロビー、松阪公民館ギャラリー

H31.3.3 農業屋コミュニティ文化センター

雇用・生活・こころと法律の合同相談会

H30.9.28 産業振興センター 相談人数 17人 相談件数 25件

H31.3.25 産業振興センター 相談人数 17人 相談件数 26件

自殺対策強化月間のぼり旗掲出

H31.3.1～H31.3.29 各地域振興局、地区市民センター、公民館、保健センター等

事業名	生活オリエンテーション事業費				人権・男女共同参画課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,783,700				17,499	6,766,201	6,516,940

市庁舎本館1階ロビーに通訳者を配置し、外国人住民に対し母語による生活情報等の提供・説明や窓口業務の支援を行った。

通訳者 フィリピン語 1人、ポルトガル語 1人

対応言語 フィリピン語、ポルトガル語、英語

対応件数 フィリピン語（英語含む） 6,346件

ポルトガル語（英語含む） 1,797件

事業名	人権啓発一般経費				人権・男女共同参画課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,157,077					1,157,077	973,366

新聞・雑誌購読料、通信運搬料、一般事務用品代等

松阪市人権施策行動計画の評価・検証について審議を行った。

人権施策審議会開催 第1回（H30.4.27）出席者数 13人 報酬対象者 12人

第2回（H30.11.21）出席者数 12人 報酬対象者 12人

第3回（H30.12.26）出席者数 13人 報酬対象者 12人

三重県人権・同和行政連絡協議会負担金 15,000円

交付先：三重県人権・同和行政連絡協議会

日本非核宣言自治体協議会負担金 60,000円

交付先：日本非核宣言自治体協議会

(款) 2総務費 (項) 1総務管理費 (目) 16男女共同参画費

(単位 円)

事業名	男女共同参画行政推進事業費				人権・男女共同参画課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,714,975					1,714,975	1,813,021

男女共同参画社会の実現に向けて、さまざまな事業を実施し、市民啓発を行った。

男女共同参画さ・し・す・せセミナーの開催

開催日	会場	内容	講師名	参加人数
H30.6.30	ハートフルみくも保健福祉センター	「いつだって子どもがいちばん」	NPO法人ほがらか 絵本畑 理事長 三浦伸也	91人
H30.8.22	産業振興センター	「分かり合いたい」夫と妻	ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA フェミニストカウンセラー 加藤佐紀子	13人
H30.9.27	飯高総合開発センター	「男女共同参画の視点から みんなが主役のまちづくり ～地域のことを自分ゴト化しよう～」	三重県男女共同参画センター 「フレンテみえ」所長 石垣弘美	29人
H30.10.31	飯南産業文化センター	「これからの女性活躍のために」 ～女性の人生はもりたくさん！ しなやかに生きる～	石川県金沢市議会議員 久保洋子	25人
計				158人

男女共同参画松阪フォーラムの開催

男女の社会参画の促進及びその機会づくりを提供することを目的として、松阪フォーラム実行委員会に事業運営委託を行い、男女共同参画松阪フォーラムを開催した。

開催日	会場	内容	参加人数
H31.3.9	農業屋コミュニティ文化センター	・講演会：「セクハラ・パワハラわかっていますか？」 講師：住田裕子（弁護士） ・アンガーマネジメントキッズ講座 講師：酒井由美（子育て応援プロジェクト☆パイン代表、 アンガーマネジメントキッズインストラクター、 チャイルドコーチングアドバイザー）	400人

男女共同参画情報紙の発行

市民スタッフにより男女共同参画情報紙「ひまわり」22号を66,000部作成
平成31年3月各自治会を通じて全戸配布するとともに公共施設に設置し啓発を行った。

日本女性会議への参加

公募市民2人が日本女性会議（金沢市）に参加した。

三重県内男女共同参画連携映画祭の開催

三重県内の男女共同参画を推進するため、県内の5センターと20市町が連携し、映画祭を開催した。

開催日	会場	上映作品	参加人数	託児
H30.7.7	農業屋コミュニティ文化センター	「湯を沸かすほどの熱い愛」	430人	2人

企業に対する男女共同参画意識の啓発

松阪公共職業安定所の被保険者数30人以上の事業所台帳をもとに20事業所を訪問し啓発を行った。

男女共同参画週間 (H30. 6. 23~H30. 6. 29)

区 分	内 容
街頭啓発	H30. 6. 25に男女共同参画週間の周知及び男女共同参画意識の高揚のため、松阪駅（JR側、近鉄側）と伊勢中川駅（東口、西口）にて、市職員による街頭啓発を行った。

オリジナル啓発パンフレットの作成

松阪市で取り組む男女共同参画事業についての情報を掲載したオリジナルのパンフレット（6種類）を作成し、男女共同参画週間時の街頭啓発やさ・し・す・せセミナー、松阪フォーラムなどのイベント開催時に配布し、事業内容の周知を図り、広くPRを行った。

「女性に対する暴力をなくす運動」啓発パネルの展示

「女性に対する暴力をなくす運動」期間 (H30. 11. 12~H30. 11. 25)

県内のセンターや各市町で同時期に啓発展示等を実施して県内の連携や取組を強化した。

男女共同参画関連講座の開催

開催日	会 場	内 容	参加人数
H30. 12. 23	ワークセンター 松阪	親子でクリスマスリースとベルのオリジナルパンを作った。 講師：鳥海 令	35人

事業名	男女共同参画一般経費				人権・男女共同参画課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,405,036				5,412	3,399,624	13,713,945

男女共同参画プランに掲げる各施策について、評価と検証及び男女共同参画事業について審議を行った。

男女共同参画審議会委員 20人

第1回 (H30. 10. 29) 出席者数 16人 委員報酬支払対象者 14人

第2回 (H31. 3. 22) 出席者数 16人 委員報酬支払対象者 14人

非常勤職員賃金、その他消耗品費等

[平成29年度のプラザ鈴管理運営事業費 11,189,423円を統合]

(款) 2総務費	(項) 1総務管理費	(目) 17プラザ鈴費	(単位 円)
-----------------	-------------------	--------------------	--------

事業名	プラザ鈴解体事業費				人権・男女共同参画課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
52,213,195				52,213,195		-

プラザ鈴の建物を解体撤去し、公共施設の適正化を図った。

(款) 2総務費 (項) 1総務管理費 (目) 18諸費

(単位 円)

事業名	安全・安心なまちづくり推進事業費				地域安全対策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,827,559					1,827,559	1,469,784

安全で安心な松阪(まち)づくりのため、市民・事業者・関係機関等が連携して、「松阪市安全で安心なまちづくりの推進に関する行動計画」に基づいた取組を推進と、平成31年度に更新時期を迎える行動計画の改定を協議するため、協議会を開催した。

また、地域ふれあいタウンウォッチング、安全・安心フェスタ まつさかなどを開催し、地域の安全・安心なまちづくりに取組んだ。

松阪市安全・安心施策推進協議会

(第1回：平成30年8月2日開催、20人 報酬支払対象者：12人)

(第2回：平成30年11月1日開催、18人 報酬支払対象者：11人)

(第3回：平成30年12月20日開催、20人 報酬支払対象者：13人)

(第4回：平成31年2月7日開催、14人 報酬支払対象者：9人)

(第5回：平成31年3月14日開催、17人 報酬支払対象者：11人)

委員報酬 392,000円

お茶代 10,080円

地域ふれあいタウンウォッチング

啓発物品 231,322円

事務用品等 54,581円

お茶代 12,480円

チラシ代(実施校14校) 240,318円

運転管理業務委託料(米ノ庄小学校・南小学校・射和小学校・豊田小学校) 28,792円

実施年月日	学校	学年	児童人数	関係者参加者
5月15日	中原小学校	4年	37人	9人
5月25日	米ノ庄小学校	4年	34人	21人
5月29日	豊地小学校	3年	27人	13人
5月31日	伊勢寺小学校	3年	20人	5人
6月4日	花岡小学校	4年	105人	7人
6月14日	松尾小学校	3年	42人	6人
6月19日	南小学校	3・4年	24人	16人
10月10日	西黒部小学校	4年	13人	12人
10月12日	中川小学校	3年	60人	4人
10月15日	中川小学校	3年	59人	4人
10月18日	阿坂小学校	4・5年	23人	4人
10月20日	小野江小学校	4年	50人	10人
10月23日	天白小学校	4年	89人	10人
11月17日	射和小学校	4年	24人	7人
12月15日	豊田小学校	4年	26人	14人

安全・安心フェスタまつさか(平成30年12月2日開催) 講師派遣業務委託 534,600円

バルーンアーティストによる防犯グリーンティング、防犯相談や専門家による防犯機器等の説明・展示。来場者に啓発物品の配布による防犯PR等を行った。

犯罪被害者支援に関する庁内研修会開催

犯罪被害者支援に関して市担当職員の理解を深めることを目的に開催した。犯罪被害者の方の心身の負担軽減、市の業務のワンストップ業務化などについて講師を招いて研修を行った。

研修内容「市における犯罪被害者支援の必要性について」

講師：仲 律子(鈴鹿大学 入試広報キャリア部長)

平成31年3月1日 参加人数 11人

事業名	防犯対策事業費					地域安全対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,387,576					13,387,576	16,170,379

市管理既設防犯灯の維持管理及びLED化修繕を実施し、夜間の防犯対策、犯罪の未然防止に努めた。また、児童等の防犯意識の向上を図るため、新入学児童などに防犯啓発小旗を配布したほか、各種イベント等において防犯啓発品を配布し、各種犯罪への注意喚起を行った。また、松阪警察署管内の犯罪等の防止を図ることを目的に、松阪市、明和町、多気町等と連携し、松阪地区生活安全協会に対し、負担金を支出したほか、犯罪被害者及びその家族や遺族の支援等を行うため、みえ犯罪被害者総合支援センターに対して、負担金を支出した。

市管理防犯灯電気代 2,161,099円
市管理防犯灯修繕料 2,446,837円

郵送料 30,176円
防犯啓発小旗代 136,080円
防犯啓発物品等 236,952円
その他事務用品等 70,121円
公用車ガソリン代 56,445円
防犯啓発用公用車借上料 224,208円
松阪地区生活安全協会 地域安全・暴力追放部会負担金 7,616,000円
みえ犯罪被害者総合支援センター負担金 409,658円

事業名	防犯カメラ設置補助金					地域安全対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
996,000					996,000	—

地域の防犯対策の一環として、防犯カメラを設置する自治会に対し、購入費及び設置費用に係る補助金を交付することで、地域の防犯力向上に寄与した。(平成30年度「防犯カメラ設置補助金」を新設。防犯カメラ購入費および設置費用の2分の1を補助対象。(上限10万円))

地区	自治会名	総事業費	市補助額
飯南 下仁柿	下仁柿横谷組自治会	226,000	100,000
飯南 下仁柿	上組自治会	226,000	100,000
飯高 川俣	中切・下り自治会	193,536	96,000
茅広江	下茅原自治会	236,800	100,000
幸	神野自治会	266,220	100,000
三雲 天白	曾原中林自治会	276,760	100,000
花岡	レインボー田村自治会	261,738	100,000
櫛田	安楽町自治会	203,040	100,000
三雲 天白	南曾原自治会	231,984	100,000
神戸	垣鼻里中自治会	239,760	100,000

(款) 2総務費 (項) 2徴税費 (目) 1税務総務費

(単位 円)

事業名	税務証明交付事業費				市民税課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
621,978				621,978		497,729

税務証明の交付に係る経費
税務証明等の発行件数

区 分	件 数	区 分	件 数
評価証明 (一般)	5,548件	課税証明 (住民税)	6,049件
評価証明 (登記用)	3,120件	非課税証明	3,236件
公租公課証明	1,736件	事業証明	159件
課税証明 (固定税)	130件	納税証明 (一般)	3,391件
住宅用家屋証明	628件	納税証明 (法人)	7件
建築確認証明	161件	完納証明	1,882件
車庫証明	0件	納税証明 (車検用)	9,146件
比隣地証明	941件	税務照会	2,224件
仮評価証明	99件	税務閲覧	1,321件
所得証明	12,470件	その他	5,128件
所得課税証明	8,602件	計	65,978件

コンビニ交付利用状況 (上記発行件数の内数)

区 分	件 数
所得課税証明	115件
課税・非課税証明	43件
計	158件

事業名	固定資産評価審査委員会事業費				総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
302,780					302,780	261,720

固定資産評価審査委員会の開催 4回 審査申出 5件

地方税法の規定に基づく固定資産の評価額に関する不服申立てに対する審査決定機関としての事務を行った。

事業名	税務一般経費				市民税課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
15,616,770				10,974,672	4,642,098	16,746,857

課税事務作業における一般経費

(款) 2総務費 (項) 2徴税費 (目) 2賦課徴収費

(単位 円)

事業名	個人市民税賦課事業費				市民税課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
62,877,658				60,000	62,817,658	61,710,588

個人市民税の賦課業務に係る委託料、特別徴収事務綴りの印刷費等

個人市民税の状況

区分	納税義務者数	調 定 額
特別徴収	61,507人	6,673,535,460円
普通徴収	18,523人	1,678,785,100円
計	80,030人	8,352,320,560円

事業名	法人市民税賦課事業費				市民税課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,264,355					1,264,355	1,271,830

法人市民税の賦課業務に係る委託料等

法人市民税の状況

法人数	区分	調定額
	均等割	416,220,600円
	法人税割	1,033,208,400円
4,074社	計	1,449,429,000円

事業名	軽自動車税賦課事業費				市民税課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,521,270				63,200	11,458,070	11,688,684

軽自動車税の賦課業務に係る委託料等

軽自動車税の状況

内訳	件数	調定額
納税義務者数	54,159人	526,522,300円
課税台数	82,285台	

※市税の調定状況（現年度分）

税目	調定額			
	30年度	29年度	増減	伸び率
市民税	9,801,749,560円	9,343,235,600円	458,513,960円	4.9%
個人	8,352,320,560円	8,011,190,900円	341,129,660円	4.3%
法人	1,449,429,000円	1,332,044,700円	117,384,300円	8.8%
軽自動車税	526,522,300円	506,397,000円	20,125,300円	4.0%
市たばこ税	1,094,554,830円	1,116,513,855円	△21,959,025円	△2.0%
計	11,422,826,690円	10,966,146,455円	456,680,235円	4.2%

・市たばこ税

内訳	件数	調定額
課税本数	197,952,679本	1,094,554,830円

事業名	固定資産税賦課事業費				資産税課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
43,911,728				130,000	43,781,728	44,792,729

固定資産税、都市計画税の土地、家屋、償却資産の賦課を行うための課税計算業務委託や図面等の作成業務、その他賃借料等

事業名	固定資産税評価替事業費				資産税課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
16,590,570					16,590,570	33,438,398

地価下落に伴う時点修正業務を行い、土地評価の均衡を進め適正な賦課を行った。

令和3年度実施する評価替えに伴い適正な価格の決定に向けて準備作業を行った。

固定資産税等の課税件数及び調定内訳

税 目		内 訳	件 数	調 定 額
固定資産税	土地	評価筆数	370,880筆	3,071,124,100円
	家屋	評価棟数 (新增築棟数)	138,822棟	4,035,525,900円
			770棟	
	償却資産	申告者数	4,112人	2,151,492,700円
	土地・家屋・ 償却資産	納税義務者数	72,488人	9,258,142,700円
交付金	対象件数	5件	126,719,300円	
都市計画税	土地	評価筆数	66,086筆	580,529,500円
	家屋	評価棟数 (新增築棟数)	56,319棟	578,257,500円
			523棟	
土地・家屋	納税義務者数	38,672人	1,158,787,000円	

事業名	市税等過誤納還付金				収納課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
89,815,618					89,815,618	62,839,145

地方税法に基づき、過誤納金（還付加算金含む）を遅滞なく還付することに努めた。

過誤納還付金 単位：件、円 還付加算金 単位：件、円

税 目		件数	金額	税 目		件数	金額
市県民税（特徴含）		716	20,891,494	市県民税（特徴含）		25	56,900
軽自動車税		55	297,140	軽自動車税		0	0
固定資産税・都市計画税		285	4,924,044	固定資産税・都市計画税		98	640,900
法人市民税		301	48,852,220	法人市民税		54	470,200
株式譲渡		784	13,680,520	株式譲渡		1	2,200
計		2,141	88,645,418	計		178	1,170,200

事業名	市税徴収事業費				収納課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
80,593,427		77,408,833		3,184,594		83,801,193

自主財源の確保と徴収強化に視点を置き、納期内納税の推進や地方税法及び市税条例等に基づく、適正な滞納整理等の収納業務に努めた。

市税の徴収実績（令和元年5月末現在） 単位：円、%

区 分	現 年 課 税 分	滞 納 繰 越 分	合 計
調 定 額	21,966,475,690	1,691,151,596	23,657,627,286
収 入 額	21,653,349,491	381,027,006	22,034,376,497
収 納 率	98.57	22.53	93.14

納付方法別収納状況

納税者のニーズに応じた利便性の高い納付方法を検討し、口座振替の他に24時間現金支払いができるコンビニ支払い、インターネットを利用したクレジットカード納付ができる公金クレジット支払い及びスマートフォンアプリを利用した納付システムを活用し、収納率向上を図った。

口座振替の利用状況

利用者数	取扱件数 (件)	
59,406人	市県民税 (普徴)	22,068
	軽自動車税	24,989
	固定資産税・都市計画税	167,533
	市 税 計	214,590
	国民健康保険税	104,144
	合 計	318,734

口座振替納付状況

単位：円、%

税 目	引落依頼額	引 落 額	納付率	全体納付額割合	過去5年間の納付率				
					29	28	27	26	25
市県民税 (普徴)	1,372,749,722	1,347,919,122	98.19	51.86	97.84	97.96	97.65	97.87	98.10
軽自動車税	146,120,200	143,478,400	98.19	28.06	97.94	97.98	98.20	97.84	97.73
固定資産税・都市計画税	5,604,530,520	5,548,295,320	99.00	54.11	98.50	98.49	98.52	98.37	98.44
市 税 計	7,123,400,442	7,039,692,842	98.82	52.68	98.38	98.39	98.36	98.26	98.34
国民健康保険税	1,910,263,700	1,860,883,000	97.41	61.71	96.84	96.77	96.82	96.86	96.79
合 計	9,033,664,142	8,900,575,842	98.53	54.34	98.00	97.98	97.96	97.93	97.98

コンビニ納付状況

単位：件、円、%

税 目	件数	前年度件数	納付額	前年度納付額	前年比 件数	前年比 納付額
市県民税 (普徴)	23,541	23,614	458,993,731	449,549,801	99.69	102.10
市県民税 (特徴)	1,168	892	22,444,260	15,571,540	130.94	144.14
軽自動車税	26,149	25,290	187,222,316	173,796,166	103.40	107.73
固定資産税・都市計画税	37,765	35,131	598,445,819	569,902,434	107.50	105.01
法人市民税	47	39	1,062,660	865,700	120.51	122.75
市 税 計	88,670	84,966	1,268,168,786	1,209,685,641	104.36	104.83
国民健康保険税	37,637	36,509	456,528,825	477,590,476	103.09	95.59
合 計	126,307	121,475	1,724,697,611	1,687,276,117	103.98	102.22

公金クレジット納付状況

単位：件、円、%

税 目	件数	前年度件数	納付額	前年度納付額	前年比 件数	前年比 納付額
市県民税 (普徴)	446	356	24,448,580	17,994,100	125.28	135.87
軽自動車税	462	415	3,302,600	2,927,100	111.33	112.83
固定資産税・都市計画税	951	673	52,243,700	34,068,780	141.31	153.35
市 税 計	1,859	1,444	79,994,880	54,989,980	128.74	145.47
国民健康保険税	476	425	14,030,500	12,541,400	112.00	111.87
合 計	2,335	1,869	94,025,380	67,531,380	124.93	139.23

スマートフォンアプリによる納付状況

※平成30年4月より実施

単位：件、円

税 目	件数	前年度件数	納付額	前年度納付額	前年比 件数	前年比 納付額
市県民税 (普徴)	58	—	1,354,539	—	—	—
市県民税 (特徴)	11	—	251,600	—	—	—
軽自動車税	29	—	198,560	—	—	—
固定資産税・都市計画税	77	—	1,507,180	—	—	—
市 税 計	175	—	3,311,879	—	—	—
国民健康保険税	40	—	659,861	—	—	—
合 計	215	—	3,971,740	—	—	—

三重地方税管理回収機構 徴収実績

徴収困難案件について、三重地方税管理回収機構へ移管し、県域を対象に広域的に滞納整理を行い、滞納額縮減に努めた。

徴収第一課（高額案件）

移管実績 単位：件、円

移管件数	移管滞納額
45	69,660,097

徴収実績 単位：円

移管年度	本税額	督促手数料	延滞金	計
30	9,698,416	13,600	778,200	10,490,216
29	26,641,932	43,920	8,337,067	35,022,919
計	36,340,348	57,520	9,115,267	45,513,135

徴収第二課（少額案件）

移管実績 単位：件、円

移管件数	移管滞納額
229	45,818,838

徴収実績 単位：円

移管年度	本税額	督促手数料	延滞金	計
30	30,842,122	109,840	6,449,245	37,401,207
29	3,316,933	15,120	3,757,624	7,089,677
28	1,597,601	5,920	1,151,522	2,755,043
計	35,756,656	130,880	11,358,391	47,245,927

電話催告納付実績

納期限が過ぎた後に督促状を発行し早期納付を促しているが、それでも納付がされない方を対象に「納税コールセンター」から架電を行い自主納付を促し、収入未済額の縮減に努めた。

単位：回、人、円

架電回数	架電人数	通話者の納付人数	通話者の納付金額
57,651	13,787	4,990	143,849,300

臨戸訪問滞納整理（現金・証券受領分、振興局分含む）

単位：人、件、円

本庁職員と各振興局職員による滞納整理	訪問人数 69人	区分	人数	件数	税額
		市税	49	87	4,313,080
		国保税	30	101	1,802,200
		計	79	188	6,115,280

納税相談

日曜窓口は午前10時から午後4時まで（3月・4月は午前8時30分から午後5時15分まで）、夜間窓口は午後6時から午後8時までの時間帯で、納税相談に努めた。

日曜窓口相談（振興局含む）

単位：人、件、円

平日の来課困難者のために日曜日の納税相談を実施	実施日数 13日間 対応者 372人	徴収実績（本税のみ・県民税を含む）			
		区分	人数	件数	税額
		市税	70	166	2,413,440
		国保税	45	270	2,350,260
		計	98	436	4,763,700

※合計人数は実数

夜間窓口相談（振興局含む）

単位：人、件、円

平日昼間の来課困難者のために夜間の納税相談を実施	実施日数 12日間 対応者 113人	徴収実績（本税のみ・県民税を含む）			
		区分	人数	件数	税額
		市税	19	49	710,320
		国保税	5	31	439,620
計	22	80	1,149,940		

※合計人数は実数

督促状発送（振興局分含む）

納期限が過ぎても完納されていない場合に、督促状を滞納者へ発送し納付を促した。

単位：回、件、円

各税目の督促状を発送	市税の合計 43,724件 967,639,688円 市税と国保税の合計 73,048件 1,410,051,985円	区分	回数	件数	税額
		市県民税（普徴）	12	11,901	330,803,288
		市県民税（特徴）	12	5,117	123,942,080
		軽自動車税	4	7,006	51,831,000
		固定資産税・都市計画税	6	19,515	450,644,520
		法人市民税	12	185	10,418,800
		国民健康保険税	12	29,324	442,412,297

未納明細書・催告書発送（振興局分含む）

督促状を発送しても完納されていない場合に、未納明細書・催告書を滞納者へ発送し納付を促した。

単位：回、件、人、円

現年度及び滞納繰越分催告書を発送	市税の合計 32,391件 674,289,903円 市税と国保税の合計 80,705件 1,456,451,614円	区分	回数	件数	人数	税額
		市県民税（普徴）	3	11,764	3,179	334,040,758
		市県民税（特徴）	3	1,333	253	23,650,286
		軽自動車税	2	5,904	2,196	38,462,389
		固定資産税・都市計画税	3	13,257	2,178	270,649,936
		法人市民税	3	133	90	7,486,534
		国民健康保険税	3	48,314	3,472	782,161,711

差押の執行

滞納処分

滞納者の実態調査を行い、財産があるにも関わらず、納付がされない滞納者については、差押えによる強制徴収を行い、滞納額縮減に努めた。

単位：人、件、円

差押執行	市税 （県民税含む） 607人 6,131件 130,181,640円	国保税 469人 11,929件 214,759,513円	区分	人数	件数	税額
			不動産	39	1,213	45,705,100
			預貯金	424	8,635	139,822,786
			給与	73	2,973	61,036,295
			債権等	173	5,239	98,376,972
計	709	18,060	344,941,153			
換 価	市税 （県民税含む） 749人 2,507件 38,473,429円	国保税 762人 3,542件 53,496,569円	区分	人数	件数	税額
			不動産	0	0	0
			預貯金	415	2,136	33,824,946
			給与	523	1,923	24,414,523
			債権等	299	1,990	33,730,529
計	1,237	6,049	91,969,998			

交付要求の状況

滞納者の財産について競売や差押えなどの強制換価手続きが行われた場合に、その先行する執行機関に対し交付要求書を交付して、未納の税金への配当を受ける手続きを行った。

※合計人数は実数

交付要求 (本税のみ)	市税 (県民税含む)	国保税
	93人 1,609件 194,467,787円	32人 523件 11,566,460円
市税と国保税の合計 100人 2,132件 206,034,247円 (本税のみ)		

納付誓約の状況

滞納者の生活状況等を聴取しながら、早期完納となるよう納付誓約を行った。

※合計人数は実数

納付誓約	市税 (県民税含む)	国保税
	3,638人 29,779件 847,371,596円	2,632人 54,059件 1,094,697,914円
市税と国保税の合計 4,515人 83,838件 1,942,069,510円		

執行停止の状況

地方税法第15条の7第1項に基づき、滞納処分 of 執行の停止を行った。

※合計人数は実数

執行停止	市税 (県民税含む)	国保税
	37人 546件 12,270,680円	42人 1,176件 14,345,563円
市税と国保税の合計 55人 1,722件 26,616,243円		

(款) 2総務費 (項) 3戸籍住民基本台帳費 (目) 1戸籍住民基本台帳費

(単位 円)

事業名	個人番号カード交付事業費				戸籍住民課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
18,356,458	17,499,960			426,064	430,434	3,870,589

マイナンバーカード・通知カードの交付を行った。マイナンバーカードの日曜窓口交付、各地区市民センター及び地域振興局管内の公民館へ巡回しカードの申請受付を行った。

非常勤職員賃金 1,913,400円
通信運搬費 2,941,676円 ほか

平成30年度マイナンバーカード発行状況 (累計H31. 3. 31現在)

交付済数	25,337	枚	7,895枚増加
交付率 (対人口)	15.31	%	4.74%増加

【参考】平成29年度マイナンバーカード発行状況 (累計H30. 3. 31現在)

交付済数	17,442	枚
交付率 (対人口)	10.57	%

平成30年度 マイナンバーカード日曜交付窓口開設日数：14日
平成30年度 マイナンバーカード日曜交付窓口カード交付枚数：395枚
平成30年度 マイナンバーカード日曜交付窓口カード申請受付数：688件
平成30年度 マイナンバーカード地区市民センター巡回申請受付数：585件
平成30年度 マイナンバーカード地域振興局管内公民館等巡回申請受付数：828件
平成30年度 マイナンバーカード小中学校巡回申請受付数：283件

事業名	証明書コンビニ交付事業費				戸籍住民課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,803,971				933,245	10,870,726	33,648,202

マイナンバーカードの利用者証明用電子証明書を利用し、全国のコンビニエンスストアに設置されたマルチコピー機にて、住民票・印鑑登録証明書・戸籍全部(個人)事項証明書・戸籍附票等の各種証明書を発行した。また、平成31年1月から市役所庁内においてもマルチコピー機を配置し、窓口での証明書の円滑な交付及びマルチコピー機の使用方法的説明等コンビニ交付の周知につながった。

システム構築委託料 410,400円
システム保守委託料 3,880,000円
システム賃借料 2,095,632円
コンビニ交付サービス参加負担金 4,700,000円 ほか

コンビニ交付利用状況

証明書種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
住民票の写し	105	87	112	118	100	124	116	144	150	205	231	358	1,850
住民票記載事項証明書	2	3	3	7	2	4	6	10	9	8	9	24	87
印鑑登録証明書	88	105	103	92	121	112	137	150	149	215	246	252	1,770
戸籍全部事項証明書	4	9	9	11	8	2	8	23	12	28	32	50	196
戸籍個人事項証明書	5	8	6	4	1	0	12	9	14	22	14	24	119
戸籍の附票の写し	0	2	0	1	9	8	3	1	7	2	5	7	45
計	204	214	233	233	241	250	282	337	341	480	537	715	4,067

事業名	結婚祝い事業費					戸籍住民課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,627,389				1,627,389		1,328,041

松阪市に婚姻届出を提出した夫婦に婚姻記念品を贈呈した。松阪市へ一層の愛着を持っていただくとともに結婚・出産・子育てを支援や松阪ブランドの周知の一環として、オリジナル婚姻届を作成した。

婚姻記念品（松阪茶・水出し煎茶のお祝いギフト） 694件
報償費 1,474,000円

事業名	戸籍住民基本台帳一般経費					戸籍住民課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
40,094,236	3,524,000	155,720		36,414,516		42,934,799

戸籍事務、住民基本台帳、印鑑登録、自動車臨時運行許可など多岐にわたる事務を円滑に行った。

住所異動に関係する各課と連携し、3月の第4・第5日曜日の2日間、日曜窓口を開設した。
また、戸籍住民課時間外窓口開設各種証明書の発行及び印鑑登録業務を行った。
実施日時：毎週月曜日から金曜日 17：15～20：00

新生児への記念品として、絵本またはフォトフレーム、タオルを進呈した。
(フォトフレーム 271件、絵本 650件、タオル 274件)

非常勤職員賃金 3,640,650円
報償費 1,404,240円 ほか

各種事務取扱件数

戸籍届書	7,914 件
新戸籍編製等事務	4,495 件
住民基本台帳事務（異動届等）	20,051 件
住民基本台帳事務（各種通知）	6,529 件
人口動態調査事務	4,293 件
特別永住者証書の交付等	85 件
身上調査等事務	1,331 件
既決犯罪に関する事務	485 件
印鑑登録関係事務	20,014 件
埋火葬許可証発行事務	1,950 件
自動車臨時運行許可事務	633 件
新生児記念品授与事務	1,195 件
後見人登記事務	41 件
届出期間経過通知	162 件
計	69,178 件

各種証明書等発行件数

区 分		件 数
有 料	本庁	141,562 件
	嬉野地域振興局	15,350 件
	三雲地域振興局	13,335 件
	飯南地域振興局	3,965 件
	飯高地域振興局	3,417 件
公用	23,006 件	
無料	65 件	
計	200,700 件	

時間外窓口取扱件数

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数（回）	20	21	21	21	23	18	22	21	19	19	19	20	244
来客数	244	266	208	194	167	191	196	206	201	212	243	292	2,620
証明書発行（件）	366	306	268	243	201	242	239	226	247	261	291	313	3,203
印鑑登録（件）	94	106	68	51	54	70	68	80	70	84	82	93	920
問合（窓口）（件）	5	13	3	4	5	9	9	9	9	5	10	5	86
計	465	425	339	298	260	321	316	315	326	350	383	411	4,209

1回当たり平均取扱件数	17.3件
H29年度平均取扱件数	17.1件

日曜窓口取扱件数

	H31. 3. 24 (H30年度)	H31. 3. 31 (H30年度)	計
住民異動	30件	43件	73件
戸籍届出	14件	4件	18件
証明書発行	104件	177件	281件
印鑑登録	10件	9件	19件
その他	54件	25件	79件
計	212件	258件	470件

(戸籍関係事務内訳)

戸籍届書 7,914 件

出生	1,743 件
婚姻	1,564 件
死亡	2,324 件
離婚	443 件
養子縁組	162 件
養子離縁	69 件
入籍	356 件
法77条の2	180 件
転籍	770 件
分籍	39 件
氏・名変更	32 件
その他	232 件

新戸籍編製等事務 4,495 件

新戸籍編製	1,115 件
戸籍全部消除	1,421 件
届出期間経過通知	11 件
非本籍地届書発送	1,948 件

人口動態調査事務

4,293 件

出生	1,304 件
死亡	1,939 件
婚姻	723 件
離婚	306 件
死産	21 件

既決犯罪に関する事務 485 件

既決犯罪通知	153 件
仮釈放期間満了通知	12 件
自由刑等執行終了通知	18 件
財産刑執行終了通知	23 件
公職選挙法第11条通知	39 件
民刑事項通知	59 件
刑の消滅照会	178 件
執行猶予取消	3 件

その他 1,331 件

身上照会	1,149 件
その他	182 件

(住民基本台帳関係事務内訳)

異動届等 20,051 件

転入	3,977 件
転出	4,159 件
転居	3,238 件
世帯変更	708 件
その他職権記載等	4,787 件
出生	1,259 件
死亡	1,923 件

各種通知 6,529 件

住民票記載事項通知	473 件
附票記載事項通知(郵送)	3 件
附票記載事項通知(住基ネット)	5,838 件
戸籍照合通知	13 件
本籍転属通知	201 件
その他	1 件

(特別永住者証書の交付等事務内訳)

85 件

居住地以外の記載事項の変更届出	0 件
有効期限の更新	43 件
紛失等による再交付	1 件
返納	41 件

戸籍事務の効率化を図り、迅速に証明書を発行し、住民サービスの向上に努めた。

システム保守委託料 5,150,520円

システム賃借料 10,325,232円 ほか

印鑑登録システムにより、印鑑登録データ及びまつさか市民カード発行管理を適正に行った。

住記バックアップシステムにより、自動交付機での住民票発行や、情報企画課が管理する総合情報システム（e-AD2）に障害が発生した際に住民票の写し等の証明書を発行できるよう、窓口混乱リスクの軽減を図った。

自動交付機を1台稼働して休日（年末年始を除く）や夜間でも住民票の写し・印鑑登録証明書を交付し、窓口での混雑緩和と待ち時間の短縮を図るとともに市役所開庁時間内に来庁できないお客様へのサービス向上に努めた。

システム保守委託料 4,861,085円

システム賃借料 979,225円 ほか

平成30年度自動交付機利用状況

設置場所：本庁舎本館1階（1台）

	自動交付機 証明書交付件数	自動交付機・本庁窓口 証明書交付件数	自動交付機 利用率
全種	40,765 件	98,516 件	41.4 %
印鑑登録証明書	23,680 件	38,270 件	61.9 %
住民票の写し	17,085 件	62,446 件	27.4 %
時間外交付件数	9,899 件	—	—
うち平日時間外交付件数	3,197 件	5,233 件	61.1 %
時間内平均交付件数	127 件/日	—	—
平日時間外平均交付件数	13 件/日	—	—
休日平均交付件数	58 件/日	—	—

平成30年度まつさか市民カード発行状況

平成30年度まつさか市民カード発行枚数	5,671 枚
まつさか市民カード全発行者数（H31.3.31現在）	105,273 人
暗証番号登録者数（H31.3.31現在） （自動交付機利用可能者数）	80,931 人

暗証番号登録割合
76.9 %

印鑑登録事務総件数 20,014件

市町村の区域を超えた住民基本台帳ネットワークシステムにより、他市町村と転入通知・戸籍附票記載事項通知の送受信を行うとともに、特例転入・特例転出届の受付、住民票の写しの広域交付、マイナンバーカードの発行等を行い、住民の利便性の向上と（住民基本台帳）事務の効率化を図った。

システム保守委託料 946,080円

システム賃借料 1,522,706円 ほか

住民票の写し広域交付件数

松阪市での交付分 94件 他市町村での交付分 96件

本庁舎本館・4振興局・6出張所をFAXで結び、システム化できない平成原附票・届書の写し等紙帳票を所管外の窓口でも発行し、住民サービスの向上につなげた。

システム賃借料 549,180円 ほか

マイナンバーカードや住民票等へ旧姓が併記できるよう既存住基システムの改修を行った。

システム改修業務委託料 3,459,780円

(款) 2総務費 (項) 4選挙費 (目) 1選挙管理委員会費

(単位 円)

事業名	選挙管理委員会事業費				選挙管理委員会事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,912,028		19,750			2,892,278	2,784,728

選挙管理委員会を開催し、選挙事務に関する諸事項の審議を行った。

選挙人名簿の登録及び抹消事務、公職選挙法に基づく各種制度の運用等を行い、公平、公正な選挙の管理執行に備えた。

選挙人名簿の調製

定時登録

年4回(6月、9月、12月、3月)登録

登録基準日	登録者数		
	男	女	計
6月 1日現在	65,021人	71,194人	136,215人
9月 1日現在	64,874人	71,064人	135,938人
12月 1日現在	64,797人	70,994人	135,791人
3月 1日現在	64,725人	70,874人	135,599人

在外選挙人名簿の登録(随時)

登録基準日	登録者数		
	男	女	計
3月29日現在	36人	42人	78人

三重海区漁業調整委員会委員選挙人名簿の調製

9月1日現在

登録者数			
世帯数	男	女	計
123	150人	71人	221人

調査員数 3人

選挙管理委員会委員報酬

委員長 月額 53,000円 × 12 × 1人 = 636,000円

委員 月額 43,000円 × 12 × 3人 = 1,548,000円

委員会開催回数 19回

現委員の任期 平成29年3月2日～令和3年3月1日

(款) 2総務費 (項) 4選挙費 (目) 2選挙啓発費

(単位 円)

事業名	選挙啓発事業費				選挙管理委員会事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
782,473					782,473	1,412,803

明るい選挙啓発ポスターコンクール

応募数 小学生：33作品 中学生：287作品 高校生：1作品 計：321作品

市審査で委員長賞・協議会会長賞と入選を受賞した計21作品を県に提出。うち4作品が県審査で特選、1作品が入選を受賞し、特選の4作品は全国審査に送られた。市審査にて入選以上の21作品は1月12日～1月20日に松阪ショッピングセンターマーム内に展示し、表彰式を開催した。

未来の有権者啓発活動

学校の生徒会選挙の際に、市が保有する選挙器材（投票箱・記載台）の貸出しや本物と同じ素材で作製した投票用紙の提供を行い、実際の選挙の雰囲気を感じてもらうことで主権者意識の醸成を図った。6月26日と12月20日には松阪商業高校で、9月21日には三雲中学校で実施した。
また、選管職員による出前授業を12月20日に松阪商業高校（生徒会選挙と併せて実施）、1月23日に柿野小学校で実施した。

松阪市明るい選挙推進協議会による啓発活動

嬉野文化祭（10月27日）、いいたか文化祭（10月28日）、氏郷まつり（11月3日）、いいなんふれあい祭り（11月18日）、武四郎まつり（2月24日）の各会場にて啓発活動を実施した。
また、12月11日には県選管職員を講師に招いて協議会委員向けの研修会を実施した。

三重県明るい選挙推進連合会理事会並びに総会及び市町推協会長等研修会出席

5月30日 三重県勤労者福祉会館 講堂

参加者 松阪市明るい選挙推進協議会副会長、事務局の2人が出席

明るい選挙推進のための諸方策について、特に若年層への啓発活動のあり方を中心に研究討議を実施した。

（款）2総務費 **（項）4選挙費** **（目）3三重県知事選挙費** （単位 円）

事業名	三重県知事選挙費				選挙管理委員会事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,424,053		11,421,363		2,690		—

平成31年4月20日任期満了による三重県知事選挙

告示日：3月21日 選挙期日（投票日）：4月7日

定数：1人 立候補者：2人

投票所入場券郵送件数：70,875世帯

ポスター掲示場設置数：6区画2段式 358か所

期日前投票・不在者投票（3月22日～3月31日分）

投票管理者	延20人	期日前投票者数	3,433人
投票立会人	延40人		
事務従事者（兼務書記）	延72人		
事務従事者（応援職員）	延48人		

※3/22～29は本庁のみ開設
※3/30、31は本庁、各振興局、マームで開設

臨時啓発

- ・ 選挙啓発用新聞折込チラシ作成、配布
- ・ 本庁舎、各振興局、マームで懸垂幕、のぼり旗を設置
- ・ 松阪市ホームページに選挙情報を掲載
- ・ ポスターコンクール入賞作品を使った選挙啓発ポスターを作成
- ・ 市内商業施設、道の駅で街頭啓発を実施

（款）2総務費 **（項）4選挙費** **（目）4三重県議会議員選挙費** （単位 円）

事業名	三重県議会議員選挙費				選挙管理委員会事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,414,976		4,414,976				—

平成31年4月29日任期満了による三重県議会議員選挙

告示日：3月29日 選挙期日（投票日）：4月7日

松阪市選挙区 定数：4人 立候補者：4人 ⇒ 無投票

投票所入場券郵送件数：70,875世帯

ポスター掲示場設置数：8区画2段式 358か所

(款) 2総務費 (項) 5統計調査費 (目) 1統計調査総務費

(単位 円)

事業名	統計調査一般経費				経営企画課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
747,371					747,371	717,260

統計調査一般経費 747,371

統計調査業務にかかる統計調査交付金の交付対象外となる経費

(款) 2総務費 (項) 5統計調査費 (目) 2基幹統計調査費

(単位 円)

事業名	各種基幹統計調査事業費				経営企画課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,769,857		9,769,857				4,940,000

各統計調査別経費内訳

調査名等	事業費	成 果
三重県人口推計調査	248,000	<p><概要> 国及び県の人口を推計するため、松阪市の人口・世帯数を県に報告した。</p> <p><期日> 毎月末日</p>
学校基本調査 〔文部科学省所管〕	29,000	<p><概要> 学校基本調査は昭和23年から実施されており、学校に関する基本事項(在学者数、教職員数、学校施設等)を調査し、教育行政上の基礎資料を得ることを目的として実施した。</p> <p><期日> 平成30年5月1日〔毎年実施〕</p> <p><内訳> 学校教育法に定める学校 82校</p> <p><方法> 郵送又はインターネット調査</p>
経済センサス 調査区設定 〔総務省所管〕	11,000	<p><概要> 平成26年経済センサス基礎調査において設定した調査区について、必要な修正を行うことにより、事業所及び企業を対象とする各種統計調査の共通フレームとして調査の重複・脱漏を防ぐとともに、調査結果の精度向上を図った。</p> <p><期日> 平成30年6月1日</p> <p><内訳> 調査区数 513 調査区</p>
平成30年工業統計調査 〔経済産業省所管〕	897,000	<p><概要> 工業統計調査は、明治42年から実施されており、我が国の工業の実態を明らかにし、産業政策、中小企業政策など、国や都道府県などの地方公共団体の行政施策のための基礎資料となり、また、我が国の経済統計体系の根幹を成し、経済白書、中小企業白書などの経済分析及び各種の経済指標へデータを提供することを目的として調査を実施した。</p> <p><期日> 平成30年6月1日〔毎年調査〕</p> <p><内訳> 調査区数 513 調査区 事業所数 561事業所 甲 調査(従業者数30人以上) 85事業所 乙1 調査(従業者数4人～29人) 232事業所 乙2 調査(従業者数3人以下) 244事業所</p> <p><方法> 指導員2人 調査員31人</p>

<p>2018年漁業センサス 〔農林水産省所管〕</p>	<p>544,920</p>	<p><概要> 漁業センサスは、漁業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、漁村、水産物流通・加工業等の漁業をとりまく実態と変化を総合的に把握し、水産行政に必要な基礎資料を整備することを目的として実施した。</p> <p><期日> 平成30年9月1日(客体把握調査)〔5年毎〕 平成30年11月1日(実査)〔5年毎〕</p> <p><内訳> 調査区数 15調査区 調査対象 総数(調査前)168客体 非客体数(廃業・転業等)52客体 調査客体数 116客体</p> <p><方法> 調査員 客体把握調査 7人 実査 7人</p>
<p>平成30年 住宅・土地統計調査 〔総務省所管〕</p>	<p>8,014,937</p>	<p><概要> 住宅・土地統計調査は、全国及び地域別の住宅とそこに居住している世帯の居住状況、世帯の保有する土地等の実態を把握し、その現状と推移に関する基礎資料を得ることを目的として実施した。</p> <p><期日> 平成30年10月1日〔5年毎〕</p> <p><内訳> 調査区数 287 調査区(松阪市全体1,515調査区)</p> <p><方法> 指導員19人 調査員117人</p>
<p>経済センサス-基礎調査 準備事務 〔総務省所管〕</p>	<p>21,000</p>	<p><概要> 令和元年6月から令和2年3月にかけて実施する経済センサス-基礎調査の準備事務として、市町職員事務打合せ会に出席して内容を把握し、担当調査区の割り振り及び調査員用タブレット端末の習熟のため、調査員が試用する機会を設定した。</p>
<p>農林業センサス 準備事務 〔農林水産省所管〕</p>	<p>4,000</p>	<p><概要> 令和2年2月1日現在で実施する農林業センサスの準備事務として、市町職員事務打合せ会に出席し、内容の把握と客体名簿の修正を行った。</p>
<p>計</p>	<p>9,769,857</p>	

(款) 2総務費 (項) 6監査委員費 (目) 1監査委員費

(単位 円)

事業名	監査委員活動事業費				監査委員事務局	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
7,392,891					7,392,891	7,419,261

識見監査委員 (代表) 1人 3,000,000円
 識見監査委員 1人 2,400,000円
 議選監査委員 1人 695,999円
 旅費 239,780円
 工事技術調査委託料 96,681円
 全国都市監査委員会会費 37,000円
 東海地区都市監査委員会会費 8,000円
 三重県都市監査委員会会費 2,900円
 消耗品費、研修会参加負担金 ほか

監査委員による監査等の実施状況

区 分	部 署 等	時 期
例月現金出納検査	会計管理課、上下水道部、市民病院	毎月
決算審査	一般・特別会計	30年 7月13日～ 30年 8月 9日
	水道・公共下水道・病院事業会計	30年 6月 1日～ 30年 8月 9日
基金運用状況審査	松阪市土地開発基金	30年 7月13日～ 30年 8月 9日
財政健全化審査	一般・特別・企業会計、一部事務組合等	30年 8月 6日～ 30年 8月 9日
経営健全化審査	水道・公共下水道・病院事業会計	30年 6月 8日～ 30年 8月 9日
	簡易水道・戸別合併処理浄化槽整備・ 農業集落排水事業特別会計	30年 8月 6日～ 30年 8月 9日
定期監査 (1次)	全課、局、出先機関等	30年 6月20日～ 30年11月19日
定期監査 (2次)	保育園、幼稚園、小・中学校 (22か所)	31年 1月 9日～ 31年 2月 1日
随時監査	工事 2件	30年11月 8日 30年11月 9日
財政援助団体等に対する監査	補助金・出資団体及び公の施設の 指定管理者 5件	30年12月19日 30年12月20日
住民監査請求	法定外公共物 (道路) の管理について	30年 2月20日 (受理) 30年 4月12日 (勧告)
	不当利得返還請求を怠る事実について	30年 3月 1日 (受理) 30年 4月23日 (勧告)
	DBO方式による松阪市立小中学校空調設 備整備事業について	30年12月13日～ 30年12月27日 (却下)
	DBO方式による松阪市立小中学校空調設 備整備事業について	30年12月13日～ 30年12月27日 (却下)

(款) 3民生費 (項) 1社会福祉費 (目) 1社会福祉総務費

(単位 円)

事業名	社会福祉協議会補助金					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
208,703,000				859,650	207,843,350	207,392,000

住民の社会福祉に関する関心と理解を深め、地域住民の参加と協力を得て福祉活動を積極的に実践するため、地域福祉活動の中核となる松阪市社会福祉協議会に対し補助金を交付した。

内訳	金額	実績・効果
運営費補助	176,827,000	職員35人分の人件費
社会福祉大会補助	1,748,000	第14回松阪市社会福祉大会・福祉フェスティバル 平成30年12月16日(日) 松阪市ハートフルみくもスポーツ文化センター 大会参加者：約1,000人 社会福祉功労者の顕彰(個人64人・法人等59団体)と、 記念講演会を実施し、社会福祉事業の推進を図った。
ボランティア事業補助	6,606,000	ボランティア活動の体制整備と地域における福祉コミュニティの形成を図った。
地域福祉活動計画事業費補助	15,005,000	総合相談事業(心配ごと相談・法律相談)の充実と地区福祉活動の推進を図った。
社会福祉センター運営費補助	8,517,000	当施設は社会福祉事業の充実と地域福祉の向上を図っており、施設の維持管理・運営は全て社協が担った。

事業名	保護司会補助金					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,295,000					1,295,000	1,295,000

松阪保護司会の実施している犯罪予防活動の推進、研修会への参加、街頭指導、社会を明るくする運動等の経費に対し補助金を交付した。

事業名	遺族会補助金					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,119,600					1,119,600	1,187,550

松阪市遺族会連合会の実施している戦没者遺族の福祉の向上、戦没者遺族の相談、援護活動等の経費に対し補助金を交付した。(遺族会会員：1,988人)

事業名	厚生団体補助金					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
45,000					45,000	45,000

母親の立場から様々な問題の解決に向け取り組む母親運動を推進し、記念講演を行う松阪地区母親大会実行委員会に対し、補助金を交付した。

第59回松阪地区母親大会 平成30年6月3日(日)

嬉野ふるさと会館・嬉野社会福祉センター(参加者約450人)

事業名	民生委員児童委員協議会連合会活動費補助金					地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
5,259,000					5,259,000	5,544,000	

民生委員・児童委員の資質の向上を図るための各種研修会や諸活動に関する松阪市民生委員児童委員協議会連合会の経費に対して、補助金を交付した。

(民生委員・児童委員：387人)

事業名	社会福祉統計調査事業費					地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
0						79,351	

社会福祉統計調査（国民生活基礎調査、所得再分配調査）の実施を予定していたが、厚生労働省からの単位区指定外となったため実施しなかった。

事業名	戦没者追悼式事業費					地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
770,908					770,908	1,026,936	

松阪市内の戦没者及び戦災死没者の冥福を祈り、平和を祈念する意識を高めるため、松阪市戦没者追悼式を開催した。

日時 平成30年10月17日（水）10：00～11：00

場所 クラギ文化ホール

参加者 松阪市遺族会連合会関係者及び来賓 約600人

事業名	中国残留邦人等生活支援給付事業費					地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
5,364,341	4,429,640				934,701	4,092,619	

永住帰国した中国残留邦人等に対して、老後の生活安定のため老齢基礎年金の満額支給を実施することとし、満額の老齢年金を受給してもなお生活の安定が十分に図れない者に対して、老齢基礎年金制度による対応を補完する生活支援を行った。また、中国残留邦人等に理解が深く、中国語のできる支援・相談員を配置した。

支援給付の状況

被支援給付世帯数	2世帯
世帯員数	4人

区分	生活支援給付	2,479,466円
	住宅支援給付	1,008,000円
	医療支援給付	1,614,446円
	介護支援給付	133,164円
計		5,235,076円

支援・相談員相談件数 25回

事業名	社会福祉法人指導監査等事業費				地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
619,121					619,121	1,255,275

主たる事務所が松阪市内にあり、松阪市内のみでその事業を実施する社会福祉法人にあっては、権限移譲により松阪市が所轄庁となった。これに伴って社会福祉法人（所轄法人 26法人）の定款変更等の届出の受理や法人運営及び会計経理に対する指導監査、その他運営に関する助言等を行った。

- ・定款変更認可 9件
- ・指導監査 8法人で実施
 - 法人運営における指摘（文書指摘 11件、口頭指摘 30件、助言 11件）
 - 会計経理における指摘（文書指摘 14件、口頭指摘 19件、助言 11件）

事業名	地区民生委員児童委員協議会補助金				地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,780,830					9,780,830	9,760,000

民生委員・児童委員の活動強化のための各種研修会、諸活動に関する松阪市地区民生委員児童委員協議会（13地区）の経費に対して、補助金を交付した。

事業名	飯南ふれあいセンター管理事業費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,300,227				355,300	9,944,927	9,870,171

飯南高齢者・障害者福祉施設ふれあいセンターを指定管理者制度により松阪市社会福祉協議会に管理委託をし、高齢者・障がい者及び住民の福祉の増進を図った。

指定管理者に係る委託料 9,373,371円

事業名	生活困窮者自立相談支援事業費				地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
16,430,881	13,117,824				3,313,057	16,590,382

生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、自立促進を図る目的で、就労その他の自立に関する相談支援、事業利用のための自立支援計画作成及び各種支援の包括的実施のための関係機関との連絡調整を行った。

社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会へ業務委託 委託料 15,791,000円 ほか
 新規相談受付件数 275件、プラン作成件数 89件、就労支援対象者数 35人
 継続相談受付件数 2,706件

事業名	生活困窮者住居確保給付金支給事業費				地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
352,000	352,000					228,900

就労能力や就労意欲はあるにもかかわらず、離職等により経済的に困窮し、住居を失っている方又は失うおそれのある方を対象とし、申請日において65歳未満であって、かつ、離職等の日から2年以内で、収入額が一定水準以下の者に対して賃貸住宅の家賃3か月分の支援給付を行った。

相談件数 25件、申請件数 4件、支給決定件数 4件

事業名	生活困窮者家計相談支援事業費					地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
5,150,000	3,034,000				2,116,000	5,127,640	

家計収支の均衡が取れていないなど、家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者とともに家計計画表等を用いて家計の「見える化」を図り、「家計再生プラン」を作成し、改善支援を提案した。

社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会へ業務委託 委託料 5,126,000円 ほか
 家計相談支援事業相談対応件数 540件
 家計再生プラン作成件数 48件

事業名	生活困窮者就労準備支援事業費					地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
5,895,240	3,966,000				1,929,240	6,089,740	

生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、勤労意欲が低下している等の理由で就労にむけた準備が整っていない相談者に対して、相談者の抱える課題や支援の目標、具体的内容を記載した就労準備支援プログラムを作成し、日常生活自立、社会自立、就労自立に関する支援を相談者の状況に応じて行った。

社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会へ業務委託 委託料 5,883,000円 ほか
 就労準備支援事業相談対応件数 76件
 就労準備支援プログラム作成件数 4件

事業名	生活困窮世帯学習支援事業費					地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
3,252,821	2,052,000				1,200,821	2,599,227	

生活保護および就学援助受給世帯の小学6年から中学3年の希望する子どもたちを対象に、学習の場を設け、基礎学力の向上を図るため、学習支援員が寄り添った学習支援を行った。

開催数 45回、利用登録数 78人、延参加者数 1,034人

事業名	社会福祉費国庫支出金返還金					地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,382,056					1,382,056	1,889,999	

平成29年度中国残留邦人等生活支援給付費負担金（医療扶助分）の精算に伴う返還金 409,253円
 平成29年度生活困窮者自立相談支援事業費等負担金の精算に伴う返還金 972,803円

事業名	社会福祉一般経費					地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,902,894				4,577	2,898,317	3,461,989	

社会福祉に関する取り組み等に対する一般経費

決算額内訳

共済費 243,977円、賃金 1,526,750円、報償費 65,500円、旅費 92,536円、
 需用費 700,412円、役務費 178,359円、使用料及び賃借料 26,460円、
 負担金、補助及び交付金 68,900円

平成30年度の主な活動

- ①施設のバリアフリー化推進のための現地確認を行った。
 調査施設：松阪農業公園ベルファーム、豪商のまち松阪観光交流センター
- ②三重県単位民生委員児童委員協議会会長研修会への参加

事業名	国民健康保険事業特別会計繰入金					保険年金課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,557,194,630	166,105,050	532,134,922			858,954,658	1,865,418,288

国保会計での一般会計繰入金の種類	決算額
保険基盤安定繰入金	930,986,630
出産育児一時金等繰入金	37,520,000
財政安定化支援繰入金	249,138,000
人件費等繰入金	339,550,000
計	1,557,194,630

(款) 3民生費 (項) 1社会福祉費 (目) 2障がい者福祉費

(単位 円)

事業名	重度身体障がい者自動車燃料費助成事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,071,494					10,071,494	10,548,441

重度身体障がい者の外出を支援し、社会参加の促進を図るため、障がい者が運転する自動車の燃料費の一部を助成した。

ガソリン 70円/ℓ 軽油 60円/ℓ 1か月上限 40ℓ
利用者：402人

事業名	重度心身障がい者タクシー料金助成事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,371,870					9,371,870	9,311,840

重度心身障がい者の外出を支援し、社会参加の促進を図るため、タクシー料金の一部を助成した。

1乗車につき630円の助成券を年間48枚交付 利用者：564人

事業名	重度身体障がい者福祉タクシー料金助成事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,473,260					2,473,260	2,513,420

重度身体障がい者の外出を支援し、社会参加の促進を図るため、リフト付タクシー料金の一部を助成した。

1乗車につき3,000円の助成券を年間24枚交付 利用者：75人

事業名	障がい者相談員設置事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
211,200					211,200	211,200

障がいのある者に委託し、市内の身体障がい者、知的障がい者等の生活面での不安を解消するため、更生支援に関して、本人や家族等に対する相談や助言を行った。

身体障がい者相談員：7人（視覚障がい者 1人、聴覚障がい者 1人、肢体不自由者 5人）
知的障がい者相談員：4人

事業名	障がい者団体活動事業費補助金					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,983,000					1,983,000	2,095,000

障がい者団体の活動事業に対し一部を補助することにより、団体の育成及び障がい者の社会参加の促進を図った。

松阪市身体障害者福祉協会、松阪市障害者団体連合会、松阪市視覚障害者協会、
松阪市ろうあ福祉協会、松阪市肢体不自由児者父母の会、松阪地域家族会まつの会、
松阪市手をつなぐ親の会

事業名	障がい児通所施設等医療的ケア支援事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						—

利用者がいなかった。

対象児 0人

事業名	心身障害者扶養共済掛金助成金					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						21,120

三重県心身障害者扶養共済制度加入者の内、共済掛金の一部を助成する低所得者世帯の加入者がいなかった。

事業名	手話普及啓発事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,555,784					1,555,784	1,642,224

「松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例」に基づき、手話イベントや手話研修会等を開催することにより、手話の普及啓発を図ることができた。

手話施策推進会議：4回開催

手話イベント「まちかどミニ手話教室」開催（H30.11.10）

場 所：松阪ショッピングセンター「マーム」

参加者：368人

内 容：手話普及啓発ポスター表彰式、手話クイズ、スタンプラリー等

「手話で話そう」講座開催

企業等手話研修：6回

事業名	緊急通報装置貸与事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
98,280					98,280	105,840

一人暮らし障がい者の災害や急病等の緊急時に、関係機関への連絡や相談等に応じるため、緊急通報装置を貸与した。

貸与人数：5人

事業名	精神障がい者デイケア事業費				障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
153,000					153,000	153,000

精神障がい者の社会復帰を支援し、自立への意欲向上や円滑な社会生活への移行を推進するため、レクリエーション活動などの集団活動を実施した。

委託先：社会福祉法人フレンド
実施回数：12回 参加者数：延185人

事業名	重度障がい者（児）紙オムツ給付事業費				障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
716,880					716,880	791,040

紙オムツが必要な重度障がい者（児）の経済的負担の軽減を図るため、紙オムツを給付した。

対象者 22人 給付件数 延232件

事業名	施設入通所措置事業費				障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						—

施設入所を必要とする虐待ケースがなかった。

（款）3民生費 **（項）1社会福祉費** **（目）3障害者総合支援費** （単位 円）

事業名	介護給付事業費				障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,400,447,138	1,148,593,437	615,257,717			636,595,984	2,248,819,180

障がい者（児）の自立生活及び家族等の介護負担の軽減を図るため、介護等が必要な障がい者に対し、障害福祉サービスを提供した。

	<実人数>	<延利用件数>	<給付費>
居宅介護	432人	4,922件	442,231,710円
重度訪問介護	10人	110件	138,306,890円
同行援護	35人	386件	25,204,011円
行動援護	11人	130件	7,316,501円
療養介護	28人	316件	83,549,730円
生活介護	468人	5,749件	1,241,188,728円
短期入所	154人	1,088件	75,862,663円
施設入所支援	181人	2,028件	311,238,424円
特定障害者特別給付費	160人	1,820件	22,924,230円
相談支援	1,264人	3,016件	51,269,336円
高額障害福祉サービス等給付費	15人	165件	1,354,915円

事業名	訓練等給付事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
939,198,176	468,536,199	234,268,099			236,393,878	890,677,106	

障がい者の就労及び自立生活のための訓練の機会を確保するため、訓練等が必要な障がい者に対し、障害福祉サービスを提供した。

	<実人数>	<延利用件数>	<給付費>
共同生活援助	143人	1,548件	225,337,893円
自立訓練（機能訓練）	6人	16件	2,106,965円
自立訓練（生活訓練）	18人	130件	11,690,020円
宿泊型自立訓練	14人	110件	12,215,809円
就労移行支援	37人	214件	23,526,283円
就労継続支援（A型）	154人	1,492件	198,824,754円
就労継続支援（B型）	407人	4,113件	450,344,766円
就労定着支援	1人	4件	92,824円
特定障害者特別給付費	140人	1,504件	15,058,862円

事業名	自立支援医療給付事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
220,290,308	100,945,642	50,472,821			68,871,845	201,978,472	

障がいを除去、軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる障がい者又は障がい児に対して提供される医療費の一部を助成した。また、常時介護を必要とする障がい者の病院において行われる療養上の看護、医学的介護等のうち医療に係る療養介護医療費を支給した。

更生医療	（入院）実受給者数	50人	（入院外）実受給者数	103人
育成医療	（入院）実受給者数	36人	（入院外）実受給者数	51人
療養介護医療	給付件数	延302件		

事業名	障害者補装具給付事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
38,973,867	16,378,470	8,189,235			14,406,162	32,756,941	

障がい者（児）が日常生活を円滑に送ることができるよう、身体機能を補うための補装具（義肢・装具・補聴器など）に係る購入又は修理に要した費用の一部を支給した。

交付件数	223件
修理件数	136件

事業名	社会福祉費国庫支出金返還金					障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,306,813					1,306,813	25,969,620	

平成29年度

国庫支出金	障害者医療費国庫負担金返還金	1,306,813円
-------	----------------	------------

事業名	障害者日常生活用具給付等事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
44,872,175	11,569,000	5,785,000			27,518,175	39,293,675	

障がい者（児）の日常生活の便宜を図るため、自立生活支援用具等の日常生活用具を給付した。

用具：特殊寝台、特殊便器、入浴補助用具、ストーマ用具など	給付件数	4,034件
------------------------------	------	--------

事業名	障害者日中一時支援事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
64,345,262	16,814,000	8,407,000			39,124,262	56,000,454	

日常的に介護を行っている家族の一時的な休息の確保を図るため、障がい者支援施設等において、障がい者（児）が日中活動できる場を提供した。

実利用者数：340人 利用回数：延36,239回

事業名	障害者社会参加促進事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,445,000	141,000	70,000			1,234,000	2,132,000	

障がい者の社会参加の促進を図るため、体育レクリエーション事業の開催や、自動車運転免許取得費、自動車改造費等の一部を助成した。

知的障がい者（児）体育レクリエーション事業 参加者280人

自動車運転免許取得費助成 2人

自動車改造費助成 6人

介護者運転自動車改造費助成 1人

声の広報発行事業 12回（毎月発行）

事業名	生活訓練等支援事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
7,613,440	2,392,000	1,196,000			4,025,440	7,825,340	

身体機能の維持向上や自立生活の推進のため、重度肢体不自由者（児）の機能訓練、知的障がい者の生活訓練・集団訓練、視覚障がい者の歩行訓練等を行った。

重度身体障がい者生活訓練事業 32回 参加者：延267人

知的障がい者（児）生活訓練事業 4回 参加者：延347人

視覚障がい者生活訓練事業 対象者：28人 訓練：447回

事業名	移動支援事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
81,946,169	28,737,000	14,369,000			38,840,169	87,637,950	

地域における自立生活及び社会参加を促進するため、屋外での単独移動が困難な障がい者（児）に対し、外出のための支援を行った。

実利用者数 315人

利用時間 延28,721時間

事業名	障害者相談支援事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
29,415,127	565,000	282,000			28,568,127	29,380,832	

障がい者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障がい者、障がい児の保護者等からの相談に応じ、必要な情報の提供や権利擁護のための必要な援助など総合的な相談支援の提供を行った。

委託先：社会福祉法人 愛恵会

相談支援員：9人（管理者含む）

相談件数：8,063件

事業名	意思疎通支援事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
11,067,098	2,441,000	1,221,000		19,859	7,385,239	11,091,637	

聴覚及び音声言語障がい者に対し、手話通訳者、要約筆記者を派遣することにより円滑な生活の支援を行った。また、障がい福祉課に手話通訳ができる職員を2人配置し、聴覚及び音声言語障がい者の来庁時の手話通訳等を行った。さらに、通訳者への研修を実施し、より円滑な意思疎通ができるよう技術の向上を図った。

派遣人数：延360人 派遣時間：延1,038時間20分
うち、設置通訳者通訳人数：延249人 対応時間：延686時間30分

事業名	地域活動支援センター事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
9,000,000	770,000	385,000			7,845,000	9,000,000	

障がい者が地域の中で交流をもちながら生活し、社会参加を促進するため、創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流事業の提供等を行った。

委託先：社会福祉法人 愛恵会
ダイケア：延82人 クラブ活動：延323人 社会参加：延13人

事業名	在宅身体障がい者訪問入浴サービス事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
8,602,723	2,635,000	1,317,000			4,650,723	8,996,138	

身体障がい者の身体の清潔を保持し、地域における生活を支援するため、訪問により居宅において入浴サービスの提供を行った。

利用人数：8人 利用回数：695回

事業名	職親委託措置事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,160,000	555,000	278,000			1,327,000	2,160,000	

知的障がい者の自立更生を図るため、知的障がい者の更生援護に熱意を有する事業経営者による生活指導及び技能習得訓練等を行った。

職親事業所：5事業所
利用人数：6人

事業名	福祉ホーム運営事業費補助金					障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
319,200	82,000	41,000			196,200	319,200	

在宅での生活が困難な身体障がい者に対し、福祉ホームの利用に係る経済的負担を軽減することにより、地域で自立した生活を送るための支援を行った。

利用人数：1人

事業名	障害者自立支援認定審査事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,051,178				1,310,896	10,740,282	11,895,410

松阪市介護給付費等の支給に関する審査会を開催し、障害福祉サービスを利用するための障害支援区分などの審査判定を行った。

審査会委員：20人
審査会開催数：24回 審査件数：599件

事業名	自立支援協議会事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
865,613	53,000	26,000			786,613	1,037,806

障がい者への支援体制を整備するため、関係機関、障がい者団体、福祉、医療、教育、雇用に関連する従事者等により構成する自立支援協議会を開催し、相互連携、情報共有を図るとともに、松阪市障がい者差別解消支援地域協議会を設置するための検討を行った。

協議会委員 19人
協議会全体会議 2回 個別ワーキングチーム会議等 4回
障害福祉サービス事業者研修会 2回
障害者週間における街頭啓発、バスマスクによる啓発
障がい者の雇用・就労促進フォーラム開催 (H30.10.8)
場所：華王殿 参加者：約80人

事業名	障害者総合支援一般経費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
22,137,056				283,852	21,853,204	22,409,957

障害者総合支援業務に関する経費
非常勤職員賃金 11,302,188円、手数料 4,822,482円、共済費 1,810,185円 ほか

(款) 3民生費 (項) 1社会福祉費 (目) 4特別障害者手当等給付費 (単位 円)

事業名	特別障害者手当等給付事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
72,931,890	54,315,420				18,616,470	69,811,140

20歳以上の著しく重度の障がいの状態にあり、日常生活において常時特別の介護を必要とする障がい者等に対して特別障害者手当等を支給した。

特別障害者手当 月額：26,940円 実人数：244人 受給者数：延2,700人
福祉手当(経過措置) 月額：14,650円 実人数：2人 受給者数：延24人

事業名	社会福祉費国庫支出金返還金					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
72,315					72,315	—

平成29年度

国庫支出金	特別障害者手当等給付費国庫負担金返還金	72,315円
-------	---------------------	---------

事業名	給付事務費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
382,000	382,000					550,000

特別児童扶養手当及び特別障害者手当等の給付事務に関する事務経費

(款) 3民生費 (項) 1社会福祉費 (目) 5障がい者医療費 (単位 円)

事業名	医療費助成事業費					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
434,100,235		191,374,500		13,060	242,712,675	430,416,146

身体障害者手帳1～3級の認定者、療育手帳A1・A2・B1の認定者、判定機関で知的障害者と判定された方のうち知能指数50以下の方、精神障害者保健福祉手帳1級の認定者を対象（所得制限あり）に医療費の助成（精神障害者保健福祉手帳1級の方は通院分のみ）を行った。

区 分	65歳未満	65歳以上※
医療費助成金（証明手数料含）	233,364,137円	195,247,727円
助成件数	44,828件	65,941件
受給者数の月平均	2,049人	2,362人
年間1人当たりの医療費助成金	113,892円	82,662円
1件当たりの医療費助成金	5,206円	2,961円
その他事務経費	5,488,371円	

※「高齢者の医療の確保に関する法律」による被保険者

(款) 3民生費 (項) 1社会福祉費 (目) 6障害者福祉センター費 (単位 円)

事業名	障害者福祉センター管理運営事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,157,931				3,534,080	1,623,851	6,776,408

障害者福祉センターの建物等の維持管理経費

光熱水費：1,443,519円、通信運搬費：152,716円、エレベーター等の保守管理委託料：2,789,280円、送迎車借上料等：373,065円、トイレ手摺取付等修繕料：88,560円 ほか

貸館業務：411件 延4,211人

事業名	障害者福祉センター施設整備事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,393,520					5,393,520	—

利用者の利便性の向上を図るため、トイレの改修工事を行った。

障害者福祉センタートイレ改修工事

請負者：（有）大河内建設

契約金額：5,393,520円

工事内容：トイレ改修工事、オストメイト対応器具1組設置、間仕切り壁設置

事業名	障害者福祉センター創作活動等事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,099,285	2,632,000	1,316,000		92,462	5,058,823	9,703,326

通所する障がい者の生きがいを高め、社会参加の促進を図るため、創作的活動や社会適応訓練を行った。

障がい者社会参加促進事業 185回 延2,056人
送迎事業 594回 延1,571人

事業名	障害者福祉センター機能訓練事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
762,277	254,000	127,000			381,277	808,683

障がい者の身体機能及び生活能力の維持向上を図るため、機能（回復）訓練を行った。

障がい者等機能訓練事業 47回 延249人
送迎事業 76回 延162人

(款) 3民生費 (項) 1社会福祉費 (目) 7福祉会館費 (単位 円)

事業名	福祉会館管理運営事業費					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,730,596				853,986	7,876,610	8,630,485

社会福祉に奉仕しようとする団体等の活動、研修のための会場を提供した。

利用状況

利用団体	利用回数	利用人数
各種福祉団体等関係	51回	678人
ボランティア関係	451回	6,638人
社会福祉協議会関係	999回	8,106人
行政関係	57回	1,684人
計	1,558回	17,106人

事業名	新福祉会館施設整備事業費					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
393,831,683			118,400,000	249,401,000	26,030,683	15,042,240

旧松阪公民館へ機能移転に伴う耐震補強計画及び改造工事を行った。

松阪市新福祉会館大規模改造工事 378,069,120円
松阪市新福祉会館コンクリートブロック塀改修工事 2,484,000円
松阪市新福祉会館大規模改造工事監理業務委託 10,778,400円 ほか

(款) 3民生費 (項) 1社会福祉費 (目) 8隣保館費 (単位 円)

事業名	隣保館管理運営事業費					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
26,834,104		15,286,000		550,314	10,997,790	26,703,319

社会福祉の向上及び人権問題の解決を図るための拠点施設としての役割に加え、地域に密着したコミュニティセンターとしての役割を果たすため、利用促進を図るとともに、良好な施設環境の維持に努めた。

隣保館運営委員数（平成31年3月末現在）

第一隣保館	12人
第二隣保館	17人
中原文化センター	10人

運営委員会等の開催状況

会議の名称等	回数等	人数（延）	事業費
第一隣保館運営委員会	4回	42人	294,000
第一隣保館運営委員視察研修 視察先：岡山市人権啓発センター（岡山県） 洪染一揆記念館（岡山県）	H30.9.29 ～9.30	8人	416,646
第二隣保館運営委員会	7回	114人	798,000
第二隣保館地区代表者会議	10回	50人	350,000
第二隣保館運営委員視察研修 視察先：袋井市命山・津波避難タワー（静岡県） 狩野川放水路（静岡県）	H30.10.20 ～10.21	19人	758,678
中原文化センター運営委員会	2回	18人	126,000
中原文化センター運営委員視察研修 視察先：中部盲導犬協会盲導犬総合訓練センター （愛知県） 名古屋市港防災センター（愛知県）	H30.11.24	12人	171,240
松阪市隣保館合同運営委員会	1回	27人	189,000

隣保館利用状況等

施設の名称	利用者数	年間開館日数	一日平均利用者数
第一隣保館	22,524人	244日	92人
第二隣保館	13,339人	244日	54人
中原文化センター	11,358人	244日	46人

決算額内訳

報酬 2,086,000円、共済費 917,925円、賃金 8,156,297円、旅費 464,100円、
 需用費 6,028,334円、役務費 408,066円、委託料 6,188,119円、
 使用料及び賃借料 2,313,763円、負担金、補助及び交付金 271,500円

事業名	隣保館施設整備事業費				地域福祉課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
14,031,360		9,967,000			4,064,360	8,559,000

中原文化センター外壁等改修工事 14,031,360円

事業名	隣保館事業費				地域福祉課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
7,964,590		3,978,000			3,986,590	8,086,687

市民の社会福祉の向上及び人権問題の解決を図るための拠点施設として、また、地域に密着したコミュニティセンターとして隣保館が機能するため、地域住民を代表する運営委員と連携し、地域住民の生活や人権に関する課題の解決を図るための事業に取り組んだ。

自立支援に関する事業 336,419円

(相談事業)

第一隣保館

事業の名称	内容	回数等	人数(延)	事業費
法律相談	弁護士による相談	3回	7人	45,000
健康相談	健康相談、血圧測定、尿検査等	98回	679人	—
就職相談	ハローワーク職員による就職相談	4回	5人	—
計			691人	45,000

第二隣保館

事業の名称	内容	回数等	人数(延)	事業費
法律相談	弁護士による相談	2回	3人	30,000
健康相談	健康相談、血圧測定、尿検査等	97回	843人	—
計			846人	30,000

(健康管理)

第一隣保館

事業の名称	内容	回数等	人数(延)	事業費
健康機器利用	スカイウエル、マッサージ機の利用促進	244日	8,624人	—
保健だより	健康管理等に関する啓発	12回	1,350部	—
おひなさまめぐり ウォーキング	地域住民の健康増進と教養を深めるため、二見浦周辺を歩いた	1回	28人	16,450
計			8,652人	16,450

第二隣保館

事業の名称	内容	回数等	人数(延)	事業費
健康機器利用	スカイウエル、マッサージ機の利用促進	244日	6,462人	—
保健だより	健康管理等に関する啓発	12回	1,250部	—
計			6,462人	0

(高齢者福祉事業)

第一隣保館

事業の名称	内容	回数等	人数(延)	事業費
健康講座	高齢者の日常の健康管理等に関する講座を開設した	6回	116人	4,112
ふれあい交流会	園児及び児童と高齢者の交流及び生きがいづくりを行った	1回	40人	70,087
ふれあいの集い	隣保館講座の発表や講演会などによる高齢者の交流及び生きがいづくりを行った	1回	39人	72,925
計			195人	147,124

第二隣保館

事業の名称	内容	回数等	人数(延)	事業費
介護予防教室	介護予防並びに健康維持などに資するため、包括支援センターの協力で体験型の健康教室を開催し、高齢者の自立支援を行った	5回	74人	0
高齢者福祉講座	健康体操や講話を開催し、健康の維持・増進について学ぶ場と地域住民の交流を深める場を創出した	1回	69人	82,845
計			143人	82,845

中原文化センター

事業の名称	内容	回数等	人数(延)	事業費
健康講座	日頃から心身の老化を防ぐ生活習慣を身につけることを目的に講座を開催した	2回	59人	15,000
計			59人	15,000

人権問題に関する啓発及び広報事業 575,879円

第一隣保館

事業の名称	内 容	回数等	人数 (延)	事業費
人権学習会	人権問題に対する意識の高揚を図るために人権学習会、講演会を開催した	2回	424人	87,656
啓発図書等貸出	人権問題に対する啓発図書、DVDの貸出を行った	毎日	31人	—
隣保館だより	隣保館事業の広報、人権啓発、健康情報等の発信を行った	12回	1,350部	—
計			455人	87,656

第二隣保館

事業の名称	内 容	回数等	人数 (延)	事業費
人権講演会	人権問題に対する意識の高揚を図るために人権講演会等を開催した	1回	69人	139,820
隣保館だより	隣保館事業の広報、人権啓発、健康情報等の発信を行った	12回	1,250部	14,063
計			69人	153,883

中原文化センター

事業の名称	内 容	回数等	人数 (延)	事業費
人権啓発映画会	戦争の爪痕、平和への願いをテーマに「母と暮せば」の上映を行った	1回	194人	225,080
センターだより	センター事業の広報、人権啓発、健康情報等の発信を行った	12回	1,100部	79,260
人権講演会	人権問題の糸口をつかむために、命についてわかりやすい内容で講演を行った	1回	88人	30,000
計			282人	334,340

地域交流事業 5,055,100円

第一隣保館

事業の名称	内 容	回数等	人数 (延)	事業費
定期講座	生け花講座	41回	193人	287,000
	茶道講座	47回	234人	329,000
	新舞踊講座	40回	219人	280,000
	ゆかいな中国語	45回	228人	315,000
	いきいき体操	91回	2,065人	637,000
特別講座	ハンドトリートメント教室等	9回	141人	45,764
地域文化祭	作品展示等	1回	600人	260,463
防災訓練	地域住民とともに災害時の避難及び救助等訓練	1回	56人	13,200
計			3,736人	2,167,427

第二隣保館

事業の名称	内 容	回数等	人数 (延)	事業費
定期講座	編物教室	48回	547人	336,000
	押花教室	23回	46人	161,000
	ピアノ教室	48回	481人	336,000
	書道教室	46回	357人	322,000
	将棋教室	43回	583人	301,000
	洋裁教室	42回	133人	294,000
特別講座	クラフトバック作り教室	2回	48人	21,992
	学習支援講座	3回	31人	21,000
ふれあい文化祭	作品展示等	1回	163人	29,398
紅白歌合戦	カラオケ大会	1回	148人	142,884
紅白玉入れ大会	地域住民との親睦交流	1回	62人	20,661
計			2,599人	1,985,935

中原文化センター

事業の名称	内 容	回数等	人数 (延)	事業費
定期講座	華道教室	12回	73人	84,000
	茶道教室	12回	89人	84,000
	編物教室	12回	54人	84,000
	英会話教室	12回	121人	84,000
健康いきがい教室	歌謡教室	24回	257人	168,000
	太極拳教室	24回	158人	168,000
	ヨガ体操教室	24回	264人	168,000
特別講座	ミニ盆栽講座等	8回	89人	56,000
地区文化祭	作品展示等	1回	584人	5,738
計			1,689人	901,738

社会調査及び研究事業 329,610円

施設の名称	内 容	回数等	人数	事業費
第一隣保館	全国隣保館連絡協議会「東日本ブロック館長職員研修会」、三重県隣保館連絡協議会「館長・指導職員研修」等への参加	4回	6人	103,760
第二隣保館		3回	3人	106,330
中原文化センター		4回	4人	119,520
計			13人	329,610

教育及び学習に関する事業 1,288,261円

第一隣保館

事業の名称	内 容	回数等	人数 (延)	事業費
土曜クラブ	子どもたちに生活体験や自然体験等を通じて豊かな心や生きる力を育んだ	4回	170人	139,127
わくわく教室	基礎学力の向上及び仲間づくり活動の支援を通じて健全育成を図った	14回	179人	7,486
子ども習字	硬筆、毛筆の習得	48回	540人	336,000
子ども英語	英語に親しむ	47回	381人	329,000
計			1,270人	811,613

第二隣保館

事業の名称	内 容	回数等	人数 (延)	事業費
集中学習会	児童生徒の学力保障の支援の場として、学校が主体となり放課後に隣保館を利用して学習会を実施した	14回	134人	0
わくわく塾 (仲間づくり事業)	子どもたちの“気持ちや心”の育ちに必要 な支援を地域社会と学校が連携して取 り組んだ(社会見学、ふれあい活動等)	3回	131人	299,547
計			265人	299,547

中原文化センター

事業の名称	内 容	回数等	人数 (延)	事業費
なかよし会	夏休みを活用し、遊びや体験を通じて児 童たちの仲間意識を育んだ	4回	494人	151,186
ふれあい活動	幼稚園児と講座会員をはじめとする地域 の方々との交流の場を創出した	4回	203人	25,915
計			697人	177,101

広域隣保活動事業 379,321円

第一隣保館

事業の名称	内 容	回数等	人数 (延)	事業費
人権講演会・学習会	隣保館が設置されていない地域におい て、人権・同和問題に対する意識の高揚 を図るために人権講演会、学習会を開催	5回	343人	78,000
県外研修	職員並びに地域住民の人権に対する意識 の高揚を図るために実施した (視察先) 「銀閣寺」 「立命館大学国際平和ミュージアム」	1回	23人	125,350
施設見学	松阪市松阪図書館、旧長谷川邸、松阪市 クリーンセンター	1回	20人	69,823
ふれ合い交流会	地域の高齢者と三郷保育園児との交流会	1回	16人	20,000
鎌田中学校区人権・ 同和教育推進協議会 総会等	各種事業実施のための事務局打合せ等	17回	90人	86,148
計			492人	379,321

決算額内訳

報償費 5,764,107円、旅費 221,080円、需用費 1,045,354円、役務費 17,650円

委託料 38,080円、使用料及び賃借料 769,269円、負担金、補助及び交付金 109,050円

(款) 3民生費 (項) 1社会福祉費 (目) 9国民年金事務費

(単位 円)

事業名	国民年金事務事業費				保険年金課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
12,336,788	12,325,569			11,219		12,548,675

・ 国民年金窓口相談、資格異動事務

被保険者の受給権の相談、資格異動関係の手続き及び年金制度を理解していただくための総合的な業務であり、被保険者が年金制度について理解し将来の生活の保障である年金が受給できるよう慎重かつ丁寧に指導、対応を行った。

なお、日本年金機構における個人番号制度の導入に伴い、平成30年3月から住所変更・氏名変更等については被保険者からの届出及び市町村から日本年金機構への報告は省略となった。

資格取得	1,045件	前納申出	295件
再取得	1,975件	手帳再交付	69件
資格喪失	177件	法免該当・消滅	196件
種別変更	486件	その他	220件
口座振替	231件	計	4,694件

・年金請求事務

請求者及び届出者から提出される書類や添付書類等の点検を正確、迅速に行うとともに書類不備等については適切に指導し、受給権の確保に努めた。

老齢基礎年金	19件	未支給年金	322件
障害基礎年金	73件	障害状態確認届	125件
遺族基礎年金	2件	額改定請求書	1件
死亡一時金	11件	その他	42件
死亡届	15件	計	610件

・免除制度の促進

経済的理由等で納付が困難な方の年金受給権を確保するため、免除制度は大変重要な役割を占めている。免除制度の内容を広く市民に理解していただくため、窓口での啓発はもちろんのこと、「広報まつさか」等を通じて制度の周知を行い、利用者の拡大を図った。

申請免除	3,135件	法定免除	1,782件
(全額免除)	(2,703件)	学生納付特例	1,734件
(3/4免除)	(235件)	納付猶予	526件
(1/2免除)	(127件)		
(1/4免除)	(70件)	計	7,177件

・受給権者所得状況届受付事務

障害基礎年金（年金コード 2650・6350）受給権者の所得状況届を受け付け、適正に処理を行うとともに、所得状況届連名簿を作成し、名古屋広域事務センターへ送付した。

所得状況届受付件数 1,408件

・年金制度の周知

被保険者及び受給者の権利保護を図るためには、制度の内容を周知し理解を得るための広報が必要不可欠であることから、窓口で啓発冊子を設置するとともに、「広報まつさか」には各種手続きの案内等、年間5回の記事掲載を行った。

また、法改正による新しい内容についても各関係部署へリーフレットの配布及びポスター掲示の依頼を行うなど周知を図った。

（款）3民生費 （項）1社会福祉費 （目）10臨時給付費

（単位 円）

事業名	社会福祉費国県支出金返還金				地域福祉課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
34,019,000					34,019,000	—

平成28年度臨時福祉給付金等給付事業費補助金等の清算に伴う返還金

34,019,000円

(款) 3民生費 (項) 2老人福祉費 (目) 1老人福祉総務費

(単位 円)

事業名	後期高齢者医療事業特別会計繰出金				保険年金課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,284,250,346		344,774,509			1,939,475,837	2,256,200,701

広域連合事務費繰出金	67,854,000
健康診査事業費繰出金	25,339,000
保険基盤安定制度繰出金	459,699,346
療養給付費繰出金	1,673,232,000
市特別会計事務費繰出金	58,126,000
計	2,284,250,346

事業名	介護保険事業特別会計繰出金				介護保険課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,567,316,904	17,951,904	8,975,952			2,540,389,048	2,502,412,056

介護給付費繰出金	2,062,654,000
地域支援事業繰出金(介護予防・日常生活支援総合事業)	49,678,000
地域支援事業繰出金(介護予防・日常生活支援総合事業以外)	54,555,000
低所得者保険料軽減繰出金	35,903,000
低所得者保険料軽減過年度分	31,904
職員給与費等繰出金	176,854,000
事務費繰出金	187,641,000
計	2,567,316,904

事業名	介護保険暫定サービス利用者負担助成金				介護保険課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						—

新規で要介護認定申請を行ったが訪問調査を実施するまでに死亡した被保険者が利用した暫定介護サービスに対する保険給付に相当する金額の助成を行う。 0件

事業名	高齢者虐待防止緊急一時保護事業費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
143,000					143,000	—

虐待を受けた等の理由で高齢者を緊急に一時保護する際、資力がない方に対し、施設での宿泊等にかかる費用を負担した。

対象者1人 13日間

事業名	老人クラブ活動事業補助金				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,935,360		2,979,000			4,956,360	7,792,427

健全で豊かな老後を送るため、社会奉仕活動や生きがいを高める各種活動、健康づくり活動等を行う老人クラブに助成を行った。松阪市老人クラブ連合会・単位クラブ 53クラブ

事業名	社会福祉法人等利用者負担軽減措置事業費					介護保険課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						—

低所得者で生計が困難である方に対して、介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人等が利用者負担を軽減した場合に、その負担した額が本来受領すべき利用者負担額の一定割合を超えた部分を社会福祉法人等に対して市が支援を行う。 0件

事業名	長寿者祝事業費					高齢者支援課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,716,790					1,716,790	1,606,227

満100歳になられた高齢者を市長が訪問し、記念品と祝状を贈呈した。(対象者 45人・訪問者 36人)
市内最高齢者を市長が訪問したほか、平成30年9月末時点で満101歳以上の長寿者に記念品と祝状を贈った。(対象者 68人)
平成30年9月1日時点で満80歳以上の高齢者に市長からのメッセージ入りの長寿祝はがきを送付した。(対象者 15,957人)

事業名	離島等地域特別加算利用者負担軽減措置事業費					介護保険課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
53,982		53,982				58,206

離島等地域においては、訪問系の介護サービスについて15%相当の特別地域加算が行われることから、利用者負担についても15%相当分増額されることになる。このため、離島等地域でない地域の住民との負担均衡を図る観点から、利用者負担の一部を軽減した。
事業対象となる者の人数 35人 うち実際の軽減人数30人

事業名	福祉有償運送運営協議会事業費					介護保険課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
111,332					111,332	170,317

福祉有償運送の適正な運営の確保のための協議を行った。
委員 12人 開催実績 2回
報酬 91,000円
需用費 4,332円
役務費 16,000円

事業名	地域敬老事業推進特別交付金					高齢者支援課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
16,015,000				1,596,000	14,419,000	15,912,000

高齢者を敬うための住民協議会の活動を支援し、住民協議会の活動の活性化及び運営の安定化を図ることを目的として交付金を交付した。
43協議会

事業名	高齢者等活力推進事業費					高齢者支援課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,583,583					6,583,583	6,318,334

介護予防・健康増進を目的として活動する団体の活動や、高齢者の社会参画を推進することを目的とした「お元気応援ポイント事業」を実施した。
登録団体数：500（平成31年3月31日現在）

事業名	老人福祉費国県支出金返還金				介護保険課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
136,000					136,000	6,951,090

平成29年度県支出金精算返還金

ホームヘルプ等利用者負担軽減事業費補助金返還金

- ・ 社会福祉法人等による生活困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減措置事業 112,000円
- ・ 離島等地域における特別地域加算に係る利用者負担額軽減措置事業 24,000円

事業名	うきさと憩センター施設整備事業費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,296,000					1,296,000	—

うきさと憩センター屋外テラス腐食に伴う改修工事を行った。

うきさと憩センター屋外テラス改修工事 1,296,000円

事業名	老人福祉一般経費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,798,631					5,798,631	4,352,657

事務補助員賃金 760,350円

※ひとり暮らし高齢者等が自宅で救急搬送が必要になった場合に備えて、緊急連絡先やかかりつけ医を記した「救急情報キット」を配布した。

救急情報シート保管容器作成業務委託料 525,000円

救急医療情報シート（玄関用シール等）購入 1,103,760円

事業名	高齢者生活管理指導短期宿泊事業費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
68,590					68,590	—

基本的な生活習慣が欠如しているために、一時的に擁護する必要がある場合に短期宿泊することにより、日常生活に対する指導、支援を行った。

利用人数：2人、利用期間：11日間

事業名	緊急通報装置貸与事業費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,299,846				108,524	13,191,322	13,990,617

ひとり暮らしの高齢者が急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図るため、緊急通報装置を貸与した。

新規設置台数 70台、平成31年3月31日現在設置台数 560台

事業名	高齢者在宅生活支援事業費					高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
625,140					625,140	352,530	

在宅の高齢者等に対し、人材を派遣し庭の草取り等軽易な日常生活援助を行うことにより自立した生活を送れるよう支援した。

シルバー人材センター 76時間 利用延人数 28人
三重県健康福祉生活協同組合 201時間 利用延人数 33人
三重県中高年雇用福祉事業団 19時間 利用延人数 4人
J A松阪ふれあいの里 6時間 利用延人数 2人

事業名	寝具丸洗乾燥事業費					高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
990,198				817,650	172,548	952,452	

ひとり暮らしや寝たきりの高齢者を対象に寝具を無料で年1回、丸洗い乾燥を行った。

実施人数 289人
利用枚数 548枚（敷布団 159枚、掛布団 214枚、毛布 175枚）

事業名	訪問理美容サービス事業費					高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
57,000					57,000	69,000	

老衰、心身の障がい及び疾病等の理由により、理髪店等に出向くことが困難な高齢者に対して、居宅で手軽に整髪等のサービスを受けられるよう出張理美容のサービスを提供した。技術料は自己負担とし、出張に係る経費を支出した。

利用者数 17人、38回

事業名	日常生活用具給付事業費					高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
288,034					288,034	231,484	

おおむね65歳以上の火の元の心配な要援護高齢者に対して、日常生活用具の給付を行い、自立生活を支援した。

電磁調理器 13台、火災報知器 1台、自動消火器 3台

事業名	在日外国人高齢者福祉給付金支給事業費					高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
70,000					70,000	120,000	

日本に在留する外国人高齢者で、国民年金や他の公的年金を受けない者が福祉給付金を支給することにより、当該高齢者の福祉の増進を図った。

支給対象者（4月～10月：1人）

事業名	老人ホーム入所措置事業費					高齢者支援課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
259,154,462				52,577,451	206,577,011	254,941,967

環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な高齢者を措置した。

入所者数 11施設 117人（平成31年3月31日現在）

老人ホーム入所判定委員会を開催し、老人ホームの入所措置の要否判定を適切に行った。

開催回数 11回

事業名	介護・福祉空間整備費補助金					介護保険課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,332,000	13,332,000					—

平成30年度地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用し、認知症高齢者グループホーム等の防災改修等支援事業に対して補助を行った。

法人名	社会福祉法人むつみ福祉会	有限会社こころ
施設名	グループホームむつみ園	グループホームこころ
改修内容	外壁・屋上等の防水工事	一般浴槽から機械浴槽への改修工事
補助金額	5,962,000円	7,370,000円

事業名	公的介護施設等整備費補助金					介護保険課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
147,030,000		147,030,000				—

三重県地域医療介護総合確保基金事業（介護施設等の整備に関する事業）補助金を活用し、地域密着型介護老人福祉施設の施設整備費及び開設準備経費に対して補助を行った。

法人名	社会福祉法人長寿の森
施設名	小規模特別養護老人ホームきらり
補助金額	123,830,000円（施設整備費）
	23,200,000円（開設準備経費）

〔款〕3民生費 **〔項〕2老人福祉費** **〔目〕2老人福祉センター費** （単位 円）

事業名	松寿園管理運営事業費					高齢者支援課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,727,773				41,425	8,686,348	9,096,922

60歳以上の高齢者を対象に各種の相談に応じ、健康の保持、教養の向上及びレクリエーションの利便性を総合的に提供した。

年間利用者数 8,530人

年間利用団体数 512組

施設稼働率 88.9%

老人福祉センター松寿園運営委員会

運営委員 12人（うち職員2人） 報酬 7,000円×9人=63,000円

平成30年6月1日開催

事業名	飯南高齢者生活福祉センター管理事業費					高齢者支援課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,057,275				1,313,900	10,743,375	11,167,997

介護支援機能・居住機能及び交流サービスを提供する施設として、高齢者が安心して健康で明るい生活が送れるよう支援し、高齢者の福祉の増進を図った。また施設の管理運営については、松阪市社会福祉協議会へ指定管理委託を引き続き行った。

居住事業入居者 3人 (平成31年3月31日現在)

事業名	飯高高齢者生活福祉センター管理事業費					高齢者支援課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,523,885				672,000	11,851,885	12,523,885

高齢者に対して、介護支援機能・居住機能及び交流機能を提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活を送ることができるよう支援し、高齢者の福祉の増進を図った。また平成18年度から指定管理者制度を導入し、松阪市社会福祉協議会に委託した。

居住事業入居者 4人 (平成31年3月31日現在)

事業名	飯高老人福祉センター管理運営事業費					高齢者支援課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,939,278				232,816	6,706,462	7,020,085

高齢者や地域住民に対して、各種の相談、教養の向上、レクリエーション等のための施設管理を行った。

飯高老人福祉センター運営委員会

運営委員 8人(うち職員2人) 報酬 7,000円×6人=42,000円

平成30年7月23日開催

事業名	指定管理者選定委員会事業費					高齢者支援課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
57,350					57,350	—

3施設(松阪市飯南高齢者・障害者福祉施設ふれあいセンター・松阪市飯南高齢者生活福祉センター・松阪市飯高高齢者生活福祉センター)の指定管理者選定委員会を2回開催した。

指定管理者 松阪市社会福祉協議会(平成31年4月1日～令和6年3月31日)

(款) 3民生費 (項) 3児童福祉費 (目) 1児童福祉総務費

(単位 円)

事業名	子ども・子育て支援推進事業費				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,507,604					3,507,604	333,011

第2期子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）策定に向けたアンケート調査を実施した。また、松阪市子ども・子育て会議において「松阪市子ども・子育て支援事業計画」の点検・評価を行うとともに第2期子ども・子育て支援事業計画に係るアンケート調査方法などの審議を行った。庁内においては子育て支援を一体的に進めるために、子ども・子育てプロジェクト庁内推進委員会で具体的な取り組みについて、情報共有を図った。また、祖父母世代を対象とした「孫育て講座」を開催し、子どもの成長を支える子育て・子育てを支援した。

開催日(平成30年度)	講演会・研修会等	対象者	参加者数
9月20日、3月28日	松阪市子ども・子育て会議(2回)	委員	延31人
12月3日、6日、10日	孫育て講座(3回)	一般	延39人
3月28日	松阪市子ども・子育てプロジェクト庁内推進委員会(1回)	委員	8人

※第2期子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査について

平成30年11月26日に未就学児の保護者1,500票と小学校・就学児の保護者1,500票の合計3,000票を発送した。回収率を上げるためのリマインド葉書の実施を経て、最終的には、未就学児900票の回収、小学校・就学児915票の回収結果となり、全体の回収率60.5%と前回5年前の回収率(59.1%)を上回る高い回収率となった。その結果を取りまとめ、松阪市子育て支援に関するアンケート調査調査結果報告書を作成した。

事業名	児童手当支給事業費				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,576,412,861	1,776,563,998	390,265,498			409,583,365	2,638,285,753

中学校修了前の児童の養育者に対し、6月・10月・2月に児童手当を支給した。

延支給対象児童数 234,533人

支給額(児童1人あたりの月額)

3歳未満15,000円、3歳以上小学校修了前10,000円(第3子以降は15,000円)、中学生10,000円、所得制限限度額以上の場合5,000円

事業名	児童福祉一般経費				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
16,320					16,320	48,593

児童福祉に関する一般経費(旅費、通信運搬費)を支出した。

事業名	子育て支援センター管理運営事業費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
20,980,613	5,512,080	5,512,080		405,663	9,550,790	19,137,580

乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う子育て支援センターにおいて、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行い、他機関との連携を図りながら、地域の子育て機能の充実及び育児不安等の緩和を図ることができた。

利用者数

名称	場所	開設年月	利用者数		
			保護者	児童	計
ふれんず	第三小学校内ふれあい会館2階	H10. 5	4,210人	4,842人	9,052人
森のくまさん	旧阪内幼稚園	H16. 5	2,553人	3,224人	5,777人
げんきっこ	三雲南幼稚園内	H16. 4	3,438人	4,086人	7,524人
かんがるー	飯南ふれあいセンター内	H13. 4	2,692人	3,378人	6,070人
やまっこ	やまなみ保育園内	H22. 4	475人	580人	1,055人
計5施設			13,368人	16,110人	29,478人

(※出張ひろばの434人を含む)

活動内容

ふれあいルームでの親子のふれあい、あそぼう会、面接・電話による子育て相談、絵本の貸し出し、出張ひろば、情報誌の発行（各支援センターだよりホームページ毎月更新・公私立子育て支援センター合同ポスター年1回）、公立5施設合同企画（人形劇2回、講演会1回を健康センターはるるで開催）、利用者アンケートの実施等

※出張ひろば

名称	実施回数	開催場所	利用者数		
			保護者	児童	計
はっぴいくまさん (ふれんず・げんきっこ)	7回	櫛田地区市民センター	100人	117人	217人
	1回	神戸地区市民センター			
	1回	機殿地区市民センター			
	1回	朝見地区市民センター			
にこにこタイム(森のくまさん・かんがるー)	10回	射和地区市民センター	51人	66人	117人
こんにちは赤ちゃん(げんきっこ)	6回	ハートフルみくも	49人	51人	100人
計			200人	234人	434人

※合同企画

名称	実施日	開催場所	利用者数		
			保護者	児童	計
このゆびとまれ(人形劇)パート.1	6月23日(土)	健康センターはるる	61人	52人	113人
ファミリー講座(講演会)	8月3日(土)	健康センターはるる	29人	23人	52人
このゆびとまれ(人形劇)パート.2	11月10日(土)	健康センターはるる	61人	50人	111人
計			151人	125人	276人

事業名	ファミリーサポートセンター事業費				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,599,000	2,520,000	2,520,000			4,559,000	9,599,000

乳幼児や小学生を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、「子どもの預かりの援助を受けることを希望する者（依頼会員）」と「援助を行うことを希望する者（援助会員）」との相互援助活動に関する連絡、調整、会員の研修を行うため、「まつさかファミリーサポートセンター」の運営を(特非)松阪子どもNPOセンターに委託し、子育てに関する多様なニーズに対応した。

会員数 673人（依頼会員数 395人、援助会員数 233人、両方会員数 45人）

活動件数 1,916件

保育施設等までの送迎	763件
放課後児童クラブへの送迎及び自宅への送り	581件
保育施設の保育開始前や保育終了後における子どもの預かり	53件
放課後児童クラブ終了後における子どもの預かり	225件
子どもの習い事等への送迎	218件
買い物等外出時における子どもの預かり	21件
その他（保護者等の就労時の援助、援助に伴う送迎等）	55件

事業名	私立保育園子育て支援センター運営事業費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,200,000	6,400,000	6,400,000			6,400,000	19,200,000

乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う子育て支援センターにおいて、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行い、他機関との連携を図りながら、地域の子育て機能の充実及び育児不安等の緩和を図るため、私立保育園が運営する子育て支援センターに事業を委託した。

名称	実施主体	開設年月	委託金額	利用者数		
				保護者	児童	計
なかよし広場	山室山保育園	H17. 4	2,400,000	1,396人	1,297人	2,693人
こどもセンターわかすぎ	わかすぎ保育園	H17. 10	2,400,000	1,690人	1,901人	3,591人
わくわくの森	嬉野保育園	H17. 10	2,400,000	1,581人	1,762人	3,343人
じゃれっこひろば	みどり保育園	H18. 4	2,400,000	850人	941人	1,791人
さくらキッズ	さくら保育園	H22. 4	2,400,000	1,737人	1,940人	3,677人
いきいきわくわく子育てひろば	久保保育園	H23. 5	2,400,000	362人	390人	752人
こどもセンターわかすぎ第二	わかすぎ第二保育園	H23. 5	2,400,000	1,334人	1,559人	2,893人
こどもセンターわかすぎ第三	わかすぎ第三保育園	H29. 4	2,400,000	303人	352人	655人
計8施設			19,200,000	9,253人	10,142人	19,395人

事業名	児童福祉費国庫支出金返還金				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
16,000					16,000	1,322,000

平成29年度分 精算返還金

国庫支出金	子ども・子育て支援交付金（病児保育事業）特定分	8,000
県支出金	地域子ども・子育て支援事業費補助金 国庫支出金と同様の計算による	8,000

事業名	病児・病後児保育事業費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,839,000	4,442,000	4,442,000		260,000	5,695,000	6,763,815

病気の回復期に至らない場合又は病気の回復期にあつて集団保育を受けることが困難な児童を持つ保護者が安心して就労ができるよう、新たに平成30年度から安田小児科内科へ委託し、2施設で実施した。また、松阪市在住者だけでなく多気町、明和町、大台町の住民も利用できるよう、各町との協定に基づき広域対応を行った（平成23年1月から広域対応開始）。

委託先	登録児童数			延利用児童数		
	松阪市	広域利用	計	松阪市	広域利用	計
医療法人 おおはし小児科	147人	6人	153人	268人	2人	270人
医療法人妙光会 安田小児科内科	167人	19人	186人	202人	15人	217人
計	314人	25人	339人	470人	17人	487人

事業名	三世代同居・近居支援補助金				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,955,440					5,955,440	4,757,689

市外から転入し、子育て支援を目的として新たに三世代（親世帯・子世帯・孫）で同居・近居するための住宅の新築・購入及び増改築・リフォームを行った費用の一部を補助した。三世代の同居・近居により世代間で子育てを協力することで、子世帯の負担軽減・不安の緩和につながるよう支援を行った。（平成29年度 事業開始）

支給件数 27件

同居（上限30万円）：5件

近居（上限20万円）：22件

（単位 件）

	支給内容		支給世帯		支給者の年代					
	新築・購入	増改築・リフォーム	子世帯	親世帯	20代	30代	40代	50代	60代	70代
同居 5件	3	2	4	1	0	3	0	1	0	1
近居 22件	15	7	20	2	2	14	5	0	1	0

	地域別					転入世帯		転入前住所	
	本庁	嬉野	三雲	飯南	飯高	子世帯	親世帯	県外	市外
同居 5件	4	0	1	0	0	5	0	0	5
近居 22件	14	5	3	0	0	22	0	9	13

※ 転入者・・・94人（親世帯0人、子世帯94人）

事業名	一時預かり事業費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,733,750	1,016,000	1,016,000			2,701,750	—

日常生活上の突発的な事情や社会参加、保護者の育児疲れ等により、一時的に家庭での保育が困難となった児童を預かることで、安心して子育てができるよう、病児・病後児保育施設に併設した2施設にて事業を開始した。（新規事業）

委託先	登録児童数	延利用児童数
医療法人 おおはし小児科	51人	112人
医療法人妙光会 安田小児科内科	95人	333人
計	146人	445人

事業名	保育士修学支援事業費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,000,000					12,000,000	6,000,000

保育士確保を目的とし、市内の保育園で働く未来の保育士を育てるため養成施設への入学を予定し、保育士をめざす学生に対して奨学金の貸付制度を平成29年度に設置し、平成30年度から開始した。

委託先 社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会

平成31年度新規貸付関係

申請者数 13人

貸付予約者 10人 1人あたり年60万円（月5万円×12か月分）

松阪市保育士修学資金貸付審査委員会（委員8名）平成30年12月12日開催

平成30年度貸付者（在学1年目）10人 1人あたり年60万円（月5万円×12か月分）

(款) 3民生費 (項) 3児童福祉費 (目) 2私立保育園費

(単位 円)

事業名	私立保育園管理運営事業費補助金				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
96,742,000					96,742,000	100,243,000

私立保育園の運営に必要な経費の一部を補助するとともに、保育士の人材確保と定着を図るため、勤続報奨金及び就職準備金の制度を設け、補助を行った。

交付先 私立保育園15園（全園）

私立保育園 定員計 2,600人 利用児童数計 2,377人（平成30年10月1日時点）

勤続報奨金 勤続5年以上6年未満（5万円）19人・勤続10年以上11年未満（10万円）4人

勤続15年以上16年未満（15万円）1人・勤続20年以上21年未満（20万円）1人

合計1,700,000円

就職準備金 市外から転入し市内私立保育園に採用された場合 10万円

交付実績 3人（内訳1年目2人 2年目1人）

合計300,000円（つくし保育園・つぼみ保育園・わかすぎ保育園）

保育園名	補助金額	(内)勤続報奨金	保育園名	補助金額	(内)勤続報奨金
松阪仏教愛護園	5,127,000	200,000	山室山保育園	6,783,000	0
若葉保育園	5,846,000	0	わかすぎ第二保育園	5,846,000	150,000
みどり保育園	7,200,000	300,000	つぼみ保育園	8,299,000	150,000
つくし保育園	5,255,000	250,000	ひまわり保育園	3,732,000	50,000
神戸保育園	7,457,000	50,000	わかすぎ保育園	6,080,000	0
久保保育園	6,035,000	50,000	嬉野保育園	6,668,000	0
さくら保育園	12,973,000	200,000	わかすぎ第三保育園	4,134,000	50,000
つくし第二保育園	5,307,000	250,000	計	96,742,000	1,700,000

事業名	私立保育園延長保育促進事業費補助金				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,460,000	2,276,000	2,276,000			908,000	6,259,000

就労形態の多様化等に伴う延長保育の需要に対応するため、午後6時から午後7時（1時間）の延長保育を実施する私立保育園に対し、その経費の一部を補助した。

延利用児童数 12,110人

延長保育を実施する市内私立保育園 15園（全園） 交付先 13園

保育園名	延利用児童数	補助金額	保育園名	延利用児童数	補助金額
松阪仏教愛護園	33人	0	山室山保育園	11人	0
若葉保育園	1,143人	1,342,000	わかすぎ第二保育園	999人	300,000
みどり保育園	1,460人	1,342,000	つぼみ保育園	379人	300,000
つくし保育園	392人	300,000	ひまわり保育園	150人	215,000
神戸保育園	1,303人	300,000	わかすぎ保育園	874人	300,000
久保保育園	157人	103,000	嬉野保育園	2,054人	300,000
さくら保育園	2,053人	58,000	わかすぎ第三保育園	719人	300,000
つくし第二保育園	383人	300,000	計	12,110人	5,460,000

事業名	私立保育園運営事業費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,142,643,620	705,604,941	322,641,764		512,181,460	602,215,455	2,129,234,320

子ども・子育て支援法附則第6条第1項の規定により、私立保育園に対し、国が定めた保育に通常要する費用の額を支出した。

交付先 私立保育園15園（全園）

（園児数は平成30年5月1日現在）

保育園名	園児数	扶助費	保育園名	園児数	扶助費
松阪仏教愛護園	123人	119,649,230	山室山保育園	170人	155,628,880
若葉保育園	142人	131,758,280	わかすぎ第二保育園	144人	127,236,940
みどり保育園	154人	158,970,920	つぼみ保育園	199人	183,482,430
つくし保育園	111人	112,273,860	ひまわり保育園	98人	84,540,850
神戸保育園	195人	165,104,960	わかすぎ保育園	153人	131,276,840
久保保育園	142人	129,376,100	嬉野保育園	175人	149,813,400
さくら保育園	303人	280,113,940	わかすぎ第三保育園	89人	89,497,330
つくし第二保育園	140人	123,919,660	計	2,338人	2,142,643,620

事業名	私立保育園障がい児保育事業費補助金				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
62,131,000					62,131,000	62,119,000

障がい児保育を実施する私立保育園に対し、障がい児を担当する保育士の配置（加配）に要する経費の一部を補助した。

対象保育士数 27人 対象児童数 44人

交付先 私立保育園13園

保育園名	対象児童数	対象保育士数	補助金額	保育園名	対象児童数	対象保育士数	補助金額
松阪仏教愛護園	1人	1人	2,302,000	つくし第二保育園	3人	2人	4,605,000
若葉保育園	4人	2人	4,602,000	山室山保育園	2人	2人	4,605,000
みどり保育園	6人	3人	6,908,000	わかすぎ第二保育園	2人	1人	2,302,000
つくし保育園	4人	3人	6,908,000	ひまわり保育園	1人	1人	2,302,000
神戸保育園	4人	3人	6,908,000	わかすぎ保育園	1人	1人	2,268,000
久保保育園	3人	2人	4,605,000	嬉野保育園	5人	3人	6,908,000
さくら保育園	8人	3人	6,908,000	計	44人	27人	62,131,000

事業名	私立保育園低年齢児保育推進事業費補助金					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,400,000		5,700,000			5,700,000	11,400,000

低年齢児保育（0・1歳児）を実施し、保育士を追加で配置している私立保育園に対し補助した。

延対象児童数 5,476人（0歳児 1,651人、1歳児 3,825人）

交付先 私立保育園12園

保育園名	延対象児童数	補助額	保育園名	延対象児童数	補助額
松阪仏教愛護園	345人	950,000	さくら保育園	895人	950,000
若葉保育園	383人	950,000	つくし第二保育園	334人	950,000
みどり保育園	555人	950,000	山室山保育園	548人	950,000
つくし保育園	367人	950,000	つぼみ保育園	552人	950,000
神戸保育園	464人	950,000	ひまわり保育園	213人	950,000
久保保育園	416人	950,000	嬉野保育園	404人	950,000
			計	5,476人	11,400,000

事業名	私立保育園施設整備費補助金					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
239,958,000	213,296,000		25,300,000		1,362,000	—

待機児童対策として保育園を整備した私立保育園に経費の一部を補助した。

構造 鉄骨造2階建て

定員 180人（140人から40人増員）

交付先 つくし保育園

負担割合 国 2/3 市 1/12 事業者 1/4

事業名	児童福祉費国県支出金返還金					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,300,000					2,300,000	1,736,664

平成29年度

国庫支出金	子ども・子育て支援交付金（延長保育事業）	1,150,000
県支出金	地域子ども・子育て支援事業費補助金（延長保育事業）	1,150,000

（款）3民生費 （項）3児童福祉費 （目）3公立保育園費 (単位 円)

事業名	保育園外国語翻訳・通訳サポート事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,101,201				22,058	9,079,143	9,744,045

外国籍児童の入園に伴い、翻訳通訳人を拠点の保育園に配置し、児童及び保護者との通訳や「保育園だより」、「保健だより」等の翻訳、また面接・電話等による相談等を行った。

対象児童数 122人（公立保育園11園 45人、私立保育園12園 77人）

外国語翻訳通訳人 5人（タガログ語 1人、ビサイア語 1人、中国語 1人、スペイン語 1人）
ポルトガル語1人）

事業名	保育園嘱託医・嘱託歯科医報酬				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,514,220					7,514,220	7,563,750

小児科（内科）医による定期健康診断 対象 全児童 （年2回実施 延3,550人受診）
 歯科医による歯科健診 対象 2歳児～5歳児（年1回実施 延1,446人受診）

事業名	保育園管理運営事業費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
771,986,597		11,429,640		109,276,320	651,280,637	787,107,840

公立保育園22園（うち1園は休園）の正規職員の不足に伴う補充や職員の産休・育休・病休の代替として非常勤職員を雇用する経費及び管理運営に要する経費を支出した。また、「入園基準」を明確化・点数化して公平性を高めるとともに、保育士の業務の負担軽減を図るため、「保育業務支援システム」の導入や事務補助員14人を雇用し、各園の事務の補助を行った。加えて、「松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針」に基づき、保育園・幼稚園の今後についての意見交換会を開催した。

（平成30年4月1日現在）

非常勤職員種別	人数	非常勤職員種別	人数	非常勤職員種別	人数
正規補充保育士	126人	病休代替保育士	2人	育休代替労務員	0人
産休代替保育士	0人	正規補充労務員	25人	病休代替労務員	1人
育休代替保育士	15人	産休代替労務員	0人	計	169人

（平成30年5月1日現在）

保育園名	園児数	保育園名	園児数	保育園名	園児数
第一保育園	114人	つばな保育園	33人	ひかり保育園	125人
第二保育園	93人	花岡保育園	88人	ひかり保育園こだま分園	15人
白鳩保育園	78人	みなみ保育園	13人	三雲北保育園	158人
東保育園	54人	若草保育園	99人	三雲南保育園	153人
西保育園	149人	三郷保育園	94人	飯南ひまわり保育園	45人
大河内保育園	62人	駅部田保育園	87人	飯南たんぼぼ保育園	58人
春日保育園	120人	大津保育園	74人	やまなみ保育園	52人
計（21園）					1,764人

保育園職場改善検討会（委員数 7人）

開催回数	開催日	検討内容	参加者人数
第1回	平成30年4月26日	職場改善検討会一年間の予定、他	7人
第2回	平成30年5月31日	ICTシステムデモンストレーション(両備システムズ)と事務員、保育士の働き方について	7人
第3回	平成30年6月26日	保育園業務支援システム(機能要件について)	7人
第4回	平成30年7月30日	保育園業務支援システム(プロポーザルについて)	7人
第5回	平成30年8月6日	保育園業務支援システムプロポーザル1日目	11人
第6回	平成30年8月7日	保育園業務支援システムプロポーザル2日目	11人
第7回	平成30年10月10日	保育園業務支援システム(キックオフ会議報告等)と事務員、補助員の業務内容、時間について	7人
第8回	平成30年11月9日	事務員、補助員の業務内容、時間について	7人
第9回	平成31年1月15日	働き方、保育園業務支援システム(HOICT)について	6人
第10回	平成31年2月27日	働き方、保育園業務支援システム(HOICT)について	6人
第11回	平成31年3月18日	今年度の反省と来年度に向けて	4人

保育園・幼稚園の今後についての意見交換会

地域名	開催日	開催場所	参加者	参加者人数
飯南・飯高地区	平成30年4月27日	子育て支援センターかんがるー	飯南地域の未就園児の保護者	10人
	平成30年5月15日	子育て支援センターやまっこ	飯高地域の未就園児の保護者	5人
	平成30年6月12日	やまなみ保育園	飯南・飯高地域の住民等	12人
	平成30年6月13日	飯南産業文化センター	飯南・飯高地域の住民等	18人
	平成30年6月14日	やまなみ保育園	やまなみ保育園保護者役員	9人
	平成30年6月15日	飯南ひまわり保育園	飯南ひまわり保育園保護者役員	7人
	平成30年6月19日	飯南たんぼぼ保育園	飯南たんぼぼ保育園保護者役員	8人
大石地区	平成30年9月12日	大石地区防災センター	大石幼稚園保護者	10人
	平成30年9月12日	大石地区市民センター	みなみ保育園保護者	2人

認定こども園プロジェクト会議

開催回数	開催日	会議名	会議内容	参加者人数
第1回	平成30年10月4日	認定こども園プロジェクト全体会議	・認定こども園について	28人
第2回	平成30年10月19日	認定こども園プロジェクト代表者会議	・視察について ・認定こども園プロジェクト全体会議内容について	11人
第3回	平成30年11月8日	認定こども園プロジェクト代表者会議	・アンケート集約 ・今後の予定	12人
第4回	平成30年11月21日	「津市立香良洲浜っ子幼児園」視察	—	7人
第5回	平成30年11月27日	認定こども園プロジェクト全体会議	・視察報告他	26人
第6回	平成30年12月20日	「津市立白山こども園」視察	—	9人
第7回	平成31年1月17日	認定こども園プロジェクト代表者会議	・すり合わせ事項の検討 ・研修会の打ち合わせ	6人
第8回	平成31年1月31日	認定こども園研修会(講演会) 「認定子ども園に求められる教育・保育とは」 厚生労働省子ども家庭局保育課保育専門調査官 馬場 耕一郎先生		255人
第9回	平成31年2月4日	認定こども園プロジェクト全体会議	・3つの部会で検討	27人
第10回	平成31年3月13日	認定こども園プロジェクト全体会議	・3つの部会で検討	20人

認定こども園プロジェクトメンバー

保育園長 13人・保育園副園長 4人・保育園主任 3人・保育園労務員 3人・幼稚園園長 3人
幼稚園主任 3人・こども未来課職員 11人 計40人

実待機児童の状況

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成31年3月1日現在	217人	21人	21人	7人	3人	0人	269人
平成30年3月1日現在	191人	24人	22人	1人	3人	1人	242人

事業名	延長保育事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,046,648				530,500	3,516,148	3,685,972

就労形態の多様化等に伴う延長保育の需要に対応するため、公立保育園にて午後6時から午後7時（1時間）の延長保育を実施した。

保育園名	延利用児童数
第一保育園	438人
白鳩保育園	500人

事業名	保育園看護師等配置事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
15,220,788				23,180	15,197,608	10,120,748

乳児（0歳児）等を多く抱える保育園及び家庭環境に対する配慮など保育を行う上で、特に配慮が必要とされる児童及びその家庭を抱える保育園に看護師を配置し、保健・健康に関する相談・助言を行った。また、園生活が行えるように医療行為が必要な園児（1人）が在籍する西保育園を中心に看護師を配置した。

看護師の配置（平成31年3月31日現在）

花岡保育園 1人、三雲北保育園 2人、西保育園4人、駅部田保育園1人
三雲南保育園1人、若草保育園2人、春日保育園1人

看護師会議

開催回数	開催日時	会議内容	参加者人数	内看護師
第1回	平成30年4月24日	医療の必要な園児の状況、業務内容について、情報共有	9人	6人
第2回	平成30年7月31日	医療の必要な園児の状況、各園の業務内容報告、情報共有	6人	3人
第3回	平成30年12月12日	来年度の入園申請児童の状況について、情報共有	12人	9人
第4回	平成31年2月15日	各園の業務内容報告、来年度の業務について	9人	6人

事業名	保育園広域入園事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,846,710				2,368,720	3,477,990	13,898,000

市内に居住する児童が、家庭の都合等により他市町の保育園に入園の希望があったため、当該市町の保育園に入園を委託した。

3市4町 12園 16人

3市（津市、伊勢市、熊野市）

4町（玉城町、明和町、大紀町、大台町）

事業名	日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
663,990				425,760	238,230	702,075

公立保育園で発生した傷病に対して、保護者と設置者が共済掛金を負担し、災害共済給付を行った。

傷病発生による医療費給付件数 83件（17園）

事業名	春日保育園移転改築事業費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
303,866,728			287,300,000		16,566,728	43,405,750

「松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針」に基づき、老朽化が進む春日保育園の園舎移転改築に伴う委託及び工事を行った。また、改築に伴い地域住民等と保護者への説明会を開催した。

事業年度 平成29年度から令和2年度
 構造 木造平屋建て
 定員 200人（130人から70人増員）

事業内容	H30事業費	R1事業費 (予定)	R2事業費 (予定)	合計
園舎改築工事（建築）	210,000,000	301,686,953	77,561,047	589,248,000
園舎改築工事（電気設備）	31,263,408	46,895,112	0	78,158,520
園舎改築工事（機械設備）	39,346,560	59,019,840	0	98,366,400
造成工事	12,283,920	0	0	12,283,920
委託料（工事監理）	2,980,000	6,956,000	0	9,936,000
委託料（製材業務）	7,530,840	0	0	7,530,840
借上料（仮駐車場）	342,000	684,000	342,000	1,368,000
手数料（開発許可）	120,000	0	0	120,000
計	303,866,728	415,241,905	77,903,047	797,011,680

春日保育園園舎移転改築説明会

開催回数	開催日時	参加者	参加者人数
第5回	平成30年10月24日	地域住民等	9人
	平成30年10月26日	保護者	36人

事業名	保育園ブロック塀等対策事業費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,020,160					9,020,160	—

地震災害等における被害を想定し、倒壊の危険性のあるブロック塀の安全対策工事を行い、児童の安全性を確保した。（1園）

保育園名	事業内容	事業量	事業費	事業費内訳
				工事費
白鳩保育園	既設CB（コンクリートブロック）及びフェンス撤去 目隠しフェンス メッシュフェンス新設等	L=107.9m	9,020,160	9,020,160

事業名	保育園一般経費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,516,759				82,422	4,434,337	4,521,182

保育行政推進のための一般経費（こども未来課の第2種非常勤職員賃金2人分ほか）を支出した。

(款) 3民生費 (項) 3児童福祉費 (目) 4母子父子福祉費

(単位 円)

事業名	自立支援教育訓練給付金				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
241,640	241,640					264,076

ひとり親家庭の父又は母が、適職に就くために必要な資格や技能を身につけるため、厚生労働大臣指定の教育訓練講座を受講した場合にその受講費用の一部を助成することで、ひとり親家庭の自立を支援した。

支給対象者 5人 (介護福祉士実務者研修3人、介護職員初任者研修2人)

事業名	高等職業訓練給付金				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,393,000	8,094,000				2,299,000	5,613,000

看護師、介護福祉士等の専門的な資格を取得するために1年以上養成機関で修業するひとり親家庭の父又は母に対して、修業期間中の生活の経済的負担を軽減するため、高等職業訓練促進給付金を毎月支給した。(支給期間上限3年)

支給対象者 高等職業訓練促進給付金 10人 (看護師5人、准看護師1人、保育士1人、社会福祉士1人、理学療法士1人、美容師1人)

高等職業訓練修了支援給付金 2人 (看護師2人) ※医療機関へ就職 市内1人・市外1人

事業名	児童扶養手当支給事業費				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
716,496,828	237,888,083				478,608,745	711,233,212

父母の離婚などにより、父又は母と生計を同じくしていない児童のいるひとり親家庭等の保護者に対し、4月・8月・12月に児童扶養手当を支給した。

児童扶養手当受給資格者数 1,594人

支給額 所得制限あり
(全部支給の月額)

対象児童1人目42,500円、2人目10,040円加算、3人目以降6,020円加算 (平成31年3月分までの額)

事業名	ひとり親家庭等ファミリーサポートセンター利用支援補助金				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
168,500					168,500	26,080

ひとり親家庭等の父、母又は養育者の仕事と育児の両立を支援するため、ファミリーサポートセンターを利用した場合に、利用料金の30%を補助した。

利用者数 6人、延利用日数 406日 (保育施設までの送迎など)

事業名	児童福祉費国庫支出金返還金					こども支援課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,878,553					1,878,553	1,721,920

平成29年度

国庫支出金	母子家庭等対策総合支援事業費補助金（自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練給付金）	533,000
	児童扶養手当負担金（児童扶養手当支給事業）	1,345,553

事業名	母子寡婦福祉会活動補助金					こども支援課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
480,000					480,000	480,000

母子及び父子並びに寡婦家庭の経済的自立、安定した生活の確保及び児童の健全育成を推進するために当事者間の情報交換、各種福祉制度の研修などの事業費の一部に対して補助するとともに、会員募集などPR等に協力したことで、母子及び父子並びに寡婦の家庭が抱える課題の軽減等につながった。

交付先 松阪市母子寡婦福祉会

事業名	母子・父子寡婦福祉資金貸付事務事業費					こども支援課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
51,000					51,000	133,500

三重県の事務処理の特例に関する条例に基づき、母子・父子家庭や寡婦の方に経済的自立や子どもの福祉向上を図るため、各種福祉資金の貸付に係る事務を行った。

申請取扱件数 22件（修学11件・就学支度11件）

（款）3民生費 **（項）3児童福祉費** **（目）5こども医療費** （単位 円）

事業名	医療費助成事業費					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
500,078,859		187,441,148		497,897	312,139,814	482,119,268

満15歳になった最初の3月31日までのこどもを対象（所得制限あり）に医療費の助成を行った。

また、平成31年4月診療分から未就学児に対する現物給付・一部現物給付の導入、及びこども医療費受給資格の年齢制限の拡大（満15歳年度末→満18歳年度末）を実施するため、福祉医療費システムの改修を行うとともに、制度の変更に係る認定業務・受給資格証の交付業務を行った。

・現物給付、一部現物給付の対象となる受給資格者数：7,109人（障がい者医療費受給資格者及び一人親家庭等医療費受給資格者を含む、平成31年3月31日現在）

・こども医療費受給資格の年齢拡大に係る受給資格取得者数：3,338人（平成31年3月31日現在）

医療費助成金（証明手数料含）	447,209,848円
その他事務経費	52,869,011円
助成件数	226,145件
受給者数の月平均	18,847人
年間1人当たりの医療費助成金	23,728円
1件当たりの医療費助成金	1,978円

(款) 3民生費 (項) 3児童福祉費 (目) 6一人親家庭等医療費

(単位 円)

事業名	医療費助成事業費				地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
96,567,862		46,602,704		31,740	49,933,418	97,266,136

母子・父子家庭の満18歳になった最初の3月31日までの子どもと母または父（父母のいない子ども、重度障がいの父または母を持つ子どもを含む）を対象（所得制限あり）に医療費の助成を行った。

医療費助成金（証明手数料含）	93,514,043円
その他事務経費	3,053,819円
助成件数	37,892件
受給者数の月平均	3,555人
年間1人当たりの医療費助成金	26,305円
1件当たりの医療費助成金	2,468円

(款) 3民生費 (項) 3児童福祉費 (目) 7児童センター費

(単位 円)

事業名	児童センター管理運営事業費				子ども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,618,641				26,878	4,591,763	4,731,085

児童等が常に快適に利用できる環境の維持に努めるとともに、健全で情操豊かな心身ともに健やかな児童を育成することに努めた。

利用状況

区分	幼児	小学生	中学生	保護者	計
延利用者数	182人	1,150人	1,198人	218人	2,748人

年間開館日数 292日

1日平均利用児童数 9.4人

(款) 3民生費 (項) 3児童福祉費 (目) 8家庭児童支援費

(単位 円)

事業名	家庭児童相談事業費				子ども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,684,202	1,175,000			15,583	5,493,619	5,687,891

身体上・精神上の障がいに関する相談、虐待相談、教育相談などの様々な家庭問題について、庁内各課や児童相談所、女性相談所、警察署など外部の関係機関と連携して対応し、相談者の問題の解消及び不安の軽減を図った。

相談の種類		件数
養護相談	児童虐待相談(※)	65
	家出相談	84
	傷病相談	0
	家庭環境相談	0
保健相談		0
障がい相談	重症心身障がい相談	2
	知的障がい相談	0
	発達障がい相談	3
非行相談	ぐ犯行為等相談	0
	触法行為等相談	1
育成相談	性格行動相談	2
	不登校相談	8
	育児・しつけ相談	9
その他の相談(関係機関からの情報提供等)		15
計		189

→

(※)児童虐待相談の内訳	件数
身体的虐待	29
性的虐待	3
心理的虐待	23
保護の怠慢(ネグレクト)	10
計	65

事業名	養育支援訪問事業費				こども支援課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
2,276,914	560,000	560,000			1,156,914	1,667,986

児童相談所、健康センター、医療機関などの関係機関からの情報によって、特に養育支援が必要と判断した家庭に、専門的相談支援として保健師等による指導や助言を行い、また子育て経験者などから育児・家事に関する技術的支援を行い、個々の家庭が抱える養育に関する問題の解決又は軽減を図った。

事業委託先 特定非営利活動法人 三重県子どもNPOサポートセンター
 育児・家事援助利用世帯数 10世帯
 延訪問回数 181回(1回につき2名派遣)

事業名	子育て支援ショートステイ事業費				こども支援課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
420,200	135,000	135,000			150,200	558,000

家庭環境等から児童の養育が一時的に困難となったとき、または、母子が夫等の暴力によって緊急一時的に保護が必要なときに、対象者を児童養護施設や母子生活支援施設に一時的に養育委託又は保護委託し、安全確保と生活問題等の解決に向けた支援を行った。

5世帯8人 延66日間利用

事業名	一日里親事業費				こども支援課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
84,280				63,000	21,280	63,760

児童養護施設に入所している児童を三日間、理解のある篤志家(里親)で預かり、温かい家庭生活を体験してもらい、児童の社会性の体得と健やかな成長の熟成を図った。

事業実施日	対象児童数	里親委嘱世帯数
平成30年7月27日(金)～29日(日)	5人	5世帯

事業名	交通遺児入進学卒業祝金支給事業費					こども支援課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						30,000

交通事故によって両親あるいは父母のいずれかを失った児童に対し、小学校入学、中学校入学及び中学校卒業時に祝金を支給する。

支給者 0人

事業名	女性保護事業費					こども支援課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
245,681					245,681	187,866

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律に基づいて、配偶者からの暴力の被害者である女性(暴力被害女性)の保護を図り、また、売春防止法に基づいて保護を必要とする女性について、その転落を未然に防止し、保護更生を図るために、啓発活動を行うとともに、女性相談所及び警察署と連携して暴力被害女性や保護を必要とする女性の相談支援に応じ、相談者の問題の解消及び不安の軽減を図った。

相談主訴別件数

(単位：件)

		来所	電話	訪問	その他	計	実人数
人間 関係	夫等	310	38	10	27	385	111人
	子ども	81	56	4	1	142	26人
	親族	22	1	1	5	29	22人
	その他	54	13	3	9	79	24人
経済関係		52	10	6	0	68	33人
医療関係		165	99	67	12	343	83人
住居問題		7	2	0	0	9	5人
帰住先なし		0	0	0	0	0	0人
計		691	219	91	54	1,055	304人

事業名	母子生活支援施設入所事業費					こども支援課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,220,405	6,918,724	3,459,362			2,842,319	19,942,703

配偶者がいない女性又はこれに準ずる事情にある女性及びその者の監護すべき児童が、虐待その他の事情によって保護を必要とするときに、その女性及び児童を母子生活支援施設で保護をした。また、施設との連携により、就労指導等を行い自立を支援した。

母子生活支援施設（県内2か所、県外1か所）

入所中 3施設 4世帯 12人 退所 0世帯

事業名	助産施設入所事業費					こども支援課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,220,070	1,264,675	632,337		9,000	314,058	1,031,770

妊産婦が保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由によって入院助産を受けることができない場合に、指定助産施設で出産することにより、母子の安全を確保した。

助産施設入所者数 7人

(済生会松阪総合病院 3人、松阪中央総合病院 3人、三重中央医療センター 1人)

事業名	要保護児童対策事業費				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
317,989					317,989	442,976

児童の養育や虐待等の問題に対し、未然防止・迅速・的確に対応するため関係機関との連携を図った。
また、市民の児童虐待に対する意識向上のために啓発活動を行った。

松阪市児童支援連絡協議会（M. C A P） 代表者会議

開催回数	開催日	会議内容	参加人数
1回	平成30年6月7日	平成29年度活動報告及び相談業務の実績報告について 平成30年度活動予定について	34人

松阪市児童支援連絡協議会（M. C A P） 事務局会議

開催回数	開催日	会議内容	参加人数
第1回	平成30年4月27日	平成29年度相談業務について 情報交換	12人
第2回	平成30年7月13日	代表者会議について検討 情報交換	17人
第3回	平成30年9月7日	児童虐待防止推進月間の取り組みについて 情報交換	13人
第4回	平成30年11月2日	児童虐待防止推進月間の取り組みについて 情報交換	13人
第5回	平成31年1月11日	児童虐待防止推進月間における取り組みへの反省 情報交換	13人
第6回	平成31年3月1日	平成30年度取り組みへの反省と次年度に向けて検討 情報交換	12人

松阪市児童支援連絡協議会（M. C A P） 個別ケース会議

開催回数	開催日	会議内容	参加人数
35回	年間	個別に児童に対する具体的な支援内容等を検討	延311人

啓発活動

期間	啓発	内容
11月	啓発物品の配布（10回） 懸垂幕の設置 職員名札用リボン配付	J R松阪駅・みえこどもの城・市内スーパー等 市役所本庁舎正面に啓発のための懸垂幕設置 全職員がオレンジリボンを着用
11月～12月	オレンジツリーの設置	市役所本庁舎総合案内横に設置
通年	オレンジリボンの配布	市役所本庁舎総合案内、健康福祉部各課及び各振興局地域住民課の窓口にて配布

（款）3民生費 **（項）3児童福祉費** **（目）9児童発達支援費** （単位 円）

事業名	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業費				障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						—

対象となる小児慢性特定疾患児の申請がなかった。

事業名	児童発達支援給付事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
474,238,897	316,159,265	158,079,632				380,315,322

障がい児の自立を促進するため、日常生活における基本的な動作訓練、集団生活への適応訓練、生活能力向上のための必要な訓練などの支援を行った。

	<実人数>	<延利用件数>	<給付費>
児童発達支援	300人	3,070件	80,433,933円
放課後等デイサービス	345人	5,416件	366,232,768円
障害児相談支援	583人	1,568件	27,326,019円
高額障害児通所給付費	19人	29件	246,177円

事業名	障害児福祉手当給付事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
21,810,370	15,106,252				6,704,118	21,428,180

重度の障がいの状態にあるため、日常生活において常時の介護を必要とする障がい児に対して障害児福祉手当を支給した。また、特別児童扶養手当及び障害児福祉手当が支給されない保護者に対して松阪市重度心身障害児福祉年金を支給した。

障害児福祉手当	月額：14,650円	実人数：125人	受給者数：延1,396人
重度心身障害児福祉年金	月額：5,000円	実人数：29人	受給者数：延289人

事業名	児童福祉費国庫支出金返還金					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
23,329,573					23,329,573	13,572,080

平成29年度

国庫支出金	障害児入所給付費等国庫負担金及び 障害児入所医療費等国庫負担金返還金	15,553,049円
県支出金	障害児通所給付費等負担金返還金	7,776,524円

(款) 3民生費 (項) 3児童福祉費 (目) 10子ども発達総合支援センター費 (単位 円)

事業名	子ども発達総合支援センター管理運営事業費					子ども発達総合支援センター
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
60,050,010				34,737,735	25,312,275	57,175,834

心身の発達に心配がある又は障がいのある児童が、地域で途切れない支援を受けながら安心した暮らしを実現するため、保健・福祉・教育及び医療分野並びに関係機関との連携のもと、児童への基本的な日常生活動作の体得、社会適応などのための療育・訓練を行うとともに、保護者及び家族に対する子育て及び就園や就学に向けた専門的な知識・技術による相談支援等を行った。

年間開所日数 : 239日

年間利用児童数 : 延6,113人

【内訳】 児童発達支援事業 延4,797人、放課後等デイサービス事業 延1,316人

一日平均 : 25.6人

(定員：児童発達支援事業 40人/日 放課後等デイサービス事業 15人/日)

登録児童数 : 271人 (平成31年3月31日現在)

【内訳】 児童発達支援事業 : 190人、放課後等デイサービス事業 : 81人

専門職員（非常勤職員を含む）：理学療法士（機能訓練士）、作業療法士、言語聴覚士、音楽療法士、臨床心理士、保育士、児童指導員、看護師

内 容：集団療育、専門職員による療育・訓練（機能訓練・言語訓練等）の提供等

- ・児童発達支援事業 延4,797人
 集団療育（18クラス）延1,915人、理学療法（機能訓練）延587人、作業療法 延1,000人
 言語訓練 延805人、音楽療法 延419人、臨床心理（相談・発達検査等）延71人
- ・放課後等デイサービス事業 延1,316人
 理学療法（機能訓練）延336人、作業療法 延445人、言語訓練 延333人
 音楽療法 延116人、臨床心理（相談・発達検査等）延86人
- ・人材育成講座の開催（開催回数 4回 参加人数：延251人）
- ・保護者向け講座の開催（開催回数 1回 参加人数 40人）
- ・地域デイサービス事業（飯南・飯高）6回 延31人
- ・児童発達支援地域スクール事業

就園、就学している障がい児等に対し、学校等の夏季の長期休暇中及び春季の土日祝日に地区市民センターなどを利用して、地域のボランティアの協力を得ながらデイサービスを実施し、日中活動の場を提供して児童の発達支援と保護者等の介護負担の軽減及び地域共生社会の実現を図った。

委託先：社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会 会場：6会場

	夏季	春季	計
開催日数	14 日	3 日	17 日
参加児童数	延 127 人	延 22 人	延 149 人
ボランティア等人数	延 228 人	延 59 人	延 287 人

・経営評価事業

子ども発達総合支援センターの事業の安定と療育・訓練等サービスの良質かつ適正な提供を図るため、通所利用児童の保護者及び外部有識者等で構成する経営評価委員会を設置し、平成29年度に策定した経営計画書（第1期）に基づき事業の評価・課題整理を行い、平成30年8月29日に市長へ「松阪市子ども発達総合支援センター経営に関する提言」を行った。

経営評価委員会委員 10名（通所児童保護者2名、障がい児者団体の代表者1名、地域関係者1名、児童福祉関係者1名、学識経験者1名、中小企業診断士1名、市関係部局職員3名）

経営評価委員会の開催（計画協議・策定）3回

	開催日	内 容	出席人数
第1回	平成30年6月8日	利用者アンケートの集計結果、評価シートの協議・検討	9人
第2回	平成30年7月20日	経営評価シート（事業実施関係）等の協議・検討	7人
第3回	平成30年8月10日	市長に対する提言についての協議・検討	9人

事業名	子ども発達総合支援センター施設整備事業費				子ども発達総合支援センター	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
3,979,800					3,979,800	—

子ども発達総合支援センターの外部木質部分の劣化を防ぐために木質外壁等劣化防止工事を実施した。

工 事 名：子ども発達総合支援センター木部補修工事

工 期：平成30年11月27日～平成31年3月8日

契 約 額：3,979,800円

工事内容：木質外壁及び木質細物（網戸、建具、枠）の塗装、ウッドデッキの改修

事業名	育ちサポート推進事業費				子ども発達総合支援センター	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,421,067	600,000			22,996	13,798,071	13,428,339

子どもたちが安心して成長できる、また子どもたちを安心して育てられる環境整備の一環として、子ども本人や保護者・保育教育関係者に対して、発達障がい等の発達に関する相談や助言・検査、関係機関とのネットワークをいかした支援および障がいのある子どもの就園や就学に関して、教育委員会事務局と健康福祉部において連携を図るなど、発達障がいを含む全ての障がいのある子どもへの早期からの一貫した支援を行った。

相談等の支援活動の実績

支援内容	実績	内 容
相談件数	4,195 回	特別支援学級在籍の子ども以外に通常学級在籍の子どもの相談が多く、また主訴も複数にわたるケースも多くあった。
面接（来所）相談	1,187 回	来所による相談
巡回・訪問相談	1,373 回	要請に応じ相談員・職員を学校・園に派遣
電話相談	1,635 回	電話相談から来所につながるケースが多くあった。
発達検査	578 回	WISC-IVや新版K式等の発達検査
幼児児童生徒観察実態把握	2,052 人	1歳3歳児健診284人、保育園・幼稚園616人、小中学校1,152人
ケース会議（関係者会議）	268 回	学校・園、また三重県立子ども心身発達医療センター等の関係機関と協議を行い、個々のケースを検討し今後の支援へつなぐことができた。
特別支援教育アドバイス		学校・園における支援の体制整備と「個別の教育支援計画」の作成・活用推進、個々の子どもの支援に関する助言を行った。
延学校訪問回数	260 回	市内小学校・中学校（260回）へ訪問
延指導・観察助言回数	307 回	面接・指導助言94回、観察助言213回（観察人数937人）
教育支援対象幼児児童生徒	215 人	障がいのある子どもの小学校・中学校の就学先に関する相談や判定などの支援を行った。
保育支援対象乳幼児	145 人	障がいのある子どもの保育園・幼稚園等の就園に関わる相談や判定等の支援を行った。
関係機関ネットワーク会議 （実務担当者会議）	25 回	関係機関の実務担当者によるケースの共有・情報交換やよりスムーズな連携のための他部署の業務内容等の共有を図った。
研修会講師等	29 回	校内研修会、教職員研修、保育研修、PTA・NPO等の団体研修において職員を講師として派遣した。

(款) 3民生費 (項) 4生活保護費 (目) 1生活保護総務費

(単位 円)

事業名	嘱託医師報酬				保護課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
900,000					900,000	900,000

生活保護法による医療扶助の適正実施を図るため嘱託医を置き、医学の専門的見地から医療検討会での指導助言や医療扶助の決定・実施の判断基礎となる医療要否意見書の審査を受けた。

区分	内容
医療検討会	月1回開催し、年間114ケースについて指導助言を受けた。
医療要否意見書審査	医療要否意見書等について年間8,385件の審査を受けた。(月4回程度) 審査の内訳 ・入院分 749件 ・入院外分 7,191件 ・その他(治療材料、検診料ほか) 445件

事業名	生活保護適正実施推進事業費				保護課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,955,602	1,728,000				3,227,602	3,239,959

事業名	事業費	内容
精神科嘱託医師の設置に係る経費	337,200	生活保護法による医療扶助の適正実施を図るため精神科の嘱託医を置き、医学の専門的見地から医療扶助の決定・実施の判断基礎となる医療要否意見書の審査を受けた。 医療要否意見書等について年間319件の審査を受けた。(月2回) ・入院分 184件 ・入院外分 135件
医療情報の活用に係る経費	1,377,648	レセプト管理システムの活用により、被保護患者の適切な処遇の確保など、効率的かつ効果的な医療扶助の実施を図った。 また、医療機関からの診療報酬明細書(レセプト)の点検強化を図り、請求内容に疑義があるものは支払基金に対し再審査の請求を行った。 ・レセプト管理システム賃貸借 729,648円 ・レセプト管理システム機械点検業務委託 648,000円 診療報酬明細書の点検総数: 47,681件 再審査請求を行った件数と金額: 329件 3,615,327円
生活保護システムの改修に係る経費	2,268,000	生活保護法改正に伴う基準改定等に対応するため、生活保護システムを改修し、業務の効率化及び適正執行を図った。 ・法改正対応業務委託 1,620,000円 ・法改正対応業務委託(その2) 648,000円
訪問調査の充実に係る経費	972,754	生活保護業務専用車両(4台)を配備し、訪問調査の充実に図り、生活保護制度の適正実施に努めた。 ・公用車燃料費 241,246円 ・公用車リース代 723,168円 ・有料道路通行料 8,340円
計	4,955,602	

事業名	生活保護受給者就労支援事業費					保護課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,378,708	3,264,474			11,229	1,103,005	4,346,218

事業名	事業費	内容
生活保護受給者就労支援事業	4,378,708	<p>就労支援相談員を雇用し生活保護受給者に対し就労への意識付けを行い自立助長に努めた。特に稼働能力を有すると思われる被保護者の方に対しては自立支援プログラムにより自立に向けた積極的な就労支援に取り組んだ。</p> <p>自立支援プログラムによる支援を行った件数 59件 支援により就労開始または増収となった件数 21件 うち就労により生活保護廃止となった件数 7件</p>

事業名	生活保護費国庫支出金返還金					保護課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,297,312					10,297,312	82,695,003

前年度に交付申請し概算払として受入済の国庫負担金・国庫補助金について、事業決算の結果過収入となった金額について、精算返還を行った。

平成29年度生活扶助費等国庫負担金	8,938,435 円
平成29年度介護扶助費等国庫負担金	1,354,899 円
平成29年度生活困窮者自立相談支援事業費等国庫負担金	1,978 円
平成29年度生活困窮者就労準備支援事業費等国庫補助金	2,000 円

事業名	生活保護一般経費					保護課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,793,109		40,800		55,133	11,697,176	11,924,329

生活保護制度の実施運営に伴う事務経費・人件費等

(款) 3民生費 (項) 4生活保護費 (目) 2扶助費 (単位 円)

事業名	生活保護扶助費					保護課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,694,398,757	2,793,750,000	81,648,526		39,227,601	779,772,630	3,883,353,311

生活保護法に基づき生活に困窮する者に対し困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長するため各種扶助を行った。

扶助費の支給状況（年間）

扶助名	費用区分	内 容	扶助額	扶助人員
生活扶助	日常生活に必要な費用 (食費・被服費・光熱水 費等)	基準額は、 (1) 食費等の個人的費用 (2) 光熱水費等の世帯共通費用を合算し て算出。特定の世帯には加算あり（母子 加算等）	1,130,473,565	24,742
住宅扶助	アパート等の家賃等	定められた範囲内で実費を支給	506,389,305	22,876
教育扶助	義務教育を受けるために 必要な学用品費等	定められた基準額を支給	15,174,782	1,602
介護扶助	介護サービスの費用	費用は介護事業者等へ支払	120,622,561	6,413
医療扶助	医療サービスの費用	費用は医療機関等へ支払	1,888,529,017	24,246
出産扶助	出産に関する費用	定められた範囲内で実費を支給	23,520	2
生業扶助	高校等への就学や就労に 必要な技能修得等の費用	定められた範囲内で実費を支給	8,047,665	529
葬祭扶助	葬祭費用	定められた範囲内で実費を支給	3,766,365	21
施設事務費	施設保護を行う場合の保 護施設入所に係る措置費	施設事務費として国の基準に基づき定め られている額を施設に支払	21,371,977	134
計			3,694,398,757	80,565

生活保護の状況（平成31年3月末）				生活保護開始・廃止の状況（年間）			
区分	今年度末	参考前年	単位	区分	今年度	参考前年	単位
被保護世帯	1,798	1,848	世帯	保護開始世帯数	162	182	世帯
うち高齢者	1,045	1,047	世帯	保護開始人数	198	226	人
うち外国籍	77	80	世帯	保護廃止世帯数	199	262	世帯
被保護人員	2,272	2,378	人	保護廃止人数	248	342	人
うち外国籍	131	137	人				
保護率	14.1	14.6	‰ ※				

※‰（パーミル）＝千分率

(款) 3民生費 (項) 5災害救助費 (目) 1災害救助費

(単位 円)

事業名	災害弔慰金				地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						—

災害弔慰金の支給等に関する法律及び同法施行令の規定に準拠し、自然災害により死亡した市民の遺族に対し、弔慰金を支給する。平成30年度の支給はなし。

事業名	小災害見舞金				地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
340,000					340,000	1,990,000

自然災害ならびに住家火災による被害を受けた方に対して、見舞金を支給した。

支給実績

区分	1件あたりの金額	件数	見舞金
半焼 (壊)	50,000円	1世帯	50,000円
全焼 (壊)	80,000円	3世帯	240,000円
水損	30,000円	1世帯	30,000円
床上浸水	20,000円	0世帯	0円
入院 (30日以上)	20,000円	1人	20,000円
入院 (90日以上)	30,000円	0人	0円
死亡	100,000円	0人	0円
計			340,000円

(款) 4衛生費 (項) 1保健衛生費 (目) 2環境衛生費

(単位 円)

事業名	浄化槽設置促進事業費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
41,281,140	6,158,000	13,341,000			21,782,140	44,706,659

公共用水域の水質汚濁防止及び生活環境の保全を図る事を目的として、一定区域内において住宅（兼用含む）・共同住宅の単独処理浄化槽やくみ取り便槽の使用を廃し、新たに合併処理浄化槽を設置する際の費用の一部を補助した。

区分	補助金額	件数
5人槽	332,000円	33
7人槽	414,000円	43
10人槽	548,000円	2
計		78
単独槽撤去費補助	120,000円	35
配管費補助	90,000円	78

事業名	畜犬登録等事業費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,048,557				3,048,557		3,149,572

狂犬病予防法に基づき、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施した。

登録頭数 10,977頭 狂犬病予防注射件数 8,407件

事業名	行旅死亡人取扱事業費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
848,790		432,215		416,575		566,980

行旅病人及行旅死亡人取扱法及び墓地、埋葬等に関する法律に基づき死亡人の取扱を行った。

身元不明の遺体の火葬等 2件

引取り手のない遺体の火葬等 14件

事業名	公衆便所管理事業費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,130,219					3,130,219	3,307,650

中町、駅西公衆便所の維持管理を行った。

事業名	共同簡易飲料水供給施設管理事業費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
253,692				50,000	203,692	1,556,690

上水道未整備地域の住民の生活の基盤である飲料水供給施設の修繕を行った。

事業名	動物愛護推進事業費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,660,387				77,000	3,583,387	3,687,602

動物に対する愛護意識の高揚を図るための啓発活動を行った。また、飼育限度を超えた犬及び猫の繁殖を制限し、捨て犬及び捨て猫の防止を図るため、犬猫去勢避妊手術に要する費用の一部を補助した。

- ・動物愛護絵画展開催
(於松阪公民館 松阪ショッピングセンターマーム2階) H30.9.20~9.26 (出展数 40点)
- ・カーテンコンテスト
(於アピタ松阪三雲店、ぎゅーとら下村店) H30.9.15
(於ピアゴ嬉野店) H30.9.29
(於松阪マーム) H30.9.30
- ・安全・安心フェスタ まつさか(三重県獣医師会松阪多気支部展示啓発ブース)
(於クラギ文化ホール・農業屋コミュニティ文化センター・子ども支援研究センター体育室)
H30.12.2
- ・迷子犬情報提供(ホームページによる情報提供、「犬の拘留」公告の掲示)
- ・フン放置禁止看板配付(自治会等)
- ・去勢避妊手術費一部補助

	犬			猫			合計
	オス	メス	小計	オス	メス	小計	
本庁	109	107	216	243	311	554	770
嬉野	14	17	31	39	60	99	130
三雲	23	25	48	28	37	65	113
飯南・飯高	4	2	6	14	17	31	37
計	150	151	301	324	425	749	1,050

事業名	共同浴場解体事業費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
591,840					591,840	—

大気汚染防止法第18条の17に基づき、宮町共同浴場を取り壊しするにあたり、業者委託により宮町共同浴場の建物に石綿(アスベスト)が使用されているかどうかの資料調査、建材の採取・分析等を行った。

調査結果

レベル1(吹付け材):無

レベル2(保温材・耐火被覆材・断熱材):保温材が機械室の配管のエルボ部に有

レベル3(成形板):有

※レベルの分類:石綿(アスベスト)の発じん性(飛散性)の高低による分類。発じん性とは粉じんの発生率を表すものであり、レベル1が最も危険度が高く、ばく露防止対策が必要となる。ばく露とは:問題となる因子にさらされること。

事業名	環境衛生一般経費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,472,429					1,472,429	1,525,465

環境衛生に係る一般事務経費

事業名	戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計繰出金					環境課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
74,249,000					74,249,000	71,673,000

飯南・飯高管内を対象とする戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計に係る繰出金

(款) 4衛生費 (項) 1保健衛生費 (目) 3環境保全費 (単位 円)

事業名	環境調査事業費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,903,732					2,903,732	3,048,851

騒音規制法及び振動規制法に基づき指定区域の調査測定を行った。

区 分	調 査 項 目	調査地点	測定回数	測定結果
環境騒音調査	環境騒音	9 地点	1回/年	概ね環境基準を満たしていた。
道路交通振動調査	道路交通振動	2 地点	1回/年	
自動車騒音常時監視に係る騒音調査	自動車騒音	3 路線 3 地点	1回/年	

水質汚濁防止法に基づく県の調査測定を補完し、市域における河川等の水質状況を把握するために調査測定を行った。

区 分	査 項 目	調査地点	測定回数	測定結果
河川水質調査	生活環境項目	30 地点	25河川他 1回/年	概ね環境基準値を満たしていた。
	健康項目	3 地点		
	要監視項目	3 地点		

公害防止協定締結事業場等の排水・悪臭の調査測定を行った。

区 分	事業場数	測定回数	測定結果
排水調査	1 事業場	2回/年	規制基準を満たしていた。
悪臭調査	3 事業場 4 場所	1回/年	

事業名	環境啓発活動事業費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,359,802				63,000	1,296,802	913,472

環境に関する市民の意識を高めるために、啓発活動を実施した。

- ・ 環境月間（6月）の啓発
（懸垂幕の掲示、のぼり旗の設置、広報誌への掲載、アクリルたわしの配布）
- ・ 健康フェスティバル2018、まつさか環境フェア、飯高文化祭での啓発
合計啓発人数（アンケート回収人数）：1,273人
- ・ ネイチャーマップまつさか広報番組制作
- ・ 路上喫煙禁止区域の啓発活動
松阪駅周辺での音声アナウンスでの啓発（週1回）
松阪駅での路上喫煙禁止区域認知率アンケート調査（H31.2.5、H31.2.7）
アンケート回収数：698人、認知率：48.0%
- ・ 夏休み親子環境学習会の実施（H30.8.21及びH30.8.22、計16組39人の参加）
- ・ バイオマス・スタディツアーの実施（H30.12.8、計12組25人の参加）

事業名	Matsusaka-EMS事業費					環境課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,073,362					1,073,362	1,491,351	

松阪市独自の環境マネジメントシステムを運用することにより、環境基本計画及びエコフィスアクションプログラムまつさかの推進及び進捗管理を行い、温室効果ガス排出量の削減等を推進した。また、各職場において個人アンケートチェックを行い、職員の環境に対する意識の向上を図る等、本システムの継続的な運用を行った。

事業名	環境基本計画策定事業費					環境課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
251,532					251,532	2,738,080	

第二次環境基本計画で示した、うるおいある豊かな環境の保全と創造のための共通目標や基本施策を周知するため、同計画の「概要版」冊子及び小学生向けの「学習版」パンフレットを作製し、関係各所に配布した。

配布結果

概要版：住民協議会、公民館、図書館、各振興局・地区市民センター窓口等へ配布（825冊）
 学習版（小学生向け）：市内の小学校の全5、6年生に配布（3,545枚）

事業名	環境パートナーシップ会議事業費					環境課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,303,047					1,303,047	713,456	

うるおいある豊かな環境の保全と創造に向けた取組をより実効あるものとするため、「松阪市環境パートナーシップ会議」において、市民、市民団体、事業者、行政の協働のもと、環境に優しい活動の普及啓発を実施した。

- ・ 環境パートナーシップ会議開催 23回
- ・ 緑のカーテン啓発活動
 - 緑のカーテン育て方講座 H30.4.21（参加者数 32人）
 - 市民向け苗配布 H30.5.26（配布数 2,300株 配布者数 575人）
 - 緑のカーテンコンテスト 応募件数 41件 投票総数1,265票
- ・ 環境フェア開催（於ベルファーム） H30.9.23（来場者数 4,206人）
- ・ 会議の周知活動、組織拡充のための啓発活動
 - 会議の活動等の周知及び新規会員の加入を図るための緑のカーテンコンテスト投票者に対するアンケート調査及び勧誘等を行うことで、会議への加入はあったものの、退会した会員の方が多かったため、平成30年度では1会員の減少となった。（H31.3.31現在 56会員）
- ・ 会員向け広報紙「環境パートナー通信」の発行（発行回数 5回）
- ・ 会員学習会の開催 H30.8.31（参加者数 21人）
- ・ 省エネの普及啓発
 - 会員及び一般参加者を対象とした省エネ講座の開催 H30.12.1（参加者数 25人）

事業名	地域好循環創造基金積立金					環境課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
700,000				700,000		—	

松阪新電力株式会社からの寄付金積立金

事業名	環境保全一般経費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
831,313					831,313	1,065,640

環境保全に係る一般事務経費

- ・ 環境審議会の開催 (H30.12.19)
環境基本計画に関する事項その他うるおいある豊かな環境の保全と創造に関する基本的事項について調査審議するための審議会であり、1回開催した。
- ・ 環境影響評価委員会の開催 (H30.12.13)
環境影響評価その他手続きに係る技術的な事項を調査審議し、専門的な知見に基づく意見を市長に答申するための委員会であり、1回開催した。

(款) 4衛生費 (項) 1保健衛生費 (目) 4火葬場墓地費 (単位 円)

事業名	火葬施設解体事業費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,046,600					2,046,600	5,133,240

飯高田引火葬場の利用者数減に伴い、地元住民との協議の結果、火葬場の解体を行った。
飯高田引火葬場解体工事 2,046,600円

事業名	斎場・火葬場管理事業費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
93,205,144				41,722,981	51,482,163	90,862,166

篠田山斎場、嬉野斎場、三雲火葬場、飯南火葬場の運営及び施設の維持管理を行った。

火葬	2,131件
	(篠田山斎場) 1,684件
	(嬉野斎場) 218件
	(三雲火葬場) 106件
	(飯南火葬場) 123件
霊柩搬送	880件 (篠田山斎場)
葬祭室貸出	539件
	(篠田山斎場) 433件 (室1:300件、室2:133件) (嬉野斎場) 106件 (通夜:53件、告別式:53件)
納棺	314件 (篠田山斎場)
犬猫火葬	2,710件 (犬:1,051件、猫:1,659件)
	(篠田山斎場) 2,240件 (犬:795件、猫:1,445件)
	(嬉野斎場) 428件 (犬:225件、猫203件)
	(飯南火葬場) 42件 (犬:31件、猫11件)

事業名	篠田山墓地管理事業費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,147,049				2,973,616	7,173,433	9,164,684

篠田山霊苑の維持管理を行った。

事業名	斎場・火葬場施設整備事業費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
20,088,000		6,055,000			14,033,000	2,700,000

嬉野斎場の火葬炉耐火物の全面積替工事を行った。

松阪市嬉野斎場（ヒブノス嬉野）火葬炉耐火物全面積替工事 20,088,000円

事業名	篠田山霊苑施設整備事業費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,410,560					2,410,560	—

篠田山霊苑内の道路舗装及び法面コンクリート打設工事を行った。

篠田山霊苑内道路修繕工事 2,410,560円

(款) 4衛生費	(項) 1保健衛生費	(目) 5予防費	(単位 円)
-----------------	-------------------	-----------------	--------

事業名	食生活改善推進員支援事業費					健康づくり課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
352,374				66,800	285,574	247,558

「食」を通じた健康づくりの活動を主体的に行う食生活改善推進員に対し、健康づくりのための知識や技術のスキルアップを図り、市が実施する保健事業への協力を得た。

グループ研修での健康講座	29回	参加延人数	730人
健康講座交流会	4回	参加延人数	104人
うきうきクッキング研修会	10回	参加延人数	239人
食生活改善推進員養成講座	4回	参加延人数	45人

事業名	献血推進協議会運営費補助金					健康づくり課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
172,000					172,000	172,000

松阪市献血推進協議会が行う献血活動への一層の理解・協力を求めるための啓発活動及びイベント献血・定期献血等の取組みに対して補助した。

献血者数	2,044人
市内及び事業所献血実施回数	82回
主な実施内容：	マーム定期献血 12回 イベント献血（健康フェスティバル、氏郷まつり） 2回

事業名	予防接種事業費					健康づくり課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
396,673,662				1,094	396,672,568	396,837,911

予防接種法に基づいて、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために、疾病の予防に有効であることが確認されているワクチン接種を医療機関に委託実施し、公衆衛生の向上及び増進を図った。

乳幼児、児童生徒：法律に定められた各種予防接種を行った。

平成30年度に65・70・75・80・85・90・95・100歳になる方、及び60歳から65歳未満で心臓、腎臓呼吸器等の障害を有する方の肺炎予防のため、高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種を行った。

65歳以上の高齢者、及び60歳から65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器等の障がいがある方の健康の保持増進とインフルエンザの流行を防止するため、インフルエンザ予防接種を行った。

日本脳炎の特例対象者（平成7年4月2日～平成19年4月1日生）が20歳未満までの間に平成17年の積極的勧奨の差し控えにより影響を受けた未接種分を接種できるよう実施した。

接種名	回数名	平成30年度	
		対象者数	接種者数
乳幼児対象			
B型肝炎	1回目	1,169人	1,224人
	2回目	1,169人	1,217人
	3回目	1,169人	1,182人
ヒブ	1回目	1,175人	1,229人
	2回目	1,175人	1,213人
	3回目	1,175人	1,206人
	追加	1,175人	1,202人
小児用肺炎球菌	1回目	1,175人	1,234人
	2回目	1,175人	1,220人
	3回目	1,175人	1,204人
	追加	1,175人	1,203人
BCG		1,169人	1,156人
四種混合	1期1回目	1,178人	1,210人
	1期2回目	1,178人	1,200人
	1期3回目	1,178人	1,176人
	1期追加	1,178人	1,206人
MR	MR1期	1,205人	1,206人
	MR2期	1,382人	1,335人
麻しん	麻しん1期	-	-
	麻しん2期	-	-
風しん	風しん1期	-	-
	風しん2期	-	-
水痘	1回目	1,205人	1,185人
	2回目	1,205人	1,169人
日本脳炎	1期1回目	1,303人	1,378人
	1期2回目	1,303人	1,376人
	1期追加	1,244人	1,271人
不活化ポリオ	1回目	-	-
	2回目	-	-
	3回目	-	1人
	追加	-	4人

接種名	回数名	平成30年度	
		対象者数	接種者数
児童・生徒対象			
日本脳炎	2期	1,503人	1,342人
	特例1期1回目	-	24人
	特例1期2回目	-	31人
	特例1期追加	-	74人
二種混合	2期	1,451人	1,200人
子宮頸がん	1回目	711人	5人
	2回目	711人	4人
	3回目	711人	1人

乳幼児・児童・生徒対象		
予診のみ	-	18人

高齢者対象			
高齢者インフル	60～64歳	66人	45人
	65歳～	47,712人	25,734人
高齢者肺炎球菌	定期 60～64歳	66人	2人
	定期 65歳～	10,895人	3,824人

※対象者数は、厚生労働省が用いている接種率の算定方式である10月1日現在の人口から算出。

※県外定期接種を含む。

※長期疾患等による特例措置B型肝炎3回目1件を含めない。

※年齢対象外のためMR接種助成(MR1期13件、2期12件)は含めない。

事業名	感染症予防事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
243,586					243,586	167,400

インフルエンザ対策として、最低限の行政運営及びイベント等における感染拡大防止を可能にするための備蓄品の管理を行い、使用期限切れに対応し、手指消毒薬の購入をした。

事業名	予防接種事故対策事業費					健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
12,196,286		9,146,714			3,049,572	11,892,279	

予防接種により健康被害を受け、厚生労働省より障害年金等受給の認定を受けた方に医療費・医療手当・障害年金を支給した。支給対象 3人
また、平成30年度は1人健康被害者が発生したため、健康被害調査委員会を開設した。

事業名	食生活改善推進協議会補助金					健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
650,000					650,000	650,000	

「食」を通じた健康づくりの活動を主体的に行うとともに市や地域が行う健康づくり等の行事への参加協力により、市民の健康増進に寄与する松阪市食生活改善推進協議会の活動を補助した。

会員数 150人 延活動回数 273回

活動内容：生活習慣病予防や親子・高齢者等の健康料理教室の開催、健康づくり事業への参加協力等

事業名	任意接種助成事業費					健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,090,046					1,090,046	1,555,831	

肺炎球菌を原因とする高齢者の肺炎の予防のため、MR1期・2期定期接種もれの救済措置として、当該ワクチンに係る接種費用の一部助成を実施した。

高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業は定期接種対象者が一巡したため、平成30年度で終了する。

高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成

期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

対象者 接種時点で満65歳以上の高齢者（定期接種対象外の未接種者）

助成数 286件

MRワクチン接種費用助成

期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

対象者 MR1期の接種漏れ者：生後24か月から年長児となるまでの幼児

MR2期の接種漏れ者：小学1年生に相当する年齢の児童

助成数 MR1期：13件、MR2期：12件

事業名	骨髄移植ドナー支援事業費					健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
100,000					100,000	140,000	

平成25年7月から骨髄バンク事業における骨髄・末梢血幹細胞の提供者及び骨髄バンク登録者を増やすことを目的に、骨髄・末梢血幹細胞の提供者及び提供者の勤務先への奨励金を交付する骨髄移植ドナー支援事業を開始し、今年度1人の申請があった。助成対象者 1人 助成事業所 0件

事業名	予防接種県外接種補助金					健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,194,256					1,194,256	557,336	

里帰りや長期入院等で、県外の医療機関において予防接種法における定期接種（A類）を受けた方への接種費用の助成を実施した。

助成数：22人139件

事業名	予防一般経費	健康づくり課				
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,612,252				5,448	3,606,804	3,603,072

予防接種事業・母子保健事業等の推進に係る一般事務経費、地域医療連携のため、認定審査会や保育園、学校等への医師推薦や講演会への講師派遣等

保健師の知識向上や管内保健衛生対策、事業連携を向上するため、関連団体へ加盟した。

加入団体：三重県市町保健師協議会負担金、松阪保健所管内保健衛生業務対策協議会負担金
三重県安全運転管理協議会会費

(款) 4衛生費 (項) 1保健衛生費 (目) 6母子保健費 (単位 円)

事業名	母子保健事業費	健康づくり課				
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
152,739,993	2,930,000	1,866,000		188,730	147,755,263	150,182,113

母子健康手帳の交付

妊娠届提出時等に交付した。 妊娠届出数 1,187件 発行数 1,254件

妊婦健康相談

母子健康手帳交付時に実施した。 相談件数 222件

妊婦一般健康診査（全14回）

母体の健康保持・増進のため、医療機関等に委託して健康診査を実施した。

健診項目

1回：基本的な妊婦健康診査（問診及び診察、血圧測定、体重測定、尿検査）

妊娠初期血液検査（血液型、血算、血糖、HIV抗体、HTLV-1抗体、B型肝炎抗原、C型肝炎抗体、梅毒、風疹抗体）

子宮頸がん検診（細胞診）

超音波検査

性器クラミジア検査

2～5・7・9～10・12～14回：基本的な妊婦健康診査

6回：基本的な妊婦健康診査、超音波検査

血液検査（血算、血糖）

8回：基本的な妊婦健康診査

超音波検査

11回：基本的な妊婦健康診査

血液検査（血算）

B群溶血性レンサ球菌（GBS）検査

超音波検査

回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回
受診者数	1,161人	1,200人	1,196人	1,192人	1,203人	1,180人	1,171人	1,129人
回数	9回	10回	11回	12回	13回	14回	計	
受診者数	1,100人	1,019人	1,124人	829人	558人	322人	延 14,384人	

※妊婦健診県外受診費補助金補助実人数は含めない。

妊婦歯科健康診査（1回）

妊婦と生まれてくるこどもの歯と口腔の健康保持・増進のため、医療機関に委託して妊婦歯科健康診査を実施した。 受診者数 372人

プレママ教室

妊婦を対象に、妊娠中の健康管理・栄養管理・歯科保健について健康教育を実施した。

開催回数 6回 受講者数 63人

パパママ教室

妊婦やその家族を対象に、妊娠模擬体験・沐浴実習・抱っこ体験・おむつ交換等の実習を実施し、父親の育児参加を促した。

開催回数 12回 受講者数 258人

妊産婦訪問指導

妊婦一般健康診査の結果等をもとに実施した。

妊婦 14人（延19人）、産婦 1,173人（延1,312人）

乳幼児訪問指導

乳幼児健康診査の結果または電話相談等により、訪問指導が必要と思われる家庭を訪問し保健指導を実施した。

区分	訪問人数	(延数)
4か月未満乳児	1,127人	(1,224人)
未熟児	100人	(112人)
新生児生後28日未満	104人	(113人)
4か月以上1歳未満乳児	39人	(108人)
4か月以上	10人	(10人)
5か月未満児		
幼児	237人	(396人)
小学生	9人	(14人)

※他市町からの依頼を受け57件訪問

新生児訪問指導、未熟児訪問指導

生後28日未満の新生児と未熟児を対象に、家庭を訪問し、身体計測や育児指導、情報提供を行った。

未熟児 100人（延112人）、新生児 104人（延113人）

乳児家庭全戸訪問事業

生後4か月未満児のいる家庭を訪問し、不安や悩みを聞き情報提供を行うとともに、児の発育状況や保護者の心身の状況、養育環境の把握、助言を行った。

乳児家庭全戸訪問者数1,192人（96.7%）

※4か月未満児1,127人、4か月以上5か月未満児10人、他市町へ依頼分55人を含む。

乳児一般健康診査（4か月、10か月）

医療機関に委託し、専門医により乳児の発育・発達が順調であるかを確認するとともに異常の早期発見・離乳指導及び育児生活指導・予防接種の指導を行った。

区分	対象者数	受診者数	受診率	受診結果		
				異常なし	要指導等	未記入
4か月児	1,211人	1,200人	99.1 %	1,122人	78人	0人
10か月児	1,170人	1,117人	95.5 %	1,011人	106人	0人

ことばの相談

言語発達の面で経過観察・指導を必要とする幼児とその保護者を対象に、言語聴覚士による相談、指導を実施した。

実施回数 17回 相談者延人数 57人

幼児相談

健康診査等で言語発達や精神発達、情緒面において経過観察を必要とする幼児とその保護者を対象に、心理相談員による相談指導と発達検査を実施した。

実施回数 103回 相談者延人数 409人

対象児	1歳6か月児健診事後	3歳児健診事後	その他
相談者延人数	36人	63人	310人

健康教育

子どもの発達段階に応じた育児、健康な習慣の確立のため必要な知識や情報を提供し、保護者同士の交流の場を設けることで保護者自身の育児の力を持てるようにした。また、子どもたちに生涯を通じた豊かな「こころ」と「からだ」の健康づくりを子ども自身で実践できるような機会を提供し、子どもの健康が保持増進されることを目的に実施した。

区分	対象者等	開催回数	人数
新米ママ教室	第1子の生後2か月の児と母	31回	404人
モグモグ教室	5～7か月の乳児と保護者	18回	700人
ぱくぱく教室	1歳6か月～3歳児の幼児と保護者	9回	201人
子育て教室	乳幼児と保護者 (地区市民センター等で実施)	52回	1,696人
各地区乳幼児健康教育	各地区市民センターや子育て支援センター等で対象年齢に応じて実施	54回	1,398人
サークルへの健康教育	乳幼児	3回	30人
学童への健康教育	小中学生	16回	471人
イベント他	はるる遊ぼうDAY・歯と口腔の健康まつり・健康フェスティバル等	24回	2,553人
計		207回	7,453人

乳幼児健康相談

発育の状況確認や乳幼児の健康的な生活習慣を身につけられるよう育児全般にわたって健全な発育ができるよう保健指導を実施した。

実施会場 7会場 実施回数 91回
参加人数 1,297人 参加延人数 3,203人

巡回乳幼児健康相談

子育て支援センターへ保健師や看護師が出張し、乳幼児健康相談を実施した。

実施会場 10会場 実施回数 37回
参加人数 283人 参加延人数 388人

こども歯みがき相談

歯科衛生士による口腔状態の確認と口腔清掃方法の個別指導、また、1歳6か月児健康診査の事後指導の場として実施した。

実施回数 18回 人数(延) 287人

電話相談

母子の健康や育児に関する相談について、電話相談を実施した。

相談件数 匿名140件 要支援ケース(延) 2,673人

子育てサークル支援事業

支援内容

サークル訪問	1サークル	1回	
サークル運営等の相談	1サークル	1回	
物品の貸し出し	3サークル	10回	
サークルへの健康教育	1サークル	3回	30人
サークル活動支援	1サークル	1回	33人

子育て世代包括支援センター

母子保健法の改正により、子育て世代包括支援センター（法律上は「母子健康包括支援センター」）が法定化された。平成26年度から実施されている妊娠・出産包括支援事業と、平成27年度から開始された子ども子育て支援新制度の利用者支援や子育て支援など包括的に運営する機能を担うセンターとして、平成27年度に旧健康センターに設置し、平成29年度松阪市健康センターはるるの開設に合わせて設置し、平成30年度は出生数が増加傾向の嬉野・三雲管内を中心に対応するため、2か所目として嬉野保健センターに設置した。センターには子育てに関する支援のマネジメントを行う母子保健コーディネーターを配置している。平成30年度までに県主催の研修を受けた母子保健コーディネーターは12人。

産後ケア事業

家族等から十分な育児・家事等の援助が受けられず、保健指導の支援を必要とする産婦を対象に、出産後の母子へ宿泊または通所にて、一定期間、委託産科医療機関等において必要な支援を提供し、安心して子育てできる支援体制を確保した。産後ケア事業を円滑に進めるため、妊産婦、産科医療機関等との調整を行った。 利用件数：宿泊型2件 通所型1件

はるるコンシェルジュ

健康センターはるるで、気軽に相談できるよう「はるるコンシェルジュ」として、看護師を配置した。初期対応や健康チェックのサポートなどを行い利用しやすく相談しやすい環境づくりを行った。

活動日数： 244日

子育てコンシェルジュ（各事業に配置）

健康センター等で開催する乳幼児健康相談や子育て教室、新米ママ教室、離乳食教室等の場に保育士を配置し、お子様への声かけや遊び方など助言を行った。

フッ化物洗口事業の実施

平成30年度新たに小学校6校172人、保育園3園94人、幼稚園4園218人で開始した。

実施校・園累計：小学校6校、保育園19園 幼稚園12園（県フッ化物洗口推進事業含む。私立幼稚園1園含む。）県フッ化物洗口推進事業（4年間）の終了した6保育園1幼稚園に対し、フッ化物洗口剤を配布した。

子育てアプリ（まっぷり）

子育てしやすい環境づくりを目的に、スマートフォンで妊娠から出産、子の成長を写真とともに記録に残し、それを共有できる機能、予防接種の適切な時期が確認できるなどの管理機能、松阪市が取り組む子育てに関する教室や支援等の情報を発信できる機能などを備えた子育てアプリ（まっぷり）を平成30年9月から配信した。
登録者数777件（H31.3.31現在）

事業名	1歳6か月児健康診査事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,264,494				1,116	5,263,378	5,603,826

1歳6か月児健康診査

月年齢に応じた発達・発育の確認と異常の早期発見や相談、育児・生活に関する保健指導、予防接種の指導を実施した。（問診、身体計測、小児科・歯科健診、保健指導等）

回数 29回 対象者数 1,200人、受診者数 1,190人、受診率 99.2%

区分	総合判定		未受診
	異常なし	要指導・要経過観察等	
小児科	1,025人	165人	0人
歯科	346人	844人	0人
精神面	861人	329人	0人

コアラ教室（1歳6か月児・3歳児健診事後教室）

1歳6か月児・3歳児健康診査で、運動発達・社会言語発達の面で経過観察を要する幼児と保護者を対象に集団の場を提供し、遊びを通じて保護者が幼児への関わりを振り返り、家庭での実践に結びつけ、幼児の豊かな発達を促すことを目的に実施した。

区 分	実施回数	対象 登録児数	参加延人数		
			児	兄弟姉妹	保護者
小クラス	12回	52人	162人	13人	185人
大クラス	12回	22人	96人	26人	98人
計	24回	74人	258人	39人	283人

事業名	3歳児健康診査事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,336,149				1,333	5,334,816	5,275,191

幼児期において身体発育及び精神発達の面から最も重要な時期である3歳児の全てに対して、医師・歯科医師等による総合的な健康診査を実施し、その結果に基づき適切な指導及び処置を実施した。また、同時に予防接種の指導を実施した。（問診、尿検査、身体計測、小児科・歯科健診、保健指導等）

回数 31回 対象者 1,303人 受診者数 1,286人 受診率 98.7%

総合判定	異常なし	要指導・要精密・要治療等	未受診
小児科	1,152人	133人	1人
歯科	528人	752人	6人
精神面	1,022人	264人	0人
耳鼻科	1,273人	13人	0人
眼科	1,247人	39人	0人

精密検査結果

	受診者数
身体面	9人
眼科	17人
耳鼻科	3人
精神発達	63人

事業名	特定不妊治療費補助金				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,193,897		2,466,184			7,727,713	15,811,658

特定不妊治療を受けられた夫婦に対し、治療に係る費用の一部助成を行った。

平成26年7月より男性不妊治療費助成、第2子以降の特定不妊治療に対する助成回数追加事業を実施した。

平成28年1月20日国の制度改正により男性不妊治療費助成が三重県事業となったため廃止した。

補助延件数・特定不妊治療 107件 ・第2子以降 4件

平成28年度より、初回申請時の治療終了日が平成28年1月20日以降の夫婦を対象に2回助成回数を追加する「助成回数追加事業」を市単独事業で実施した。

助成額：自己負担額の2分の1（上限100,000円）

補助延件数 4件

事業名	妊婦健診県外受診費補助金					健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
3,118,856					3,118,856	2,424,772	

里帰り出産等により、三重県外の産科医療機関等で妊婦健診を受診した妊婦に対し、健診に係る費用の全部または一部の助成を行った。

補助実人数 68人

回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回
受診者数	8人	7人	4人	6人	4人	14人	13人	31人
回数	9回	10回	11回	12回	13回	14回	計	
受診者数	33人	41人	47人	43人	41人	28人	延 320人	

事業名	未熟児養育医療給付事業費					健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
23,975,450	9,222,908	4,611,454		3,216,715	6,924,373	12,947,348	

県からの権限移譲により、出生時体重が2,000g以下または、生活力が特に薄弱であり身体の発育が未熟なために現れる一定の症状を有しているために医師が入院治療を必要と認めた1歳未満の未熟児に対して指定養育医療機関における医療の給付を行った。

未熟児養育医療給付件数 170件

事業名	不育症治療費助成事業費					健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,131,168		303,433			827,735	965,003	

平成25年度から新たに、市が指定する医療機関において不育症と診断され、その治療をうけている夫婦が受けた医療保険適用外の不育症の治療及び治療に係る検査に要した費用を対象とし、1治療期間における補助対象費用に対し、年度1回上限10万円の助成を行った。

補助件数 19件

事業名	保健衛生費国庫支出金返還金					健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,427,000					1,427,000	1,730,000	

平成29年度妊娠出産包括支援事業補助金の事業清算による返還金 827,000円

平成29年度子ども・子育て支援交付金確定による返還金 300,000円

平成29年度地域子ども・子育て支援事業費補助金確定による返還金 300,000円

(款) 4衛生費 (項) 1保健衛生費 (目) 7健康増進事業費 (単位 円)

事業名	健康づくり推進事業費					健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,695,700					1,695,700	2,397,092	

平成29年3月に策定した「第2次松阪市健康づくり計画」(平成29年度～令和5年度)を広く市民に周知し、重点目標である「がん検診を受けよう!」「毎日合計60分体を動かそう!」「野菜たっぷり塩は“かるしお”」「楽しく子育てしよう」「地域ぐるみで健康づくり」について理解を深め、市民の主体的な健康づくり活動を支援し、健康なまちづくりを推進した。

健康づくり推進協議会の開催（事業報告・計画協議） 2回

第2次松阪市健康づくり計画 ダイジェスト版作成・配布

結婚新生活編 1,000部作成配布、中学生編 2,000部作成配布 成人編 1,000部配布
ケーブルテレビ等を活用した健康情報の発信

「いきいき健康情報」 12か月（毎月1週間）放映

ウォーキングサポーターの活動支援 登録者 59人

松阪市民のウォーキング推進と普及のためにウォーキングサポーターの会に登録している59人の市や地域のウォーキングイベントへの協力、及びサポーター活動への支援

いきいきウォーキングマップ配布 第1号360部 第2号440部 第3号310部

住民協議会を中心に各地区で重点目標を推進し、ウォーキングイベント開催支援や健康講座を開催。※詳細は、各地区健康教育参照

健康づくり食育推進会議の開催

関係各課（松阪保健所・学校教育課・給食管理課・こども未来課・農水振興課・健康づくり課・地域住民課）で会議（2回）を開催し、連携して食育推進事業を推進した。

食育啓発冊子「野菜を食べよう」保育園・幼稚園の5歳児、市内小学5年生に配布、食育活動に利用した。5,000部作成、3,600部配布。

健康づくり虹倶楽部の活動支援 会員数 25人

住民が主体となった健康づくりの輪を広げる活動を支援した。

健康づくり事業・啓発活動回数：7回 参加人数：1,842人、定例会等回数：13回

健康づくり嬉野Uの会へ委託し、医師による健康講座の巡回、幼児への食育の推進や健康体操等の運動の推進を展開した。 会員数 41人

健康づくり活動（講演会、食育推進等）回数16回、参加人数：747人

松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会の開催

歯と口腔の健康づくり推進協議会を開催し、歯科保健事業の推進に向けて関係機関と協議した。

開催日 7月17日、2月22日

委員数 16人、アドバイザー1人

フッ化物洗口事業専門部会の開催

小学校でのフッ化物洗口事業の推進のため、12月と1月に開催し協議した。

松阪市健康マイレージ事業

がん検診等の受診率向上と、市民が健康の保持増進を図り健康寿命の延伸を目指すことを目的に、楽しみながら取り組むことができる事業とした。ポイント対象の健康づくりに取り組み、35ポイントを貯めた方に県内の協力店で使うことができる三重県が作成した「三重とこわか健康応援カード」と交換した。

実施期間 平成30年11月から平成31年3月

「松阪市健康マイレージチャレンジシート（案内兼申請書）」を7,000枚作成。

申請者数（三重とこわか健康応援カード発行枚数）176人

事業名	健康手帳交付事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
26,904					26,904	20,252

希望者に健康診査、医療、血圧等の記録、その他の生活習慣病予防及び老後における健康保持のための必要な事項が記録できる健康手帳を交付した。

交付数 153件

保険年金課 国民健康保険係交付数 2,074件

事業名	健康教育事業費	健康づくり課				
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,856,685		613,000		104,700	5,138,985	5,476,109

健康教育

各地区では、住民協議会を中心に、各地区の実情や要望に応じ、各地区の公民館、団体等に健康教育を実施した。

	種類	講座内容	回数	参加人数
中央 開 催	健康センター・各振興局での講座	いきいき健康ウォーキング	8回	422人
		健康セミナー・はるる元気朝一体操・はるる健康ウォーキング・とくとく健康講座・ラジオ体操DE健康まつさか・骨粗しょう症予防教室・エクササイズOB会支援・胃がん撲滅元年講演会・ウォーキングサポーター養成講座	120回	5,189人
各地区 健康 教育	食生活改善推進員	グループ研修での健康講座等 ※食生活推進員支援事業費を含む	47回	1,118人
	住民協議会	ウォーキング大会	15回	1,289人
		健康づくりお誘い隊	6回	108人
		文化祭、体育祭等	5回	380人
		健康講座	30回	1,199人
	嬉野Uの会	各地区	2回	186人
	出前講座	もっと歩こう！	4回	71人
		野菜たっぷり 塩は“かるしお”	8回	210人
		毎日合計60分身体を動かそう	9回	207人
		働き盛りの健康づくり	2回	215人
		歯周病を予防しよう！	4回	52人
		健診結果を活かした健康づくり	1回	12人
	がん検診啓発	保育園・幼稚園・支援センター	10回	222人
		店舗・ワークセンターフェスティバル	5回	1,847人
	その他一般	地区ウォーキング大会	2回	63人
文化祭での健康コーナー		8回	427人	
健康づくりお誘い隊		3回	109人	
健康講座		76回	2,652人	
市政バス施設見学		9回	209人	
その他		5回	79人	
イベント時健康コーナー			4回	1,224人
学生指導	がん予防	1回	70人	
	その他	6回	67人	
地域支援事業	転倒予防・その他	9回	105人	
計			399回	17,732人

健康セミナー、とくとく健康講座等、中央開催分（再掲）

生活習慣病の予防・改善を目的に、食事・運動・歯周病予防について健康セミナーを開催し、特定健診の事後指導教室としてとくとく健康講座を開催した。

内 容	実施回数	参加人数
健康セミナー【食事】	9回	158人
健康セミナー【運動】	14回	340人
健康セミナー【歯周病予防と食事】	2回	35人
健康セミナー【医師講演会】	1回	50人
健康セミナー【管理栄養士講演会】	1回	81人
とくとく健康講座 医師講演会	2回	207人
とくとく健康講座 運動編	6回	63人
とくとく健康講座 食事編	5回	49人
胃がん撲滅元年講演会	1回	90人
エクササイズOB会支援	1回	36人

はるる元気朝体操（再掲）

毎週火曜日健康増進室・屋上でラジオ体操を実施している。

実施回数 50回 参加人数 2,966人

はるる健康ウォーキング（再掲）

5月から隔月1回第3火曜日、9月から毎月1回第3火曜日にはるる周辺でウォーキングを実施

実施回数 7回 参加人数 281人

いきいき健康ウォーキングの実施（再掲） 8回 参加人数 422人

内訳：森林公園コース 49人、櫛田地区神山神社コース 74人、さんぎんアリーナ（夏） 49人、健康センターはるる 46人、飯南伊勢本街道屋号めぐりコース 53人、伊勢街道・六軒コース 52人、さんぎんアリーナ（冬） 41人、宝塚古墳コース 58人

ラジオ体操DE健康まつさか（再掲）

ラジオ体操の普及と健康なまちづくり活動を目的に、一般財団法人簡易保険加入者協会の推進支援自治体の指定を受け開催した。

実施回数 2回 参加人数 149人

骨粗しょう症予防健康教育（再掲）

20歳～71歳までの女性を対象とした骨粗しょう症検診の中で、骨粗しょう症を予防するための健康教育を実施した。

実施回数	参加人数	実 施 内 容
16回	640人	ミニ講座・検診結果説明

主要行事

事 業	開催月	場 所	参加人数
歯と口腔の健康まつり2018 よい歯のコンクール	6月	子ども支援研究センターほか	2,000人
健康フェスティバル2018 第36回救急医療を考える集い	9月	子ども支援研究センターほか	3,500人
松阪市三雲嬉野ふれあい健康まつり	10月	ハートフルみくも 保健福祉センター	400人
いいなん・ふれあい祭りでの健康コーナー	11月	飯南ふれあいセンター	500人

女性の健康週間啓発

女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすことを総合的に支援するため厚生労働省が定める3月1日から3月8日までの「女性の健康週間」において、女性の健康相談窓口の開設、広報・HPへの掲載、更年期障害など女性に多い病気・私のからだと心・レシピ・女性のいきいき健康bookのパンフレットの配布を実施した。

パンフレット配布 634部
来所相談 1件

禁煙週間啓発

たばこが健康に悪影響を与えることは明らかであり、禁煙はがん、循環器疾患等の生活習慣病を予防する上で重要であるため、厚生労働省が定める、「世界禁煙デー」の5月31日から6月6日までの「禁煙週間」において、禁煙の相談窓口の開設や喫煙者の肺モデルの展示、喫煙所へのポスター掲示等、喫煙者への支援や受動喫煙防止に取り組んだ。

電話相談 1件
来所相談 8件
資料配布 579部

COPD(慢性閉塞性肺疾患) 予防事業

COPD予防の重要性と認知度を高めることを目的に、松阪市民病院出張講座と協働した。

医師講演、呼吸機能検査等 実施回数 9回 参加延人数 340人

事業名	健康相談事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
504,922		239,000			265,922	475,502

各地区健康相談

健康センターはるる・嬉野保健センター・飯南ふれあいセンター・飯高地域振興局で、保健師や管理栄養士による来所相談や電話相談等を実施した。また、ハートフルみくも保健福祉センター・各地区公民館・地区市民センター・集会所等で実施した。

内容	回数	人数
成人健康相談	47回	1,187人
成人電話相談		113人
所内面接	81回	81人

事業名	健康診査事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
305,846,176	2,341,000	6,361,000		2,165	297,142,011	310,008,112

健康増進法健康診査

医療保険未加入者の健康診査を「健康増進法健康診査」として実施した。

受診結果：対象者数 1,821人

受診者数 214人 (医療機関委託 210人、集団 4人)

40歳～74歳 139人、75歳以上 75人

受診率：11.8%

40歳～74歳のメタボリックシンドローム判定

(75歳以上は腹囲測定がないため、判定できず)

判定区分		メタボリック 基準該当	メタボリック 予備軍該当	メタボリック 非該当	計
人数		43人	22人	74人	139人
割合		31.0%	15.8%	53.2%	100%
保健指導対象	動機付け	11人	5人	4人	20人
	積極的	16人	4人	1人	21人
保健指導対象外	服薬のため除外	16人	9人	2人	27人
	非対象者	0人	4人	67人	71人

保健指導：対象者には、個別面接や集団健康教育などの案内を通知した。

肝炎ウイルス検診

早期の発見により、肝炎による健康障がいや軽減し、進行を遅延させることを目的としてB型、C型肝炎ウイルス検診を実施した。

節目（40歳） 受診者数 26人
 節目外検診 受診者数 1,363人

区 分	節目検診	節目外検診
C型肝炎ウイルス	26人	1,363人
感染の可能性の高い者	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
感染の可能性の低い者	26人	1,363人
B型肝炎ウイルス	26人	1,363人
陽性	0人 (0.0%)	9人 (0.7%)
陰性	26人	1,354人

いきいき健診

40歳未満で労働安全衛生法に基づく健康診査や学校保健法による定期健診等の対象に該当しない方にも健康診査を受ける機会を提供し、若い頃から健康診査を受け、健康状態を把握することで生活習慣病を予防することを目的としたいきいき健診を実施した。

受診結果（受診者数 140人）

年齢区分	異常なし	有所見 健康	要経過 観察	要二次 検査	要医療	計
20-24	1人	0人	2人	4人	0人	7人
25-29	1人	3人	6人	5人	1人	16人
30-34	1人	4人	14人	16人	2人	37人
35-39	4人	17人	33人	23人	3人	80人
計	7人	24人	55人	48人	6人	140人

がん検診

区 分	胃がん		肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん (マンモ)	乳がん (エコー)	前立腺がん	
	(バリウム)	(カメラ)							
対象者数	102,729人				71,490人	54,881人	—	21,072人	
受診者数	10,401人		15,031人	14,172人	4,708人	3,663人	2,674人	1,506人	
内 訳	医療機関	1,635人	7,902人	13,574人	12,624人	2,313人	1,981人	—	1,323人
	妊婦健診 実施分	—	—	—	—	1,113人	—	—	—
	集団	864人	—	1,457人	1,548人	1,282人	1,682人	2,674人	183人
受診率	13.6%※1		14.6%	13.8%	13.2%※2	13.7%※2	—	7.1%	

※1：（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」）÷「当該年度の対象者数」×100 で算出

新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業（無料クーポン券）

松阪市が実施するがん検診において、特定の年齢に達した方に対して、子宮頸がん、乳がんに関するがん検診無料クーポン券を送付し、検診受診率の向上を図った。

子宮頸がん検診（20歳）	対象者	受診者数			受診率
		個別	集団	合計	
平成9年4月2日～平成10年4月1日	824人	23人	10人	33人	4.0%

※上記の子宮頸がん検診受診率の中には、妊婦健診における受診者数は含まれない。

乳がん検診（40歳）	対象者	受診者数			受診率
		個別	集団	合計	
昭和52年4月2日～昭和53年4月1日	1,056人	160人	133人	293人	27.7%

松阪市40歳・50歳限定優待受診券

松阪市が独自の取り組みとして、特定の年齢に達した方に対して、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がんに関する限定優待受診券を送付し、検診受診率の向上を図った。

40歳	昭和52年4月2日～昭和53年4月1日
50歳	昭和42年4月2日～昭和43年4月1日

松阪市40歳・50歳限定優待受診券対象		対象者	受診者数			受診率
			個別	集団	合計	
胃がん検診（50歳）	バリウム	2,315人	33人	7人	40人	1.7%
	胃カメラ		183人	—	183人	7.9%
	合計		216人	7人	223人	9.6%
肺がん検診（40歳）		2,081人	186人	61人	247人	11.9%
大腸がん検診（40歳）		2,081人	195人	60人	255人	12.3%
子宮頸がん検診（40歳）		1,058人	156人	64人	220人	20.8%

平成29年度の各がん検診追跡調査結果

がん検診で要精密検査に判定された方の精密検査結果について追跡調査を実施した。

区分	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん（マンモ）
がん発見率	0.07%	0.03%	0.15%	0.03%	0.25%

がん検診啓発

月	内容	実施場所	参加人数
6月	各事業所へ窓口等でのポスター掲示の協力依頼	358か所	
6月10日	歯と口腔の健康まつりでがん検診啓発	クラギ文化ホール	150人
7月	店舗でのがん検診街頭啓発	マーム、アピタ	977人
6月～2月	保育園・子育て支援センター・幼稚園等でのピンクリボン啓発	各園	教育9園183人 資料配布のみ 12園1,002人
6月～3月	乳幼児子育て教室、各住民協議会等でのがん検診講座	20回	769人

7月～12月	啓発キャンペーン「誘って誘って受けようキャンペーン」 子宮頸がん・乳がん検診受診者に誘い合って検診を受けていただいた方の中から抽選で景品をプレゼント	子宮頸がん・乳がん検診実施医療機関、各集団検診会場	応募者 308人 当選者 193人
9月5日	乳がん医師講演会	健康センターはるる	50人
9月9日	健康フェスティバルでの啓発	クラギ文化ホール	377人
10月14日	胃がん撲滅元年講演会「がんは予防の時代～ピロリ菌検査による胃がんの確実な予防法～」	産業振興センター	90人
10月（ピンクリボン月間）	広報・文字放送・借金時計情報掲示・市街地循環コミュニティボード掲示・のぼり旗・YOUまつさか等による啓発を実施		
10月21日	がん検診啓発まつさかピンクリボン～がん検診を受けよう～ワークセンターフェスティバルでの実施	ワークセンター松阪	831人
11月1日 発送	胃・肺・大腸・乳・子宮頸がん検診を7月から9月までの未受診者に対する受診勧奨通知	40歳限定優待対象者 50歳限定優待対象者	2,061人 813人
10月28日	松阪市三雲嬉野ふれあい健康まつりでのがん検診啓発	ハートフルみくも保健福祉センター	197人
3月（女性の健康週間）	乳がんモデルによる自己触診体験・ポスター展示とパンフレット等の配布	健康センター・各地域振興局・保健センター	634人
3月21日	市民公開講座（松阪市民病院主催）でのがん検診啓発	クラギ文化ホール	70人

女性が受けやすい体制整備

託児つき検診の実施 4回 88人利用

乳がんマンモグラフィ日曜検診の周知・啓発

10月21日（日） 済生会松阪総合病院・桜木記念病院・松阪中央総合病院・松阪市健診センターピーす

がん集団検診のインターネット予約受付

集団でのがん検診等の予約を24時間インターネットで受付できる環境とすることで、市民の利便性を図ることを目的にインターネット予約受付を開始した。

インターネット予約 項目別受付数

	子宮頸がん	乳がん（マンモ）	乳がん（エコー）
全予約定員数	1,725人	1,969人	2,765人
インターネット予約数	476人	421人	1,265人
割合	27.6%	21.4%	45.8%

中学生ピロリ菌検査事業

住所を有する中学3年生で本人及びその保護者が希望し同意した方を対象に、ピロリ菌検査（一次検査・二次検査）を実施した。除菌治療対象者で生活保護受給世帯・就学援助受給世帯の方には助成金を交付した。

〈実施期間〉

一次検査：平成30年4月～8月31日

二次検査：平成30年6月～平成31年3月31日

①一次検査（尿中抗体検査）：学校検尿等で実施

対象者数	検査実施者数	陽性者数	陰性者数	実施率	陽性率
1,542人	982人	64人	918人	63.7%	6.5%

②二次検査（便中抗原検査）：指定医療機関で実施

対象者数	検査実施者数	陽性者数	陰性者数	実施率	陽性率	ピロリ菌陽性率
64人	52人	17人	35人	81.3%	32.7%	1.7%

※11月に二次検査受検勧奨を21人に行い、そのうち8人が二次検査を受検した。

※ピロリ菌陽性率 = 二次検査陽性者数 ÷ 一次検査実施者数 × 100

歯周病検診（医療機関委託）

平成30年度から国の指針に合わせ対象者を40、50、60、70歳の節目年齢に見直し実施した。

対象者数	受診者数	受診率
6,103人	337人	5.5%

骨粗しょう症検診

受診者数	結果内訳		
	正常	経過観察	要精検
640人	217人	418人	5人

事業名	訪問指導事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
17,922		5,000			12,922	168,379

療養上の保健指導が必要である方に対して訪問指導を行った。

訪問指導実人数 47人 訪問指導延件数 59件

事業名	中学生ピロリ菌除菌治療費助成金				健康づくり課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
17,000					17,000	—

中学生ピロリ菌検査事業の二次検査で陽性判定となり、指定医療機関で除菌治療を実施した生活保護受給世帯・就学援助受給世帯に対し治療費を助成した。

除菌治療状況：指定医療機関で実施（平成31年3月末時点）

	除菌治療 対象者数	一次除菌治療 実施者数	一次除菌判定		一次除菌 成功率	除菌治療 中断者数
			陽性	陰性		
除菌治療費 助成金対象者	3人	2人	0人	2人	100%	1人

助成対象期間（除菌治療）：二次検査結果通知後～令和元年6月30日

（除菌治療判定検査）：除菌治療終了8週間後～令和元年8月31日

(款) 4衛生費 (項) 1保健衛生費 (目) 8保健センター費

(単位 円)

事業名	健康センター管理運営事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
21,000,095					21,000,095	17,822,913

健康センターの施設維持に係る経費

需用費 5,730,034円、役務費 852,361円、委託料 12,021,382円、
使用料及び賃借料 2,396,318円

事業名	健康センター施設整備事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
31,160,160			28,600,000		2,560,160	4,860,000

平成29年2月の松阪・伊勢・津地域における麻しん集団発生を受け、一次救急においても感染対応できる施設として、松阪市健康センター・休日夜間応急診療所に特別診察室を整備した。

工事請負費 30,209,760円（松阪市健康センター増築工事）、備品購入費 950,400円

事業名	三雲保健福祉センター管理運営事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,582,089				3,017,200	16,564,889	19,559,101

需用費 2,045,196円、役務費 76,481円、委託料 17,431,000円、使用料及び賃借料 29,412円

利用状況

区 分	人 数	区 分	人 数
一般浴室	4,906人	いこいの間	3,411人
マッサージ機	1,246人	会議室等	6,419人
ヘルストロン	4,336人		
カラオケ	1,242人		
プレイルーム	718人	計	22,278人

事業名	飯高保健センター管理運営事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,471,899				732,088	4,739,811	5,245,539

需用費 1,809,764円、役務費 222,546円、委託料 1,231,200円、使用料及び賃借料 97,417円、
賃金・共済費 2,110,972円

利用回数 284回、利用人数 3,422人

事業名	飯高保健センター施設整備事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,962,360			1,900,000		62,360	—

平成31年度に実施する飯高保健センター及び森診療所空調設備更新工事設計業務の経費を支出した。

事業名	指定管理者選定委員会事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
50,032					50,032	—

平成31年度から5年間の指定管理者候補を選定するため、指定管理者審査選定委員会を開催した。

指定管理者審査選定委員会（三雲保健福祉センター）

第1回…平成30年7月13日、第2回…平成30年9月21日

(款) 4衛生費 (項) 1保健衛生費 (目) 9歯科センター費

(単位 円)

事業名	歯科センター管理運営事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,565,611				2,301,535	5,264,076	8,155,467

休日の歯科急病に対し応急診療を実施した。

診療日数	患者人数	1日平均患者数	従事者数		
			歯科医師	歯科衛生士	事務員
71日	291人	4人	1人	1人	1人
			延 72人	延 72人	延 72人

(款) 4衛生費 (項) 1保健衛生費 (目) 10地域医療推進費

(単位 円)

事業名	地域医療推進事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
38,962,735				1,087,000	37,875,735	39,871,037

救急医療体制の充実を図って、休日・夜間における一次救急医療を委託し実施した。

(委託先) 松阪地区医師会 8,562,000円 松阪地区薬剤師会 2,000,000円

いおうじ応急クリニック

一次救急医療体制の拡充のため、木曜・年末年始の12時30分～20時及び火曜・金曜の22時30分～翌8時の時間帯における一次救急医療の診療業務をいおうじ応急クリニックに委託した。

委託期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

委託日数 150日

委託金額 25,809,120円

患者数

	患者数	1日平均患者数
内科	1,209人	8.1人
外科	516人	3.4人
小児科	581人	3.9人
計	2,306人	15.4人

救急医療を考える集い

広く市民に対し救急医療及び救急業務のあり方について啓発を行うとともに、応急手当及び治療の訓練と知識の普及を図った。

開催日 平成30年 9月9日 (日)

開催場所 農業屋コミュニティー文化センターほか

入場者 3,500人

内 容 健康フェスティバル2018とともに開催。応急手当の啓発と訓練、交通事故防止、濃煙体験等の参加体験型の催しを実施し、『救急・災害医療を考える』と題して講演会を開催した。

三重県救急医療情報システムに加入し、市民に救急医療の的確な情報を提供した。

三重県救急医療情報システム負担金 1,817,615円

事業名	病院群輪番制病院運営費補助金				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
34,523,000				7,596,000	26,927,000	34,523,000

休日・夜間における二次救急医療の実施に対し、補助金を交付した。

松阪市民病院 123日（うち、休日 23日、土曜日 17日）

松阪中央総合病院 196日（うち、休日 22日、土曜日 19日）

済生会松阪総合病院 167日（うち、休日 28日、土曜日 12日）

事業名	地域医療安定化対策支援補助金				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,060,000					5,060,000	5,060,000

松阪市内唯一の看護師専門学校の高の向上と安定した経営を図り、救急医療に対して市民の認識を高め、かかりつけ医を持つことの大切さを啓発していくため補助金を交付した。

松阪看護専門学校運営に対する補助 38,000円×120人=4,560,000円 上限生徒数120人
在籍生徒数128人。平成30年度国家試験合格者38人、そのうち松阪地域への就業者31人（79.4%）

救急医療・在宅医療啓発事業に対する補助 2,286,086円×1/3=762,028円 上限額500,000円

平成30年12月9日健康まつり開催（松阪地区医師会主催）

参加者数 687人

地域医療や在宅医療をテーマとした講演会を開催。また健康相談や健康診断などを実施した。

事業名	小児救急輪番制運営事業補助金				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,786,000		8,524,000		937,000	3,325,000	12,786,000

小児救急医療の二次体制の実施に対し、補助金を交付した。

松阪中央総合病院 486日（うち、休日 73日、土曜日 48日）

事業名	休日夜間応急診療所管理運営事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
116,421,556				96,978,598	19,442,958	114,404,767

休日・夜間における一次応急診療体制の確立を図った。

休日夜間応急診療所

区分	診療 日数	患者数							
		内科	1日平均	小児科	1日平均	外科	1日平均	計	1日平均
休日診療	71日	3,022人	42.6人	2,857人	40.2人	1,108人	15.6人	6,987人	98.4人
夜間診療	365日	3,149人	8.6人	1,223人	3.4人	—	—	4,372人	12.0人
深夜診療	52日	188人	3.6人	95人	1.8人	—	—	283人	5.4人
計		6,359人		4,175人		1,108人		11,642人	

区分	従事者数			
	医師	薬剤師	看護師	事務員
休日診療	3人	1人	3人	2人
	延 213人	延 103人	延 246人	延 161人
夜間診療	1人	1人	1人	2人
	延 386人	延 386人	延 406人	延 733人
深夜診療	1人	1人	1人	1人
	延 52人	延 52人	延 52人	延 52人
計	延 651人	延 541人	延 704人	延 946人

平成29年度より一次応急診療の充実のため毎週土曜24時から翌6時まで深夜帯の診療を実施した。

開業医と勤務医の意思の疎通を図るため11月13日、3月28日に3病院連絡会議を開催した。
休日夜間応急診療所の円滑な運営のため担当者会議を1月18日に開催した。

事業名	松阪市民病院事業会計繰出金				健康づくり課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
8,424,000					8,424,000	14,324,200

地域医療構想推進のため松阪市民病院事業会計へ繰出を行った。

(款) 4衛生費 (項) 1保健衛生費 (目) 11診療所費 (単位 円)

事業名	飯高診療所事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
2,550,110					2,550,110	2,678,584

過疎地域における医療不安の解消と地域住民の健康を守るため、指定管理者制度により運営する宮前・森・波瀬・飯高歯科の各診療所管理経費を支出した。

診療所名	年間総患者数	診療日数	1日平均患者数
宮前診療所	12,991人	235日	55.3人
森診療所	9,181人	231日	39.7人
波瀬診療所	1,458人	136日	10.7人
飯高歯科診療所	264人	222日	1.2人

事業名	飯高診療所医療機器整備事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
1,328,572					1,328,572	1,431,000

医師の意向を聴き取り、医療機器の充実を図った。

- 超音波画像診断装置一式 (宮前診療所)
- 心筋・胸痛マーカー簡易迅速測定装置一式 (宮前診療所)
- 血液凝固分析装置一式 (森診療所)

事業名	飯南眼科クリニック事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
9,957,042				9,957,042		10,384,302

過疎地域における住民の医療不安解消のため、公設公営により眼科診療を行った。

年間総患者数 4,627人、診療日数 238日、1日平均患者数 19.4人

事業名	嬉野宇気郷診療所事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
97,200					97,200	97,200

過疎地域における住民の医療不安の解消と健康を守るため開設した嬉野宇気郷診療所の管理経費を支出した。

事業名	指定管理者選定委員会事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
50,215					50,215	—

平成31年度から5年間の指定管理者候補を選定するため、指定管理者審査選定委員会を開催した。

指定管理者審査選定委員会（宮前診療所、森診療所、波瀬診療所）

第1回…平成30年7月30日、第2回…平成30年10月4日

（款）4衛生費 （項）1保健衛生費 （目）12水道費 (単位 円)

事業名	水道事業会計繰出金				上下水道総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
115,160,123				540,123	114,620,000	110,848,000

飯南・統合水道建設改良事業分（公債費 46,557,000円）

飯高・統合水道建設改良事業分（公債費 65,623,000円）

児童手当に要する経費（2,440,000円）

広島県応急給水に要する経費（540,123円）

（款）4衛生費 （項）1保健衛生費 （目）13病院費 (単位 円)

事業名	松阪市民病院事業会計繰出金				市民病院経営管理課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
906,897,000					906,897,000	900,839,000

松阪市民病院事業会計繰出金 906,897,000円

内 訳	金 額
救急医療の確保に要する経費	61,678,000
医師及び看護師等の研究研修に要する経費	23,122,000
病院の建設改良（元金償還金）に要する経費	473,906,000
病院の建設改良（利子償還金）に要する経費	88,128,000
医師確保対策に要する経費	156,270,000
基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費	50,731,000
共済追加費用の負担に要する経費	24,192,000
病院の建設改良（建設改良費）に要する経費	12,500,000
児童手当に要する経費	16,370,000
計	906,897,000

事業名	松阪市民病院建設基金積立金				市民病院経営管理課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,890				19,890		37,209

平成30年度末基金現在高 49,781,602円

(款) 4衛生費 (項) 2清掃費 (目) 1清掃総務費

(単位 円)

事業名	清掃一般経費				清掃事業課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,032,925				18,920	11,014,005	13,083,972

一般廃棄物処理業等の許可やごみ収集カレンダーを作成し、配布することで安定した円滑な事業運営に努めた。また、労働安全衛生法に基づく、産業医の委嘱、健康診断等を実施し、職員の健康管理を行うとともに、安全衛生関係研修の受講及び資格取得により、職員の安全衛生意識の向上に努めた。また、法に基づく施設等の保守点検を実施し、維持管理を行った。

区分	事業内容	事業費
委託料	浄化槽保守委託 25,920 産業医委託 180,000 安全運転研修委託 110,160	316,080
賃金等	非常勤職員関係 3人分	5,275,419
需用費	コピーカウント料、燃料費、ごみ収集カレンダー、うれしのを美しくする運動ごみ袋 ほか	3,731,352
その他	自動車リース代、浄化槽法定点検・汚泥採取手数料、研修会負担金 ほか	1,710,074
	計	11,032,925

「うれしのを美しくする運動」では、わたしの手でわたしのまちを美しくをテーマに平成9年より自治会を中心に清掃活動を行っている。この活動により、地域の環境美化及び住民のごみ減量に対する意識の向上を図った。

嬉野管内における市民総出のうれしのを美しくする運動 (H30.5.20実施)

区分	参加人数	種類	回収量
小学生以下	963人	燃えるごみ	1,880kg
中学生	114人	燃えないごみ	650kg
高校生以上	6,168人	缶・金属類	690kg
計	7,245人	計	3,220kg

事業名	クリーンセンター管理事業費				清掃施設課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,611,871				14,611,871		14,572,005

清掃、除草及び土砂撤去等の業務委託により適正な施設の維持管理に努めた。
なお、平成30年度の当施設への見学・視察については、37団体・1,240人であった。

区分	事業内容	事業費
委託料	清掃業務委託 6,760,392 除草業務委託 1,215,000 立野町内排水路土砂撤去等業務委託 200,000	8,175,392
賃金等	非常勤職員賃金2人 賃金共済費	4,399,085
需用費	コピーカウント料、燃料代、修繕料ほか	721,293
その他	自動車リース代、研修会等出席負担金、旅費ほか	1,316,101
	計	14,611,871

事業名	最終処分場管理事業費				清掃施設課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,433,637				5,486	8,428,151	7,688,515

清掃、除草等の業務委託により適正な施設の維持管理に努めた。

また、各施設の消防設備、し尿浄化槽の保守点検を行い機能の正常化を図ることができた。

	事業内容	事業費
委託料	清掃業務委託 2,909,520 草刈業務委託 2,503,500 し尿浄化槽維持管理業務委託（年4回） 15,120 水処理棟し尿浄化槽維持管理業務委託（年3回） 17,280 消防用設備点検業務委託（年2回） 32,400	5,477,820
賃金等	非常勤職員賃金1人 賃金共済費	2,161,784
需用費	燃料代、領収書印刷代 ほか	262,334
その他	自動車リース代、浄化槽法定検査・清掃、コピー機・プリンター借上料 ほか	531,699
	計	8,433,637

事業名	汚染負荷量賦課金				清掃施設課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
461,140				461,140		386,080

公害健康被害の補償等に関する法律第55条第1項に基づいて、大気系の公害認定（ぜんそく、気管支炎等）を受けた被害者に対して支払われる医療費、障害補償費などの給付に要する費用に充てるために、ばい煙発生施設設置者が排出した硫黄酸化物の排出量に応じて申告納付するもの。

	事業内容	納付額
	松阪市リサイクルセンター 過去分（旧第一清掃工場分）	98,700円
	松阪市クリーンセンター 過去分（旧第二清掃工場分）	167,640円
	現在分	190,401円
	小計	358,000円 (100円未満切捨)
	合計	456,700円

汚染負荷量賦課金申告納付説明会旅費 1人 4,440円（四日市市）

事業名	上川町遊歩道公園管理事業費				清掃施設課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,931,789					8,931,789	9,727,693

芝生、樹木管理、除草等の業務委託により適正な公園の維持管理に努めた。

区分	事業内容	事業費
委託料	清掃業務委託 401,016 駐車場等夜間警備業務委託 576,720 し尿浄化槽維持管理業務委託 25,920 草刈業務委託 1,139,867 芝生管理及び樹木管理業務委託 5,900,000	8,043,523
需用費	施設用消耗品、公園電気・水道代 ほか	623,217
その他	浄化槽法定検査・清掃、複合遊具点検、原材料	265,049
	計	8,931,789

事業名	松ヶ崎公園管理事業費				清掃事業課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,069,373				806,348	11,263,025	12,510,534

一般廃棄物最終処分場跡地に整備された松ヶ崎公園は、運動公園として位置づけ、多目的グラウンド、芝生広場等、子どもから大人まで健康、体力づくりができる遊歩道公園として、また、災害による避難場所となる防災公園として、維持管理を平成19年度より実施し、今年度も継続して行った。

区分	事業内容	事業費
委託料	公園管理業務委託（清掃 1,026,990 草刈 1,573,200） 浄化槽保守管理業務委託 181,440 植栽管理業務委託 5,600,000 電気設備保守点検委託 156,816 公園警備委託 1,302,636	9,841,082
需用費	施設用消耗品、公園電気水道代 ほか	2,065,104
その他	電話代、浄化槽法定点検・汚泥採取手数料、AED借上料	163,187
	計	12,069,373

グラウンド利用状況

種目	利用回数	うち夜間利用回数	金額
ソフトボール	84	34	297,016
野 球	50	43	
サッカー	300	155	494,212
その他	10	4	15,120
計	444	236	806,348

(款) 4衛生費 (項) 2清掃費 (目) 2塵芥処理費 (単位 円)

事業名	塵芥収集事業費				清掃事業課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
365,000,461				11,880	364,988,581	363,427,515

ごみ収集事業（燃えるごみ週2回、燃えないごみ月2～3回、資源物回収〔プラスチック容器・袋以外〕月1回、プラスチック容器・袋週1回、自治会等の清掃活動によるごみ回収、犬猫死体の回収など）を実施した。

収集車両の日常点検や車検、法定点検等車両整備を実施し、安全走行・作業に努めた。

「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」に基づき、市の許可を受けたし尿処理業者への支援を目的とした合理化事業を実施する為、本庁管内、嬉野管内では一般廃棄物収集運搬業務委託を実施した。

三雲管内、飯南・飯高管内では、一般廃棄物収集運搬業許可業者に委託し、燃えるごみ・燃えないごみ・資源物について、適正に収集運搬処理を行った。

不法投棄を未然に防止、早期発見することを目的として、昼間及び夜間における不法投棄監視パトロールを定期的に行う不法投棄防止監視パトロール業務委託を実施した。

飯南・飯高管内では、管内から発見された不法投棄ごみ等を処理（1,770kg）することにより、環境美化に寄与した。また、飯南管内の各自治会が7月下旬から8月上旬にかけて行った夏季道路清掃活動により発生した木くず2,480kgを市内処分業者でリサイクルした。

事業内容	事業費
一般廃棄物収集運搬業務委託（合特事業・本庁管内）	166,122,000
一般廃棄物収集運搬業務委託（合特事業・嬉野管内）	99,252,000
三雲地区可燃ごみ等収集運搬業務委託	38,836,800
飯南・飯高管内ごみ収集運搬業務委託	34,369,200
不法投棄防止監視パトロール業務委託	958,824
環境パトロール業務委託、自治連合会による不法投棄ごみ処分委託ほか（嬉野管内）	384,878
夏季道路清掃収集運搬処分委託、不法投棄収集運搬委託（飯南・飯高管内）	234,921
使用済スプレー缶等処理装置借上	3,123,360
夏季道路清掃から発生する汚泥等仮置地土地借上（飯南・飯高管内）	20,000
車検、点検、車両等修理、修理部品等経費 ほか	11,908,439
燃料（軽油 [61,425ℓ] ガソリン [1,371ℓ]）	8,686,199
自動車自賠責保険料、重量税（24台）	1,103,840
計	365,000,461

ごみ量実績（本庁管内）

区分	収集分
燃えるごみ	24,394t
燃えないごみ	2,038t
危険ごみ	36t
蛍光管	7t
埋立物	4t
資源物10品目	1,044t
計（A）	27,523t

ごみ量実績（嬉野管内）

区分	収集分
燃えるごみ	3,750t
燃えないごみ	248t
危険ごみ	10t
蛍光管	2t
埋立物	0t
資源物10品目	254t
計（B）	4,264t

ごみ量実績（三雲管内）

区分	収集分
燃えるごみ	2,960t
燃えないごみ	131t
危険ごみ	7t
蛍光管	1t
埋立物	0t
資源物10品目	306t
計（C）	3,405t

ごみ量実績（飯南・飯高管内）

区分	収集分
燃えるごみ	1,358t
燃えないごみ	101t
危険ごみ	9t
蛍光管	1t
埋立物	0t
資源物10品目	298t
計（D）	1,767t

ごみ量実績（全体）

区分	許可	持込
燃えるごみ	13,108t	3,780t
燃えないごみ	144t	463t
危険ごみ	0t	0t
蛍光管	0t	1t
小型家電		10t
埋立物	10t	563t
資源物10品目	79t	355t
計（E）	13,341t	5,172t

総ごみ量 = (A) + (B) + (C) + (D) + (E) = 55,472t

事業名	ごみ処理事業費	清掃施設課			
決算額	財源内訳				【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	
316,397,268				316,397,268	278,085,099

6月12日の異物混入に伴う高速回転式破砕機の緊急修繕等かつ、ごみ処理施設運転維持管理業務委託や法に基づく施設等の保守点検等実施により適正なごみ処理を行った。また、水質等検査の実施により周辺地域の環境保全にも努めた。

区 分	事 業 内 容	事業費
焼却及び破砕 選別関係	ごみ処理施設運転維持管理業務委託	277, 221, 305
	全都清廃棄物処理プラント保険料(H30.11~H31.3)	473, 610
	施設の直営管理物品費、水質等検査手数料ほか	2, 706, 718
	小 計	280, 401, 633
運搬車関係	運搬車、重機の維持管理費	3, 018, 440
その他	高速回転式破砕機緊急修繕、不法投棄家電等処分手数料ほか	32, 977, 195
	合 計	316, 397, 268

ごみ処理量

区 分	可燃物	焼却施設稼働及び処理内容	
		稼働日数 350日、全休日数15日	
直営等収集（直営・委託）	32, 462 t	1号炉運転日数 271日、休炉整備等日数 94日	
持ち込み（一般・許可・免除）	16, 888 t	2号炉運転日数 282日、休炉整備等日数 83日	
選別残渣（不燃物から出た可燃物）	842 t	焼却灰搬出回数 1, 097台	
計	50, 192 t	焼却灰 6, 014 t（主灰4, 246 t、飛灰1, 768 t）	
		可燃破砕鉄 2 t	
区 分	不燃物	破砕選別施設稼働及び処理内容	
		稼働日数 197日/256日（年間勤務日：256日）	
直営等収集（直営・委託）	2, 518 t	破砕処理量 3, 023t	
持ち込み（一般・許可・免除）	607 t	（破砕鉄894t、埋立1, 184t、破砕アルミ103t	
計	3, 125 t	破砕可燃物842t）	
		その他 102t（粗大鉄99t、粗大アルミ3t）	

クリーンセンターにおける電力関係

発電電力量	発電に対する売電電力量	売電金額
22, 592, 370kwh	16, 036, 459kwh	250, 489, 217円
消費電力量	中部電力からの購入電力量	
6, 745, 261kwh	189, 350kwh	

事業名	最終処分場事業費				清掃施設課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
40, 023, 916				40, 023, 916		37, 059, 574

浸出水処理施設運転管理委託や浸出水の水質検査を実施し、継続的な水質の監視並びに保全に努め、ごみの適正処理、施設の適正運営を行った。

区分	処理量
焼却灰	6, 014 t
破砕埋立物	1, 184 t
直接埋立物	577 t
計	7, 775 t

区 分	事 業 内 容	事業費
浸出水処理 関係	浸出水処理施設運転管理業務委託	8, 942, 400
	水質検査手数料	1, 977, 912
	処理薬品及び施設修繕用消耗品	3, 915, 978
	浸出水処理施設修繕	13, 912, 560
	活性炭取替等再生業務委託	2, 478, 600
	自家用電気工作物の保安管理業務委託	211, 248
	小 計	31, 438, 698
運搬車関係	運搬車、重機の維持管理費	861, 761
その他	運営経費、光熱水費、土壌検査手数料 ほか	7, 723, 457
	合 計	40, 023, 916

事業名	廃棄物集積所設置補助金				清掃事業課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,921,200					2,921,200	2,400,800

ごみ集積所・資源物集積所を建設する自治会その他廃棄物集積所を集団で管理する者に対し補助を行い、地区の美観及び衛生面の向上を図った。総工事費の1/2補助、最高限度額は、新設・建替 100,000円 修繕25,000円

区域別	件数	事業費	補助金
本庁管内	28件	5,993,170	1,967,000
嬉野管内	4件	608,900	245,400
三雲管内	8件	1,020,832	510,300
飯南管内	2件	412,684	198,500
飯高管内	0件	0	0
計	42件	8,035,586	2,921,200

事業名	塵芥収集車購入事業費				清掃事業課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
21,642,702		4,400,000			17,242,702	20,227,320

収集車両の老朽化に伴い、年次計画に基づく買い替えを行い、運行安全対策及び清掃事業の円滑な遂行を図った。経過年数7年、走行距離10万kmをめどに更新を図っている。

3.5t塵芥収集車 1台 6,982,394円 2t塵芥収集車 1台 6,581,908円
2t散水車 1台 3,704,400円 ショベルローダー 1台 4,374,000円

事業名	塵芥処理一般経費				清掃事業課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,313,628				823,480	9,490,148	8,115,742

ごみ処理事業全般にかかる経費で、主にリサイクルセンター周辺の水質検査等を実施し、周辺環境の保全に努めた。結果は基準値以下だった。

区分	事業内容	事業費
手数料	リサイクルセンター周辺 土壌検査 140,400、水質・ダイオキシン類検査 646,704 ほか	878,604
委託料	高須処分場跡地管理 1,785,000、汚水処理施設保守点検 486,000、電気設備保守点検 233,280 ほか	2,604,280
需用費	作業用消耗品、光熱水費、施設修繕 ほか	6,801,584
その他	原材料費	29,160
	計	10,313,628

(款) 4衛生費 (項) 2清掃費 (目) 3省資源再資源化事業費 (単位 円)

事業名	リサイクル事業費				清掃政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
58,866,491				34,532,526	24,333,965	58,041,471

分別回収した資源物を再生利用に向けて処理した。リサイクルの品質基準を保持するために、回収したプラスチック容器・袋や白色トレイ、ペットボトル、アルミ缶、空ビンなどの資源物を二次選別して、圧縮梱包など中間処理を行った。

資源物選別作業等委託料 40,264,225円
資源物再資源化委託料 487,544円
乾電池等運搬処理委託料 4,268,433円 ほか

資源物の回収にかかる経費、施設の運用(選別作業、受付)にかかる経費、施設維持管理に係る経費

直接資源化量

種類	資源化量
新聞紙	177,220kg
雑誌・雑紙	227,210kg
ダンボール	156,470kg
古着類	126,940kg
牛乳パック	4,623kg
ペットボトル	168,950kg
プラスチック容器・袋	607,380kg
白色トレー	7,520kg
アルミ缶	30,740kg
空ビン	828,000kg
小型家電	9,734kg
小計①	2,344,787kg

ごみからの資源化量

種類	資源化量
鉄	1,025,910kg
アルミ（アルミ缶を除く）	110,850kg
乾電池	26,763kg
蛍光管	12,437kg
小計②	1,175,960kg
合計①+②	3,520,747kg

[平成29年度の三雲リサイクルセンター管理事業費 7,123,854円を統合]

[平成29年度の飯南・飯高ごみ減量推進事業費 1,379,413円を統合]

事業名	ごみ減量対策事業費				清掃政策課	
	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
決算額	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
1,956,939					1,956,939	2,234,256

ごみの排出を減らすために、小学生や転入者などを対象にした啓発冊子、啓発物品を作成し、リデュース、リユース、リサイクルの3Rを推進した。また、市内小中学生を対象とした標語入りポスターの募集やイベント事業への参加、広報紙による啓発などを実施した。

松阪市リサイクルセンターを拠点に各種リサイクル講座の開催や工場見学などを実施して、リサイクル意識の醸成に努めた。また、松阪市3Rサポーター（15人：平成31年3月現在）と協働して啓発事業を展開した。

ごみ減量・3Rを推進する標語入りポスター（優秀賞 6点 佳作 12点・応募総数 875点）

わたしたちのくらしとごみ 2,200部

啓発物品（袋セット） 3,000個 ほか

会議・講座実施回数

3Rサポーターズ会議（3回）

生ごみ堆肥化講座（10回 参加者142人）、フォローアップ講座（5回 参加者47人）

夏休み親子環境学習（1回、参加者 10組25人）

環境講座（14回 参加者839人）

事業名	生ごみ堆肥化容器等購入補助金				清掃政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
550,300					550,300	653,700

ごみの排出の抑制を目的として、燃えるごみとして捨てられる生ごみを堆肥化するために、生ごみ堆肥化容器等の購入者に対して、購入にかかる費用の一部の補助を行った。

地域	補助内容	交付者数	補助金額	成果
本庁	生ごみ堆肥化容器等を購入した場合、購入費に対して1/2を補助する。 限度額：3万円	13件	363,800円	燃えるごみの約10% を占める生ごみの減量につながった。
		18件	15,700円	
		6件	2,200円	
嬉野		3件	90,000円	
		1件	700円	
三雲		1件	30,000円	
		0件	0円	
飯南		0件	0円	
		2件	11,800円	
飯高		1件	30,000円	
	1件	6,100円		
生ごみ処理機 小計		18件	513,800円	
生ごみ堆肥化容器 小計		22件	34,300円	
堆肥化用基材 小計		6件	2,200円	
合計		46件	550,300円	

事業名	資源物集団回収活動補助金				清掃政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,290,742					9,290,742	10,061,019

ごみ減量と資源化を促進し、活動を通じてリサイクル意識の醸成を図るために、資源物集団回収活動を行った自治会やこども会などの団体に対して、回収量に応じて補助金を交付した。

事業名	資源物集団回収活動補助金					合計	
	本庁	嬉野	三雲	飯南	飯高		
回収実績	新聞	973,690kg	286,600kg	117,140kg	63,860kg	17,650kg	1,458,940kg
	雑誌雑紙	487,530kg	154,657kg	41,520kg	37,230kg	11,060kg	731,997kg
	ダンボール	487,342kg	176,575kg	48,320kg	51,220kg	8,670kg	772,127kg
	古着類	103,465kg	11,333kg	4,730kg	2,130kg	0kg	121,658kg
	牛乳パック	8,711kg	438kg	94kg	760kg	0kg	10,003kg
	計	2,060,738kg	629,603kg	211,804kg	155,200kg	37,380kg	3,094,725kg
交付先	ビン類	0本	420本	0本	1,769本	0本	2,189本
	自治会	183団体	49団体	1団体			233団体
	こども会	11団体	7団体	24団体			42団体
	PTA	11団体	7団体	2団体	3団体	1団体	24団体
	その他団体	6団体	5団体	2団体			13団体
計	211団体	68団体	29団体	3団体	1団体	312団体	
市補助金	6,182,214円	1,890,069円	635,412円	470,907円	112,140円	9,290,742円	

事業名	リサイクルセンター管理事業費				清掃政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,020,203				3,061	14,017,142	13,532,074

松阪市リサイクルセンターの維持管理、既存設備の保守管理などを行った。

光熱水費 6,351,914円
 施設維持管理等委託料 5,934,504円
 非常勤職員賃金(1名) 1,022,300円 ほか

事業名	一般廃棄物処理基本計画等策定事業費				清掃政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,187,000					2,187,000	7,802,360

循環型社会形成推進交付金制度に基づき、廃棄物処理施設整備事業の施設整備を実施するための循環型社会形成推進地域計画(第3期)を策定した。

委託料 2,187,000円
 契約期間 平成30年5月29日～平成31年3月25日
 計画期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日

事業名	省資源再資源化一般経費				清掃政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,090,777					1,090,777	925,189

災害廃棄物処理人材育成実地研修(広島県・岡山県)及び最終処分場建設に係る先進地視察(鹿児島県)、ペットボトルの資源再生品質検査立ち合い(三重県)などを行った。

旅費 277,990円
 使用料及び賃借料 連絡車(2台)リース料など 499,417円 ほか

(款) 4衛生費 (項) 2清掃費 (目) 4ごみ処理施設建設費 (単位 円)

事業名	ごみ処理基盤施設建設事業費				清掃政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
75,683,027	8,046,000		15,200,000		52,437,027	144,051,728

ごみ処理基盤施設建設事業に係るクリーンセンター整備事業の関連業務として、平成30年度は下記の業務を実施した。

事業名	事業内容	事業費
資源物保管庫建設工事 監理業務委託	業務内容：資源物保管庫建設工事の監理 工 期：H30.10.15～R01.5.31 契約金額：3,790,800円	0円
クリーンセンター 資源物保管庫建設工事	工事内容：資源物保管庫の建設工事 工 期：H30.10.10～R01.5.31 契約金額：60,351,480円	24,140,000円
松阪第2環状線 道路復旧工事	工事内容：右折レーンを撤去し、歩道を復旧する工事 工 期：H30.8.21～H30.11.15 契約金額：6,070,680円	6,070,680円

広陽公園復旧工事及び 広陽公園仮置土撤去工事	工事内容：広陽公園の復旧工事 工 期：H30.2.15～H31.2.12 契約金額：104,599,080円	45,330,220円
その他事務費	需用費	142,127円

事業名	ごみ処理基盤施設建設事業費（繰越分）				清掃政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
23,468,860					23,468,860	—

ごみ処理基盤施設建設事業に係るクリーンセンター整備事業の関連業務として、平成30年度は下記の業務を実施した。

事業名	事業内容	事業費
広陽公園復旧工事及び 広陽公園仮置土撤去工事	工事内容：広陽公園仮置土の撤去工事 約18,850㎡（公園復旧含む）を撤去 工 期：H30.2.15～H31.2.12 契約金額：104,599,080円	23,468,860円

（款）4衛生費 （項）2清掃費 （目）5し尿処理費 (単位 円)

事業名	し尿業者許可事業費				環境課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
49,954				49,954		—

し尿収集運搬業及び浄化槽清掃業の許可13業者の2年に1回の更新手続を実施
更新 13件

事業名	し尿転送業務負担金				環境課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,480,000					7,480,000	7,480,000

飯南・飯高地区にかかる処理し尿の大型車への積換え、運送業務への負担金として補助することにより、し尿汲み取り料金等の抑制に資した。

事業名	松阪地区広域衛生組合分担金				環境課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
346,546,000					346,546,000	301,133,000

松阪地区広域衛生組合への分担金支出を行った。

経常経費分	472,713,000 円
（内訳）松阪市	346,546,000 円
多気町	40,039,000 円
明和町	86,128,000 円

(款) 5労働費 (項) 1労働諸費 (目) 1労働諸費

(単位 円)

事業名	勤労者総合福祉推進事業費補助金				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
28,000,000					28,000,000	28,000,000

市内事業所に従事する勤労者や事業主、市内に居住する勤労者やその家族に対する福祉の増進と文化教養の向上を図るとともに、市内事業所の振興、地域社会の活性化に寄与するために必要な事業費及び管理運営費の一部について補助を行った。

交付先 公益財団法人 松阪市勤労者サービスセンター

松阪市勤労者サービスセンターの入退会状況

基準日	事業所数				会員数			
	入会	退会	増減	合計	入会	退会	増減	合計
H29.3.31	85	56	29	1,587	660	679	△19	8,502
H30.3.31	45	72	△27	1,560	538	641	△103	8,399
H31.3.31	54	56	△2	1,558	711	634	77	8,476

会員数増加の要因
事業所閉鎖や労働力人口が減少する中、効果的な加入促進キャンペーンを実施した。

事業名	勤労青少年激励大会補助金				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
200,000					200,000	200,000

市内新規就職者の勤労意欲の向上、職場定着と早期離職防止を図るために開催する新規就職者等勤労意欲増進事業（激励大会）の開催経費の一部について補助を行った。

交付先 新しい仲間を励ますつどい（＝松阪商工会議所を主体とする団体）

開催日	行事名	行事内容	参加対象者	参加者数
H30.6.14	新しい仲間を励ますつどい	ボウリング大会	新規就職者	22社 116人

事業名	勤労者地域づくり活性化事業費補助金				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
470,000					470,000	470,000

市内勤労者やその家族の生活向上と安定を図るとともに、文化・余暇生活の充実、地域への社会貢献・ボランティア活動を実施するために必要な事業費及び管理運営費の一部について補助を行った。

交付先 松阪多気地区労働者福祉協議会

実績報告

実施日	事業名	場所	参加者数
H30.5.13	スポーツ大会 (健康増進活動)	嬉野体育センター	ソフトバレーボール 12チーム (ソフトボール：雨天中止)
H30.5.20	松名瀬海岸清掃活動 (社会貢献・ボランティア活動)	松名瀬海岸	21団体 71人 OB 26人
H30.10.21	ファミリーフェスタ2018 (文化・余暇生活の充実)	ワークセンター松阪	約6,400人 (天候：晴)
H31.2.9	労組対抗&労組交流婚活ボウリング大会 (健康増進活動)	サンパーク	婚活部門：6団体 22人

事業名	労働者福祉推進事業費補助金				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,189,154					1,189,154	1,400,000

地域における格差社会の実態や労働者の環境改善の必要性などのアピールを行うメーデーその他各種学習会の開催や、地域に見える社会貢献活動の一環としての清掃ボランティア活動を実施するために必要な事業費の一部について補助を行った。

交付先 連合三重松阪多気地域協議会

【平成30年度をもって廃止】

実績報告

実施日	事業名	場所	参加者数
H30.4.21	第89回メーデー松阪地区集会	嬉野ふるさと会館	約700人
H30.8.8	男女平等参画学習会 『LGBTの「働く」を考える』	フレックスホテル	11単組 26人
H30.10.6	清掃ボランティア活動 (カーブミラー清掃)	松坂城跡及び周辺	雨天中止
H30.10.21	ファミリーフェスタ2018 (労福協事業への協賛)	ワークセンター松阪	約6,400人 (天候：晴)
H30.11.20	防災学習会	京都市市民防災センター	16人
H30.11.27	ワーク・ライフ・バランスのためのアロマ 体験教室	松阪市労働会館	10単組 19人
H30.12.1	健康増進・青年層交流 ソフトバレーボール大会	多気町農業者トレーニングセンター	8単組 31人
H31.2.9	労組対抗&労組交流婚活ボウ リング大会	サンパーク	10チーム 40人
H31.2.16	税理士による確定申告相談会	東海労働金庫 松阪支店	3人
H31.3.17	地域貢献事業「いちご狩り」	五桂池ふるさと村 いちご屋くろべえ ほか	598人

事業名	勤労者生活資金貸付金				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,000,000				8,000,000		8,000,000

市内勤労者の住宅資金、生活資金（教育、介護・医療、出産・育児、自動車購入）の負担軽減を図ることを目的として、東海労働金庫が市内勤労者に対して行う生活資金の貸付に必要な資金（預託金）を東海労働金庫に預託した。

当該預託金額の10倍に相当する金額まで金利優遇にて融資を実施する制度

資金預託先 東海労働金庫松阪支店

実績 生活資金 0件（融資条件に合致しなかったため）
住宅資金 7件 677.5万円（6,775万円分）

事業名	高齢者就業機会確保事業費補助金				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,880,000					10,880,000	10,880,000

高齢者のいきがいの充実や社会参加の促進を図るとともに、高齢者の希望に応じた就業機会の開拓・確保・提供をするために必要な事業費の一部について補助を行った。

交付先 公益社団法人 松阪市シルバー人材センター

シルバー人材センターの事業実績

年度末	会員数（人）	受託件数	受注金額（千円）	左記 内訳			
				公共事業 受注		民間事業 受注	
				件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
H28	1,025	6,493	495,525	789	127,862	5,704	367,662
H29	992	6,435	467,157	804	132,150	5,631	335,007
H30	1,011	6,331	461,376	856	135,136	5,475	326,239

「ちびっこはうす」の運営状況

年度	保育人数	保育日数	保育時間	利用料（千円）	就業者 実人員	就業者 延人数	登録人数
H28	533	241	2,275.00	1,537	286	1,050	201
H29	626	255	2,896.00	1,945	272	897	205
H30	543	261	2,010.00	1,492	281	848	212

事業名	障がい者雇用促進事業費				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
292,088					292,088	356,762

事業者及び市民に対して障がい者雇用への理解、障がい者雇用の促進と障がい者の職業的自立を支援するため、ハローワーク松阪ほか関係団体等と連携して事業を実施した。

障がい者雇用促進啓発活動

実施月	事業内容	事業者数
H31.2	障がい者法定雇用率未達成事業所等トップセールス	2事業所

障がい者雇用優良事業所等表彰

実施日	事業内容	表彰数
H30.10.8	障がい者雇用優良事業所表彰	2事業所
	優秀勤労障がい者表彰	2人

障がい者フォーラム

実施日	事業名	事業内容	参加者数
H30.10.8	障がい者の雇用・就労促進フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> ・上記表彰式を同時開催 障がい者雇用優良事業所・優秀勤労障がい者の表彰 ・講演：「障がいを持つ人事担当者だから語る本当に大切なこと」 講師：紺野 大輝 氏（『障がい者の就活ガイド』著者） ・就労継続支援A型B型事業所の紹介パネル展示 27事業所 	80人

参加者属性（アンケート回収者のみ）

企業 7人、就労継続支援事業所 13人、当事者及び家族 4人、
特別支援学校 3人、行政機関 13人、いずれにも属さない方 2人

講演に対する主な感想

世間の人々に障がい者への理解を深めてもらうことの重要性を再認識した。（就労継続支援事業所）
精神障がい者や発達障がいのある人の就労支援に関する講演が聞きたい。（企業）

事業名	潜在専門職トレーニングプロジェクト事業費				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
119,190					119,190	735,310

結婚や育児等で離職し、資格を持ちながら職に就いていない「潜在専門職」を対象として、復帰プログラムを用意し、この地域での就労促進を図るための事業を実施した。
慢性的な人材不足により市民生活に不安を及ぼすおそれがある職種にスポットを当て事業を展開した。
平成30年度をもって事業完了【看護師：H26～28 介護士：H27～29 保育士：H28～30】

平成30年度 潜在保育士復職・就職支援研修会 (次年度からこども未来課に事業承継)

実施日	研修内容	参加者数	復職・就職者数
H31.1.23	講義：「保育士の1日」 講師：こども未来課職員 「育ちの理解と保育技術など」高田短期大学子ども学科助教 先輩保育士との懇談会：実習受入予定園の主任保育士（4人） 求人情報の紹介：ハローワーク松阪 就業相談：保育士・保育所支援センター	5人	4人
H31.1.24 ～1.25	保育実習：（公立2園）ひかり保育園、飯南たんぼぼ保育園 （私立2園）久保保育園、さくら保育園		

潜在専門職トレーニングプロジェクト事業の実績まとめ

職種	初年度		2年度		3年度		参加者計	復職等計
	参加	復職等	参加	復職等	参加	復職等		
看護師(H26～28)	6人	5人	7人	4人	8人	3人	21人	12人
介護士(H27～29)	9人	3人	15人	5人	9人	3人	33人	11人
保育士(H28～30)	10人	6人	13人	5人	5人	4人	28人	15人

事業名	労働一般経費				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,988,893					2,988,893	2,292,689

ハローワーク松阪「就労の広場」にて従事する職業相談員（第2種非常勤職員）の任用経費

各種団体等負担金

区分	内容
松阪地域雇用対策協議会負担金 820,000円	松阪公共職業安定所管内の関係諸官庁及び諸団体と緊密なる連携の下に、雇用の促進を図り地域産業の振興に寄与するための負担金
三重県職業能力開発協会負担金 6,000円	県内における職業能力の推進及び技能検定実施の中心機関であり、事業内職業訓練の促進と技能検定の受検促進に努めるなど県内の職業能力開発において重要な役割を果たしている団体への負担金
公益社団法人三重県シルバー人材センター連合会負担金 50,000円	高齢者の就業機会を開拓・確保・提供するため、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき設立された団体への負担金

(款) 5労働費 (項) 1労働諸費 (目) 2ワークセンター松阪費

(単位 円)

事業名	ワークセンター松阪管理運営事業費				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
38,452,600				6,417,965	32,034,635	35,578,402

利用状況 (開館日数 308日)

区 分	利用件数	利用者数
勤労者総合福祉センター	1,189件	62,351人
労働会館	427件	13,464人
勤労青少年ホーム	584件	11,328人
勤労者体育施設テニスコート	1,199件	7,543人
勤労者体育施設多目的グラウンド	370件	15,492人
計	3,769件	110,178人

ワークセンター松阪事業及び勤労青少年ホーム事業委託

区 分	種類	参加者数
ワークセンター松阪事業	85種類	11,881人
	定期講座	59種類 987人
	短期講座	2種類 49人
	一日体験講座	12種類 277人
	利用者交流事業	2種類 380人
	研修事業、その他の事業	4種類 569人
	フリーレッスン	6種類 9,619人
勤労青少年ホーム事業	37種類	887人
	定期講座	29種類 379人
	短期講座	1種類 25人
	利用者交流事業	2種類 197人
	出会い・ふれあい応援プロジェクト事業	1種類 60人
	研修事業、その他の事業	4種類 226人
計	122種類	12,768人

ワークセンターフェスティバル開催事業

平成30年10月21日、ワークセンター松阪・勤労青少年ホームの各講座の作品展示・発表、実行委員会主催の模擬店等を実施し、当日は約6,400人の来場者があった。

(款) 6農林水産業費 (項) 1農業費 (目) 1農業委員会費

(単位 円)

事業名	農業者年金事務事業費				農業委員会事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
568,800				568,800		644,400

農業者年金関係諸届の受付・処理・農業者年金基金への送付業務、被保険者や受給権者からの相談業務、新規加入推進業務等を行い、年金の適正な受給による農業者の老後の生活安定に努めた。

経営移譲年金受給者 283人、老齢年金受給者 101人、被保険者 14人、待期者 23人

事業名	農業委員会活動事業費				農業委員会事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
24,768,478		4,336,000			20,432,478	23,326,847

農業委員会の体制等について

農業委員会委員 (19人) ・農地利用最適化推進委員 (36人)
 内会長 1人、会長職務代理 2人、委員 16人、農地利用最適化推進委員 36人
 (報酬 年額 基本給 会長 312,000円、会長職務代理 276,000円、
 農業委員会委員 252,000円、農地利用最適化推進委員 252,000円
 能率給 農業委員会委員 19人・農地利用最適化推進委員 36人 72,000円)

農地法関係 (許可、受理等) 事務

農地の権利移動や農地転用など農地法に基づく許認可事務、農地のあっせん事務、農地パトロール (農地の利用状況調査) の実施等により、農地の効率的な利用や優良農地の確保に寄与した。また、総会・定例会・合同部会・運営委員会等の開催、先進地視察研修など各種研修会の開催を通じ、農業委員会業務の円滑・適正な運営を図るとともに担い手への農地の集積、集約化、耕作放棄地の発生防止、解消、新規就農への促進などの農地利用の最適化の推進、農業振興に関する啓蒙と委員及び職員の資質向上を図った。

区 分	件 数	面 積
農地法第3条	賃貸借権設定	0件 0.00 m ²
	使用貸借権設定	2件 19,320.00 m ²
	使・賃貸借権移転	0件 0.00 m ²
	交換	0件 0.00 m ²
	贈与	17件 45,628.00 m ²
	所有権移転	77件 113,168.00 m ²
農地法第4条	届出	19件 6,633.34 m ²
	許可	27件 16,709.31 m ²
農地法第5条	届出	98件 107,232.28 m ²
	許可	244件 320,955.66 m ²
第 3 条 の 3 第 1 号	154件	934,008.92 m ²
農地法第4条第1項8号 (農業施設)	13件	10,452.00 m ²
農地法第18条第6項 (合意解約)	170件	528,930.91 m ²
非農地証明	43件	29,986.91 m ²
競売等買受適格者証明	0件	0.00 m ²
計	864件	2,133,025.33 m ²

農地移動適正化あっせん事務

区 分	出し手	受け手	筆 数	面 積
所有権移転	7戸	7戸	13筆	35,735m ²

国有農地等管理業務

旧自作農創設特別措置法及び農地法により国が取得した自作農財産（国有農地等及び開拓財産）について、県が行う売渡し・売払い等の処分に関する事務の補助、測量及び境界確定の事務補助を行った。また、国有財産整理簿の整備等を行い、適正な維持管理に努めた。

その他

農地転用許可など行政庁の諮問機関として行政行為を補完する業務のほか、関係行政機関に対する意見の提出、農業委員の講習や研修、及び農業委員会への助言・協力等の業務を行う三重県農業会議の運営を支援し連携を密にすることにより、農業委員会業務の円滑・適正な執行を図ることができた。

(款) 6農林水産業費 (項) 1農業費 (目) 2農業総務費 (単位 円)

事業名	松阪牛まつり事業費					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
17,334,013				17,334,013		17,741,067

松阪牛ブランドを築き上げてきた特産松阪牛の品評会である松阪肉牛共進会は、昭和24年に第1回が開催され平成30年で第69回を迎えた。特産松阪牛に特化したPRのほか、多彩なイベントを行い、多くの来場者に松阪牛や松阪茶等の地域ブランドをPRした。 ※松阪牛まつり来場者 約40,000人

委託料 17,334,013円

委託先：松阪牛まつり実行委員会

事業名	農業総務一般経費					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,013,321				5,448	3,007,873	3,050,954

2種非常勤賃金 1,817,400円、共済費 287,276円、報償費 15,000円、旅費 7,560円、消耗品費 718,250円、通信運搬費 26,475円、備品購入費 126,360円、負担金、補助及び交付金 15,000円

(款) 6農林水産業費 (項) 1農業費 (目) 3農業振興費 (単位 円)

事業名	農業後継者対策補助金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
200,000					200,000	200,000

事業主体	事業量	市補助金	成果
松阪市農村青少年協議会	交流会、研修会等の開催	200,000	松阪市農村青少年協議会（会員14人）の活動支援を行い、視察研修会の開催、イベント参加、清掃奉仕活動等を通じて後継者間の連帯感が深まり、技術提携及び情報共有など担い手育成を図ることができた。

事業名	特産振興補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,700,000					2,700,000	2,700,000

事業主体	事業量	市補助金	成 果
松阪農業協同組合 一志東部農業協同組合	松阪農協 (限度額) 2,430,000 一志東部農協 (限度額) 270,000	2,700,000	松阪農協、一志東部農協の各生産者部会への活動支援を行うことで、特産品の栽培技術及び経営の安定化を図ることができた。 松阪農協(松阪赤菜ほか6品目) 一志東部農協(嬉野大根ほか2品目)

事業名	茶防霜施設設置補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
284,000					284,000	385,000

事業主体	事業量	市補助金	成 果
茶農家	ファン設置数 新設 0基 改修 12基 対象茶園面積 2.6ha	284,000	「松阪茶」の霜害を未然に防止するため、防霜施設設置に対して支援を行い、生産の安定と品質の維持、向上を図った。

事業名	茶業組合補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
540,000					540,000	540,000

事業主体	事業量	市補助金	成 果
松阪市茶業組合	研修等の開催 品評会への出品活動等 出品数 関西 87点	540,000	茶業組合(組合員数18)が、生産する深蒸し煎茶を関西茶品評会に出品し、農林水産大臣賞など上位入賞と産地賞を受賞し、ブランド確立に向けた品質向上を図った。

事業名	松阪茶PR推進事業費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
948,564					948,564	900,000

茶業組合への委託契約により、各イベントでお茶の振る舞いや小学生親子を対象とした松阪茶グランプリを開催し松阪茶のPRに努めた。

委託先：松阪市茶業組合

事業名	アライグマ対策事業費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
466,298					466,298	592,090

特定外来生物であるアライグマの目撃、被害情報から猟友会の協力を得て捕獲を実施し、農作物及び生活環境被害防止に取り組んだ。

捕獲頭数：119頭／捕獲用檻購入：10基

消耗品費 59,818円、備品購入費 168,480円、負担金、補助及び交付金 238,000円

事業名	農業振興一般経費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
421,844					421,844	382,828

松阪農協管内の梨品評会において市長賞を授与することにより、生産意欲の増進に寄与できた。また、松阪地域農業振興協議会研修会等に職員の派遣を行った。

報償費（記念品） 20,000円、旅費 22,920円、消耗品費 129,284円、
印刷製本費 35,640円、負担金、補助及び交付金 214,000円

事業名	農山村振興一般経費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
300,692					300,692	198,698

旅費 80,640円、消耗品費 124,532円、使用料及び賃借料 15,520円
負担金、補助及び交付金 80,000円

（負担先：第71回関西茶業振興大会三重県大会実行委員会、全国棚田[千枚田]連絡協議会）

〔款〕6農林水産業費（項）1農業費 **（目）4畜産振興費** （単位 円）

事業名	松阪肉牛協会補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
350,000				350,000		350,000

事業主体	事業量	事業費	市補助金	成果
松阪肉牛協会	枝肉共進会開催 出品頭数 40頭	1,776,008	350,000	松阪肉牛協会が東京で開催する松阪肉牛枝肉共進会に補助し、松阪牛の振興と更なる品質の向上を図り、名声保持等に努めた。 最優秀賞1席 415万円 平均価格 223万円

事業名	松阪肉牛共進会出品奨励事業補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,920,000				3,920,000		3,920,000

事業主体	事業量	事業費	市補助金	成果
松阪肉牛共進会	対象頭数 49頭	3,920,000	3,920,000	松阪肉牛共進会本選出場牛に奨励補助金を交付し、特産松阪牛の奨励、松阪牛の名声保持に努めた。 優秀賞1席 2,510万円 平均価格 316万円

事業名	特産松阪牛出荷奨励事業補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,720,000				4,720,000		4,789,000

事業主体	事業量	事業費	市補助金	成果
(株)三重県松阪食肉公社	対象頭数 59頭	4,720,000	4,720,000	三重県松阪食肉公社が運用する松阪牛の枝肉ネットオークションに出品する特産松阪牛、東京への出荷、海外PR輸出、また平成30年度からは市内農家の相対取引に奨励補助金を交付し、生産振興を図るとともに、新規購買者の参加を促しネットオークションの活性化を図った。

事業名	松阪牛PR推進事業費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,700,000				4,700,000		8,000,000

北海道白老町で開催された「白老牛肉まつり」に参加し、松阪牛の美味しさをPRした。また、「松阪牛まつり」では松阪牛の普及宣伝に取り組むとともに、松阪牛の紹介コーナーを設置し、来場者に松阪牛個体識別管理システムを周知する等、松阪牛のPRを行った。

委託先：松阪牛協議会

事業名	松阪食肉公社食の安全安心対策支援事業負担金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
18,960,000					18,960,000	18,960,000

事業主体	事業量	事業費	負担金	成果
(株)三重県松阪食肉公社	衛生管理向上への施設改善等		18,960,000	県中南勢地域の食肉の拠点施設である三重県松阪食肉公社の施設整備等に支援し、安全安心な食肉の提供に努めた。(三重県他、関係市町負担)(28~30年同額)

事業名	特産松阪牛素牛導入促進事業補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,860,000				5,860,000		4,640,000

事業主体	事業量	事業費	市補助金	成果
松阪農業協同組合	対象戸数 12戸 対象頭数 74頭	5,860,000	5,860,000	特産松阪牛の素牛となる兵庫県産子牛を導入する市内肥育農家に補助し、肥育コストの負担軽減、長期肥育技術の継承、特産松阪牛の頭数維持等に努めた。また、地域産稲わらを給餌する農家に加算補助し耕畜連携を図った。

事業名	特産松阪牛緊急支援補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,938,000				10,938,000		8,464,000

高騰が続いている特産松阪牛の素牛となる兵庫県産子牛の導入に対し引き続き支援を行い、肥育農家の負担を軽減し経営の安定化を図ることに努めた。 ※対象戸数 12戸、対象頭数 74頭

事業名	畜産振興一般経費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
105,250					105,250	142,460

松阪農業公園ベルファームで開催した特産松阪牛の祭典である松阪肉牛共進会において、優秀賞を受賞した松阪牛生産農家に対し表彰の授与、トロフィーを贈呈することで生産意欲を増進することができた。

報償費（記念品） 37,800円、消耗品費 36,410円、役務費 4,040円
負担金、補助及び交付金 27,000円

(款) 6農林水産業費 (項) 1農業費 (目) 5水田農業構造改革対策費 (単位 円)

事業名	経営所得安定対策直接支払推進事業費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
15,340,143		14,643,000		21,868	675,275	14,147,009

松阪市農業再生協議会が実施する米の生産量の目安の提示をはじめ、国の経営所得安定対策制度に係る作付状況の確認、水稻生産調整実施計画書の配付・調整や電算処理事務等を行い、事業の計画的かつ円滑な実施を図った。

平成30年産 米の生産量目安にかかる作付状況(主食用)

	本庁	嬉野	三雲	飯南	飯高	計
水稻目安面積	2,785.9ha	592.8ha	458.2ha	97.6ha	75.4ha	4,009.9ha
水稻作付面積	2,780.7ha	578.2ha	429.5ha	88.4ha	90.2ha	3,967.0ha

事業名	水田活用推進対策補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
45,224,372					45,224,372	44,096,631

平坦地域の特性を活かした形で、水田の活用が図れるよう営農指導をはじめ、地域農業の中心組織である両JAを通じ、ブロックローテーション等による集団的な麦、大豆等の戦略作物を作付ける耕作者や、そのほ場の提供者に対する支援を行うことで、水田の有効活用を推進し、水田農業経営の安定化を図ることができた。また、将来に渡って地域農業を維持・継続していくために、人・農地プランの作成支援を行った。

人・農地プラン作成数 2集落（本庁：2集落） 200,000円

地域別補助の内容

	管内名	助 成 内 容	対象面積	補助金
JA松阪	本庁管内	麦・大豆等地域戦略作物作付支援	2,009.3ha	10,046,796
		水田活用集団化支援	1,006.5ha	19,243,532
JA一志東部	嬉野管内	麦・大豆等地域戦略作物作付支援	633.6ha	3,168,080
		水田活用集団化支援	317.0ha	6,060,340
	三雲管内	麦・大豆等地域戦略作物作付支援	286.7ha	1,433,440
		水田活用集団化支援	265.3ha	5,072,184
計	麦・大豆等地域戦略作物作付支援		2,929.6ha	14,648,316
	水田活用集団化支援		1,588.8ha	30,376,056

事業名	中山間地域水田活用推進対策補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,852,935					3,852,935	4,506,100

水田への作物作付及び奨励作物の作付を支援し、水田の有効活用及び農地の保全に努めた。

地域別補助の内容

	管内名	助成内容	対象面積	補助金
JA松阪	本庁管内	作物作付支援	742.09a	1,113,135
		奨励作物加算支援	13.80a	6,900
	飯南管内	作物作付支援	918.45a	1,377,675
		奨励作物加算支援	58.65a	29,325
	飯高管内	作物作付支援	330.70a	496,050
		奨励作物加算支援	23.50a	11,750
JA一志東部	嬉野管内	作物作付支援	545.40a	818,100
		奨励作物加算支援	—	—
計	作物作付支援		2,536.64a	3,804,960
	奨励作物加算支援		95.95a	47,975

(款) 6農林水産業費 (項) 1農業費 (目) 6地域農政推進活動費 (単位 円)

事業名	経営体育成支援補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,000,000		3,000,000				1,161,000

「人・農地プラン」が作成され、「農地中間管理機構」を活用している地区において、売上高の拡大や経営コストの削減を意欲的に取り組む担い手が融資を活用し、農業用機械、施設を導入する際、融資残に対する助成を行った。

対象者： 1経営体 補助率： 3/10以内 (上限:300万円)
導入機械等:6条刈コンバイン(1台)

事業名	環境保全型農業直接支払交付金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
45,600		34,200			11,400	43,128

化学肥料や農薬を使用しない有機農業に取り組む農業者に直接的な支援を行うことで、環境保全に効果の高い営農活動の推進を図った。

有機水稻栽培農家： 1戸 交付対象面積：57a

事業名	農業経営基盤強化促進事業費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,842,884				1,005,632	1,837,252	2,915,188

農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想に掲げる認定農業者の育成、発掘及び利用権設定等促進事業を推進することで、担い手における農業経営の効率化及び安定化を図ることができた。また、JA等関係機関と連携することで、集落営農組織の育成、支援を推進し地域農業の振興を図った。

新規認定農業者数 14件、再認定(更新) 25件、更新辞退 5人、平成30年度末認定農業者件数188件
集落営農組織数 31組織

事業名	中山間地域等直接支払交付金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
16,126,892		12,095,159			4,031,733	14,942,249

集落ぐるみで取り組む水路・農道等の維持管理や生産活動に「直接支払制度」により支援し、中山間地域の農地の多面的機能の確保及び耕作放棄地の抑制を図った。

管内別	取り組み地区名						対象面積	交付額
本庁管内	広瀬町	与原町 (小出)	矢津町 (古茂喜)	矢津町 (大広)	矢津町 (農地保全会)	茅原町 (上茅原)	53.8ha	10,767,912
	西野町 (広出)	西野町 (山口)	伊勢寺町	岩内町	大阿坂町	大石町 (谷農地保全会)		
嬉野管内	嬉野矢下町 (井置)	嬉野滝之川町 (滝之川)					5.5ha	1,161,489
飯南管内	飯南町深野 (夏明)	飯南町深野 (神路山)	飯南町深野 (長野)	飯南町下仁柿 (北沖)	飯南町有間野 (栃川)		13.3ha	2,383,490
飯高管内	飯高町粟野 (地之添)	飯高町乙栗子 (乙栗子)	飯高町七日市 (七日市)				8.6ha	1,814,001
計	23地区						81.2ha	16,126,892

事業名	農業経営基盤強化資金等利子補給促進補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,178,148		272,098			906,050	1,439,751

効率的かつ安定的な農業経営体として認定している認定農業者の育成支援として、経営規模の拡大や生産性向上のために借り入れる、農業経営基盤強化資金等の制度資金の借入金利子の補給を行い、経営改善を行う認定農業者の意欲の増進等を図った。

農業経営基盤強化資金利子補給件数 3件
 農業近代化資金利子補給件数 81件

事業名	新規就農者総合支援補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
17,250,000		17,250,000				17,875,000

経営の不安定な経営開始初期段階の青年就農者に対して助成することで、地域農業の活性化を図ることができた。

給付対象者：11人

管内	年齢	経営部門	給付額
本庁	40	主穀経営中心	750,000
本庁	32	施設野菜(イチゴ)	1,500,000
本庁	29	施設野菜・露地野菜	1,500,000
本庁	37	工芸作物(藍)	1,500,000
本庁	36	施設野菜(イチゴ)	2,250,000
本庁	25	複合経営(水稲+キャベツ)	1,500,000
本庁	35	露地野菜(白ネギほか)	1,500,000
嬉野	40	施設野菜(イチゴ)	1,500,000
飯南	45	複合経営(水稲+露地野菜・施設野菜)	1,500,000
飯南	46	施設野菜(トマト)	1,500,000
飯南	44	露地野菜	2,250,000
計		11人(本庁7人、嬉野1人、飯南3人)	17,250,000

事業名	機構集積協力補助金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,998,500		1,998,500				6,841,500

認定農業者など地域の中心となる経営体への農地集積に協力する農地所有者に対して、貸付面積に応じた補助金を交付することで、中心経営体の農業経営の効率化及び安定化を図ることができた。

経営転換協力金

戸数：9戸、面積：5.7ha、交付金額：1,988,500円

事業名	がんばる認定農業者等支援補助金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,000,000					5,000,000	4,876,265

地域農業の継続・発展を目指すために、「人・農地プラン」の作成推進とあわせて、認定農業者や地域の農業組織等を支援することで、耕作意欲の増進や耕作放棄地の発生抑制など、地域農業の活性化を図ることができた。

対象者：11経営体 補助率：1/2（上限50万円）

田植機、野菜移植機、トラクター、乾燥機、パイプハウス、畔塗機導入の助成

事業名	農業費国県支出金返還金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,000,000				1,000,000		—

農地中間管理機構へ全ての自作地を10年間貸し付ける契約で機構集積協力金を受領した農業者が期間満了までに賃貸借契約を新たに解約されたことによる機構補助金の返還金を回収し、県に返還した。

対象者：2件

事業名	被災農業者向け経営体育成支援補助金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,126,000		6,126,000				—

平成30年9月4日に上陸した台風21号により被災し、営農を再建する場合において、国の支援発動による被災農業者向け経営体育成支援事業を実施し、対象農家に助成した。

対象者：9件

水稻育苗、イチゴにかかるビニールハウスの再建にかかる助成

(款) 6農林水産業費 (項) 1農業費 (目) 7農業施設費

(単位 円)

事業名	ベルファーム施設管理事業費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
47,877,147				1,760,800	46,116,347	47,420,610

都市と農村の交流拠点、自然や農業について学ぶ体験施設として、「株式会社松阪協働ファーム」を指定管理者とし、食育・緑育等の充実や、民間の創意工夫を生かした各種イベントを実施し、地域住民に喜ばれる農業公園としての運営に努めた。

委託料 39,446,415円、施設修繕料 8,401,320円、使用料及び賃借料 29,412円

利用状況 計 609,388人

月	人数	月	人数	月	人数
4月	61,020人	8月	45,278人	12月	42,651人
5月	88,593人	9月	47,153人	1月	37,120人
6月	47,254人	10月	59,412人	2月	38,426人
7月	36,943人	11月	51,045人	3月	54,493人

事業名	ベルファーム施設整備事業費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,589,640		1,461,300			12,128,340	4,815,720

施設内の鬼ヶ窪池に設置されている木製の転落防止柵が、老朽化により腐食が進み危険であったため、金属製の転落防止柵に改修を行い、利用者の安全確保に努めた。
工期：前期（平成29年度 L=200m）、後期（平成30年度 L=192.7m）

鬼ヶ窪池転落防止柵設置工事（後期分） 4,613,760円

利用者の利便性を高めるため、香りの広場付近にトイレを設置した。

屋外トイレ新築工事 8,975,880円

事業名	多目的研修集会施設管理事業費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,481,828					3,481,828	3,256,759

農村地域における農業の振興、環境整備を図り、農業者等の生活改善、健康増進等に寄与することを目的に設置された施設の効率的な管理運営を行い、利用者が快適に利用できるよう努めた。

非常勤職員賃金 2,235,543円、共済費 9,310円、消耗品費 29,313円、燃料費 24,108円、印刷製本費 21,000円、光熱水費 396,838円、修繕料 163,350円、通信運搬費 55,157円、手数料 77,984円、施設維持管理等委託料 443,880円、使用料及び賃借料 25,345円

利用状況（和室、会議室、調理室、トレーニング室） 1,052件 延5,995人

区分 月	利用件数 (件)	利用者数 (人)	区分 月	利用件数 (件)	利用者数 (人)
4月	102件	493人	10月	94件	537人
5月	97件	568人	11月	88件	523人
6月	97件	564人	12月	85件	513人
7月	95件	598人	1月	82件	494人
8月	52件	334人	2月	98件	485人
9月	83件	439人	3月	79件	447人

事業名	飯南茶業伝承館管理事業費					農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,200,000					2,200,000	2,396,614	

当施設の製茶場で関西茶品評会への出品茶を製茶加工し、農林水産大臣賞及び産地賞を受賞した。
お茶の淹れ方教室、手揉み茶体験等を開催し、「松阪茶」の歴史と情報発信を行った。

お茶の淹れ方教室、手揉み茶体験： 8回開催、参加者 192人
指定管理委託料（指定管理者：松阪市茶業組合） 2,200,000円

利用室名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
製茶場	件数	11	2	0	2	6	0	0	0	1	2	1	1	26
	人員	50	13	12	9	70	0	0	0	1	29	2	27	213
仕上場	件数	6	19	3	2	1	0	0	0	3	0	1	0	35
	人員	42	31	17	2	1	0	0	0	3	0	2	0	98
研修室	件数	14	21	7	3	12	3	2	15	8	5	6	3	99
	人員	89	47	25	18	150	32	10	139	34	56	21	48	669
展示室	件数	1	0	2	0	6	1	0	2	1	1	1	3	18
	人員	1	0	5	0	69	19	0	43	1	24	2	48	212
計	件数	32	42	12	7	25	4	2	17	13	8	9	7	178
	人員	182	91	59	29	290	51	10	182	39	109	27	123	1192

事業名	飯高産業振興センター管理事業費					農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
4,937,885				1,449,664	3,488,221	4,335,618	

地域資源を活用する特産品開発、試験研究、農産物の加工、市場調査、販路開拓、技術の習得、都市交流の促進に努めた。

賃金 1,795,360円、共済費 297,539円、需用費 2,209,974円、役務費 89,057円、
委託料 171,288円、使用料 348,192円、原材料 26,475円

施設名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
管理棟	件数	26	36	22	30	14	12	24	28	18	24	26	20	280	
	人員	32	71	35	42	18	34	29	33	28	30	28	23	403	
作業棟	こんにゃく製造室	件数	5	5	5	5	0	4	5	6	3	3	4	4	49
		人員	5	5	5	5	0	4	5	6	3	3	4	4	49
	餅製造室	件数	3	1	6	1	1	3	0	3	7	0	3	3	31
		人員	3	1	9	1	1	3	0	3	9	0	3	3	36
	研究開発兼体験室	件数	31	33	32	33	33	32	33	31	32	32	28	32	382
		人員	103	105	94	96	95	98	107	100	99	92	91	100	1,180
	物産加工所	件数	1	2	1	3	0	0	2	1	0	1	1	0	12
		人員	2	4	2	6	0	0	4	2	0	2	2	0	24
	みそ加工施設	件数	26	27	26	24	5	5	5	8	4	14	28	30	202
		人員	83	79	75	70	19	16	20	27	15	50	11	120	585
計	件数	92	104	92	96	53	56	69	77	64	74	90	89	956	
	人員	228	265	220	220	133	155	165	171	154	177	139	250	2,277	

事業名	飯南和紙和牛センター管理運営事業費					農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
663,378					663,378	1,098,217	

深野和紙保存会による原料の調整、和紙づくり体験、松阪牛に関する展示を行い、来訪者の視察見学等に活用した。

需用費 129,241円、役務費 55,805円、委託料 478,332円

利用室名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
和紙体験	件数 (件)	4	1	1	0	0	1	3	8	8	5	5	2	38
	人員 (人)	71	5	7	0	0	9	27	179	77	77	32	21	505
和牛展示	件数 (件)	4	2	1	3	1	2	1	1	1	0	1	1	18
	人員 (人)	14	18	2	15	5	3	14	1	3	0	2	8	85
計	件数 (件)	8	3	2	3	1	3	4	9	9	5	6	3	56
	人員 (人)	85	23	9	15	5	12	41	180	80	77	34	29	590

事業名	飯高地域資源活用交流施設管理事業費					農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
19,837,230				200,000	19,637,230	20,574,304	

指定管理者制度により「株式会社飯高駅」に委託した。

飯高地域の自然資源、人文資源等の地域資源を高度活用した憩いと潤いの場として、地場産業と観光、交流、癒し空間を有機的に結合させ、併せて就労の機会と市民のふれあいの場として地域活性化を推進した。

需用費 407,818円、委託料 19,280,000円、使用料及び賃借料 29,412円、原材料費 120,000円

利用状況 計 348,684人

施設	人数
レストラン	51,207人
温泉館	125,540人
いいたかの店	157,499人
飯高茶屋	13,745人
味楽工房	693人

事業名	飯高地域資源活用交流施設整備事業費					農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
48,179,840			47,700,000	200,000	279,840	1,344,600	

芝生公園改良工事 工事請負費 23,710,320円

芝生公園改良工事(その2) 工事請負費 8,805,240円

いいたかの湯(温泉館) 源泉掘削工事 工事請負費 15,434,280円

土地掘削許可申請 動力装置許可申請 手数料 230,000円

(款) 6農林水産業費 (項) 1農業費 (目) 8農地費

(単位 円)

事業名	市単土地改良事業費				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
71,947,672			22,800,000	20,944,320	28,203,352	65,005,309

基盤整備の未整備地域において、農業者の負担軽減や効率的な農業経営を図るため、農道、水路などの施設整備を実施し、施設の維持管理費の軽減、農家経営の安定と合理化を図ることができた。

事業内容	重機借上料		工事請負費		原材料費		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
農道整備	17	796,500円	3	30,197,880円	47	8,281,693円	67	39,276,073円
用水路整備	8	897,588円	8	6,886,400円	30	3,621,211円	46	11,405,199円
排水路整備	5	240,732円	1	1,628,640円	18	3,981,737円	24	5,851,109円
用排水路整備	3	161,136円	1	1,659,960円	5	732,428円	9	2,553,524円
井堰整備	1	194,940円	1	525,960円	3	332,532円	5	1,053,432円
ため池整備	0	0円	1	2,499,120円	3	695,297円	4	3,194,417円
揚水機整備	0	0円	5	4,497,120円	3	433,555円	8	4,930,675円
その他	1	2,516円	0	0円	25	3,680,727円	26	3,683,243円
計	35	2,293,412円	20	47,895,080円	134	21,759,180円	189	71,947,672円

工事請負費の概略

工 事 名	工事内容	工事費
小野町揚水機改良工事	揚水機改良工 N=1式	680,400円
岩内町ため池改修工事	ブロック積工 A=34.9㎡	2,499,120円
上川町葛岡地内道路整備工事	道路整備工 L=216m	16,353,360円
曲町揚水機改良工事	揚水機工 N=1式	999,000円
桂瀬町農道舗装工事	舗装工 A=1,490㎡	6,667,920円
中万町排水路改良工事	底張りコンクリート L=43.5m	1,628,640円
立野町農道舗装工事	As舗装工 A=1,840㎡	7,176,600円
佐久米町揚水機改良工事	揚水機改良工 N=1式	825,120円
高須後藤地区揚水機改良工事	揚水機改良工 N=2式	993,600円
嬉野田村町用水ゲート修繕工事	用水ゲート修繕工 N=1基	525,960円
嬉野黒野町用水路改修工事	底張工 L=124m	800,000円
嬉野釜生田地区用排水路改良工事	水路工 L=41m	1,659,960円
嬉野須賀町揚水機改良工事	揚水機 N=1基	999,000円
小津町農業用水路改修工事	水路工 L=62m	1,895,400円
小野江町掛樋改修工事	鋼製掛樋据付工 N=1基	600,000円
飯高町栗野用水管改良工事	用水管布設工 L=16.0m	586,440円
飯高町富永小塚用水路改良工事	U字溝設置工 L=42.0m	953,640円
飯高町下滝野虻野揚水管修繕工事	揚水管修繕工 N=1式	689,040円
飯高町宮前用水路改良工事	用水路工 L=26.0m	774,360円
飯高町宮本揚水管修繕工事	揚水管修繕工 N=1式	587,520円
計		47,895,080円

事業名	ふるさと・水と土保全対策基金積立金					農村整備課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
34,601				34,601		66,371

ふるさと・水と土保全対策基金積立金 34,601円

平成30年度末基金現在高 33,238,210円

事業名	県営ため池等整備計画事業費					農村整備課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
67,840,200		67,826,000			14,200	49,896,000

県営ため池等整備事業によるため池等改修工事に向け、事業採択申請に必要な調査設計を行った。

地区名	事業内容	事業費	国補助金
小阿坂町ほか	ため池耐震調査（地質調査）業務委託（その1）	13,973,040円	13,970,000円
小野町ほか	ため池耐震調査（地質調査）業務委託（その2）	11,207,160円	11,196,000円
小阿坂町ほか	ため池耐震調査業務委託	42,660,000円	42,660,000円

事業名	三雲農業集落排水管理事業費					農村整備課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,975,727					5,975,727	4,468,386

三雲管内における農村総合整備モデル事業で整備を行った集落排水管路施設を良好な状態に保つため、施設の修繕、管路清掃などを行い、施設の維持管理に努めた。

地域	区分		委託先	金額
三雲管内	修繕料	マンホール蓋修繕など	中西土木他	1,159,920円
	委託料	清掃委託業務	(株)朝日管清興業	2,879,971円
	その他管理経費（消耗品費、光熱水費など）			1,935,836円
	計			5,975,727円

事業名	小規模土地改良事業補助金					農村整備課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
425,000					425,000	811,600

土地改良施設の緊急的な改修、修繕を行う農家団体に対し支援を行うことにより、農業者の施設維持管理費の軽減、農業経営の安定化を図ることができた。

交付先	工事名	事業内容	事業費	市補助金
榎田土地改良区	給水本管漏水修繕工事	漏水修繕	441,720円	132,000円
榎田川祓川沿岸土地改良区	揚水機改修工事	揚水機改修	357,480円	107,000円
幸生浜田西水利組合	給水ポンプ電気工事	電気配線・設備工事	105,000円	31,000円
津屋城自治会	揚水機修繕工事	揚水機修繕	518,400円	155,000円
計				425,000円

事業名	多面的機能支払交付金事業費				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
183,161,293		136,631,026		5,376	46,524,891	181,078,657

近年、農村地域の高齢化等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能（水源かん養、自然環境保全、景観形成等）の発揮に支障が生じつつある。このため、農地法面の草刈、水路の泥上げ、植栽、施設の補修、更新等の共同活動を行う農業者等で組織した団体に対して支援を行うことで、農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮した。
また、水路、農道等の保安全管理を行っている担い手農家の負担軽減にも繋がるため、担い手農家への農地集積を後押しした。（負担率：国50%、県25%、市25%、推進交付金：国の定額交付金）

事業内容	組織数	対象面積	事業費	国県費（75%）	市費（25%）
多面的機能支払交付金	86	3,642ha	180,885,368円	135,664,026円	45,221,342円
内 訳					
農地維持支払	86	3,642ha	106,684,700円	80,013,525円	26,671,175円
資源向上支払（共同活動）	46	2,310ha	43,911,156円	32,933,367円	10,977,789円
資源向上支払（長寿命化）	19	1,279ha	30,289,512円	22,717,134円	7,572,378円

事務費内容	事務費	雇用保険個人負担	推進交付金（国費）	市費
非常勤職員賃金等	2,275,925円	5,376円	967,000円	1,303,549円

事業名	地域農業水利施設ストックマネジメント事業費				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
26,387,640		17,108,000		2,783,892	6,495,748	3,564,000

芦津井堰において、経年劣化に伴い、施設の長寿命化とリスク抑制を図るため、整備工事を行った。

地区名	事業内容	事業費	事業費内訳	
			補助対象	補助対象外
芦津	頭首工整備工 N=1式	26,387,640円	26,320,000円	67,640円

事業名	県営ため池等整備事業負担金				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,200,000			10,300,000		900,000	1,960,000

「白石池」（小野町）は老朽化により漏水、浸食が著しく堤体が決壊する恐れがあるため、耐震改修工事を行い、農業用水の安定確保と地域住民の安全を守る。県営事業 H29～R2 本年度は取水施設工（底樋管）仮設道路工を実施した。（負担率：国55%、県35%、市10%）

「三雲用水地区」（笠松頭首工）は老朽化により堰本体の破損、漏水、ゲートの腐食が著しく堤防決壊に繋がる恐れがあるため、改修工事を行い、農業用水の安定確保と地域住民の安全を守る。県営事業 H27～R2 本年度は可動堰の改修を実施した。（負担率：国55%、県37%、市8%）

地区名	事業内容	事業費	市負担分
白石池	取水施設工（底樋管）、仮設道路工	32,000,000円	3,200,000円
三雲用水	可動堰改修	100,000,000円	8,000,000円

事業名	県営特定農業用管水路等特別対策事業負担金				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
350,000			300,000		50,000	1,050,000

「一志南部2期地区」（一志南部用水）の用水路の一部にアスベスト（石綿管）が使用されており、老朽化により破損した場合、農業者等の健康を害する恐れがあるため、改修工事を行い、農業用水の安定確保と地域住民の安全を守る。県営事業

一志南部2期地区（嬉野宮野・森本・薬王寺町）H27～R2 本年度は実施設計と附帯工を実施した。
（負担率：国55%、県35%、市7%、改良区3%）

地区名	事業内容	事業費	市負担分
一志南部2期	実施設計・附帯工（管材費）	5,000,000円	350,000円

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業補助金				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,600,000					1,600,000	600,000

農業水利施設の老朽化が進む中で、土地改良区が施設の整備を行う土地改良施設維持管理適正化事業に対し支援を行い、施設機能の保持と耐用年数の確保、また農家の費用負担の軽減を図ることができた。
（事業費の10%を補助）

交付先	事業内容	事業費	市補助金
榊田川祓川沿岸土地改良区	六根町地内 揚水機場整備補修	2,000,000円	200,000円
榊田上土地改良区	伊賀町地内 水門整備補修	3,000,000円	300,000円
榊田土地改良区	榊田地区 揚水機場整備補修	4,000,000円	400,000円
漕代土地改良区	稲木町地内 水中ポンプ整備補修	2,000,000円	200,000円
松阪西黒部土地改良区	西黒部町地内 揚水機場整備補修	5,000,000円	500,000円
計		16,000,000円	1,600,000円

事業名	県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
375,200			200,000		175,200	—

「榊田川祓川沿岸地区」（土地改良区）の用水路は老朽化により、ひび割れや沈下、漏水が発生している。特に老朽化が著しい区間の改修工事を行い、農業用水の安定確保と地域住民の安全を守る。県営事業 H30～R3 本年度は実施設計を実施した。（負担率：国55%、県25%、市14%、改良区6%）

地区名	事業内容	事業費	市負担分
榊田川祓川沿岸	実施設計	2,680,000円	375,200円

事業名	県営基幹水利施設ストックマネジメント計画事業費				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,028,720		8,000,000		8,616	20,104	3,429,000

「一志南部用水地区」（土地改良区）の「なめり湖」取水施設は老朽化により、用水の供給が不安定となっているため、斜樋ゲート類等の改修を行い、農業用水の安定確保と地域住民の安全を守る。県営事業により改修工事を実施するため、本年度は事業採択申請に必要な事業計画書を作成した。

H30事業計画書作成（負担率：国100%）
R2～R6改修工事（負担率：国50%、県25%、市17.5%、改良区7.5%）

地区名	事業内容	事業費	改良区負担分	市費
一志南部用水	事業計画書作成	8,028,720円	8,616円	20,104円

事業名	農業基盤整備促進事業費					農村整備課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,583,160		7,425,000	3,800,000	1,847,448	510,712	25,373,520

農業基盤整備促進事業の補助金を活用し、改良工事を実施し、基盤整備の促進を図ることができた。

地区名	事業内容	事業費	事業費内訳	
			補助対象	補助対象外
美濃田	鉄筋コンクリート柵渠工 L=174.1m	13,583,160円	13,500,000円	83,160円

事業名	農地一般経費					農村整備課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,569,402					9,569,402	7,815,692

農地関係の一般事務費及び維持管理費

道路賠償責任保険料、公共工事設計積算単価データ・システム利用料、阿波曾蛸路トンネルほか防災設備及び照明設備点検整備業務委託、ビーフロート等除草業務委託、古田池公園管理委託、なめり湖公園管理委託、須賀井用水路除塵機点検清掃業務 ほか

事業名	農業集落排水事業特別会計繰出金					農村整備課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
52,970,478					52,970,478	52,921,478

事務費 24,912,000円 公債費 28,058,478円

事業名	県営特定農業用管水路等特別対策事業負担金（繰越分）					農村整備課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,600,000			5,600,000			10,500,000

「一志南部2期地区」（一志南部用水）の用水路の一部にアスベスト（石綿管）が使用されており、老朽化により破損した場合、農業者等の健康を害する恐れがあるため、改修工事を行い、農業用水の安定確保と地域住民の安全を守る。県営事業

一志南部2期地区（嬉野宮野・森本・薬王寺町）H27～R2 本年度はアスベスト管の布設替えを実施した。（負担率：国55%、県35%、市7%、改良区3%）

地区名	事業内容	事業費	市負担分
一志南部2期	布設替え146m	80,000,000円	5,600,000円

（款）6農林水産業費（項）1農業費（目）9ほ場整備事業費

（単位 円）

事業名	県営ほ場整備事業土地改良区補助金					農村整備課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,335,000					3,335,000	3,418,000

ほ場整備事業を実施している土地改良区の円滑な運営と組合員の負担軽減を図るため、その運営に要する経費の一部に対し支援を行うことにより、土地改良区の円滑な運営、ほ場整備事業の推進を図ることができた。（補助対象事業費の50%、上限300万円を補助）

交付先	事業内容	事業費	内補助対象	市補助金
朝見上土地改良区	土地改良区の運営費（人件費等）	6,474,008円	6,364,725円	3,000,000円
寺井土地改良区	土地改良区の運営費（人件費等）	683,727円	670,067円	335,000円

事業名	県営経営体育成基盤整備計画事業費				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,503,680		1,760,000			3,743,680	—

「北谷地区」（小片野町）において、大規模なほ場を造り、水路、農道などを一体的に整備することで、農業生産基盤の向上を図る。また、担い手への農地集積を推進する。県営事業によりほ場整備事業を実施するため、事業採択申請に必要な事業計画書を作成する。本年度は事業計画書に必要な事前調査を実施した。

H30 換地等調整業務（負担率：国55%、市45%）、地形図作成・公有地編入承認申請書作成（負担率：市100%）

R1 事業計画書作成（負担率：国50%、県27.5%、市15.75%、地元6.75%）

R2～R8工事（負担率：国55%、県27.5%、市12.25%、地元5.25%）

地区名	事業内容	事業費	市費
北谷地区	換地等調整（農地等状況調査）	3,268,080円	1,508,080円
	地形図作成（一筆高低測量）	1,728,000円	1,728,000円
	公有地編入承認申請書作成	507,600円	507,600円
	計	5,503,680円	3,743,680円

事業名	県営経営体育成基盤整備事業負担金				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
26,775,000			14,300,000		12,475,000	16,712,500

「朝見上地区」（朝田町ほか）・「寺井地区」（笹川町）において、大規模なほ場を造り、水路、農道などを一体的に整備することで、農業生産基盤の向上を図る。また、担い手への農地集積を推進する。

県営事業

朝見上地区（164ha）H21～R4 本年度は区画整理、用排水路、集落道路の整備を実施した。

土地改良法対象：（負担割合 国 55% 県 27.5% 市 12.25% 改良区 5.25%）

土地改良法外：（負担割合 国 55% 県 27.5% 市 17.5% 改良区 0%）

寺井地区（21.9ha）H29～R4 本年度は区画整理、道路、用排水路の整備を実施した。

土地改良法対象：（負担割合 国 55% 県 27.5% 市 17.5%）

地区名	事業内容	事業費	市負担分
朝見上地区	区画整備0.7ha、用水路489m、排水路144m、集落道路160m	50,000,000円	6,650,000円
寺井地区	区画整備1.7ha、道路442m、用水路274m、排水路537m	115,000,000円	20,125,000円
	計	165,000,000円	26,775,000円

事業名	県営経営体育成基盤整備事業負担金（繰越分）				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
57,312,500			38,200,000		19,112,500	50,767,500

「朝見上地区」（朝田町ほか）・「寺井地区」（笹川町）において、大規模なほ場を造り、水路、農道などを一体的に整備することで、農業生産基盤の向上を図る。また、担い手への農地集積を推進する。

県営事業

朝見上地区（164ha）H21～R4 本年度は区画整理、道路、用排水路、集落道路の整備を実施した。

土地改良法対象：（負担割合 国 55% 県 27.5% 市 12.25% 改良区 5.25%）

土地改良法外：（負担割合 国 55% 県 27.5% 市 17.5% 改良区 0%）

寺井地区（21.9ha）H29～R4 本年度は区画整理、道路、用排水路の整備を実施した。

土地改良法対象：（負担割合 国 55% 県 27.5% 市 17.5%）

地区名	事業内容	事業費	市負担分
朝見上地区	区画整備11.9ha、道路2,081m、用水路2,398m、排水路1,534m、集落道路366m	300,000,000円	38,062,500円
寺井地区	区画整備1.8ha、道路478m、用水路297m、排水路582m	110,000,000円	19,250,000円
計		410,000,000円	57,312,500円

(款) 6農林水産業費 (項) 1農業費 (目) 10湛水防除施設費

(単位 円)

事業名	湛水防除施設管理事業費				農村整備課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
58,002,917				324,000	57,678,917	51,425,316

本庁、嬉野、三雲管内の39排水機場の年間維持管理費

地域	区 分		委託先	金 額
本庁管内 18機場	管理委託	排水機場管理業務委託	自治会、水利組合他	2,900,000円
		電気保安管理業務委託 (3管内)	中部電気保安協会	4,254,768円
		浄化槽保守管理業務委託	松阪環境事業協同組合	88,560円
		清掃委託	東部建設 (株)	561,600円
	修 繕	施設修繕	(株) 北川鉄工建設他	4,857,040円
	その他管理経費 (消耗品費、光熱水費など)			10,612,940円
	小 計			23,274,908円
嬉野管内 6機場	管理委託	排水機場管理業務委託	自治会	488,000円
		可燃ごみ処理業務委託	(株) マルジョウ	239,120円
	修 繕	施設修繕	長谷電工 (株) 他	4,295,160円
	その他管理経費 (消耗品費、光熱水費など)			5,960,242円
	小 計			10,982,522円
三雲管内 15機場	管理委託	排水機場管理業務委託	三雲排水機管理組合連絡協議会	3,600,000円
		可燃ごみ処理業務委託	(有) ニチカンコー	738,080円
	修 繕	施設修繕	昱耕機 (株) 他	2,924,640円
	その他管理経費 (消耗品費、光熱水費など)			16,482,767円
	小 計			23,745,487円
合 計			58,002,917円	

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業費				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
44,271,680				30,600,000	13,671,680	36,741,240

排水機場のエンジン、ポンプなどの機器の機能保持と耐用年数の確保を目的に、土地改良施設維持管理適正化事業に加入している排水機場の機器の整備補修を実施した。

排水機場名	事業内容	事業費	事業費内訳	
			設計委託料	工事費
高町排水機場	Φ1200mm立軸斜流ポンプ整備補修一式	14,139,360円	1,080,000円	13,059,360円
中ノ庄第2排水機場	主エンジン整備補修一式	6,862,320円	702,000円	6,160,320円
鵜（笠松・星合）排水機場	Φ400、500mm常時水中ポンプ整備補修一式	14,040,000円	1,080,000円	12,960,000円
計		35,041,680円	2,862,000円	32,179,680円

土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金 9,230,000円

事業名	基幹水利施設技術管理強化特別指導事業費				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,546,200					19,546,200	18,654,000

三重県土地改良事業団体連合会の管理技術者による本庁、嬉野、三雲管内の排水機場の管理技術指導、点検整備、施設操作指導により、適切な維持管理を行い、災害時などに適確に運転操作が行えるよう備えた。

基幹水利施設技術管理強化特別指導事業管理指導業務委託 18,538,200円

対象施設：35排水機場（本庁：17施設、嬉野：5施設、三雲：13施設）

土地改良区体制強化事業（基幹水利施設保全管理技術向上研修）市負担金 1,008,000円

対象施設：4排水機場（本庁：高町、新川新、嬉野：津屋城第二、三雲：上ノ庄第二）

事業名	湛水防除施設整備事業費				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,419,200					2,419,200	1,756,080

上ノ庄旧排水機場の浸水対策工事を実施するため、調査設計業務を行った。

委託名	事業内容	事業費
上ノ庄排水機場浸水対策工事調査設計業務委託	測量調査設計業務 N=1式	2,419,200円
計		2,419,200円

事業名	県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,000,000			2,700,000		3,300,000	30,646,000

「三雲地区」（曾原第2・喜多村新田）・「松ヶ崎地区」（六軒・松ヶ崎・獵師旧）の5排水機場は老朽化が著しいため、改修工事を実施して、施設のストックマネジメント（長寿命化）を図る。

県営事業

三雲地区 H27～R2 本年度は曾原第2排水機場の除塵機の改修を実施した。

（国事業名：農業水利施設保全合理化事業 負担率：国50%、県25%、市25%）

松ヶ崎地区 H28～R2 本年度は松ヶ崎排水機場のポンプ設備等の改修を実施した。

（国事業名：農村地域防災減災事業 負担率：国55%、県35%、市10%）

地区名	事業内容	事業費	市負担分
三雲地区	除塵機改修（曾原第2）	20,000,000円	5,000,000円
松ヶ崎地区	ポンプ設備改修（松ヶ崎）	10,000,000円	1,000,000円
	計	30,000,000円	6,000,000円

事業名	県営基幹水利施設ストックマネジメント計画事業費				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
378,000					378,000	—

「黒部第1地区」（高須旧、高須新田）と「黒部第2地区」（東黒部旧、新川旧）4排水機場は老朽化が著しいため、県営事業によりストックマネジメント（長寿命化）改修工事を実施する。平成27年度に作成済みの事業計画書を基に、本年度は事業採択を受けるために直近の事業計画内容に修正した。

H27 事業計画書作成 H30 事業計画書修正（負担率：市100%）

R1～R5 黒部第1地区改修工事 R2～R6 黒部第2地区改修工事（国事業名：農村地域防災減災事業 負担率：国55%、県35%、市10%）

地区名	事業内容	事業費	市費
黒部地区	事業計画書修正	378,000円	378,000円

事業名	県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金（繰越分）				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
34,800,000			34,800,000			16,706,000

「松ヶ崎地区」（六軒・松ヶ崎・獵師旧）の3排水機場は老朽化が著しいため、改修工事を実施して、施設のストックマネジメント（長寿命化）を図る。

県営事業

松ヶ崎地区 H28～R2 本年度は六軒・松ヶ崎排水機場のポンプ設備等の改修を実施した。

（国事業名：農村地域防災減災事業 負担率：国55%、県35%、市10%）

地区名	事業内容	事業費	市負担分
松ヶ崎地区	ポンプ、電気設備、除塵機改修（六軒、松ヶ崎）	348,000,000円	34,800,000円

(款) 6農林水産業費 (項) 2林業費 (目) 1林業総務費

(単位 円)

事業名	緑化推進事業費				林業振興課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
345,638					345,638	338,487

植栽苗木の配布や公共施設等の緑化木の手入れ等の委託を実施し、地域緑化の推進と住民意識の高揚を図った。

原材料費 145,638円

植栽苗木配布内訳

山添町：しだれ桜 5本 河津桜 5本 サカキ5本

御麻生菌町：八重桜関山 20本

飯福田町：ソメイヨシノ桜 10本

大石町：枝しだれ桜 4本

与原町：山モミジ 10本

小片野町：クロマツ 20本 山モミジ5本

委託料 200,000円

委託先 松阪に緑をふやす会

事業名	林業総務一般経費				林業振興課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
3,263,560				5,448	3,258,112	3,120,560

非常勤職員賃金、コピー代等、林業総務に係る一般経費

賃金・共済費 2,092,776円

旅費 55,440円

需用費 203,364円 (消耗品費)

役務費 147,980円 (道路賠償責任保険料)

負担金、補助及び交付金 764,000円 (三重県森林協会会費ほか)

(款) 6農林水産業費 (項) 2林業費 (目) 2林業振興費

(単位 円)

事業名	森林環境創造事業費				林業振興課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
10,410,391	5,077,000	4,197,600			1,135,791	10,769,258

公共財として位置づけた環境林において、間伐施業等を実施することにより、森林の持つ多様な公益的機能の発揮を促進した。

委託料 10,333,440円

森林環境創造事業業務委託 (市町タイプ) (叶林業森林整備計画地域)

事業量 間伐 7.98ha

委託先 叶林業合名会社 3,088,800円

森林環境創造事業業務委託 (市町タイプ) (松阪飯南森林組合森林整備計画地域)

事業量 間伐 38.36ha

委託先 松阪飯南森林組合 7,067,520円

森林環境創造事業業務委託 (県単) (叶林業森林整備計画地域)

事業量 面積調査 0.64ha 現地調査 4.84ha

委託先 叶林業合名会社 177,120円

需用費 76,951円 (消耗品)

事業名	「まつさかの木」を使用したワクワク快適な家づくり事業補助金					林業振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,500,000					4,500,000	4,500,000

「顔の見える松阪の家づくり推進協議会」が構築した「顔の見える安心システム」により、地域材を活用した木造住宅建築への支援を行うとともに、イベント開催等を通じて地域材利用を推進した。

負担金、補助及び交付金 4,500,000円

事業量 協議会（7回）、住宅基本設計支援 25棟、「松阪の家」体験ツアー開催ほか

交付先 顔の見える松阪の家づくり推進協議会

事業名	森林環境学習事業費					林業振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,893,320		2,893,320				2,891,160

市内小学校の児童を対象に森林環境保全や森林整備についての森林環境学習を行った。また、松阪産の木材で校舎の一部を木質化し、木とふれあう空間づくりを行った。

委託料 2,893,320円

事業量 森林環境学習、校舎一部の木質化（柿野小学校・射和小学校）

委託先 顔の見える松阪の家づくり推進協議会

事業名	里山の森林安全安心対策事業費					林業振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
37,838,880		37,783,740			55,140	39,089,520

集落や公共施設周辺の森林整備や危険木の伐採を行い集落等の安全と安心の確保に努めた。

委託料 37,838,880円

事業量 森林整備等 28か所

委託先 松阪飯南森林組合

事業名	林業労働者退職金共済掛金補助金					林業振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
348,000					348,000	377,000

担い手の確保が困難な状況にある林業経営者に対し、雇用経費を補助することにより、労働者の確保について支援を行った。

負担金、補助及び交付金 348,000円

事業量 9事業所 計32人

交付先 上田林業ほか8事業所

事業名	有害鳥獣対策事業費					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,070,400				860,000	4,210,400	4,922,500

野生鳥獣からの被害対策として、猟友会への委託による有害鳥獣捕獲と住民自らが行う追払いを効果的に実施することで被害軽減を図った。

松阪市中山間獣害対策協議会が実施する獣害対策事業において、支援を行い被害対策に取り組んだ。

消耗品費 820,400円

サル追払い用ロケット花火を自治会（83件、12,030本）に支給した。

また、追払い効果を上げるために、動物駆逐用煙火T-3（800本）、ホルダー（20本）をサル用追払い花火と一緒に配布した。

委託料 3,600,000円

委託先：松阪市猟友会（松阪支部） 1,400,000円 嬉野町猟友会 500,000円
 飯南猟友会 600,000円 松阪飯高猟友会 1,100,000円

負担金、補助及び交付金 650,000円

負担先：松阪市中山間獣害対策協議会

事業名	有害鳥獣捕獲補助金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
22,179,500		12,644,000			9,535,500	21,852,500

猟友会による効果的な有害鳥獣捕獲を実施し、イノシシ、シカ、サルなどによる農作物への被害の軽減を図った。

事業主体：各猟友会

松阪市猟友会 (松阪支部)	イノシシ	322 頭	飯南猟友会	イノシシ	126 頭
	シカ	265 頭		シカ	457 頭
	サル	15 匹		サル	23 匹
	カラス、カルガモ	232 羽		カラス、カルガモ	21 羽
	その他(中型)	35 頭		その他(中型)	68 頭
嬉野町猟友会	イノシシ	2 頭	松阪飯高猟友会	イノシシ	108 頭
	シカ	9 頭		シカ	768 頭
	サル	0 匹		サル	26 匹
	カラス、カルガモ	0 羽		カラス、カルガモ	6 羽
	その他(中型)	39 頭		その他(中型)	118 頭
計	イノシシ	558 頭			
	シカ	1499 頭			
	サル	64 匹			
	カラス、カルガモ	259 羽			
	その他(中型)	260 頭			

事業名	有害鳥獣防護柵設置補助金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,481,000				860,000	2,621,000	2,553,000

農業者自らが設置する防護柵の材料費の一部を補助することで、野生鳥獣による農作物への被害軽減を図った。

申請件数93件 実施面積129,040㎡ (12.9ha) 設置距離13,841m (13.8km)

事業名	森林経営計画作成推進事業費補助金					林業振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,025,500		6,825,500			3,200,000	14,250,000

適切な森林整備の推進を図る観点から、森林経営計画の作成に必要な不可欠な森林の施業集約化のための活動を支援した。

負担金、補助及び交付金 10,025,500円

事業量 積算基礎森林面積 100.52ha (経営委託) 217.05ha (境界測量)

交付先 松阪飯南森林組合

事業名	木質バイオマス有効活用対策事業補助金					林業振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,788,000					3,788,000	4,984,000

今まで山林に廃棄されてきた未利用間伐材（松阪産）を木質バイオマスの燃料として有効利用し、山林資源の新たな活用を図った。

負担金、補助及び交付金 3,788,000円

事業量 発電用間伐材等運搬量 7,584.70t

交付先 バイオマス認定事業者 9事業体

事業名	みなと森と水ネットワーク促進事業費					林業振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
123,828					123,828	126,800

東京都港区区内での地域材の利用促進に取り組むため、「みなと森と水ネットワーク会議」に加入し、関係団体等とともにPR活動等を実施した。

旅費 27,660円（利用促進活動、総会）

需用費 46,168円（PR用品、消耗品）

負担金、補助及び交付金 50,000円（みなと森と水ネットワーク会議負担金）

事業名	松阪荒滝生活環境保全林管理事業費					林業振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
486,000					486,000	486,000

生活環境保全林の施業、管理道の除草等を適正に実施することにより、優れた自然環境を生かし、利用者の安全確保及び環境保全の向上を図った。

委託料 486,000円

事業量 下刈り作業 18,900㎡×年1回刈り

委託先 松阪飯南森林組合

事業名	松阪創造の森施設管理事業費					林業振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,915,691					2,915,691	3,017,975

植栽された広葉樹林の下刈りと、施設内の清掃、除草作業を実施することにより、利用者の安全確保及び環境保全の向上を図った。

役務費 1,176,891円（森林保険料）

委託料 1,738,800円

管理委託料（清掃除草作業等） 358,560円

森林整備委託料（除草 4.6ha、集積 0.3ha） 1,380,240円

委託先 松阪飯南森林組合

事業名	松阪ちとせの森施設管理事業費					林業振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
741,011					741,011	764,483

林内歩道の除草作業や公衆便所の清掃を定期的に行い、利用者の快適利用と安全確保を図った。

役務費 112,547円（森林保険料）

委託料 578,784円

（公衆便所清掃作業委託料 175,944円 委託先：（社）松阪市シルバー人材センター）

（除草作業委託料（除草 1.43ha 集積 0.41ha） 402,840円

委託先：松阪飯南森林組合）

需用費

施設設備修繕料 49,680円 松阪ちとせの森修繕業務（トイレベンチ・防犯カメラ修繕作業）

事業名	林地台帳整備事業費					林業振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
540,000					540,000	10,152,000

森林の所有者情報、土地情報、測量実施状況、林地地番図等の情報入力等により林地台帳の補正を行った。

委託料 540,000円

事業量 林地台帳の地図修正 60筆ほか

委託先 株式会社パスコ 三重支店

事業名	嬉野どんぐりの森管理事業費					林業振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
50,000					50,000	50,000

清掃、除草作業を実施することにより、広葉樹の育成と市民が安全に利用できる保健休養の場を確保した。

委託料 50,000円

事業量 下刈り作業 1,000㎡×年1回

委託先 嬉野宮野町自治会

事業名	いきいき松阪の森づくり事業補助金					林業振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
25,147,000			15,000,000		10,147,000	20,686,000

松阪産材の安定供給や木質バイオマス原料としての活用を推進するため、林内の路網整備や、高性能林業機械による木材搬出、担い手育成、林福連携等による広葉樹の苗木生産に対する支援を行った。

負担金、補助及び交付金 25,147,000円

事業量 境界の明確化 150ha

利用間伐 13,995.25m³

担い手育成（加線集材技術研修費及び加線集材用資材費の支援） 一式

林内路網整備事業 11,959.67m

林福連携による広葉樹の苗木生産モデル事業 一式

交付先 認定林業事業体 5事業体

事業名	林業支援センター運営事業費				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,148,318				16,837	8,131,481	8,534,929

製材品の販路拡大など、木材の需要拡大に特化した取り組みを進める為、市内製材工場等で構成する松阪地区木材協同組合と連携し、木材商社や工務店への交渉にあたるなど、出荷圏の広域化、及び新たな出荷チャンネルの確保に向けた取り組みを進めた。また、原木の安定供給体制の整備を進めるとともに、公共建築物への木材利用（春日保育園改築工事）を推進した。

主な活動実績	
県内及び関東方面を中心とした製材品の販路拡大業務	47回
原木の安定供給体制構築に向けた協議	16回
林業・木材関係者との意見交換	24回
市内製材工場等からの相談、協議件数	27件

賃金・共済費 6,498,573円

報償費 60,000円

旅費 439,320円

需用費 392,515円（消耗品、食糧費）

役務費 129,090円（通信運搬費）

使用料及び賃借料 628,820円（事務所借上料、有料道路通行料）

(款) 6農林水産業費 (項) 2林業費	(目) 3林業施設費
-----------------------------	-------------------

(単位 円)

事業名	森林公園管理運営事業費				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
31,787,112				220,900	31,566,212	31,873,292

伊勢寺町にある松阪市森林公園は指定管理者制度により、「松阪飯南森林組合」に管理運営業務を委託し、森林資源の活用及び保健休養機能の向上を図った。また登山会、自然観察会等の豊かな自然に親しむイベントを実施することでその環境を市民に提供した。

委託料 28,700,000円 委託先 松阪飯南森林組合

修繕料 2,052,000円（駐車場木柵等修繕・共同浴場無圧式温水ヒーター修繕・防犯灯修繕）

使用料及び賃借料 1,035,112円

（森林公園土地借上料 1,005,700円 地権者 11人・1自治会・1組合・1法人、
借上面積：50,220㎡）

（森林公園AED借上料 29,412円）

※利用状況

区分 月	入園者数	持込 テント	設置 テント	バンガ ロー利用	木工教室
4月	13,036人	12件	0件	6件	16人
5月	8,968人	31件	12件	27件	89人
6月	6,864人	3件	3件	13件	67人
7月	8,517人	13件	1件	23件	40人
8月	11,559人	65件	18件	88件	170人
9月	6,663人	5件	4件	14件	59人
10月	7,485人	3件	3件	6件	59人
11月	6,489人	4件	1件	10件	52人
12月	4,779人	3件	0件	6件	74人
1月	4,256人	0件	0件	2件	75人
2月	4,332人	0件	0件	2件	35人
3月	7,111人	4件	1件	16件	57人
計	90,059人	143件	43件	213件	793人

事業名	森林公園施設整備事業費				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,296,000					1,296,000	830,520

施設の維持管理業務に伴う整備等を実施することにより、市民が安全に施設を利用できる環境の整備を行った。

工事請負費 1,296,000円

森林公園井戸系統施設整備工事 1,296,000円

事業名	飯高林業総合センター管理運営事業費				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,834,934				79,992	4,754,942	5,366,331

林業振興や住民福祉の向上、林業就労者の研修及びコミュニケーションの場として地域住民の交流等が促進された。

賃金等 809,803円（共済費、賃金）

需用費 2,475,170円（燃料費、光熱水費、消耗品費、修繕料）

委託料 1,326,792円（施設維持管理等委託料）

使用料 51,649円

役務費 171,520円（手数料）

利用状況

利用施設	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
集会所兼 運動場	件数（件）	2	2	0	3	4	2	2	0	0	0	0	0	15
	人員（人）	53	43	0	42	630	130	170	0	0	0	0	0	1,068
林業相談 室	件数（件）	4	10	10	6	13	9	10	6	6	9	9	9	101
	人員（人）	24	101	105	57	163	82	133	50	43	82	152	100	1,092
和室会議 室	件数（件）	3	3	4	3	1	6	2	3	3	3	5	3	39
	人員（人）	27	21	35	37	20	122	16	26	25	21	52	27	429
図書館	件数（件）	18	23	20	19	18	16	22	16	14	17	17	19	219
	人員（人）	30	43	33	29	28	26	36	24	22	25	28	31	355
調理実習 室	件数（件）	2	2	2	1	0	2	2	2	3	2	2	2	22
	人員（人）	16	13	15	7	0	13	17	13	24	14	15	18	165
計	件数（件）	29	40	36	32	36	35	38	27	26	31	33	33	396
	人員（人）	150	221	188	172	841	373	372	113	114	142	247	176	3,109

(款) 6農林水産業費 (項) 2林業費 (目) 4林業構造改善対策事業費

(単位 円)

事業名	林道・作業道等維持管理事業費				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
32,005,345		9,259,000	4,700,000		18,046,345	13,390,859

降雨等による林道・作業道の路面の荒廃、路肩崩壊等を防止するため、林道等の補修及び維持管理、林道舗装工事の実施、事業用重機使用料及び生コンクリート等の原材料を支給した。

- 需用費 239,905円 (消耗品費)
- 使用料及び賃借料 4,200,593円
(積算システム・積算単価データ利用料 96,485円)
(事業用重機借上料 林道・作業道等20路線 4,104,108円)
- 工事請負費 4,996,296円
(林道峯ヶ谷大崩線舗装工事 (L=220.0m A=698.0㎡ W=3.0~6.0m) 2,370,600円)
(林道七日市乙栗子線舗装工事 (L=235.0m A=709.2㎡ W=3.0~5.0m) 2,345,760円)
(林道桜峠線ガードレール設置工事 (L=36m) 279,936円)
- 委託料 18,571,680円 (平成30年度 林道橋梁点検業務委託 N=146橋)
- 原材料費 3,928,431円 (16路線 生コンクリートほか)
- 旅費 55,440円 (森林整備事業(林道)の実施設計に係る設計審査)
- 負担金 13,000円 (研修参加負担金)

事業名	治山事業費				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,134,160					3,134,160	2,889,000

治山工事要望か所(自然災害による森林崩壊地・荒廃溪流)について、現地調査を委託し、明確な要望計画書を県へ提出することで、事業採択を推進した。

- 委託料 3,134,160円
委託先 (株)明和プラテック
(本庁管内(溪間工3か所)谷止工3基、飯南管内(溪間工1か所)谷止工1基
飯高管内(山腹工1か所)植生土のう水路工ほか1式、(溪間工6か所)谷止工6基)

事業名	林道・作業道整備事業費				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,000,436		9,100,000	3,300,000	585,065	15,371	13,400,775

森林の適正な維持管理、木材生産コストの低減に向けた林道整備を行った。

工事名	事業内容	事業費	事業費内訳		
			委託料	工事請負費	立木補償金
林道トロセ線 開設工事	開設延長 L=57.3m W=3.0m	13,000,436		12,709,440	
開設工事に伴う 立木補償金	スギ・ヒノキ N=169本				290,996

(款) 6農林水産業費 (項) 2林業費 (目) 5市有林費

(単位 円)

事業名	飯南・飯高市有林管理事業費				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,732,555				1,712,360	20,195	8,635,240

市有林の巡視等を実施し、生育の状況や風倒木等の災害状況の把握、境界の明確化を行い、適正な森林管理を推進した。(巡視 15.71ha)
分収造林契約地において間伐等の森林施業を行い、森林の維持管理を実施することで、森林の持つ多様な公益的機能の発揮及び促進ができた。

委託料 453,600円

飯南・飯高市有林管理委託 453,600円

事業量 巡視 15.71ha

委託先 松阪飯南森林組合

負担金、補助及び交付金 1,278,955円 (造林木販売分収金1,598,696円×4/5)

事業場所 飯高町田引水ヶ平団地ほか2団地

[平成29年度の森林総合研究所分収造林事業費1,412,200円を統合]

事業名	飯南・飯高市有林再造林事業費				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,311,000		7,788,856			5,522,144	10,944,000

皆伐を行った市有林の再造林を行い、森林機能の向上を図った。(再造林 4.30ha)
市有林地において、市に替わり企業によって植林を行う植林イベントを行い、森林保全の啓発と森林整備を実施した。

委託料 13,311,000円

飯南・飯高市有林再造林業務委託 12,312,000円

事業量 再造林 4.30ha

委託先 松阪飯南森林組合

「イオンの森」植樹広場整備業務委託 602,640円

事業量 植樹広場整備一式

委託先 有限会社間瀬土木

「イオンの森」植樹イベント業務委託 396,360円

事業量 イベント当日のふるまい他

委託先 株式会社アーリー・バード

(款) 6農林水産業費 (項) 3水産業費 (目) 1水産業総務費

(単位 円)

事業名	水産業総務一般経費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
864,849					864,849	656,200

水産多面的機能発揮対策事業にかかる講習会に参加することにより、他市の取組みを理解することができた。また、国・県・市が一体となって事業活動を支援することにより、水産業と地域の活性化が図ることができた。

消耗品費 142,649円、負担金、補助及び交付金 722,200円

(款) 6農林水産業費 (項) 3水産業費 (目) 2水産業振興費

(単位 円)

事業名	稚鮎等放流事業補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,600,000					2,600,000	2,600,000

事業主体	事業量	事業費	市補助金	成果
榎田川上流漁協	稚鮎 1,148kg	3,008,700	714,000	稚鮎等を放流し、水産資源の増殖を図ることができた。また、各組合が自主的に河川清掃を実施し、河川環境の美化に努めた。
	あめご 835kg	1,750,000	381,000	
香肌峡漁協	稚鮎 875kg	2,237,641	483,000	
榎田川河川漁協	稚鮎 1,000kg	3,000,000	592,000	
榎田川第一漁協	稚鮎 60kg	228,060	45,000	
	あめご 105kg	250,000	71,000	
阪内川漁協	稚鮎 110kg	380,160	71,000	
	あめご 105kg	250,000	71,000	
中村川漁協	稚鮎 250kg	912,600	195,000	
	あめご 80kg	200,000	48,000	
小計	稚鮎 3,443kg	9,767,161	2,100,000	
	あめご 1,020kg	2,200,000	500,000	
合計		11,967,161	2,600,000	

事業名	川鵜対策事業補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
84,000					84,000	108,000

事業主体	事業量	事業費	市補助金	成果
榎田川上流漁協	捕獲数 1羽	5,000	2,000	川鵜の捕獲により、鮎やあめごの食害減少に努めた。
榎田川第一漁協	捕獲数 41羽	230,100	82,000	
計	捕獲数 42羽	235,100	84,000	

事業名	水産資源増殖事業費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
81,600					81,600	300,000

事業主体	事業量	事業費	市負担金	成 果
八共協議会	ガザミ（ワタリガニ） 49,000尾 松名瀬海岸より放流	81,600	81,600	伊勢湾の水産資源増殖の一環として、計画的な種苗放流を行い資源増殖に努めた。

事業名	アサリ資源増殖事業補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,500,000					2,500,000	2,500,000

事業主体	事業量	事業費	市補助金	成 果
松阪漁業協同組合	覆砂 150t 干潟耕うん 0.6ha かぶせ網 3枚 密漁対策用のぼり、看板等一式	5,097,600	2,500,000	アサリの生息環境を整備し資源増殖に努め、その効果を検証した。 資源保護を行うための啓発、密漁の巡回監視の強化が図れた。

事業名	水産物消費拡大推進事業費補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
500,000					500,000	500,000

事業主体	事業量	事業費	市補助金	成 果
松阪漁業協同組合	・松阪漁業まつりの開催 来場者数 1,200人 ・松阪牛まつりなどの県内イベントでの地元水産物のPR	1,103,391	500,000	松阪漁業まつりの開催により、地元水産物の消費拡大の推進とPRができた。 松阪産のあおさを使ったあおさ焼きを販売し地元水産物のPRができた。

(款) 6農林水産業費 (項) 3水産業費 (目) 3水産業施設費

(単位 円)

事業名	漁港海岸施設管理事業費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,260,466					2,260,466	3,100,374

項目	内容	支出額	成果	
需用費	消耗品費	樋門管理用グリース	16,348	樋門等の安全管理に努めた。 漁港海岸施設の機能維持に必要な修繕を実施し、漁港海岸の安全管理に努めた。
	修繕料	獺師漁港蓄養施設修繕	298,512	
		種苗センターCB壁撤去修繕	118,800	
		獺師漁港浮棧橋修繕	199,800	
		種苗センターブレイカー修繕	21,600	
		掲示板移設修繕	45,000	
		獺師漁港係船環修繕	145,800	
		獺師漁港緑地帯倒木撤去修繕	92,880	
		獺師漁港通路白線修繕	54,000	
		種苗センター蛍光灯修繕	20,196	
獺師漁港浮棧橋手摺修繕	48,600			
	小計	1,045,188		
委託料	獺師漁港の樋門2か所及び松ヶ崎漁港の防潮扉の管理委託費	36,000	樋門等の操作管理委託及び緑地帯他の除草等の委託を行い、災害防止と安全管理に努めた。	
	獺師漁港海岸堤防緑地帯樹木剪定・草刈作業委託	496,800		
	水産種苗センター樹木伐採業務委託	498,960		
	水産種苗センター除草作業業務委託	117,720		
	小計	1,149,480		
原材料費	補修用資材等	49,450	原材料を支給し、漁港海岸施設の安全管理に努めた。	
合計		2,260,466		

事業名	漁港機能保全事業費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
28,299,360		13,042,000	11,700,000		3,557,360	34,307,985

項目	内容	支出額	成果
需用費 (消耗品費)	漁港漁場整備関係書籍等	12,000	事業に必要な関係書籍等の購入
委託料	獺師漁港機能保全事業設計業務委託 (14-1西護岸)	2,311,200	漁港機能保全計画に基づき、保全工事箇所の設計・積算業務を行った。
	獺師漁港機能保全事業積算業務委託 (14-1西護岸)	1,555,200	
	小計	3,866,400	
工事請負費	獺師漁港機能保全事業3-2外防波堤・14-1西護岸整備工事	24,420,960	漁港機能保全計画に基づき保全工事を行った。
	小計	24,420,960	
合計		28,299,360	

(款) 7商工費 (項) 1商工費 (目) 1商工総務費

(単位 円)

事業名	企業内人権啓発事業費				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
67,135					67,135	108,990

6月の人権啓発強調月間・男女雇用機会均等月間、9月の公正採用選考人権啓発推進月間に啓発用リーフレット等の配布など、市内事業所への啓発を推進することにより、事業所内の労働者に対する人権啓発意識の醸成を図った。

啓発実績

区分	内 容
平成30年6月	「6月は人権啓発強調月間」「6月は男女雇用機会均等月間」に関する啓発パンフレットやチラシ等を市内事業所（249社）に配布した。
平成30年9月	公正採用選考人権啓発チラシ「公正な採用選考のために」を松阪商工会議所ベルまつさか8月号（3,150部）に折り込むとともに、松阪北部商工会（530部）、松阪香肌商工会（300部）の各会員事業所へ配布した。
平成30年12月	12月の人権週間における街頭啓発を、松阪駅・伊勢中川駅・市内スーパーマーケットにおいて、人権擁護委員、県職員、人権・男女共同参画課と連携して実施した。

事業名	消費生活関連事業費				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,423,692		2,623,201		11,892	2,788,599	5,508,182

消費生活相談窓口「消費者プラザ」による消費生活相談、悪質商法の手口や被害の情報提供、出前講座などの各種広報啓発活動を実施した。
消費者行政に係る補助金を活用して、消費生活相談員スキルアップのための研修会への参加、啓発冊子等の作成を行った。
多重債務者の早期発見と生活再建への支援について、相談を受けるとともに、司法書士等の専門機関への“つなぎ”を行った。

消費者啓発・出前講座 実績

区分	内 容
街頭啓発	松阪市、多気郡3町、三重県が連携して啓発物品（消費者ホットライン「188」[=嫌や]啓発ボールペン等）を手渡し、各市町の相談窓口の周知、また幅広い年齢層に悪質商法被害防止を呼びかけた。次の4日間で534人に周知。 6月 3日（日）斎王まつり（斎宮歴史博物館メイン会場） 11月 3日（祝）氏郷まつり（松阪駅周辺商店街） 11月11日（日）多気町おいなまつり（多気町民文化会館周辺） 11月11日（日）どんとこい大台まつり（大台町役場周辺）
出前講座	「悪質商法への対応～賢い消費者になろう～」 15回 延358人

広報啓発活動用品（消費者行政に係る補助金の活用）

区分	内 容	
啓発冊子	一般・若年者向け 「消費生活トラブル回避術」	1,500部
	一般・高齢者向け 「成年後見制度のごあんない」	50部
	多重債務者向け 「STOP 多重債務」	250部
啓発物品	相談窓口周知用シャープペン「松阪市消費者プラザ 25-6590」	460本

相談件数

年度	件数 (うち多重債務相談件数)
26	455件 (27件)
27	499件 (14件)
28	422件 (14件)
29	858件 (50件)
30	980件 (72件)

平成30年度中の主な相談内容

・ハガキによる架空請求	84件
・ショートメール(SMS)による架空請求	80件
・住宅リフォーム工事(屋根・外壁)トラブル	15件
・新聞定期購読に関するトラブル	12件
・副業サイト(情報商材) ネットで楽に儲かる	7件
	など

事業名	商工一般経費				商工政策課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
653,353					653,353	630,677

商工事務に係る一般事務経費

コピーカウント料、郵送料 ほか

各種団体等負担金

区分	内容
三重県計量協会会費 10,000円	取引や証明に使用する計量器については、法令により定期検査が義務付けられている。取引の安定と消費者保護の観点から今後も、隔年実施される定期検査を中心に事業を継続するための会費

(款) 7商工費 (項) 1商工費 (目) 2商工振興費 (単位 円)

事業名	商店街交通量調査事業費				商工政策課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
450,345					450,345	432,321

市内中心商店街における商業活動や各種計画等の基礎資料とするため、人・車等の交通量調査を実施した。

調査日時	平成31年3月22日(金) 午前8時～午後6時(10時間)
実施地点	市内中心商店街11か所と2踏切

事業名	小規模事業資金保証料補給金				商工政策課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
4,083,707					4,083,707	3,835,940

三重県中小企業融資制度の小規模事業資金借入の際の信用保証料について、利用者に補給を行った。

補給件数 39件(上限 25万円)

事業名	松阪市中心商店街活性化促進協議会補助金				商工政策課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
450,000					450,000	450,000

中心商店街の活性化を図るため、商店街連合会、商工会議所、行政等の関係団体で協力体制を確立し、ソフト事業を充実する取組みを支援した。

事業名	商店街活性化総合事業費補助金					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,620,000				181,000	4,439,000	5,369,000

各商店街が一体となり開催するイベント（まつさかまっさかりまつり、クリスマスイベント等）や各商店街振興組合等が実施する活性化対策事業、イメージアップ事業、商店街の活性化を図るための事業に対する支援及び商店街連合会の運営に対して補助した。

（振興組合・商店街連合体は事業費の1/2以内、任意商店街組織は事業費の1/3以内で補助）

イベント・環境美化事業	5 団体	1,040,000 円
施設整備事業	2 団体	1,265,000 円
街路灯等電気料補助事業	8 団体	931,000 円
商店街活性化及び公共施設跡地活用計画	1 団体	924,000 円
策定のための調査研究事業（補助事業 に対する補助）		
商店街団体の連合体に対する運営補助	1 団体	460,000 円

事業名	商工団体補助金					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
27,700,000					27,700,000	27,700,000

商工業者の育成・振興のため、商工会議所や商工会が行う活動や事業に対し、包括的な支援を行った。

交付先	松阪商工会議所	10,200,000円
	松阪北部商工会	9,500,000円
	松阪香肌商工会	8,000,000円

事業名	ものづくり技能者育成支援事業費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
56,258					56,258	83,450

企業間の連携創出と新たな発見の機会をつくることを目的に、市内の製造事業所を会場に、事業所が独自の取組みの発表、生産管理の現場見学会を含んだ情報交換会を開催した。

また、市内の高校生を対象に「まつさかの匠発見ツアー」を実施し、今後社会に出て技能者として頑張っていく若者に、松阪地域にある素晴らしい技術を知ってもらい、松阪の魅力発見と「ものづくり」への意識向上を図った。

まつさかの匠発見ツアー

見 学 先	開催期日	参 加 者
ヴァーレジャパン(株)	H30. 8. 23	松阪工業高校 7人

ものづくり技能者情報交換会

開 催 場 所	開催期日	参 加 者
松阪精工(株)	H31. 3. 15	企業・事業所 10事業所 17人

事業名	まちなか開業塾開催事業費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
209,680					209,680	219,040

商店街における将来の担い手となる新規創業者を対象に起業家研修会等の開催。

項 目	開催日	会 場	参加者等
起業家研修	6月8日・14日	産業振興センターカリヨン別館	延7人
フォローアップ指導	5月29日・30日	各個店	5件

事業名	豪商のまち店舗改装支援事業費				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,542,600					2,542,600	4,665,600

市内の商業環境の充実と振興を図るため、店舗等の改修に要する費用の一部を補助した。また、店舗等の改修工事を市内施工業者が行うことにより、地域経済の活性化を図った。

改装費補助率 1/3 上限 20万円

(松阪もめん、松阪の木の使用、景観重点地区については上限に上乗せ有り)

補助項目	補助件数	補助金額
改装費補助	13件	2,494,000円

事務経費(募集チラシ印刷代) 48,600円

事業名	創業・再挑戦アシスト資金保証料補給金				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
923,030					923,030	938,900

市内創業者を支援するため、三重県中小企業融資制度の創業・再挑戦アシスト資金借入の際の信用保証料について、利用者に補給を行った。

補給件数 64件 (上限 10万円)

事業名	豪商のまち松阪起業家支援事業費				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,200,000					4,200,000	4,200,000

新たに創業を希望する者や創業間もない事業者、業態転換や新分野に挑戦する第二創業などの人材を発掘し、地域課題の解決、人材育成、雇用の創出の視点で創業支援を行い、市内から多くの起業家を生み出すことで、市内事業者の活力の回復・向上を促し、地域経済の発展を図り、あわせて地域の活性化を目的に、市内等の創業支援機関が連携する「松阪商人サポート隊」が、創業者及び第二創業者の発掘・育成、継続的な経営支援等の事業を実施した。

豪商のまち松阪起業家支援事業業務委託 委託先：松阪商工会議所

実施事業	開催日	会場	参加者
子育て世代のためのビジネスセミナー	9月13日、20日、27日	松阪市市民活動センター	延31人
松阪商人塾	10月18～19日	松阪市市民活動センターほか	12人
創業セミナー	3月18日、20日、22日	松阪商工会議所	延60人
テーマ別セミナー	7月8日、10日、17日 実習7月20日～22日 11月16日、28日、1月23日	松阪市市民活動センター うつくしや(中町) 松阪商工会議所	延91人

実施事業	事業所数	回数	派遣内容
専門家派遣	17事業所	30回	チラシデザイン、WEBサイト、経営指導、第二創業、資金計画

※1事業所1テーマにつき3回まで派遣

事業名	産業支援センター運営事業費				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,104,959				159,486	10,945,473	8,698,191

市内中小事業者を支援するための拠点として、事業者の抱える悩みや課題解決への支援を行うため、会員制度を設け、次の事業を実施した。

窓口相談 638件

主な相談内容

施策活用関係	166件
補助金・助成金関係	110件
松阪市（支援センター）事業の紹介	100件
金融関係	89件

出張相談

事業名	開催日	開催場所	相談者
松阪商工会議所 第31回なんでも相談会	10月6日	松阪商工会議所	3人

専門家派遣

派遣実績

派遣要請件数	34件
派遣回数	123回

主な派遣内容（テーマ）

・HP、SNS、WEBの活用	11件
・事業計画（経営改善計画）策定	8件
・営業力強化	2件 など

セミナー等の開催

【主催】

事業名	開催日	参加者
若者が社会に出る前のスキルアップ講座	8/2, 8/20, 8/23, 8/29	延47人
企業から若者へのアプローチを考える講座	11/20, 12/6, 12/21	延48人
企業と若者をつなぐ場づくり事業	3/8	10人
西村ゼミin松阪	8/20, 9/11, 10/4	延24人
経営幹部社員育成講座	9/26, 10/10, 10/24, 11/14, 12/5	延59人
ビジネスセミナー	11/8, 11/16, 11/29, 2/1, 2/7	延104人
先端設備等導入計画に関する説明会	7/19	25人
働いていただき方改革の取り組み	9/12	21人
企業と子育てママたちとの逆！ドラフト会議	1/30	18人

【共催：三重県産業支援センター、NPO法人Doit、国等】

「省エネルギーセミナー」、「平成30年度地域団体商標登録制度活用セミナー」、「消費税軽減税率制度・インボイス制度説明会」ほか8事業 参加者：延104人

【支援センター会員】

随時、各種セミナー、補助金等の情報をメールマガジンにより情報提供

会員数：188件（3月末現在）

会員の主な業種	卸売業、小売業	52件
	製造業	48件
	学術研究、専門・技術サービス業	16件

事業名	カリヨンビル購入事業費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
168,904,548					168,904,548	—

市内商工業の振興、地域経済の活性化を一層促進するため、日野町のカリヨンビル関連土地・建物を購入した。

事業名	商工振興一般経費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
612,496					612,496	1,369,893

商工振興に係る一般事務経費

各種団体等負担金

区分	内容
三重県発明くふう展負担金 10,000円	毎年秋に三重県発明協会の主催により開催される三重県発明くふう展の市町負担金
日本貿易振興機構 三重貿易情報センター負担金 270,000円	県内企業の海外展開支援として海外情報提供事業、輸出促進事業、投資交流促進事業、国際的企業連携支援事業を実施し県内企業の海外展開支援している団体への自治体負担金
三重県産業支援センター会費 12,000円	三重県産業支援センターの情報誌、中小企業支援の情報・各種資料の提供サービスの会費

事業名	中心市街地活性化複合施設管理運営事業費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,514,592				13,514,592		—

松阪市中心市街地活性化複合施設の管理運営方針を決定するため委員会を開催した。

松阪市中心市街地活性化複合施設管理運営検討委員会開催 8/30 10/9 11/13

報酬84,000円

食糧費1,440円

カリヨンビル購入に伴う管理委託

委託先：(株)松阪街づくり公社

委託料13,429,152円

(款) 7商工費 (項) 1商工費 (目) 3産業振興センター費 (単位 円)

事業名	産業振興センター管理運営事業費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
17,328,912				11,834,837	5,494,075	17,209,361

地場産業や地元企業等の連携を図り、その振興の拠点として産業振興センターの機能を最大限に発揮するため、次の事業を行った。

展示販売、講演会、各種研修会・会議等の会場としての施設の提供

利用状況 (開館日数 305日)

産業振興センター

会場区分	利用回数	利用者数	会場区分	利用回数	利用者数
常設展示場			和室研修室 (2)	225件	1,017人
人材育成講座室	504件	9,332人	研修ホール	353件	12,898人
情報資料室	630件	8,998人	小研修室	317件	1,991人
和室研修室 (1)	208件	742人	計	2,237件	34,978人

カリヨン別館（開館日数 305日）

会場区分	利用回数	利用者数	会場区分	利用回数	利用者数
展示室	268件	3,651人	会議・セミナー室	322件	4,655人
			計	590件	8,306人

事業名	産業振興センター施設整備事業費				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,609,200					1,609,200	10,477,080

産業振興センターの故障個所を修繕・改修することにより、利用者の利便性・安全性の向上を図った。

産業振興センター1階内側自動扉取替修繕 507,600円

産業振興センター3階小研修室空調設備改修工事1,101,600円

（款）7商工費 （項）1商工費 （目）4観光費 （単位 円）

事業名	国際交流事業団体補助金				観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
746,000					746,000	582,707

国際交流を推進するため、活動を実施する学校および団体に対し経済的支援を行った。

申請団体名	事業内容	総事業費	補助額
順心会合気道	合気道を通じたロシア・オーストラリア交流事業（第3条1-1） 合気道による交流会、合宿などを通じて異文化への相互理解や合気道の発展を図る。参加32名。補助上限額	415,856	200,000
三重高等学校	オーストラリア姉妹校との交流事業（第3条1-1） 生徒の交流と国際理解を広げるため、オーストラリアの姉妹校と提携し、ホームステイをし、授業及び諸行事に参加し交流を図る。参加生徒17名。補助上限額	3,808,942	100,000
マノー祭り実行委員会	ミャンマー国マノー祭りIN三重（第3条1-1） ミャンマー少数民族カチン族の在日難民を波瀬地域に招き、伝統的祭りの再現や伝統料理を通じ、一般市民の異文化交流及び国際支援を行う。参加者486名 補助上限額	499,377	200,000
JAMBOF	子ども向け移動図書館事業支援（第3条1-3） ミャンマー国において移動図書館の実現をするための支援事業を実施し国際支援を行う。参加者60名	299,424	146,000
三重県立松阪商業高等学校	オーストラリア現地学校との交流事業（第3条1-1） オーストラリアで同世代の生徒たちと交流を行い、異文化に接すること見聞を広め国際感覚を養う。参加生徒10名。補助上限額	3,080,000	100,000
計			746,000

国際化が進む中、松阪市内の国際交流に取り組む民間団体や市民を支援することは、松阪市の将来を担うグローバルな人材育成施策として有効であると考え。国際交流に取り組む民間団体や市民は、財源面において十分とはいえない現状であることから、民間団体の自主性・自立性を損なわない形での財政支援を実施する。

（補助率）

【学校】 補助対象経費の2分の1または10万円のいずれか少ない額

【団体】 補助対象経費の2分の1または20万円のいずれか少ない額

事業名	国際交流員 (CIR) 事業費				観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
428,005					428,005	270,322

市内の幼稚園や保育園、学校等への訪問、公民館英会話教室の開催、アイウェーブまつさかの番組制作、地域行事への参加など、CIRとともに国際交流活動を行った。また、依頼により、来訪者の通訳、パンフレットなどの翻訳、インスタグラムなどによる外国人来訪者への情報提供などを行ったほか、松阪HHGクラブの活動にも参画した。

JETプログラム国際交流員 (CIR) 中間研修等旅費 137,650円
 活動時消耗品 28,262円
 活動時食糧費 3,000円
 JETプログラム負担金 259,093円 ほか
 平成30年度活動実績 129回 (日) 翻訳など活動 21回

事業名	地域国際化推進事業費				観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
30,800					30,800	30,800

国際化に関わる活動を行う在住外国人により「松阪市地域国際化推進会議」を開催し、外国人誘客や、外国人住民の生活の現状や課題を把握するための意見交換会を実施した。

講師謝礼金 30,000円 旅費費用弁償 800円
 講師：三重県国際交流財団企画総務課長
 日中友好協会、フィリピン協会、通訳者、外国語指導助手、国際交流員、母語スタッフ 等
 出席者9人：中国1人、フィリピン3人、ブラジル1人、アメリカ2人、ネパール1人、日本籍1人

事業名	観光客誘致事業費				観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,196,255				11,925,000	1,271,255	13,721,918

新聞、雑誌、テレビ、FMラジオ、WEBなどの広告媒体等による観光PRを実施した。

観光パンフレット、観光PR名刺による観光PR及び情報発信を行った。

豪商のまち松阪観光交流センターのPRを兼ねた観光パンフレットを近鉄主要33駅（大阪・名古屋他）に20,000部の配架を行った。

東京日本橋で開催のべつたら市、七福神めぐりや大阪で開催されたトラベルガールズフェスタ等のイベントに参加し、観光PRを行った。

広告料 5,243,200円
 印刷製本費 5,227,629円
 三重県観光連盟会費 1,165,000円 ほか

事業名	観光協会運営費補助金				観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,287,000					10,287,000	10,737,000

事業名	事業主体	事業費	市補助金	成果
観光協会運営費補助金	松阪市観光協会	16,131,730	10,287,000	松阪市観光協会職員の雇用に要する経費の一部を補助することにより、団体の健全な発展を支援し、観光振興及び物産振興の向上に努めた。

事業名	観光協会事業費補助金					観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
16,690,000					16,690,000	16,386,000	

事業名	事業主体	事業費	市補助金	成果
観光協会事業費補助金	松阪市観光協会	23,804,415	16,690,000	松阪市観光協会が行う各種イベント及び観光客誘致活動等に要する経費の一部を補助することにより、観光交流人口の増加を促進し、消費の拡大等による地域の活性化に努めた。

事業名	都市間交流事業費					観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
4,746,388					4,746,388	4,610,353	

・海外都市との交流事業

観光交流協定を締結しているベトナム国ホイアン市人民委員会への訪問や、ホイアン日本祭への参加出展を行い交流を行った。

・国内都市との交流事業

協定都市島根県浜田市、日野町、会津若松市など歴史文化的な繋がりを持つ都市や、地域的な繋がりを持つ関連都市と、観光・文化を通じた交流事業を行った。

・主な支出：「石見神楽松阪上演会」における上演謝礼金 1,170,000円

伊勢志摩観光コンベンション機構事業負担金 500,000円 ほか

[平成29年度の友好都市交流事業費212,240円を統合]

事業名	インバウンドプロモーション事業費					観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,899,784					2,899,784	3,316,555	

旅行情報誌やWebマガジンによる広告や、VJ（ヴィジットジャパン）事業などの広域連携事業に参加し、メディアや旅行会社の視察ツアー・取材の受け入れによる情報発信に努めた。

観光協会ホームページに着地型旅行プラン紹介ホームページを作成し、当地の魅力的な体験メニューを紹介することにより、誘客促進を図った。

インバウンドの取り組みに積極的な市内観光関連事業者へ向け、研修会の案内やプロモーション情報など、メール・FAXによる情報発信を行った。

広告料 405,204円

委託料 1,199,880円

伊勢志摩鳥羽インバウンド協議会負担金 1,000,000円 ほか

事業名	豪商のまち松阪プロモーション事業費					観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
12,854,210				1,845,000	11,009,210	12,850,713	

「近鉄エリアキャンペーン」により培われた観光客誘致のノウハウを活かし、運輸事業者や観光商工団体など、地域と一体となったプロモーション事業の展開を図った。

ちょこっと松阪牛 参加店舗：13店舗 メディア掲載実績：28件以上

豪商のまち松阪スタンプラリー 参加者数：1,162人

東京日本橋を会場に「松阪経営文化セミナー」を開催し、首都圏において本市の魅力を情報発信するとともに、人、情報等の相互交流の活発化による誘客促進を図った。

	会場	日付	テーマ	講師	入場人員
第1回	三重 テラス	10月21日	松浦武四郎セミナー 「武四郎の道は未来へとつづく」	山本 命	74人
第2回	日本橋 公会堂	1月23日	“日本の商いに革命をもたらした松阪の 豪商たち”	河合 敦 吉田悦之	302人

プロモーション事業委託料 9,180,000円
 プロモーション事業広告料 2,160,000円
 報償費 746,400円
 使用料及び賃借料 107,720円 ほか

事業名	リバーサイド茶倉施設管理事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,713,088					14,713,088	15,425,240

松阪市リバーサイド茶倉施設の維持管理を行い、効果的な施設運営と利用者満足度の向上に努めた。
 指定管理者に係る委託料 14,256,000円 ほか
 平成30年度利用者数 41,586人（リバーサイド茶倉 6,704人、茶倉駅 34,882人）

事業名	観光施設管理運営事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,240,679					2,240,679	8,544,645

観光地の清掃や観光地トイレ等の維持管理を行い、観光客の利便性及び安全性の向上に努めた。
 施設設備修繕料 624,942円
 維持管理業務等委託料 1,102,192円 ほか

事業名	観光情報センター管理運営事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,054,401				1,870,750	7,183,651	8,914,012

観光情報センターの維持管理を行い、観光客への案内や情報発信に努めた。
 観光案内窓口業務等委託料 6,868,800円
 観光情報センター喫茶室非常階段入口ガラス修繕 39,204円 ほか
 平成30年度来館者数 26,777人

事業名	飯高グリーンライフ山林舎施設管理事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,920,521					1,920,521	1,924,625

飯高グリーンライフ山林舎施設の維持管理を行い、利用者の快適性、安全性の確保に努めた。
 飯高グリーンライフ山林舎2階テラス修繕 491,400円
 指定管理者に係る委託料 982,286円、土地借上料 446,835円
 平成30年度利用者数 3,489人

事業名	飯高森林とのふれあい環境整備施設管理事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,468,611					1,468,611	1,465,371

飯高森林とのふれあい環境整備施設の維持管理を行い、利用者の快適性、安全性の確保に努めた。

つつじの里荒滝差動式スポット型感知器設置修繕ほか1件 197,640円

指定管理者に係る委託料 970,971円、土地借上料 300,000円

平成30年度利用者数 2,093人

事業名	飯高奥香肌峡林間キャンプ場施設管理事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,184					5,184	6,739

飯高奥香肌峡林間キャンプ場水道代 5,184円

平成26年4月から休業中

事業名	飯高ホテルスメール関連施設管理事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,000,000					12,000,000	12,546,480

飯高ホテルスメール関連施設の維持管理を通じて利用者の快適性、安全性の確保に努めた。

指定管理者に係る委託料 12,000,000円

平成30年度利用者数 36,241人

事業名	飯高ホテルスメール関連施設整備事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,742,440					6,742,440	6,676,560

ホテルスメール2階宴会場空調機更新修理ほか3件 6,742,440円

事業名	指定管理者選定委員会事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
71,875					71,875	35,675

平成31年度における指定管理者候補を選定するため、指定管理者審査選定委員会を開催した。

指定管理者審査選定委員会

(グリーンライフ山林舎、森林とのふれあい環境整備施設、宿泊施設スメール及び香肌峡健康の森運動公園)

第1回…平成30年6月11日、第2回…平成30年8月29日

(豪商のまち松阪観光交流センター、旧長谷川治郎兵衛家、旧小津清左衛門家、原田二郎旧宅)

第1回…平成30年7月24日、第2回…平成30年10月29日

報酬 70,000円 ほか

事業名	魅力ある観光地づくり支援事業費					観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
8,973,216					8,973,216	9,561,574	

まちなかの「おもてなし処」2か所（夢休庵、鈴の音）を運営し、観光客への案内や情報発信に努めた。

おもてなし処「鈴の音」開設業務委託 開設日数48日、来客数1,415人

おもてなし処「夢休庵」開設業務委託 開設日数62日、来客数3,095人

松阪公園ライトアップ等業務委託等 1,555,173円

まつさか交流物産館の運営による地域製品のPR、販売に努めた。

まつさか交流物産館接客等業務委託 4,406,400円 ほか

平成30年度来館者数 31,495人

事業名	飯高総合案内施設管理事業費					観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,581,120					1,581,120	1,581,120	

飯高総合案内関連施設の維持管理を通じて利用者の快適性、安全性の確保に努めた。

指定管理者に係る委託料 1,581,120円

平成30年度利用件数 5,808人

事業名	飯高総合案内施設整備事業費					観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
6,744,600			6,700,000		44,600	4,307,040	

飯高総合案内施設バリアフリー化改修工事 6,744,600円

事業名	観光交流拠点施設等整備事業費					観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
236,118,091			198,200,000		37,918,091	138,701,000	

まちなかに点在する観光資源の魅力をつなぎ、観光客のニーズにあった情報発信やガイドンを行うことで、回遊性や滞在性の拡大を図るため、まち歩きの出発点を担う観光交流拠点施設の整備を行った。

観光交流拠点施設本館新築工事 105,824,000円

観光交流拠点施設本館展示工事 99,160,000円 ほか

松阪の歴史・文化の魅力を発信し、豪商のまち松阪観光交流センターオープンに向けてのPRを行った。

阪急たびコト塾（大阪市）でセミナー開催 3/1～2、計3回開催 参加者175人

観光交流拠点リーフレット 3,000枚作成、配布（東京、北海道ほか）

事業名	定住自立圏観光連携事業費					観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,180,000					2,180,000	2,180,000	

松阪市・多気町・明和町・大台町で構成する協議会の事業負担金。定住自立圏構想に基づき、平成28年5月2日、「松阪・多気・明和・大台圏域観光連携事業推進協議会」を設立。協議会において観光連携事業を実施。

事業負担金 2,180,000円

事業名	観光一般経費				観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
763,935					763,935	836,420

通信運搬費 309,193円、事務消耗品購入費 454,742円

(款) 7商工費 (項) 1商工費 (目) 5交通政策費 (単位 円)

事業名	地域公共交通システム事業費				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
138,127,487				36,854,800	101,272,687	128,511,773

市街地循環線、廃止代替バスほか市内コミュニティバス等の運行経費。地域住民の買い物、通院等の交通手段の確保に努めた。

特定財源

飯南コミュニティバス路線運賃	156,200円
地域公共交通確保維持改善事業費収入	21,989,000円
協賛金	14,709,600円

路線名	年間利用者数(人)	1日の運行便数	委託料(円)	
市街地循環線 (鈴の音バス)	87,112	右回り8便左回り9便 (土日祝8便)	32,832,016	
大口線	6,365	大口線8便	17,109,756	
三雲松阪線	16,349	三雲松阪線 11便		
黒部・東線	6,939	10便	5,947,470	
機殿・朝見線	4,978	10便	7,922,495	
飯福田・柚原線	0	2便(金土1日3便)	—	
与原・深長線	40	4便	—	
嬉野地域コミュニティバス(嬉野おおきんバス)	7,238	7便	12,746,078	
飯高波瀬森線	2,124	6便	7,641,678	
三雲地域コミュニティバス(たけちゃんハートバス)	5,935	10便	8,620,676	
飯南 コミュニティバス	有間野・波留・横谷主線	343	4便	6,454,851
	相津・下郷主線	377	4便	
	深野・横野主線	327	4便	
	飯南主線	169	2便	
	仁柿主線	536	4便	
廃止代替バス	宇気郷線	11,163	平日:7便 休日:6便	29,089,800
	阿坂小野線	24,748	9便	
合計	174,743	—	128,364,820	

加入団体負担金

区分	内容
三重県鉄道網整備促進期成同盟会分担金 94,000円	県内旧国鉄線の整備促進を図り、沿線地域住民の利便性向上に寄与することを目的とした団体への加盟分担金
JR名松線沿線地域活性化協議会負担金 100,000円	JR名松線沿線地域の生活交通の確保・維持及びJR名松線の利活用を主軸とした活性化を目的とした協議会への加盟負担金
リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会分担金 44,300円	リニア中央新幹線の早期建設と、県内への停車駅設置を図ることを目的とする同盟会への加盟分担金

事業名	飯南コミュニティバス購入事業費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,761,063			2,500,000		261,063	—

飯南地域で運行するコミュニティバス「飯南コミュニティバスほほえみ」で使用する10人乗りの普通乗合自動車を購入した。

事業名	伊勢鉄道基盤強化等対策事業負担金					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,467,000					14,467,000	14,467,000

第三セクターである伊勢鉄道(株)が実施する施設・設備の老朽化に対処するために進める中期安全設備計画に対する支援を行った。

整備内容：信号保安設備、レール・枕木更新、停車場設備・のり面改良

H28年度～30年度の3か年（債務負担）で、三重県地域交通体系整備基金に積増しを行うもの

事業名	海上アクセス旅客ターミナル管理事業費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
290,804					290,804	1,359,214

海上アクセス事業廃止に伴い、ターミナルの処分までの間、施設の維持管理を行った。

松阪港旅客ターミナル施設機械警備委託 48,600円

光熱水費 189,444円 ほか

事業名	海上アクセス旅客ターミナル解体事業費（繰越分）					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
62,130,996				62,130,996		—

海上アクセス事業廃止に伴い、松阪港旅客ターミナルの一部施設の解体を行った。

- ・松阪港旅客ターミナル施設ポンプ室棟解体他工事 27,004,320円
- ・松阪港旅客ターミナル駐車場撤去工事 33,840,720円
- ・松阪港旅客ターミナル時計塔移設工事 1,285,956円

事業名	商工費国庫支出金返還金（繰越分）					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
29,909,008					29,909,008	—

松阪港旅客ターミナルの駐車場周辺施設等の解体に伴い、整備に充当した国庫補助金の一部を返還した。

(款) 7商工費 (項) 1商工費 (目) 6ブランド推進費

(単位 円)

事業名	ふるさと特産品PR事業費					地域ブランド課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
283,413,189				202,119,900	81,293,289	90,699,531

ふるさと納税制度（応援寄附金）を活用して、松阪市に思いを寄せていただいた全国の方々に松阪市の優れた特産品を贈呈し、松阪市や特産品の魅力を広く全国に発信することができた。

報償費（特産品購入代） 220,522,517円

役務費（ふるさと納税サイト利用手数料等） 58,659,691円

使用料及び賃借料（ふるさと納税管理システム使用料等） 486,000円 ほか

用途別	寄附金額(円)	件数
市長におまかせ	269,765,000	6,941件
～輝く子供たち～ 子育て支援	148,410,000	4,388件
～いつまでもいきいきと～ 高齢者・障がい者福祉の推進等	36,710,000	1,033件
～活力ある産業～ 農林水産・観光振興等	171,279,000	4,480件
～地域づくり～ 住民協議会活動支援	8,861,000	193件
～人と地域の頑張る力～ 文化振興・人権尊重等	6,150,000	186件
～安全・安心な生活～ 交通安全・防災対策等	12,750,000	357件
～快適な生活～ 環境保全・道路整備等	19,880,000	599件
計	673,805,000	18,177件

寄附件数計 18,177件

寄附金額計 673,805,000円

返礼品数	250
事業者数	64

事業名	地域特産品ブランド戦略事業費					地域ブランド課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,198,955					3,198,955	3,985,983

地域プロモーション業務委託において、地域特産品の活用促進及び認知度向上のため、東京、京都、広島のレストランで、地元産品のメニュー開発と料理の提供を行い、特産品と市のPRを図った。また、松阪赤菜と松阪豚をはじめとした特産品の販路拡大を進めた。

販路実績・・・16店舗

旅費：松阪茶PRほか 632,190円

委託料：地域プロモーション業務委託 3件 1,864,000円 ほか

事業名	ブランド大使・マスコットキャラクター活用事業費					地域ブランド課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
380,804				21,000	359,804	1,084,718

ブランド大使は、新たにモデル・ロックバンド・児童文学作家の3組が加わり、各方面で活躍する大使が松阪市のPRを図った。

ブランド大使 18組（うち、平成30年度新規委嘱3組 退任1人）	
活動実績	桂文我（三重テラス：三重に因んだ落語会）、あべ静江（BSフジ：松阪木綿の着物で収録）、岡美保子（東京都：イベント内で童謡披露）、高山みな子（鎌倉市：講演会で松阪市をPR）、各ブランド大使がSNS等で松阪市をPR

ちやちやも	
貸出実績	一般イベント 63件、行政イベント 49件 計112件
イラスト使用実績	商品ラベル、年賀状、封筒、タオル、工事看板、スマートフォン用アプリ他 24件

旅費 74,030円
 需用費 256,235円 ほか

事業名	ふるさと応援基金積立金				地域ブランド課
決算額	財源内訳				【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	
465,467,400				465,467,400	14,360,000

ふるさと応援寄附金によるふるさと応援基金積立金 17,984件
 平成30年度末基金現在高 479,827,400円

事業名	市民活動振興基金積立金				地域ブランド課
決算額	財源内訳				【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	
6,217,700				6,217,700	24,448,000

ふるさと応援寄附金による市民活動振興基金積立金 193件
 平成30年度末基金現在高 17,676,721円

事業名	ブランド推進一般経費				地域ブランド課
決算額	財源内訳				【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	
890,386					890,386

ブランド推進に係る一般経費
 需用費（消耗品費等） 469,071円
 使用料及び賃借料（公用車リース料） 395,280円 ほか

（款）7商工費 **（項）1商工費** **（目）7産業立地費** （単位 円）

事業名	企業誘致推進事業費				企業誘致連携課
決算額	財源内訳				【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	
14,150,901				5,448	14,145,453

市内産業用地への優良企業の立地を推進するため、企業動向等を把握し、戦略的な企業誘致活動を行った。また、企業立地の誘致・誘置戦略および立地環境整備の基本方針等を示した「企業立地戦略」ならびに企業立地戦略のハード面を具現化するものとして「産業用適地整備計画」を策定した。

旅費 1,644,510円
 委託料（企業立地戦略及び産業用適地整備計画策定支援業務委託料等） 7,965,216円 ほか

工場立地協定実績

場所	上川工業団地
会社名	松阪工具株式会社
協定事項	小型作業工具の製造、産業機械部品の切削加工に伴う工場の増設
所在地	松阪市上川町長楽3620-14
業種	小型作業工具の製造、産業機械部品の切削加工
協定締結日	平成30年4月27日

場所	上川工業団地
会社名	株式会社ライジング
協定事項	新規立地
所在地	大阪府大阪市中央区南本町1-8-14
業種	音響機器、通信機器の設計・開発及び製造販売
協定締結日	平成30年6月27日

場所	松阪市飯南町向粥見159-3
会社名	株式会社三ツ知製作所
協定事項	優れた製品の供給、技術研究開発及び事業強化に伴う工場の増設
所在地	松阪市飯南町向粥見159-3
業種	冷間鍛造、切削による自動車部品製造業
協定締結日	平成30年12月3日

場所	松阪市久保町1855-370
会社名	オムロンヘルスケア株式会社松阪事業所
協定事項	血圧計を中心とした医療機器のマザー工場としての役割強化に伴う工場の建て替え
所在地	松阪市久保町1855-370
業種	家庭用・医療用健康機器の開発・販売等
協定締結日	平成31年1月8日

場所	島田工業団地
会社名	株式会社キヨリックス三重
協定事項	車載向けなどの高信頼性電子部品用原料の製造に伴う工場の増設
所在地	松阪市嬉野島田町1582-1
業種	電子部品用セラミック原料製造業
協定締結日	平成31年3月22日

企業訪問活動

引き合い企業への訪問、立地意向調査有効回答企業へのフォローアップ、立地済企業の本社訪問、企業立地情報に係る関連機関への訪問等

企業等訪問:207回、企業等訪問数:584社（県外:199、県内〔市内除く〕:66、市内:319）

事業名	企業立地促進奨励金				企業誘致連携課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
66,980,000					66,980,000	52,426,000

市内全域において、工場等新設の際、工場用地取得価格の25%相当額の奨励金を5年分割で交付している。

交付先	交付金額	交付期間
ゲスタンプ・ホットスタンピング・ジャパン株式会社	40,000,000円	H30年度～R4年度
パワーサプライテクノロジー株式会社	15,500,000円	H30年度～R4年度
株式会社ライジング	3,814,000円	H30年度～R4年度
ウッドピア木質バイオマス利用協同組合	7,666,000円	H26年度～H30年度
計	66,980,000円	

事業名	地域資源活用企業立地促進奨励金				企業誘致連携課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,960,000					7,960,000	7,961,000

松阪市の地域資源（農業・林業・漁業等）の原材料を活用し、地域特産品を製品化することで、新たな事業展開がなされた企業に対し、工場用地取得価格の30%相当額の奨励金を5年分割で交付している。

交付先	交付金額	交付期間
松阪木材株式会社	7,960,000円	H26年度～H30年度

事業名	産業経済人交流事業費				企業誘致連携課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,543,459					2,543,459	2,752,546

首都圏・関西圏・中京圏の企業、業界、経済団体等の経営者や担当者を一堂に会して、松阪市の産業、観光、文化、自然環境などの多様な情報の発信と、企業誘致や企業連携にかかるネットワークの構築を図るため「産業経済人交流会」を開催した。

産業経済人交流会

【首都圏開催】

開催日 平成30年8月24日（金）第一勧業信用組合 本店（東京都新宿区）にて開催

参加者 企業関係者、金融機関、行政機関等、38社・61人

内容 第1部 市長によるプレゼンテーション等、第2部 情報交換会

【関西圏開催】

開催日 平成30年11月6日（火）中之島センタービル（大阪市北区）にて開催

参加者 企業関係者、金融機関、行政機関等、44社・67人

内容 第1部 市長によるプレゼンテーション等、第2部 情報交換会

【中京圏開催】

開催日 平成31年1月24日（木）名古屋商工会議所（名古屋市中村区）にて開催

参加者 企業関係者、金融機関、行政機関等、42社・59人

内容 第1部 市長によるプレゼンテーション等、第2部 情報交換会

事業名	企業連携推進事業費				企業誘致連携課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,537,276					2,537,276	2,085,236

市内企業と地域内外の企業間連携を支援し、技術連携や新製品の共同開発、販路拡大等のビジネスマッチングの推進など企業連携活動を実施した。

ビジネスマッチング等を目的とした企業・団体の支援実績
 新商品開発及び新規技術事業への参画支援を目的としたもの 7件（内取引完了7件）
 商品の販路拡大を目的としたもの 4件（内取引完了4件）

松阪発スゴ技企業バスツアー
 開催日 平成30年9月25日（火）
 参加者 28名（三重大学他）
 内容 訪問企業（2社）、紹介企業（3社）

事業名	中小企業伴走型支援事業費				企業誘致連携課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,960,200					1,960,200	1,782,000

市内中小企業の新製品等のデザイン制作や魅力ある技術力、製品情報にかかるPR制作映像・放映を行うなど販売促進に向けた専門的ノウハウを持つコンサルティング業務を委託した。

委託料（中小企業伴走型支援業務委託） 1,960,200円

事業名	中小企業伴走型事業補助金				企業誘致連携課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,000,000					3,000,000	3,000,000

市内中小企業1社に対し、製品化に向けたブラッシュアップ、実証、販売促進にかかる経費やそのための専門家派遣の経費に対し、補助金を交付した。（補助率9/10、上限額3,000千円）

補助対象事業者	対象事業費	補助金額	成果
山越畜産松阪豚専門店 まつぶた	3,584,418円	3,000,000円	既存商品の改良、新商品開発支援、自社ブランドの強化、首都圏及び関西圏を中心とした製品販路の拡大、展示会等への出展

事業名	中小企業販路拡大支援補助金				企業誘致連携課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,283,000					2,283,000	2,351,000

市内中小企業の販路開拓のための展示会・商談会等への出展経費に対し、補助金を交付した。（補助率1/2、補助上限額1社あたり500千円）

補助件数	補助対象事業者	補助金額
5件	岩崎工業(株)、中山酒造(株)、ニシデン産業(株)、橋本電子工業(株)、(有)牧野商店	2,283,000円 (総額)

(款) 7商工費 (項) 1商工費 (目) 8文化振興費

(単位 円)

事業名	地域文化振興事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,886,000					3,886,000	3,684,000

各地域の特性を生かした文化振興を推進するため、文化組織を育成し、地域の文化祭等を開催した。

嬉野文化祭、三雲文化祭、飯高文化祭

嬉野おどろまいかコンテスト事業 ・まつさかおやじバンド合戦 等

事業名	本居宣長記念館補助金					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
31,056,000				105,818	30,950,182	77,814,000

本居宣長記念館の管理運営、破風及び屋根瓦修理工事に要する経費の一部を補助した。また、国学者本居宣長の旧宅、宅跡その他関係史蹟及び遺墨、遺品等を調査研究するとともに公開し、顕彰に努めた。

交付先 (公財) 鈴屋遺蹟保存会

事業名	市美術展覧会開催事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,631,887				2,631,887		2,737,299

美術文化の祭典として美術鑑賞の機会を提供し、市民の創作意欲を高めるとともに、美術に対する理解を深め、松阪地域の美術水準の向上を図るため、文化財センターで「松阪市美術展覧会」を開催した。また、次代の松阪市を担う子どもたちに美術へ関心を持つ機会を提供するため、松阪市展と同じ「彫刻・工芸」部門で、児童を対象としたワークショップを実施し、対象年齢に応じた作品づくりを行うとともに、制作した作品を会期にあわせ展示した。

第59回松阪市美術展覧会

区分	開催日	成果
第1部 絵画、 彫刻・工芸	H30. 9. 29～ H30. 10. 6	出品数：286点 (うち高校生以下 12点) 展示数：282点
第2部 写真、書道	H30. 10. 20～ H30. 10. 27	合評会参加者数：96人 会期中入場者数：2,334人

夏休みこどもワークショップ2018

彫刻・工芸部門 「お皿をつくろう！」

日 時： 平成30年8月17日 (金) 13:00～15:00

場 所： 文化財センター 第1ギャラリー

参加者： 市内小学校1～6年生 28人

事業名	芸術文化活動奨励金・勲功賞交付事業費				文化課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
422,280				422,280		270,000

市民文化の振興を図るため、松阪市文化振興基金条例及び同運用規則の規定により、芸術文化活動の全国大会へ出場する生徒に対し、芸術文化活動奨励金を交付した。また、全国大会で優秀な成績を収めた生徒に対し、表彰状を授与した。

第38回全国高等学校IT・簿記選手権出場 [IT部門]	(団体 9人)	90,000円
第39回全国中学生選抜将棋選手権大会	(個人 1人)	10,000円
第20回『女子の部』出場		
第65回NHK杯全国高校放送コンテスト出場		
[創作テレビドラマ部門]	(団体 19人)	100,000円
[アナウンス部門]	(個人 1人)	10,000円
第42回全国高等学校総合文化祭 [弁論部門]	(個人 1人)	10,000円
第65回NHK杯全国高校放送コンテスト出場	(団体 19人)	72,360円
[創作テレビドラマ部門] 【勲功賞】		
第35回全国商業高等学校英語スピーチ	(個人 1人)	10,000円
コンテスト出場 [スピーチの部]		
第21回日本ジュニア管打楽器コンクール出場	(個人 1人)	10,000円
[高校生コース、ソロ部門：トランペット]		
第21回日本ジュニア管打楽器コンクール出場	(団体 5人)	50,000円
[高校生コース、アンサンブル部門：金管の部]		
第21回日本ジュニア管打楽器コンクール出場	(個人 1人)	10,000円
[高校生コース、ソロ部門：トランペット] 【勲功賞】		

事業名	埴輪制作事業費				文化課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
448,000					448,000	458,000

「はにわづくりの会」に事業を委託し、住民協議会や小学校高学年を対象としたはにわづくり出前教室を実施した。また、こどもハニワ展の開催や、レプリカ埴輪の制作等を通じて、文化遺産に対する保存と顕彰の必要性と文化意識向上の啓発を行った。

はにわづくり出前教室 14回、参加者数 462人

こどもハニワ展

日時：平成31年1月19日（土）～1月27日（日） 場所：文化財センター

展示作品数：423点 入場者数：380人

事業名	音楽文化活動事業費				文化課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,777,000				1,777,000		1,827,000

音楽を通して、世代や地域を超えた文化振興を推進するため、合唱フェスティバルと吹奏楽フェスティバルを開催した。

合唱フェスティバル

日時：平成30年10月21日（日）12時20分～16時50分 場所：クラギ文化ホール

出演者：公募による幼児と保護者、小学生、中学生、高校生、

一般の各コーラス及び市内の合唱団 29団体、延約800人

入場者数：約1,200人

吹奏楽フェスティバル

日時：平成31年1月27日（日）13時00分～16時00分 場所：クラギ文化ホール
 出演者：松阪地区の小学生バンド、中・高等学校の吹奏楽部及び社会人バンド
 18団体、523人
 入場者数：1,035人

事業名	文化芸術団体共催事業費				文化課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
167,340				167,340		164,341

松阪市文化芸術団体連絡協議会と協働で、市民に芸術文化の鑑賞及び体験の機会を提供した。

会場	実施日	行事名	連絡協議会加盟団体名	入場者数
農業屋コ ミュニ ティ文化 センター	H30. 4. 1	第15回宣長さん吟詠剣詩舞道 記念大会	松阪吟詠剣詩舞道連合会	331人
	H30. 9. 1	第8回松阪市民ギター音楽祭 [フェスティバル部門 独奏・重奏]	松阪ギター音楽協会	100人
		[コンサート部門]		175人
	H30. 9. 2	[フェスティバル部門 合奏]		400人
	H30. 11. 2	第5回松阪市民能	松阪能楽連盟	224人
文化財セ ンター	H30. 4. 8 ～ 4. 15	第15回記念合同水墨画展	松阪水墨画交流会	1,422人
	H30. 6. 19 ～ 6. 24	第7回松阪写真交流会フォトフェス ティバル	松阪写真交流会	765人

事業名	小津安二郎青春館等管理運営事業費				文化課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,176,616				3,103	4,173,513	4,180,964

小津安二郎が多感な青春時代の10年間を過ごした愛宕町の町屋を借り受け創設した「小津安二郎青春館」、及び代用教員として過ごした飯高町宮前で開設した「小津安二郎資料室」の管理運営に係る経費。「小津安二郎青春館」では、小津監督の青春時代を彷彿させる品物や関係写真など、「小津安二郎資料室」では、教え子たちにより集められた監督の思い出の品々などの展示を行った。

小津安二郎青春館 開館日数：208日 入館者数：1,301人
 小津安二郎資料室 開館日数：176日 入館者数：878人

また、「映画監督 小津安二郎企画展—小津安二郎生誕115年・小津安二郎青春館開館15周年—」と題して、小津家資料、小津安二郎外祖父にあたる親族等所蔵の資料展示イベントのほか、関係者によるギャラリートーク等を行った。

展示イベント

開催日：平成30年6月26日（火）～7月1日（日）
 場所：文化財センター 第3ギャラリー
 入場者数：402人

ギャラリートーク 『「彼岸花」から「秋日和」まで—松竹大船撮影所時代』

開催日時：平成30年6月30日（土）15時25分～16時00分
 講師：日本映画撮影監督協会 理事長 兼松熙太郎氏
 （聴き手 同志社女子大学助教 宮本明子氏、映像作家 松浦莞二氏）
 参加者数：52人

ギャラリートーク 「世界がみた小津安二郎監督」

開催日時：平成30年7月1日（日）15時10分～16時00分

講師：映画監督 田中康義氏

（聴き手 同志社女子大学助教 宮本明子氏、映像作家 松浦莞二氏）

参加者数：30人

事業名	文化振興一般経費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,192,691				358,600	1,834,091	2,415,550

芸術文化の振興、文化事業推進等に係る一般経費、また文化財の保護及び活用に関する事項について文化財各分野の専門家・学識経験者等で構成する文化財保護審議会等の開催等に係る経費

(款) 7商工費 (項) 1商工費 (目) 9文化財保護費 (単位 円)

事業名	文化財保存管理活用事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
29,090,088				22,424,370	6,665,718	39,172,725

歴史的建造物等の保存活用を目的に、重要文化財御城番屋敷の1戸を借り受けて一般公開を行った。市指定文化財原田二郎旧宅の一般公開及び企画展示「原田二郎が愛した品々」の開催、並びに重要文化財旧長谷川邸のフリー公開及び団体公開を実施した。

入館者数

御城番屋敷：39,017人

原田二郎旧宅：5,490人

旧長谷川邸：フリー公開 12,663人（年間106日）、団体公開 527人（26団体）

合計 13,190人

施設別事業費等

御城番屋敷公開費 3,060,126 円

原田二郎旧宅公開費 3,342,869 円

旧長谷川邸公開費 16,561,217 円 ほか

指定史跡等の草刈及び修繕等を行い、環境整備に努めた。また、文化財パンフレット等の印刷を行い、文化財の普及活動に努めた。

草刈等実施か所：宝塚古墳、天白遺跡、粥見井尻遺跡、滝之川古墳、

久保古墳、川北古墳、東町参宮古道跡

修繕等実施か所：宝塚古墳看板修繕、宝塚古墳回廊階段修繕、松坂城跡案内看板修繕、

松坂城跡土砂流出応急修繕、久保古墳側溝修繕 ほか

史跡等管理費 5,535,465 円 ほか

天然記念物の保護を目的に、ムシトリスミレのパトロール活動及び月出の中央構造線観察所の環境整備等を行った。

天然記念物保護費 137,280 円 ほか

事業名	殿町武家屋敷生垣等保存整備事業補助金					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
762,100					762,100	774,100

御城番屋敷及び本殿町、上殿町の武家屋敷の町並みを保全するための生垣や庭木の刈り込み、剪定、補植に要する経費を補助し、景観保全を推進した。

交付先 (同) 苗秀社及び本殿町・上殿町 19件

事業名	無形民俗文化財保存活用補助金					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,161,400					1,161,400	1,191,900

無形民俗文化財の保存、継承を図るために必要な経費を、保持団体に補助した。

交付先

獵師かんこ踊り保存会、松ヶ崎かんこ踊り保存会、小阿坂かんこ踊り保存会、西野子踊り保存会、松阪しょんがい音頭と踊り保存会、射和祇園祭保存会、曾原獅子舞保存会、曾原かんこ踊り保存会、笠松かんこ踊り保存会、津屋城でこさん保存会、天玉神社神楽保存会、てんてん保存会、和屋・立田・朝田よいよい神事保存会、手力男神社虫送り保存会 14件

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
988					988	3,033,785

民間開発に伴う発掘調査がなかったため、出土遺物整理作業員の労災保険の概算支出のみとなった。

事業名	市内遺跡緊急発掘調査事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,021,723	1,343,000	313,000			1,365,723	2,722,447

文化財保護法第93条、94条に基づく届出・通知のあった遺跡について、試掘調査・範囲確認調査を22件行った。

事業名	埋蔵文化財活用事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
435,915				53,550	382,365	802,684

埋蔵文化財への関心と理解を深めるため、中郷地区活性化協議会に業務を委託し、うれしの天白縄文まつり（嬉野）にて、古代体験イベントを開催した。また、ワークショップや「はにわ館」中学生ボランティアガイド等を実施した。

古代生活体験イベント

「うれしの天白縄文まつり」平成30年11月25日（日） 参加者数 1,400人

古代体験ワークショップ

学習支援展示ワークショップ「ミサンガづくり」

平成30年4月14日（土） 参加者数 20人

GWワークショップ「はにわストラップ、勾玉アクセサリー」

平成30年5月3日（木）～5月5日（土） 参加者数 147人

夏休みワークショップ「ステンシルであそぼう」

平成30年7月28日（土）～7月29日（日） 参加者数 40人

特別展ワークショップ「勾玉づくり」

平成30年11月4日（日） 参加者数 52人

冬季企画展ワークショップ「勾玉づくり」

平成31年3月9日（土）～3月10日（日） 参加者数 91人

出前授業等（学校教育）

依頼校 3校

職場体験学習「わくわくワーク」

参加校 2校、延5人

「はにわ館」中学生ボランティアガイド

平成30年7月28日（土）、29日（日）、31日（火）、8月1日（水）～3日（金）

参加者数 22人

事業名	郷土資料室資料保存管理事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,977,731				162,268	2,815,463	4,581,501

所蔵資料、受贈資料等の整理・保存・目録化、郷土資料の研究及び福祉会館移転工事に伴い郷土資料室書庫の移転を行い、旧飯高町地域古文書目録を刊行した。

事業名	文化財保存整備事業補助金					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
310,000					310,000	334,000

重文 旧松坂御城番長屋西棟及び県指定 御城番屋敷土蔵の虫害防除事業に要する経費の一部を補助した。
交付先 (同) 苗秀社

事業名	歴史・文化・伝統保存整備基金積立金					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,954				5,954		16,974

多様な歴史、文化及び伝統を継承し、地域文化の創造を市民等と協働して取り組むための基金に対し、基金利子を積み立てた。

基金利子 5,954円
平成30年度末基金現在高 14,158,650円

事業名	指定文化財保存修理事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,150,935	1,100,000			211,000	1,839,935	3,460,267

重要文化財「松浦武四郎関係資料」全1,505点のうち、傷みの激しい資料1件の保存修理を行うとともに、松浦武四郎記念館で保管している資料の整理作業を行った。

修理対象資料

1. 檜林昌建書簡 半紙仮綴など 72通

事業名	旧長谷川邸保存整備事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
59,897,580			23,400,000		36,497,580	—

重要文化財である旧長谷川邸を保存整備し、来館者の利便性向上や安全確保を図るため工事を行った。整備検討委員会を2回開催した。

屋外トイレ新築工事費 24,639,120円
自動火災報知設備設置に伴う改修工事費 35,055,720円

事業名	無形民俗文化財普及事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
120,617					120,617	123,250

市民の財産である無形民俗文化財を保存・活用し、より多くの市民に知っていただくため、市指定の節目周年を迎えた保存会の協力を得て、記念イベントを実施した。

『松阪の無形民俗文化財展』

開催日：平成30年11月13日（火）～11月18日（日）

場所：文化財センター 第3ギャラリー

対象無形民俗文化財：市指定「甚目の虫送り」（20周年）

市指定「曾原の獅子舞」（20周年）

市指定「笠松かんこ踊」（20周年）

市指定「曾原かんこ踊」（20周年）

市指定「よいよい神事（四藪生神事）」（40周年）

内容：無形民俗文化財で使用する道具や衣装等の資料、写真パネルの展示、プロジェクターによる記録映像の放映 等

入場者数：227人

事業名	松坂城跡保存整備事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
24,382,562	9,550,000	1,337,000		22,321	13,473,241	7,134,015

松坂城跡の保存並びに活用にかかる整備を進めるため、整備検討委員会を1回開催するとともに、石垣や土塁等遺構に損傷を与える恐れのある樹木の伐採工事実施設計及び伐採工事、また、石垣保存修理工事を行った。

事業名	松阪歴史文化塾事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
384,724					384,724	502,528

市内の歴史・文化に対する理解と関心を高めることを目的とした歴史文化塾を2回開催した。

第1回 長谷川家資料調査大報告会～10年の歩み～

場所：松阪市産業振興センター

講師等：門 暉代司 氏、鈴木えりも 氏 ほか

日時：平成30年7月22日（月祝） 13:30～15:30

参加者数：60人

第2回 講座「旧長谷川邸庭園の楽しみ方」

場所：旧長谷川邸 離れ座敷・庭園

講師：野村勘治 氏

日時：平成30年11月4日（日） 13:30～15:00

参加者数：25人

(款) 7商工費 (項) 1商工費 (目) 10文化センター費

(単位 円)

事業名	松阪市民文化会館管理運営事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
57,513,307				25,078,280	32,435,027	51,882,283

クラギ文化ホールの管理運営経費。快適に施設利用ができるよう、客席内時計の修繕や、消防設備の修繕等を実施した。

クラギ文化ホール使用状況 (延人数 84,541人) (単位: 件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市行事	4		6	8	4	10	11	9	9	8	3	1	73
講演会・集会			3	1	3	2	5				4	1	19
コンサート	1	4	6	3	2	2	1	3		2		2	26
演劇			1						2				3
映画					1						1		2
舞踊	1	4										1	6
伝統芸能								1					1
芸能発表会								2			2	1	5
学校行事	4	1	4	8	8	11	6	1	10	4	8	11	76
計	10	9	20	20	18	25	23	16	21	14	18	17	211

事業名	松阪コミュニティ文化センター管理運営事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
38,204,722				7,842,595	30,362,127	36,267,241

農業屋コミュニティ文化センターの管理運営経費。快適に施設利用ができるよう、空調設備や消防設備の修繕等を行った。

農業屋コミュニティ文化センター使用状況 (延人数 47,964人) (単位: 件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市行事	3	4	6	7	5	7	7	10	7	10	7	7	80
講演会・集会	2	3	7	2	3	4	4	5	2	3	3	2	40
コンサート	3		1	2	3	2	1	2	2	1	1	6	24
演劇		2	1										3
映画						2							2
舞踊					2	1	2						5
伝統芸能				4	3		1						8
芸能発表会	6	4	3	7	5	7	7	5		5	2	2	53
学校行事		2	4	5	4	6	4	3	8	4	7	6	53
計	14	15	22	27	25	29	26	25	19	23	20	23	268

事業名	松阪コミュニティ文化センター施設整備事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,543,848			10,100,000		3,443,848	—

松阪市文化センター吊り天井改修検討委員会の答申に基づき、特定天井の準構造化工事を実施するための設計業務を行った。

契約期間 H30.10.16～R1.11.29

契約額 45,146,160円（H30年度 13,543,848円、R1年度 31,602,312円）

工事名	事業内容	事業費
農業屋コミュニティ文化センター特定天井等改修工事設計業務	特定天井の準構造化工事に伴う設計業務	45,146,160

事業名	嬉野ふるさと会館管理運営事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
34,032,032				5,024,264	29,007,768	31,373,246

市民の文化教養の向上及び福祉の増進を目的に設置した嬉野ふるさと会館の管理運営経費。また、安全に施設利用ができるよう、音響室空調・会館電話交換機・搬入口扉鍵・大ホール空調等の修繕等を行った。

嬉野ふるさと会館使用状況 大ホール（延人数 34,302人）（単位：件）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市行事		2		6	4	0	8	5	4		6	6	41
講演会・集会	1		2	1				1			1		6
コンサート			2										2
演劇										1			1
映画					1				1				2
舞踊	1				1		1					1	4
伝統芸能			5										5
芸能発表会	3	1	2	2	5	2	1	7	4		2	7	36
学校行事		1	1	7	5	4	1		1	3	2		25
計	5	4	12	16	16	6	11	13	10	4	11	14	122

嬉野ふるさと会館使用状況 多目的ホール（延人数 14,799人）（単位：件）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市行事	2	5	3	12	5	3	9	5	3	1	10	7	65
講演会・集会	4	8	8	1	6		5	4	3	6	2	6	53
コンサート		1						1	1	1			4
演劇	2									1			3
映画													0
舞踊	1	2			1								4
伝統芸能			3									1	4
芸能発表会	2	3	2	2	3	5		2	11	2	5	9	46
学校行事				1	4	4	2	2	1	2			16
物品販売		1		2			2	4	1		1	1	12
計	11	20	16	18	19	12	18	18	20	13	18	24	207

嬉野ふるさと会館使用状況 会議室（延人数 2,049人）

（単位：件）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市行事	2	5		14	5	3	4	5	4	2	12	6	62
講演会・集会	5	3	6	3	3	3	2	2		3	1	4	35
コンサート		1	1										2
演劇										1			1
映画													0
舞踊					1								1
伝統芸能		1											1
芸能発表会		1				1		1	2		3	3	11
学校行事	1			1	3	6	1	1	1				14
物品販売		1					1	1	1		2		6
計	8	12	7	18	12	13	8	10	8	6	18	13	133

事業名	嬉野ふるさと会館施設整備事業費					文化課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
548,640						548,640	35,424,000

施設利用者の利便性の改善と出土遺物の保存環境改善のために、嬉野考古館資料室空調の取替工事を実施した。

委託・工事名	事業内容	事業費
松阪市嬉野ふるさと会館 2階展示室空調設備修繕 工事	嬉野ふるさと会館2階考古館資料室空調機器の 取替修繕工事を行った。	548,640

事業名	飯南産業文化センター管理運営事業費					文化課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
12,817,337				354,344	12,462,993	12,912,466	

市民の文化教養の向上及び福祉の増進を目的に設置した飯南産業文化センターの管理運営経費。施設設備の適切な管理のための業務委託のほか、経年劣化による館内照明器具、施設各所の設備・備品を修繕して施設利用者の利便性向上およびサービス向上に努めた。

飯南産業文化センター使用状況（延人数 27,083人）

（単位：件）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市行事	2	1	7	7	4	6	8	11	2		14		62
講演会・集会	2	3	1		2	4	1	1	1	2			17
コンサート	2					5	1		1				9
演劇													0
映画													0
舞踊													0
伝統芸能													0
芸能発表会													0
学校行事				1				4			12		17
公民館行事	36	47	49	43	41	42	50	48	37	38	37	55	523
その他	8	6	12	21	11	19	15	19	14	15	19	10	169
計	50	57	69	72	58	76	75	83	55	55	82	65	797

事業名	飯南産業文化センター施設整備事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,013,200					3,013,200	3,036,960

施設利用者の安心・安全の確保と、生活文化の振興・向上、社会福祉の増進、その他、公共的利用時などの市民サービス向上のため、施設の2階研修室2の空調設備の改修工事を行った。これにより、より安全かつ快適に利用できる環境が整い、本施設の積極的な利用が促進され、地域の活性化につながった。

工事名	事業内容	事業費
飯南産業文化センター研修室2 空調設備改修工事	空調設備の老朽化に伴う改修工事	3,013,200

事業名	文化センター自主事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,769,989				1,612,230	8,157,759	9,208,635

コンサート、市民参加型の第九、舞台裏見学会など芸術文化の鑑賞及び体験の機会を提供し、芸術文化活動を推進した。

施設	実施日	行 事 名	出 演 者	入場料	入場者数
クラギ文化ホール	H30. 6. 27	加羽沢美濃のクラシック音楽講座	加羽沢美濃	有料	85人
	H30. 7. 5	ワンコインコンサートin松阪 マリンバ 出田りあ	出田 りあ	有料	578人
	H30. 7. 26	舞台裏見学会	会館職員及び舞台スタッフ	無料	42人
	H30. 7. 29	ハローキティのドリームトラベラー (2回公演)	サンリオキャラクター及びスタッフ	有料	1,702人
	H30. 8. 23	ワンコインコンサートin松阪 ユーフォニアム 佐藤采香	佐藤 采香	有料	200人
	H30. 10. 27	中部フィルハーモニー交響楽団松阪特別演奏会	中部フィルハーモニー交響楽団 指揮者 青島広志	有料	800人
	H30. 11. 17	中村雅俊コンサート	中村雅俊	有料	924人
	H30. 12. 6	ワンコインコンサートin松阪 ヨイク マリヤ・モッテンソン	マリヤ・モッテンソン	有料	377人
	H30. 12. 23	第8回松阪の第九	松阪第九合唱団 三重フィルハーモニー交響楽団	有料	1,018人
計					5,726人

農業屋 コミュニティ文化センター	H30. 8. 2	スタインウェイピアノ演奏体験会	一般応募者	有料	24人
	H30. 8. 3				
	H30. 10. 11	優秀映画鑑賞推進事業 なつかしの映画鑑賞会	わが青春に悔いなし 酔いどれ天使	有料	153人
	H30. 10. 12		羅生門 天国と地獄	有料	182人
計					359人

嬉野ふるさと会館	H30. 7. 7	スタインウェイピアノ演奏体験会	一般応募者	有料	13組
	H30. 7. 8	験会			13組
	H30. 8. 19	歌舞伎 太刀盗人 巡回公演	日本伝統芸能振興会	有料	145人
計					171人
飯南産業文化センター	H30. 9. 16	うたたねワンマンコンサート 「ほしぞらのとうげをこえて」	うたたね	有料	446人

(款) 7商工費 (項) 1商工費 (目) 11文化財センター費

(単位 円)

事業名	文化財センター管理運営事業費				文化課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
44, 278, 262				1, 527, 604	42, 750, 658	46, 673, 449

市内の埋蔵文化財の保存と活用を図り、文化財保護と保管資料の保存活用を推進した。貸館事業では市民に芸術・文化振興のための場所及び機会を提供し、文化に親しんでもらえる環境作りに努めた。

文化財センター利用状況

区分	大人	小人	計
人数	42, 895人	7, 606人	50, 501人

年間開館日数 310日
来館者1日平均 約162人

事業名	文化財センター特別企画展等事業費				文化課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3, 586, 588					3, 586, 588	4, 272, 200

松阪市の文化財保護と芸術文化の振興を図るため、はにわ館で常設展を通年、特別展を1回、企画展を3回、ギャラリー企画展を2回行った。また、はにわ館ロビーでは、灯りコンサートを開催した。

入館者数 50, 501人 (貸館事業の入館者も含む)

企画展名等	実施日	日数	入館者数
学習支援展示 「大昔の暮らし～きみものぞいてみよう 縄文・弥生・古墳時代～」	H30. 4. 14 ～ H30. 6. 3	45	2, 500人
夏季企画展「南山遺跡」	H30. 7. 21 ～ H30. 9. 2	38	1, 252人
はにわ館特別展 「人とともに生きた馬」	H30. 10. 27 ～ H30. 12. 9	38	1, 038人
冬季企画展「船形埴輪」	H31. 2. 9 ～ H31. 3. 17	32	737人
ギャラリー企画展 「まつさかのちっちゃんアーティストたち」	H30. 7. 28 ～ H30. 8. 5	8	767人
ギャラリー企画展 「橋本綵可 回顧展」	H31. 3. 15 ～ H31. 3. 24	8	829人
「灯りコンサート2018 ～合唱団「うたおに」のすてきな歌声とともに～」	H30. 10. 20	1	92人

(款) 7商工費 (項) 1商工費 (目) 12歴史民俗資料館費

(単位 円)

事業名	歴史民俗資料館管理運営事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,889,259				2,035,702	10,853,557	9,124,229

松阪市の歴史・文化・民俗資料を紹介する場として、常設展を通年、企画展を6回実施した。
開館日数 277日 入館者数 22,604人

企画展、館蔵品展等の開催

展示内容	実施日	入館者数
特別企画「紙問屋「小津清左衛門家」展 ～江戸店創業365年～」	H30.4.1 ～ H30.6.17	6,318人
館蔵品展「「涼」と「冷」～夏の生活用具 ～」	H30.6.26 ～ H30.9.24	4,248人
特別企画「松阪まちかど博物館展 ～こだわりの逸品～」	H30.9.29 ～ H30.10.21	2,179人
松阪市立歴史民俗資料館開館40周年記念特別 企画「松坂城1588-2018 ～天下人も認めた武 将 氏郷の城～」	H30.11.3 ～ H31.2.17	7,084人
旧長谷川治郎兵衛家一般公開記念企画展「松 阪商人長谷川家のいちおしセレクション」	H31.3.1 ～ H31.3.31	2,775人
計		22,604人

ミニ企画展の開催

ミニ企画 京都国立博物館「特別展 池大雅」応援展示「池大雅と韓天寿」
H30.4.10 ～ H30.5.20

体験教室

体験教室	講師	実施日	参加者数
ハンカチを『藍』で染めよう	松阪もめん手織伝承グ ループ ゆうづる会	H30.8.4	27人

事業名	松阪商人の館管理運営事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,960,748				1,673,790	4,286,958	6,226,304

「松阪商人の館」の管理運営を小津家保存会に委託し、一般公開を行った。

開館日数：309日 入館者数：15,532人

企画展、展示

展示内容	実施日
久留家旧蔵「芳野山実景図屏風」特別公開	H30.4.1 ～ H30.4.8
鬼が来た！！「大江山屏風」特別公開	H30.11.4 ～ H30.11.18

「松阪商人を語る会」

毎月第3金曜日に学習会を計10回開催

茶華道子ども教室

毎月隔週の土曜日に計26回開催

(款) 7商工費 (項) 1商工費 (目) 13松浦武四郎記念館費

(単位 円)

事業名	松浦武四郎記念館管理運営事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,382,798				3,251,362	11,131,436	13,992,876

松浦武四郎記念館および松浦武四郎誕生地の管理運営経費

松浦武四郎記念館入館者数	一般	14,833人	開館日数 305日 1日平均 約58人
	18歳以下	2,950人	
	計	17,783人	

大阪市松浦武四郎記念館運営審議会の開催

平成30年9月28日・平成31年3月27日 (委員9人、顧問1人、年2回開催)

事業名	松浦武四郎記念館民俗資料収集保管事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
677,839					677,839	557,208

松浦武四郎記念館所蔵の重要文化財を中心とした資料の保存・管理に関する業務を行った。

収蔵庫および展示室の害虫調査 (年3回)

武四郎が秋田県鹿角地方を旅した記録「鹿角 (かづの) 日誌」の自筆原稿本ほかの出版

講演会 「『鹿角日誌』・『壺の碑考』を読む」 3月10日開催 講師：佐藤貞夫 参加者数45人

事業名	松浦武四郎生誕200年記念事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
20,154,291				6,957,190	13,197,101	3,568,255

松浦武四郎の生誕200年を記念する事業を行った。(事業期間 平成30年2月～平成31年2月)

劇団わらび座ミュージカル「松浦武四郎」 (9月1日開催、クラギ文化ホール、参加者数960人)

松浦武四郎生誕二百年記念シンポジウム (10月6日開催、国際基督教大学共催、参加者数250人)

松浦武四郎フォーラム (10月13日開催、クラギ文化ホール、参加者数900人)

小学生体験型講座「まちをあそぶー武四郎さんをさがせ」 (10月27・28日開催、参加者数92人)

生誕200年記念講座 (10回開催、参加者数 延646人)

大首飾りレプリカ作成

書籍『近代初期の松浦武四郎』印刷 (150冊)

松浦武四郎記念館における展示公開・教育普及活動

展示期間	展示テーマ	入館者数
H30. 4. 1～H30. 4. 22	武四郎を生んだ松浦家	493人
H30. 4. 24～H30. 6. 24	武四郎と旅	2,426人
H30. 6. 26～H30. 8. 26	描かれたアイヌ民族	2,434人
H30. 8. 28～H30. 11. 4	武四郎の古銭収集	2,763人
H30. 11. 6～H31. 1. 14	錦絵の世界	2,099人
H31. 1. 16～H31. 3. 17	武四郎の謎	7,326人
H31. 3. 19～H31. 3. 31	武四郎の詩と歌	242人
計		17,783人

アイヌ文化体験教室 アイヌ文様刺しゅう入りテコンペ（手甲）作り
 12月15日・16日開催 講師：宇梶良子、参加者数 17人
 アイヌ文化体験講座 触れて聞いてみようアイヌのお話（小野江小学校6年生対象）
 12月17日開催 講師：宇梶良子、参加者数 60人

[平成29年度の松浦武四郎記念館特別企画展等事業費 568,255円を統合]

事業名	コスモス文化振興基金積立金					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,733				8,733		16,692

松浦武四郎に関する資料の保存と活用、蒐集等に要する基金として基金利子を基金に積み立てた。
 基金利子 8,733円
 平成30年度末基金現在高 18,398,929円

事業名	松浦武四郎誕生地保存整備活用事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,399,760					2,399,760	156,483,170

市指定史跡「松浦武四郎誕生地」の保存整備に係る報告書の作成。

事業名	松浦武四郎誕生地管理運営事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,231,728				134,430	3,097,298	—

松浦武四郎誕生地の管理運営経費

松浦武四郎誕生地入館者数

一般	8,223人
18歳以下	1,343人
計	9,566人

開館日数 305日
 1日平均 約31人

(款) 8土木費 (項) 1土木管理費 (目) 1土木総務費

(単位 円)

事業名	三重県社会基盤整備協会負担金					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,071,000					2,071,000	2,144,000

(一社) 三重県社会基盤整備協会会費 2,071,000円

事業名	用地対策事業費					用地対策課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,838,153				11,114	11,827,039	13,457,502

登記・測量業務手数料、非常勤職員賃金、不動産登記総覧追録代
その他事務用品等に関する一般経費

事業名	営繕管理事業費					営繕課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,823,381					4,823,381	4,257,803

市有建築物の計画・設計・工事監理などの営繕業務に係る一般事務経費

【主な内訳】

営繕積算システムRIBC2に係る経費

データ購入	1,150,848円
使用料及び賃借料	1,930,176円
負担金	100,000円

【工事等実績】

	現年度	繰越	計
工事	108	6	114
委託	27	7	34
計	135	13	148

課	現年度		繰越		課	現年度		繰越	
	工事	委託	工事	委託		工事	委託	工事	委託
地域づくり連携課	3				農水振興課	2			
三雲地域住民課	1				文化課	4	2		
飯高地域振興課	1				土木課	1			
財務課	4	1			建設保全課	1			
清掃事業課	1				住宅課	13			
清掃政策課	1				教育総務課	41	15	4	5
飯南・飯高環境事務所	1				学校支援課	1			
人権・男女共同参画課	1				生涯学習課	1	3		
地域福祉課	3	1			スポーツ課	2			
障がい福祉課	1				給食管理課	1		1	
高齢者支援課	1				北部教育事務所		1		
健康づくり課	1	1			西部教育事務所	1			
こども未来課	12	3		1	下水道建設課	1			
子ども発達総合支援センター	1				松阪地区広域衛生組合	1			
商工政策課	2				消防団本部	3			
観光交流課			1	1	スポーツ振興研修センター	1			

(款) 8土木費 (項) 2道路橋りょう費 (目) 1道路橋りょう総務費

(単位 円)

事業名	道路橋りょう一般経費					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,189,180				8,265	8,180,915	7,153,544

非常勤職員賃金 2,758,840円
工場検査等旅費 527,240円
消耗品費 3,215,569円
設計積算システム利用料 609,000円
中勢バイパス建設促進期成同盟会等負担金 321,000円 ほか

(款) 8土木費 (項) 2道路橋りょう費 (目) 2道路維持費

(単位 円)

事業名	交通安全施設修繕事業費					建設保全課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,295,917					11,295,917	11,076,908

交通安全施設の維持管理を行った。
・道路反射鏡修繕 105 基
・防護柵修繕 164.2 m
・交通安全施設修繕 16 か所

事業名	道路維持修繕事業費					建設保全課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
351,203,081				210,000	350,993,081	349,839,733

安全で安心な生活環境の整備を図るため、道路、溝渠、舗装等の経年劣化したか所の補修、改修の維持管理を行った。

・消耗品費 864,929円 ・修繕料 27,452,049円 ・工事請負費 262,238,746円
・原材料費 39,576,557円 ・委託料 21,070,800円

※修繕料、委託料、工事請負費の内訳 (合計310,761,595円)

区 分	件 数	事 業 費
草刈委託	6 件	21,070,800 円
施設整備修繕	127 件	27,452,049 円
道路維持修繕工事	42 件	107,347,680 円
下水溝渠修繕工事	10 件	23,374,440 円
舗装修繕工事	24 件	57,241,080 円
小規模修繕工事	298 件	74,275,546 円
件	507 件	310,761,595 円

事業名	道路清掃等事業費					建設保全課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,807,440					12,807,440	12,658,780

道路の機能及び生活環境保全の一環として、道路清掃等を行った。

・市道松阪駅松阪港線外1線歩道清掃業務委託 837,200円
・松名瀬右岸堤防線外5線除草業務委託 4,786,560円 ほか

事業名	雪寒対策道路維持事業費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,710,941					1,710,941	5,367,801

冬期に道路の交通障害となる路面凍結防止対策などを行った。

- ・ 消耗品費 1,286,478円
凍結防止剤 883袋
- ・ 委託料 424,463円
道路巡視 7回

事業名	道路台帳整備事業費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
16,641,720					16,641,720	21,697,200

道路台帳の整備を図るため、市内全域道路台帳補正に係る経費

事業名	街路樹剪定等事業費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,983,920					14,983,920	15,096,240

街路樹の剪定及び施肥を行った。

- ・ 街路樹植栽管理業務委託料 7,617,240円
- ・ 中川駅東西街路・駅前広場植栽管理業務委託 6,138,720円
- ・ 中川駅周辺街路樹剪定業務委託 378,000円
- ・ 日川線歩車道支障木伐採業務委託 129,600円
- ・ 中川駅近鉄沿線街路樹剪定業務委託 720,360円

事業名	交通安全対策施設整備事業費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
31,227,660					31,227,660	30,941,380

交通事故を防止するため交通安全施設の整備を行った。

- ・ 道路反射鏡設置 68 基
- ・ 防護柵設置 692.6 m
- ・ 交通安全施設設置 5 か所 等

事業名	道路施設点検事業費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,192,480					3,192,480	5,714,280

松阪市が管理する道路附属物の現状を把握し、道路利用者の重大事故を未然に防止するため点検を行った。

- ・ 松阪市道路附属物点検業務委託（道路照明灯 1か所、道路標識27か所）

事業名	道路事故対策緊急整備事業費					建設保全課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,990,000					9,990,000	9,990,540

事故多発路線や通学路などにおいて区画線や路面標示の整備工事を行った。

- ・道路区画線 10,609.1 m
- ・カラー舗装 209.0 m²

事業名	中川駅前・連絡道管理事業費					建設保全課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,962,855				20,496	14,942,359	24,826,948

中川駅周辺土地区画整理事業において完成した、中川駅前広場及び公衆トイレ、連絡地下道の維持管理を行った。

- ・エレベーター・エスカレーター保守点検業務委託 4,248,288 円
- ・中川駅東西駅前広場シェルター修繕 1,258,200 円
- ・光熱水費 2,970,740 円
- ・清掃委託 2,430,000 円 ほか

事業名	道路維持一般経費					建設保全課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
30,976,333				14,359	30,961,974	29,386,984

道路維持にかかる一般経費及び街路灯等の管理経費

- ・光熱水費 13,025,396 円
- ・賃金 4,790,622 円
- ・修繕料 2,627,965 円
- ・燃料費 1,660,365 円
- ・使用料及び賃借料 2,899,212 円
- ・道路管理者賠償責任保険 1,479,600 円 ほか

(款) 8土木費 (項) 2道路橋りょう費 (目) 3道路新設改良費

(単位 円)

事業名	道路整備単独事業費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
112,541,486			106,900,000		5,641,486	133,295,249

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料ほか
谷線	7,918,280	7,204,680		713,600	
脇谷2号線	15,481,033	13,861,800			1,619,233
井村殿村道線	461,644			400,700	60,944
小野薬王寺線	13,279,680	13,279,680			
豊原1号線	3,129,840		3,129,840		
根木御麻生菌線	8,181,000		8,181,000		
松阪高校前通り線	2,582,280	2,582,280			
浜垣内1号線外1線	5,820,120	5,820,120			
市道橋点検	466,560		466,560		
大河内小学校線【白猪橋】外1橋	662,040	662,040			
桂瀬5号線	4,193,640	4,193,640			
立野通り高田線	4,887,000	4,887,000			
小黒田1号線	1,612,851			274,980	1,337,871
松ヶ崎長泉寺線外1線	139,560			79,458	60,102
大足久保町線	563,466			383,700	179,766
本郷1号線	254,110	56,320			197,790
新屋庄津屋城線	3,349,080	3,349,080			
星合舞出線(第2工区)	11,403,960	6,717,840	3,623,400	1,062,720	
曾原中林2号線	15,966,720	15,966,720			
小舟江20号線	1,437,172			1,199,000	238,172
上ノ庄・中ノ庄線【堀坂川2号橋】	365,760	365,760			
出鹿大溝線	1,762,730			1,331,476	431,254
長野夏明線	5,800,000	5,800,000			
東出線	2,798,120		2,798,120		
海会寺幸生線	24,840	24,840			
計	112,541,486	84,771,800	18,198,920	5,445,634	4,125,132

事業名	星合舞出線道路改良事業費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,560,000	5,280,000		5,000,000		280,000	9,046,000

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
自由勾配側溝工 L=57.0m、舗装工 A=658.5㎡ ほか	10,560,000	10,560,000			

事業名	松阪六軒線道路改良事業費					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
38,400,000	19,200,000		18,200,000		1,000,000	19,900,000

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
三渡橋架替工事	38,400,000		38,400,000		

事業名	国道42号松阪多気バイパス関連整備事業費					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,836,000					1,836,000	2,393,280

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
高田排水路	1,836,000	1,836,000			

事業名	最終処分場関連道路等整備事業費					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
27,497,790				27,497,790		3,800,520

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
上川道13号線	8,037,360		8,037,360		
上川道23号線	19,460,430			19,012,014	448,416
計	27,497,790		8,037,360	19,012,014	448,416

事業名	道路整備単独事業費（繰越分）					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
17,885,772			16,900,000		985,772	10,800,960

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
海会寺幸生線	8,265,240	8,265,240			
大足久保町線	8,658,412	6,167,880		2,490,532	
本郷1号線	962,120	962,120			
計	17,885,772	15,395,240		2,490,532	

事業名	松阪六軒線道路改良事業費（繰越分）					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
41,500,000	22,825,000		17,700,000		975,000	20,555,000

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
三渡橋架替工事	41,500,000		41,500,000		

(款) 8土木費 (項) 2道路橋りょう費 (目) 4橋りょう新設改良費

(単位 円)

事業名	橋りょう長寿命化事業費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
107,189,160	57,587,988		30,800,000		18,801,172	126,255,000

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
橋梁点検業務委託 (その1)	11,505,240		11,505,240		
橋梁点検業務委託 (その2)	12,278,520		12,278,520		
橋梁点検業務委託 (その3)	15,195,600		15,195,600		
大河内小学校線【白猪橋】外1橋	17,664,480	17,664,480			
青田栃谷線【崩谷橋】	13,990,320	13,990,320			
柏野線【柏野橋】	3,794,040		3,794,040		
市場庄5号線【中川9号橋】	5,439,960		5,439,960		
上ノ庄・中ノ庄線【堀坂川2号橋】	20,421,000	20,421,000			
津屋城東線【汐入橋】	6,900,000	6,900,000			
計	107,189,160	58,975,800	48,213,360		

(款) 8土木費 (項) 3河川費 (目) 1河川総務費

(単位 円)

事業名	河川一般経費					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
613,220					613,220	650,180

河川管理研修旅費 41,720円
櫛田川祓川改修促進期成同盟会会費 268,000円
三重県雲出川治水事業促進期成同盟会会費 263,000円 ほか

(款) 8土木費 (項) 3河川費 (目) 2河川維持費

(単位 円)

事業名	河川維持修繕事業費					建設保全課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
64,539,220					64,539,220	73,232,140

施設の経年劣化した箇所補修・改修や、堆積土砂のしゅんせつ・除草などの維持管理を行った。
・修繕料 2,960,280円
・河川清掃・除草業務委託 20,295,940円
・工事請負費 41,283,000円
(大津排水路維持工事 5,113,800円、算所下之庄線排水路修繕工事 3,839,360円 ほか)

事業名	樋門・樋管等管理事業費					建設保全課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
21,213,817	5,135,801	1,992,380			14,085,636	21,591,884

樋門、樋管の操作業務委託並びにポンプの電気代など排水管理を行った。
・ポンプ場等電気料金 8,744,403円
・電気保安業務委託料 877,392円
・国管理等樋管等操作業務委託 4,818,389円
・排水ポンプ等保守点検委託 1,277,640円
・県管理樋管等操作業務委託 1,500,380円
・排水ポンプ操作業務委託 560,000円
・施設設備修繕料 2,722,680円 ほか

事業名	調整池管理事業費					建設保全課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,233,748				1,499	8,232,249	7,263,984

宅地開発で建設し、管理引継ぎされた調整池の適正な維持管理を行った。
・パークタウン学園前調整池他22池管理業務委託 4,730,440円
・修繕料 2,268,000円
・調整池施設管理者賠償責任保険及び監視員傷害保険 59,289円
・調整池電気料金 515,816円 ほか

(款) 8土木費 (項) 3河川費 (目) 3河川改良費

(単位 円)

事業名	県施行急傾斜地崩壊対策事業負担金					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,813,800			6,700,000	757,984	355,816	8,486,644

箇所	種別	負担率	金額
森家野地区	国補	1/20	1,568,700
森家野地区(国補正分)	国補	1/20	800,000
畑井地区	国補	1/10	5,445,100
計			7,813,800

事業名	河川改良単独事業費					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
44,552,232			36,000,000		8,552,232	37,150,464

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
中川	10,000,000	10,000,000			
九手川	7,847,840	7,574,600			273,240
立野排水路	7,586,632	7,426,080			160,552
桂瀬川	6,562,080	6,562,080			
富士見谷川	7,700,000	7,700,000			
駒返川	4,855,680		4,855,680		
計	44,552,232	39,262,760	4,855,680		433,792

事業名	県施行海岸環境整備事業負担金					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
340,000					340,000	400,000

海岸清掃地元負担金 340,000円

事業名	準用河川九手川改修事業費					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
28,714,550	9,571,516		18,100,000		1,043,034	12,000,000

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
ボックスカルバート工 L=10.0m、舗装工A=270㎡ ほか	28,714,550	21,972,120		6,742,430	

事業名	県施行急傾斜地崩壊対策事業負担金（繰越分）					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,213,356			4,100,000	844,150	269,206	6,391,335

箇所	種別	負担率	金額
森家野地区	国補	1/10	2,713,435
畑井地区	国補	1/10	449,921
小片野2地区	国補	1/10	2,050,000
計			5,213,356

事業名	急傾斜地崩壊対策事業費（繰越分）					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,452,000			6,100,000		352,000	—

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
森家野地区急傾斜地崩壊防止 工事委託（平成29年度分）	6,452,000		6,452,000		

事業名	河川改良単独事業費（繰越分）					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,000,000			6,600,000		400,000	9,200,000

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
九手川	7,000,000	7,000,000			

事業名	準用河川九手川改修事業費（繰越分）					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
51,000,000	17,000,000		32,300,000		1,700,000	22,602,616

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
ボックスカルバート工 L=10.0m、舗装工A=270㎡（ほか）	51,000,000	48,000,000		3,000,000	

(款) 8土木費 (項) 3河川費 (目) 4浸水対策費

(単位 円)

事業名	浸水対策事業費					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
37,262,160		1,272,000	32,900,000		3,090,160	115,166,456

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
波留排水路	7,035,120		7,035,120		
下滝野排水路	7,852,680		7,852,680		
雲出川・櫛田川 (洪水ハザードマップ作成)	2,545,560		2,545,560		
猟師ポンプ場	19,828,800	19,828,800			
計	37,262,160	19,828,800	17,433,360		

事業名	総合雨水対策10か年戦略事業費					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
21,725,360			13,500,000		8,225,360	24,538,680

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
新松ヶ島排水路	7,128,080	6,913,080		215,000	
小寄団地排水路	7,115,040		7,115,040		
法浄寺川	7,482,240		7,482,240		
計	21,725,360	6,913,080	14,597,280	215,000	

事業名	浸水対策事業費(繰越分)					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
266,760			200,000		66,760	8,582,280

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
駅部田排水路	266,760	266,760			

(款) 8土木費 (項) 3河川費 (目) 5水防費

(単位 円)

事業名	水防施設管理事業費					建設保全課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,135,341					2,135,341	599,531

水防施設の経費並びに水防資材の適正な管理を行った。

- ・修繕料 1,443,960円
- ・原材料費 626,036円 ほか

事業名	水防一般経費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
975,282					975,282	489,014

水防に係る一般経費及び水防訓練時の借上料ほか

- ・ 消耗品費 382,590円
- ・ 使用料及び賃借料 540,000円（水防訓練時テント等レンタル）ほか

(款) 8土木費 (項) 4港湾費 (目) 1港湾管理費

(単位 円)

事業名	県施行松阪港改修事業負担金					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
26,136,174			2,800,000		23,336,174	27,212,727

箇所	負担率	金額
国補 港湾改修事業（大口岸壁補修）地元負担金	1/10	3,091,400
津松阪港埠頭用地造成事業（起債償還分）地元負担金	1/5	23,044,774
計		26,136,174

事業名	港湾管理一般経費					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
270,260					270,260	133,540

日本港湾協会定時総会等旅費 220,260円

松阪港振興協議会 50,000円

事業名	県施行松阪港改修事業負担金（繰越分）					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
17,832,047			17,000,000		832,047	5,495,694

箇所	負担率	金額
国補 港湾改修事業（大口岸壁補修）地元負担金	1/10	17,832,047

(款) 8土木費 (項) 5都市計画費 (目) 1都市計画総務費

(単位 円)

事業名	屋外広告物事業費				都市計画課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,674,176				2,674,176		3,280,408

屋外広告物の許可事務、違反広告物の簡易除却、設置者等への指導を行い、良好な景観形成、美観風致の維持等に努めた。また、違反広告物のパトロール強化に努めた。

	新規	継続	除却届	計
許可事務実績	88件	729件	91件	908件

	はり紙	はり札	広告旗	立看板	計
簡易除却実績		2件			2件

指導事務実績 42件 [37社] (未更新物件)

指定事務実績 0件

事業名	都市計画審議会事業費				都市計画課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
65,820					65,820	65,120

市長の諮問に応じ都市計画について審議を行った。(委員 16人)

都市計画審議会委員報酬 56,000円 ほか

第1回 (H31. 2. 6) 12人出席 (8人報酬対象者)

事業名	都市景観推進事業費				都市計画課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,013,761					3,013,761	2,980,696

松阪市景観条例、景観計画に基づく届出制度の運用や景観重点地区指定に向けた取り組みを推進した。

また、景観計画改正検討委員会を3回開催し、景観計画見直しの検討を行った。

景観に対する意識の啓発を目的として市内小中学生を対象に「まつさか景観絵画コンクール」を実施した。

[届出制度運用の状況]

届出行為	届出	届出変更	通知	通知変更	計
建築物	23件	6件	4件	4件	37件
工作物	34件	4件	41件	7件	86件
開発行為	12件		1件		13件
土地の形質の変更	2件		1件	1件	4件
物件の堆積					
計	71件	10件	47件	12件	140件

まつさか景観絵画コンクール

対象者	市内小中学生
作品応募	600点

松阪市景観計画推進業務等委託 1,944,000円
 松阪市景観計画改正検討委員会委員報酬(委員 5人) 98,000円
 第1回(H30.5.31)5人出席
 第2回(H30.10.17)4人出席
 第3回(H31.1.31)5人出席
 松阪市景観審議会委員報酬(委員 9人) 56,000円
 第1回(H31.3.18)8人出席
 松阪市景観アドバイザー報酬(委員 5人、延4回) 77,000円
 景観絵画コンクール参加記念品等 381,805円
 景観啓発用クリアファイル印刷 374,522円 ほか

事業名	都市計画マスタープラン策定事業費				都市計画課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,662,040	1,222,000				4,440,040	14,110,000

平成28年度から見直しを行い、平成30年度においては、松阪市都市計画マスタープランのまちづくりの基本方針などの検討、松阪市立地適正化計画の誘導区域・誘導施設の検討、施策の検討などについて、庁内検討委員会を2回、庁内作業部会を3回、策定推進アドバイザー協議、会議を開催し計画案をまとめ、ホームページ及び広報にて意見募集を行い、市内3か所で意見交換会を行った。平成31年3月に「松阪市都市計画マスタープラン」、「松阪市立地適正化計画」を策定した。

松阪市都市計画マスタープラン等策定推進アドバイザー委員報酬(委員 6人) 105,000円
 アドバイザー協議(延10回)
 第1回(H30.11.5)6人出席(5人報酬対象者)
 松阪市都市計画マスタープラン見直し等業務委託 5,540,400円 ほか

事業名	都市計画基礎調査事業費				都市計画課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,428,000					4,428,000	—

都市計画法第6条に基づく「都市計画に関する基礎調査」として、都市計画区域における現況把握及び将来の見通しについて調査を行う。
 三重県都市計画基礎調査(市町調査)の実施等に基づき、土地利用現況調査等を実施した。

松阪市都市計画基礎調査業務委託 4,428,000円

事業名	都市計画一般経費				都市計画課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,800,250				46,786	4,753,464	4,906,875

非常勤職員賃金 1,764,000円
 旅費 472,140円
 消耗品費 1,142,971円
 松阪市統合型GIS保守点検業務委託 940,000円
 プリンター借上料 165,873円 ほか

事業名	中川駅周辺区画街路整備基金積立金					都市計画課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,808,406				9,808,406		10,161,728

中川駅周辺区画街路整備基金利子等の積立金 9,808,406円

平成30年度末基金現在高 175,084,834円

(款) 8土木費 (項) 5都市計画費 (目) 2中心市街地活性化推進費 (単位 円)

事業名	中心市街地整備事業費					都市計画課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,888,664					1,888,664	206,388

「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画に位置づけた、松阪駅西地区の複合施設計画を進めるにあたり、10代から70代の幅広い世代の62人の参加者により駅西ワークショップを5回開催し、事業の基本理念、事業に求める条件（機能）などをまとめ、平成31年3月に「松阪駅西地区複合施設基本構想」を策定した。

松阪駅西地区複合施設基本構想作成業務委託 1,886,976円 ほか

(款) 8土木費 (項) 5都市計画費 (目) 3街路事業費 (単位 円)

事業名	県施行街路事業負担金					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
15,608,720			14,800,000		808,720	5,589,532

箇所	負担率	金額
松阪公園大口線外1線 (国庫補助街路事業)	1/6	15,608,720
計		15,608,720

事業名	県施行街路事業負担金 (繰越分)					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
36,077,134			34,200,000		1,877,134	22,424,666

箇所	負担率	金額
松阪公園大口線外1線 (国庫補助街路事業)	1/6	25,243,801
松阪公園大口線外1線 (国庫補助街路事業)国の補正分	1/6	10,833,333
計		36,077,134

(款) 8土木費 (項) 5都市計画費 (目) 4公園管理費

(単位 円)

事業名	都市公園維持管理事業費					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
179,924,132				5,958,845	173,965,287	169,270,008

各種公園維持業務委託 142,429,688円
 光熱水費 13,798,140円
 施設設備修繕 10,594,434円
 総合運動公園多目的広場不陸整正等工事 5,847,120円
 消耗品費 1,280,244円
 原材料費 539,669円 ほか

※総合運動公園利用状況

施設名	件数	人数
多目的グラウンド	906件	52,400人
会議室	123件	2,800人
芝生広場	—	16,500人
多目的広場	144件	10,200人

事業名	都市公園整備事業費					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
25,598,678		4,600,000			20,998,678	20,920,040

旭ヶ丘公園四阿新築工事 6,296,400円
 八田団地公園外都市公園整備工事 5,000,400円
 海会寺公園外都市公園整備工事 4,820,040円
 平成町4号公園外都市公園整備工事 4,639,680円 ほか

事業名	公園一般経費					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
440,500					440,500	451,256

消耗品費 277,900円
 日本公園緑地協会会費 50,000円
 全国都市公園整備促進協議会会費 42,000円 ほか

(款) 8土木費 (項) 5都市計画費 (目) 5公園建設費

(単位 円)

事業名	総合運動公園建設事業費 (単独)					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
44,040,362					44,040,362	42,066,087

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料ほか
スケートパーク整備 A=4,800㎡、建築施設設置工一式 ほか	44,040,362	19,305,760	6,247,520	15,805,016	2,682,066

事業名	総合運動公園建設事業費（補助）					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
267,000,000	124,000,000		128,700,000		14,300,000	140,000,000

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料ほか
スケートパーク整備 A=4,800㎡	267,000,000	200,000,000	10,000,000	57,000,000	

事業名	総合運動公園建設事業費（単独）（繰越分）					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,340,320					8,340,320	18,571,800

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料ほか
舗装工A=270㎡ ほか	8,340,320	8,340,320			

事業名	総合運動公園建設事業費（補助）（繰越分）					土木課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
80,000,000	40,000,000		36,000,000		4,000,000	60,590,800

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料ほか
敷地造成工一式、プレキャスト擁壁工 L=98.8m ほか	80,000,000	80,000,000			

（款）8土木費 **（項）5都市計画費** **（目）6建築開発費** （単位 円）

事業名	建築開発事業費					建築開発課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,186,568		51,000		5,638,990	3,496,578	7,456,702

建築基準法、都市計画法、国土利用計画法に基づく建築確認申請、道路位置指定申請、開発許可申請、土地売買届出等の受付及び審査業務を行った。また、特定行政庁の諮問に応じて、建築基準法の施行に関する重要事項を調査審議するために置かれている「建築審査会」（委員数7人）を運営した。

申請等件数

申請名	件数	申請名	件数
建築確認申請	69件	道路位置指定申請	6件
完了検査申請	63件	都市計画法に基づく許可申請	78件
長期優良住宅認定申請	232件	開発許可申請	56件
建築等許認可申請	38件	省エネ法届出	34件
三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例申請	58件	優良住宅・優良宅地認定申請	0件
情報公開申請等	443件	国土利用計画法届出	90件
建築計画概要書閲覧申請	196件	低炭素建築物新築等計画の認定申請	2件

建築審査会（委員数 7人）

開催（年月日）	出席人数	内 容
第1回建築審査会（H30. 7. 20）	7人	・個別案件（法第43条第1項ただし書） 3件 ・包括案件（法第43条第1項ただし書） 9件
第2回建築審査会（H30. 10. 16）	6人	・個別案件（法第56条の2第1項ただし書） 1件 ・包括案件（法第43条第1項ただし書） 12件 ・報告事項 平成30年度東海ブロック建築審査会協議会の報告
第3回建築審査会（H31. 3. 26）	6人	・個別案件（法第43条第2項第2号） 1件 ・包括案件（法第43条第2項第2号） 13件 ・報告事項 第65回全国建築審査会長会議の報告

事業名	空家等対策事業費					建築開発課	
決算額	財源内訳					一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他			
6,078,083	1,240,000					4,838,083	—

近年増加している空家等の問題に対して、地域住民、所有者等からの相談窓口としての対応を行った。また、空家等に関する対策を総合的かつ計画的に推進するため、「松阪市空家等対策計画」を策定した。策定にあたっては、空家等情報のデータベース化、空家等所有者へのアンケート調査の実施等による市内空家数（3,109軒）の把握や、本市の空家等対策について広く有識者等からの意見を聞くため「松阪市空家等対策協議会」（委員数 7人）を設置した。

相談件数

地域住民からの苦情・相談	240件
所有者等からの相談	120件
空家利用希望者からの相談	13件
合計	373件

空家無料相談会

開催日	場 所	相談者	相談件数
H31. 1. 27	松阪公民館	59組	101件

松阪市空家等情報データベース作成業務委託

2,991,600円

空家等所有者意向調査業務委託

2,481,840円

松阪市空家等対策協議会（委員数 7人）

開催	年月日	出席人数
第1回松阪市空家等対策協議会	H30. 5. 28	7人
第2回松阪市空家等対策協議会	H30. 7. 26	7人
第3回松阪市空家等対策協議会	H30. 9. 27	7人
第4回松阪市空家等対策協議会	H30. 12. 19	7人

（款）8土木費（項）5都市計画費（目）7都市下水路費

（単位 円）

事業名	都市下水路管理運営事業費					上下水道総務課	
決算額	財源内訳					一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他			
126,528,103						126,528,103	120,808,073

事業内容	事業費	管内別内訳		備 考
		本庁	嬉野	
ポンプ場及び排水機場施設運転管理業務委託	91,669,860			
電気保安業務及び消防施設保守管理業務等委託	1,784,160	1,735,560	48,600	浄化槽維持管理、消防施設、電気保安、漏えい検査
草刈委託料	4,066,712	3,493,232	573,480	大口 934,264 中川 573,480 導水路 2,558,968

山室都市下水路調整池草刈等 施設管理業務委託	4,155,840	4,155,840		
ポンプ場及び排水機場等施設 修繕料	13,258,404	13,147,164	111,240	大口 4,063,716 沖ス 8,983,224 中川東部 111,240 その他施設 100,224
燃料費、光熱水費、電話料金 ほか	11,593,127	10,185,427	1,407,700	
計	126,528,103			

事業名	都市下水路施設整備事業費				上下水道総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,617,720					13,617,720	21,034,080

導水路及びポンプ場の施設整備を図ることができた。

種別	工事名	工事内容	工事費
導水路	導水路維持管理工事 (その1)	末広町 伐採工 N= 1本	299,160
	導水路維持管理工事 (その2)	末広町ほか 機械除草工 A= 1.93千㎡ 人力除草工 A= 0.81千㎡ 浚渫工 V= 6.5㎡ 清掃工 L= 292m	1,015,200
	導水路維持管理工事 (その3)	大口町 水路肩の張コンクリート A= 25.6㎡ 土すきとり 1式	164,160
	導水路維持管理工事 (その4)	宮町 法面柵板工 1式	162,000
ポンプ場	沖スポンプ場No.1エンジンE点 検整備工事	大口町 沖スポンプ場No.1 エンジンE点検整備 1式	2,797,200
	中川東部排水機場No.1エンジ ン点検整備工事	嬉野見永町 中川東部排水機場No.1 エンジン点検整備 1式	9,180,000
	計		13,617,720

事業名	ポンプ場施設長寿命化事業費					上下水道総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
27,448,200	13,680,500		400,000		13,367,700	18,756,400
下水道改築事業ストックマネジメント計画策定業務委託					26,586,360円	
宮町ポンプ場 機械設備機器価格調査業務委託					861,840円	

(款) 8土木費 (項) 5都市計画費 (目) 8下水道費 (単位 円)

事業名	公共下水道事業会計繰出金					上下水道総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,869,591,000					2,869,591,000	2,791,395,000
事務費繰出金			161,379,000円			
建設費繰出金			27,734,000円			
公債費財源繰出金 (元金)			2,150,722,000円			
公債費財源繰出金 (利子)			529,756,000円			

事業名	高須町公園多目的広場施設管理事業費					上下水道総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,376,000					2,376,000	2,440,800

事業内容	事業費	備考
高須町公園多目的広場除草業務委託	2,376,000	A=25,300㎡ 機械除草工 年5回、樹木施肥 年1回
計	2,376,000	

事業名	高須町公園多目的広場施設整備事業費					上下水道総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,588,760					2,588,760	2,594,160
高須町公園多目的広場整備工事						
防球ネット工 N=1式 インターロッキングブロック工 A=6㎡ グランド整備工 A=1,508㎡						
側溝清掃工 L=74m						

(款) 8土木費 (項) 6住宅費 (目) 1住宅管理費

(単位 円)

事業名	市営住宅管理運営事業費				住宅課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
38,740,073				38,740,073		49,673,345

市営住宅及び諸施設の管理並びに入退去事務や使用料徴収など円滑な管理運営に努めた。
また、老朽化住宅の用途廃止に向けた住替え事務を進めた。

市営住宅管理状況

公営住宅	改良住宅	その他住宅	若者定住住宅	農林業就業者住宅	計
1,234戸	408戸	8戸	21戸	3戸	1,674戸

委託料	20,395,922 円
賃金	2,643,285 円
報償費	2,888,500 円
役務費	2,931,089 円
需用費	1,846,864 円
補償、補填及び賠償金	6,420,600 円
共済費等	1,613,813 円

市営住宅入居者募集(定時募集)状況

区分	6月	12月	若定	計
募集戸数	25戸	26戸	3戸	54戸
応募者数	26人	35人	4人	65人

老朽化住宅の用途廃止に向けた住替え実績
10戸(上川町団地2戸、宝塚団地8戸)

事業名	市営住宅維持修繕費				住宅課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
100,133,447				100,133,447		103,417,089

市営住宅及び諸施設の適切な維持管理を行うための一般修繕と空家募集及び老朽化住宅からの住替えに伴う修繕を行った。

修繕料	99,507,143 円
原材料費	626,304 円

事業名	市営住宅修繕工事費				住宅課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
42,408,360				3,141,720	39,266,640	31,665,600

市営住宅及び諸施設の計画的な改善や修繕工事を行った。

事業内容		事業費
立木伐採業務委託料	旧営林署住宅	334,800
旧営林署住宅解体工事	旧営林署住宅	2,806,920
物置改築工事	船江町団地C2棟・C4棟	10,215,720
〃	船江町団地C3棟	4,661,280
ベランダ手摺塗装他工事	清生町団地C2棟	4,296,240
〃	清生町団地C6棟	8,564,400
〃	高田団地C2棟	4,953,960
〃	高田団地C3棟	5,603,040
物置改築工事に伴う仮物置借上	船江町団地C2棟～C4棟	972,000
計		42,408,360

事業名	市営住宅ブロック塀等対策事業費					
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,023,840					1,023,840	—

集中プロパン庫の外周に設置してあるブロック塀が現行の建築基準法施行令で定める高さ2.2mを超えることから、ブロック塀（高さ：2.4m、延長：21m）を撤去し、新たにメッシュフェンスを設置した。

事業内容		事業費
プロパン庫ブロック塀改修工事	中万町団地 プロパン庫	1,023,840
計		1,023,840

(款) 8土木費 (項) 6住宅費 (目) 2住宅建設費

(単位 円)

事業名	公営住宅ストック改善事業費					住宅課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
50,029,920	26,541,000		23,400,000		88,920	31,030,191

市営住宅の長寿命化計画に基づき、予防保全的な改修工事による維持管理を行った。

事業内容		事業費
外壁塗装改修工事	小黒田町団地C2棟	6,440,040
〃	小黒田町団地C3棟	6,345,000
給水システム改修工事	小黒田町団地C1棟・C2棟・C3棟	10,723,320
〃	清生町団地C5棟・C6棟・C12棟	13,609,080
〃	川井町団地C3棟・C5棟	7,308,360
屋上防水改修工事	若葉町改良住宅C1棟	5,604,120
計		50,029,920

(款) 9消防費 (項) 1消防費 (目) 1常備消防費

(単位 円)

事業名	松阪地区広域消防組合分担金					消防団事務局
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,026,905,000				2,904,000	2,024,001,000	1,930,597,000

広域消防組合の運営経費及び消防体制の充実・強化を図ることができた。

常備消防費の松阪市分担金 2,026,905,000円

人件費	1,708,696,583	物件費	182,747,151	維持補修費	3,423,742
補助費等	18,932,904	普通建設事業費	30,210,353	公債費	56,094,005
扶助費	26,800,262				

事業名	減債基金積立金					消防団事務局
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,806				4,806		13,072,500

減債基金利子(消防団事務局)を減債基金へ積み立てる。

平成30年度末基金現在高 19,283,585円

(款) 9消防費 (項) 1消防費 (目) 2非常備消防費

(単位 円)

事業名	消防団員消防・水防手当					消防団事務局
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
53,007,900					53,007,900	48,877,600

平成30年度中の消防団員の水火災や訓練出動等に支給した。

消防団員消防・水防手当 53,007,900円

種別	人員	金額
ラッパ隊手当	7人	52,000
機械器具点検手当	延1,376人	6,564,400
訓練等出場手当	延12,039人	36,847,500
水火災等出動手当	延2,330人	9,320,000
入校手当	延32人	224,000

事業名	消防団員報酬					消防団事務局
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
43,299,500					43,299,500	44,277,495

平成30年度中の消防団員の報酬を支給した。

報酬 43,299,500円

種別	人員	報酬額
報酬	1,376人	43,299,500

事業名	消防団長交際費					消防団事務局
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
32,280					32,280	3,240

消防団員等の逝去による弔慰金等

弔慰金 15,000円(3人) 供花 17,280円(2人)

事業名	消防団員退職報償金等					消防団事務局
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
29,192,464				28,873,000	319,464	30,424,432

消防団員等公務災害補償等共済基金からの退職報償金を全額支給（一般財源は退職記念品代）、永年の労苦をねぎらうことで士気の高揚を図ることができた。

報償金（91人分） 28,873,000円 退職記念品（102人分） 319,464円

事業名	消防団員等公務災害補償等共済基金掛金					消防団事務局
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
30,535,520					30,535,520	30,535,520

消防団員が退団した際の退職報償金の支給及び公務により死亡、負傷又は疾病にかかった場合における補償制度の掛金

負担金、補助及び交付金

消防団員等公務災害補償掛金 3,271,520円 消防団員退職報償金掛金 27,264,000円

事業名	消防団員等福祉共済加入掛金					消防団事務局
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,119,000					4,119,000	4,200,000

消防団員に対する弔慰金、疾病等の入院見舞金の支給に係る掛金

負担金、補助及び交付金

消防団員等福祉共済加入掛金 1,373人分

平成30年度受給対象者に対して、遺族援護金 1,000,000円（1人）、入院見舞金 384,000円（5人）を消防団員等公務災害補償等共済基金から支給した。

事業名	小型動力ポンプ付積載車等購入事業費					消防団事務局
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
22,356,000			19,600,000		2,756,000	25,984,800

実施計画に基づく消防団の積載車及び積載資機材の更新を行った。

消防団積載車等の更新配備

普通積載車 16,588,800円（2台） 軽積載車 5,767,200円（1台）

事業名	消防団防災資機材等整備事業費					消防団事務局
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,965,237					6,965,237	7,431,759

実施計画に基づく消防団員の装備等の更新を行った。

消防団防災資器材等の整備

制服、雨合羽、消防団員活動服 ほか

消耗品費 6,965,237円

事業名	消防団員公務災害補償費					消防団事務局
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,255,352				2,255,352		1,677,116

消防団員の療養補償費及び休業補償費並びに遺族補償年金を支給した。

災害補償費

療養補償費 133,130円（2人） 休業補償費 464,940円（1人） 遺族補償年金 1,657,282円（1人）

事業名	消防団員健康診断事業費					消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
365,520					365,520	371,680	

消防団員の健康管理の保持増進を目的に実施し、円滑な消防団活動の向上を図ることができた。

委託料

健康診断受診者 344,960円 (112人)

検診車配車料 20,560円

事業名	非常備消防一般経費					消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
15,958,136				439,598	15,518,538	19,323,266	

円滑な消防団事業の推進を図るための運営経費

非常備消防に係る一般経費

事務用品等消耗品費、消防団車両等燃料費、消防団車両等保守点検費、電話料金等通信運搬費、安全運転研修委託料、消防学校入校負担金等

報償費 150,552円 旅費 858,156円 消耗品費 2,495,541円 燃料費 1,336,017円

食糧費 77,620円 印刷製本費 35,640円 光熱水費 904,385円 修繕料 5,596,630円

通信運搬費 220,890円 広告料 21,600円 手数料 83,464円 保険料 342,950円

委託料 384,129円 使用料及び賃借料 861,960円 備品購入費 72,252円

負担金、補助及び交付金 1,697,550円 公課費 818,800円

(款) 9消防費 (項) 1消防費 (目) 3消防施設費 (単位 円)

事業名	水道事業会計繰出金					消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
14,932,218					14,932,218	15,304,857	

市内公設消火栓の維持管理に要する経費で、14基の設置及び改修(新設 4基、既設 10基)により消防水利の充実・強化を図ることができた。

繰出金 14,932,218円

事業名	消防施設管理事業費					消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
6,084,983				504,900	5,580,083	5,136,669	

消防に関する現有施設の補修により消防力の維持管理に努めた。

消防施設管理に係る経費、施設整備修繕料、消火栓点検業務委託料、補修用材料費等

修繕料 1,366,200円 委託料 4,644,000円 原材料費 74,783円

事業名	消防防災施設整備事業費					消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
32,338,440	10,772,000		20,300,000		1,266,440	44,985,240	

実施計画に基づき、耐震性貯水槽4基を設置し、防災施設の強化を図ることができた。

耐震性貯水槽の設置及び消防団車庫新築に伴う地質調査委託料

工事請負費 32,230,440円 (耐震性貯水槽 [4基])

調査委託料 108,000円

事業名	消防・防災訓練センター管理運営事業費				消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
200,858					200,858	195,915

消防団・自主防災組織・消防署等の訓練場及び付近住民の避難場所、仮設テント等の設営場所として維持管理を図ることができた。

光熱水費 200,858円

事業名	消防救急デジタル無線（共通波）整備事業負担金				消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
21,709,000					21,709,000	21,709,000

施設整備に係る市町負担金を三重県市町総合事務組合へ支払った。

市町負担金 21,709,000円

(款) 10教育費 (項) 1教育総務費 (目) 1教育委員会費

(単位 円)

事業名	教育長交際費					教育総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,000					5,000	3,450

教育行政に関与された関係者の慶弔費として支出した。

区分	件数 (件)	金額 (円)
慶弔費	1	5,000

事業名	教育委員会一般経費					教育総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,301,040					4,301,040	4,391,570

報酬 3,936,000円 (委員 4人、定例会議 12回開催)

負担金 224,820円 (三重県市町教育委員会連絡協議会負担金ほか)

(款) 10教育費 (項) 1教育総務費 (目) 2事務局費

(単位 円)

事業名	私立高等学校振興補助金					教育総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
956,016					956,016	2,000,000

市内の私立高等学校の運営に要する費用の一部を補助し、施設の整備等を行うことにより教育の振興を図った。(上限150万円)

補助対象事業：生徒用下駄箱導入による経費 (補助対象経費 1,912,032円)

事業名	奨学基金積立金					教育総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
155,598				155,598		184,432

平成30年度末基金現在高 59,460,616円

事業名	スクールバス運営事業費					教育総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
20,018,638	2,012,000			9,472	17,997,166	20,070,424

本庁・嬉野・飯南・飯高管内において、スクールバスの運行及びスクールタクシーの運行委託により遠距離通学となる児童、生徒の通学手段の確保を図った。

利用者：西中 1人、伊勢寺小 2人、豊地小 28人、粥見小 16人、柿野小 16人、飯高中 17人、香肌小 12人、宮前小 37人

事業名	高等学校・大学入学援助金				学校教育課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
500,000					500,000	480,000

平成30年度に高等学校、大学等に入学した生徒の保護者（平成30年度市県民税非課税世帯）に、入学援助金20,000円を支給し、保護者の経済的負担の軽減を図った。

対象者 25人（高等学校 13人、短期大学 3人、大学 9人）

事業名	教育委員会事務局一般経費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,466,751				194,122	14,272,629	13,453,224

賃金 5,529,646円、消耗品費 2,728,336円、使用料及び賃借料 2,515,137円 ほか

（款）10教育費 （項）1教育総務費 （目）3教育指導費 (単位 円)

事業名	英語コミュニケーション力向上推進事業費				学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
48,219,205				50,932	48,168,273	39,703,267

初等中等教育段階からグローバル化に対応した教育環境づくりを進めるため、小学校における英語教育の拡充強化、中学校における英語教育の高度化など、小中学校を通じた英語教育の抜本的充実が求められている。小・中・高等学校を通じた外国語教育の充実が図られる中、新学習指導要領に基づく英語教育の研究を行い、授業改善や教員の指導力向上、そして児童生徒のコミュニケーション能力を着実に向上させるため、「英語コミュニケーション力向上推進事業」モデル校を設置し、実践研究と授業研究会（公開）を行った。また、市内全中学校2、3年生を対象に英検I B Aを実施し、生徒の英語力を客観的に把握し、英語学習に対する意欲を向上させるとともに、教員の指導改善に活かした。さらに、児童生徒のコミュニケーション能力を確実に育成するため、10人の外国語指導助手と2人の小学校英語指導助手を各校に派遣し、授業における補助や国際交流活動等を行った。（総派遣日数 2,086日）

事業名	人権教育ネットワーク推進事業費				学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,865,851		180,000			2,685,851	2,599,892

11中学校区の各人権教育推進組織及び松阪市人権教育研究会に委託し、教職員の人権意識の向上、地域への人権啓発活動、また、学校と地域が連携して開催する子どもが主体の人権フォーラムや校区内の授業公開（公開保育）の活動を行う等、地域との連携を深めた。また、平成28年から施行されている差別解消三法の趣旨に基づき、個別の人権問題の認識を深めるための講演会を開催したり、近年の新たな人権課題であるLGBTなど「性的マイノリティにかかわる人権問題」について講演会を開催したりするなど、地域の実態にあわせた取組を行えた。（人権講演会への参加人数 11中学校区合計2,520人）また、平成30年度より、第二小学校を、国の委託事業である「人権教育研究指定校事業」の研究校に指定し、人権教育を総合的・系統的に進めるための人権教育カリキュラムの作成に取り組んだ。12月には、研究の成果を研究発表会を通じて、市内に発信することができた。

委託先		委託金額	委託先		委託金額
1	殿町中学校区	150,000円	7	西中学校区	130,000円
2	鎌田中学校区	150,000円	8	嬉野中学校区	85,000円
3	久保中学校区	220,000円	9	三雲中学校区	135,000円
4	中部中学校区	130,000円	10	飯南中学校区	100,000円
5	大江中学校区	110,000円	11	飯高中学校区	80,000円
6	東部中学校区	160,000円	12	松阪市人権教育研究会	980,000円

事業名	教科書及び指導書導入事業費					学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
8,975,723					8,975,723	3,247,869	

小学校の道徳の教科化に伴い、新たに小学校に教師用教科書、指導書の購入・配布を行った。また、小中学校の新学期のクラス編成に伴う増級分等の教師用教科書、指導書を購入・配布し、指導の充実を図った。

事業名	特色ある学校づくり推進事業費					学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
14,350,000					14,350,000	13,156,100	

児童生徒や地域の実態に即した特色ある教育、特色ある学校づくりを進めるための創意に満ちた特色かつ魅力ある教育活動を実施することにより、児童生徒の「生きる力」の育成を図る取組を展開した。地域住民等の協力を得て、農業・漁業・林業などの体験学習や郷土学習を行ったり、英語や読書、食育等に係る活動を行ったりした。また、学校・家庭・地域が一体となって「生きる力」を育む取組の充実を図るため、地域と連携した行事や体験学習を実施した回数は、1校あたり約23回となった。(H29年度：21回)

事業名	児童生徒体育文化行事参加旅費等補助金					学校教育課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
3,935,276					3,935,276	5,380,807	

体育・文化行事の全国大会・東海及び県大会参加旅費に対して補助した。生徒の健全な身体と豊かな心を養い、技能の向上を目指した。

(参加補助対象延人数 1,413人)

事業名	児童生徒安全対策支援事業費					学校教育課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
4,224,881					4,224,881	3,746,992	

児童生徒の登下校中の安全を確保するため、通学用ヘルメット、黄色帽子を配布し通学路における事故防止を図った。

	配布数	支払額	配布対象者
ヘルメット	2,647個	3,881,871円	小1、小4、中1
黄色帽子	838個	343,010円	小1

事業名	特別支援教育推進事業費					学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
79,179,621				211,745	78,967,876	78,291,954	

特別な支援を要する児童生徒に対し、学校生活上の介助や学習面のサポートを行う「学校生活アシスタント」80人を40校に、看護師免許を持つ「メディカルサポートアシスタント」3人を2校に配置した。個々の児童生徒に応じた支援により、基本的な生活習慣の定着や情緒の安定等を図ることができた。また、学習活動や学校生活において、周りの児童生徒とのコミュニケーションを支援し、児童生徒の相互理解を進めることができた。

事業名	いじめ等対策事業費				学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,245,434				27,164	13,218,270	12,933,473

いじめ等の問題行動の早期発見・早期対応を図るためには、実態を的確に把握することが重要である。平成30年度も学級満足度尺度調査(Q-U)を年間2回、いじめアンケート調査を学期に1回以上実施した。また、中1ギャップ対策として、小中兼務型のハートケア相談員を引き続き、中学校区に配置し、教職員と連携しながら、小中学校連携、教育相談体制の充実と児童生徒の心のケアを行った。教職員が、時間外であっても機を逸することなく、家庭訪問や地域の防犯パトロール等に取り組んだ。教職員の時間外緊急活動は、1年間で延8,017件、6,080時間、38,089kmの実働状況であった。学校だけで解決することが困難な状況も多く、常に関係機関と連携して指導に当たる必要が生じている。早期解消へ向けては、こども支援課、子ども発達総合支援センター、子ども支援研究センター、警察等の専門機関と連携しながら、チーム支援を行った。また、対応が困難な事案については、三重県教育委員会からSSW(スクールソーシャルワーカー)の派遣を受け、学識経験者の指導・助言を受けながら、解消に努めた。

H30年度 学級満足度尺度調査(Q-U)
(小学校 66.3% 中学校 69.6% 全体 67.8%)
H30年度 いじめ認知件数
(小学校 356件 中学校 49件 全体 405件)
H30年度 ハートケア相談件数
(6,878件)

事業名	地域の教育力活用推進事業費				学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,187,278		198,000			4,989,278	5,334,768

地域の教育力活用推進事業は、3つの取組をそれぞれ関連させながら事業を進めた。学校支援地域本部事業の取組は、学校支援ボランティアの活動として、平成23年度から市内各学校園を対象に展開し、初年度のボランティア登録数494人から、平成30年度は1,652人と増加した。内容として、安全支援ボランティア・読書支援ボランティア・学習支援ボランティア等を中心に本事業を展開した。また、地域未来塾の取組として、第四小学校にコーディネーターを配置し、まちづくり協議会の教育部会が主体となり、希望者を対象とした学力補充を目的に「放課後補充学習」を毎週水曜日に実施した。学校評議員制度については、全小中学校において、学校・家庭・地域が連携・協力しながら、よりよい学校運営の改善に向け、児童生徒の実態や地域の実態に応じた取組を実施した。コミュニティ・スクールの取組については、平成25年度より鎌田中学校区3校、平成29年度より飯高中学校区3校で校区連携を図った学校運営協議会がスタートした。平成30年度より天白小学校が学校運営協議会をスタートさせた。朝見小学校、小野江小学校、鶴小学校、米ノ庄小学校が令和元年度からの学校運営協議会を、てい水小学校、松ヶ崎小学校、三雲中学校が令和2年度からの学校運営協議会をスタートさせるための研究を進めた。

事業名	郷土の偉人に学ぶ教育推進事業費				学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,410,790					1,410,790	1,489,939

将来の松阪を担う子どもたちが、郷土に誇りと愛着を持ち、未来を切り拓いていくことができるよう、「郷土の偉人に学ぶ授業」で使用する教材冊子を印刷し、対象児童に配付した。また、4年生を対象に「本居宣長」、5年生を対象に「松浦武四郎」、6年生を対象に「蒲生氏郷」と「三井高利」の冊子を使って、各学校において、授業実践を進めた。また、「三井高利」教材冊子(H29作成)に関して、各学校での学習活動が定着することを目的とし、学習活用例や他教科と関連させた実践について、教職員対象に研修会を行った。冊子を用いた学習から地域への聞き取り学習、フィールドワーク、体験学習等へと発展的に学習活動を展開し、子どもたちが偉人の生き方や考え方を学ぶ中で、自分に置き換えて考えることができ、未来への夢や目標を抱く機会をつくることのできた。

事業名	学力向上推進事業費				学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,303,708				1,428,000	7,875,708	10,972,418

学力向上プロジェクトチームを編成し、児童生徒の課題を明確にしなが、課題解決のための小学校から中学校への学習を系統的に捉えた授業改善の在り方について協議し、「児童・生徒の学力向上をめざして」にまとめ、市内各小中学校に広めた。

全国学力・学習状況調査から明らかになった課題解決に向けて早期に対応するため、小学校2年生から5年生、中学校1年生、2年生に標準学力調査を実施した。（実施期間 H30.5.1～5.30）（参加人数 小学校：5,869人 中学校：2,588人）

小中学校へ授業力向上アドバイザーと学級経営マイスターを派遣し、学力向上に向けた授業改善や教職員の質の向上を図ることができた。授業力向上アドバイザー派遣(99回)学級経営マイスター派遣(場所：第五小学校 H30.9.21、H30.11.12、H31.1.24)

「授業・保育実践発表中学校区」として、大江中学校区・鎌田中学校区において、全国学力・学習状況調査、松阪市標準学力調査等の結果分析から見えてきた課題解決に向け、幼小中の連携教育を基盤とした授業・保育改善の取組の研究を進めた。そして、これらを授業公開研究会の形で発信し、市内の教職員はこの会に参加することで、授業スタイル等を学び、各学校・園での授業実践に活かすことができた。（参加人数 大江中学校区80人、鎌田中学校区190人）

	区 分	発表学校区
H30.11.20	鎌田中学校区公開授業研究会	第四小・港小・港幼・鎌田幼・鎌田中
H30.11.30	大江中学校区公開授業研究会	南小・大江中

児童生徒の理科への意欲・関心を高めるため、松阪市児童生徒科学作品展（出展数：小学校 353点、中学校 54点）を開催した。

開催日	行事名	場 所	参加数
H30.9.8～9	松阪市児童生徒科学作品展	松阪市文化財センター	延1,129人
H30.9.9	わくわく科学工作教室	松阪市文化財センター	27人

[平成29年度の科学芸術振興事業費736,487円を統合]

事業名	新たな学びの創造事業費				学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
59,326,884				35,000	59,291,884	50,504,976

小学校パソコン教室にタブレット端末を整備し、普通教室、特別支援教室のネットワークを無線化した。また体育館にもネットワーク環境を整備し、情報活用能力を育成するためのICT環境の充実を図った。これまでの中学校を中心とした研究活動に加えて、小学校においても協働学習やプログラミング教育に関する実証研究に取り組んだ。すべての小中学校の情報担当者を対象とした情報担当者会議を開催することで、ICT関係施策の方針や先進事例等に関する情報共有を図った（年3回）。また熱意のある教員に対してICT機器を貸し出し、教育の情報化に向けた授業支援を行った。

小学校パソコン教室タブレット端末整備状況（全36校）

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
整備済校数	4校	4校	16校

公開研究会

開催日	参加者数	開催場所
H30.11.1	16人	東黒部小学校
H30.11.21	163人	三雲中学校

事業名	教育指導一般経費				学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,190,370				11,096	5,179,274	3,446,314

教育指導に係る一般経費

賃金 2,035,200円、旅費 381,330円、需用費（消耗品費） 1,504,244円、使用料及び賃借料 373,820円 ほか

(款) 10教育費 (項) 1教育総務費 (目) 4子ども支援研究センター費

(単位 円)

事業名	外国人児童生徒受入促進事業費				学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
21,195,727		2,256,000		29,267	18,910,460	20,819,524

日本語指導員等5人が中心となり、母語スタッフ11人、日本語指導補助のボランティア36人と協力し、初期適応支援教室「いっぼ」において、基本的な日本語の理解ができていない外国人児童生徒を対象に、初期の日本語学習（ひらがな、カタカナ、日常会話の基礎）を一定期間集中して行った。母語スタッフを市内小中学校に効果的に配置し、外国人児童生徒の在籍校における学校生活への適応支援及び日本語学習支援等を行った。また、進学や就職に関する情報提供を行う「進路ガイダンス」や、学齢期で市内小中学校に在籍していない児童生徒宅を家庭訪問する「就学実態調査」、「いっぼ」に通級できない児童生徒に対して学校への日本語指導員の派遣等、市内の外国人児童生徒にきめ細かいサポートを行った。日本語指導法講座は、「いっぼから学校へつなぐ日本語指導法講座」というテーマで全6回実施し、いっぼ関係者は、学校での教科指導を意識した日本語指導法を、教職員は、教科指導の中での日本語指導のポイントを学び、指導力向上につながった。

日本語指導が必要な児童生徒の在籍が多い小中学校（久保中学校・第二小学校・第五小学校・殿町中学校・花岡小学校・徳和小学校・幸小学校）をセンター校に指定し、三重大学・愛知淑徳大学等関係機関の助言・協力のもと学力保障・進路保障等についての実践・研究を行うことで、外国人児童生徒教育が学校全体の取組となり、受入体制の整備や日本語指導の充実につながった。

事業内容	実績等
初期適応支援教室「いっぼ」	通級児童生徒数 33人、うち修了 30人、次年度継続通級 3人
母語スタッフによる指導補助・支援	対象校 小学校 18校、中学校 6校、いっぼ、翻訳等 支援状況 2,150回 8,482時間
進路ガイダンス	開催日 9月9日、参加者数 89人（外国人児童生徒25人、保護者21人、高校生・一般8人、高等学校教職員10人、小中学校教職員7人 通訳7人、関係者11人）
外国人児童生徒就学実態調査	就学年齢に達しているが、小中学校在籍児童生徒名簿に記載の無い外国人を対象に調査を行った。 調査期間 10月～11月 調査対象 27人（25世帯） 調査結果 不就学 0人、帰国（外国で就学） 19人、留守・不明 6人、日本で就学 2人
運営協議会	事業計画の立案、検討、発生する課題等に対する改善策等の協議機関 開催数 2回（5月、2月）
プロジェクト会議	具体的な取組についての計画、検討、改善のための会議 開催数 3回（5月、10月、1月）

ネットワーク会議	取組内容の交流や教材の共有化、外国人児童生徒の受け入れ体制の充実を全市的に図るための外国人児童生徒教育担当者対象の会議 開催数 3回 第1回：「松阪市の外国人児童生徒の取組について」 「日本語指導法連続講座①」 6月25日 参加者 68人 第2回：「外国人児童生徒の指導の方法と留意点」 講師：大阪教育大学 准教授 7月24日 参加者 37人 第3回：「センター校の取組について」 1月22日 参加者 43人
担当者会議	センター校の担当者が情報を交換するための会議 開催数 7回（4月、6月、7月、9月、11月、12月、3月）
就学前支援教室 「ふたば」	次年度入学予定児を対象に小学校で学ぶための日本語学習支援や生活規律の支援と保護者に対する情報提供等を行った。 開催数 11回（1月～3月）、参加幼児数 17人
日本語指導法連続講座	開催日 6月25日（月）、7月30日（月）、8月27日（月）、 9月27日（木）、10月29日（月）、11月26日（月） 内 容 第1回 6月25日（月） 初期日本語指導から教科指導へⅠ 「みえこさんのにほんご」から教科指導へつなぐ留意点 第2回 7月30日（月） 初期日本語指導から教科指導へⅡ 教科指導（算数、数学）のポイント 第3回 8月27日（月） 初期日本語指導から教科指導へⅢ 教科指導（理科、社会）のポイント 第4回 9月27日（木） サバイバル日本語の指導ポイント 第5回 10月29日（月） 「みえこさんのにほんご」を活用した指導Ⅰ 第6回 11月26日（月） 「みえこさんのにほんご」を活用した指導Ⅱ 講師 伊賀市外国人児童生徒日本語指導コーディネーター 参加者数 延171人（市内小中学校教員・いっば教室ボランティア等）
フォトストーリーづくり	自分の夢や生活の写真にナレーションをつける手法で映像にまとめることで、自分を発見し、表現する取組を行った。 開催日 8月24日、25日 参加者数 18人（外国人児童生徒） 指導者・補助者 愛知淑徳大学の准教授及び学生 16人
多文化理解授業	三重大学留学生3人より、各国の文化・生活について学んだ。 開催日 1月29日 対象者 徳和小学校（センター校）3年生児童 123人

[平成29年度の外国人児童生徒いきいきサポート事業費 16,305,864円を統合]

事業名	教育支援センター推進事業費					学校支援課	
決算額	財源内訳						【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,380,752					2,380,752	2,376,599	

教育支援センター「鈴の森教室」と「三雲やまゆり教室」において、学校復帰や出席日数の改善、進路決定を目的として、不登校児童生徒の通室指導や保護者・関係者への教育相談を実施し、在籍校の教職員と協力しながら個々に合わせた支援を行った。

相談及び通室指導対象児童生徒数 115人

校種	小学校						中学校			高等学校			計
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
人数	2人	4人	8人	4人	7人	9人	19人	33人	21人	7人	0人	1人	115人

学校復帰や出席日数の増加で改善が見られた通室児童生徒数 対象者33人中22人

校種	小学生	中学生	計	改善(復帰)率
対象人数	7人	26人	33人	
改善者数	6人	16人	22人	66.66%

相談延件数 906件(面接 482件、電話 424件)、学校訪問 228回

[面接相談件数]

(単位 件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学生	5	2	17	6	2	11	24	19	23	13	24	12	158件
中学生	18	18	34	32	15	33	18	44	45	14	34	14	319件
高校生等	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	5件
計	23	21	52	38	17	45	43	63	68	27	59	26	482件

[電話相談件数]

(単位 件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学生	8	17	15	8	14	23	18	18	13	14	14	15	177件
中学生	18	22	20	20	7	32	14	22	25	20	20	20	240件
高校生等	0	0	4	1	0	0	2	0	0	0	0	0	7件
計	26	39	39	29	21	55	34	40	38	34	34	35	424件

[学校訪問回数]

(単位 回)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学校	3	36	14	6	5	2	20	4	7	1	5	3	106回
中学校	4	17	12	20	3	3	8	12	21	1	14	7	122回
計	7	53	26	26	8	5	28	16	28	2	19	10	228回

事業名	教育研究事業費					学校支援課	
決算額	財源内訳						【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
805,336					805,336	945,277	

長期研修員が外国語教育をテーマに調査・研究を行った。そして、その研究成果を研究集録として冊子にまとめ、園・学校や教育関係機関に配布することにより、教育実践現場への浸透を図った。また、教育研究や教育実践に役立つ書籍・資料を収集し、教職員への情報提供と貸し出しを行った。

研究集録第135集 小学校 外国語教育 課題から連携を探る
～「人」「授業」「組織」一貫した教育を目指して～

研究集録第136集 「CAN-DOリスト」を活用した授業づくり
— 自律的学習者として学習する生徒を目指して—

書籍の購入、及び寄贈数 66冊

書籍の分類	購入数	寄贈数
学習指導・学級指導に関する書籍	56冊	
学校経営・学校管理に関する書籍	1冊	
社会教育・家庭教育に関する書籍	1冊	
特別支援教育に関する書籍	5冊	2冊
幼児教育に関する書籍	1冊	

事業名	教職員研修事業費				学校支援課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
1,096,192					1,096,192	969,256

日常の保育・教育実践や実践上の問題解決に役立つ研修の場を提供することを目的に、保育・教育現場のニーズや今日的教育課題に沿った内容の講座を33講座実施し、保育士・幼小中教職員の指導力向上を図った。

実施日	講座名		参加人数
H30.5.29	初任者研修（第14回 校外研修）	フィールドワーク ～郷土の偉人ゆかりの地を訪ねる～	46人
H30.6.8	学校マネジメント 研修Ⅰ	夢を育み未来を切り拓く松阪の人づくり ～新学習指導要領完全実施に向けて～	30人
H30.6.19	マスター・ベーシック 研修Ⅰ	管理職に求められるリーダーシップ ～学力向上に向けた取組～	31人
H30.6.28	国語	子どもが自分で読み、考え、伝える姿を確実に ～ 字や言葉、文を理解し、使いこなす国語の力とともに ～ 6年生説明文 「自然に学ぶ暮らし」の授業から	61人
H30.6.30	乳幼児教育Ⅰ	子どもたち一人ひとりを理解するために ～ 関わりの難しい子ってどんな子どもたち？～	133人
H30.7.2	マスターベーシック 研修Ⅱ	管理職の学校運営	36人
H30.7.12	学校マネジメント 研修Ⅱ	学校のマネジメント機能を強化するために	23人
H30.7.21	乳幼児教育Ⅱ	子どもから学ぶしあわせの見つけ方	116人
H30.7.23	特別支援教育Ⅰ	トラウマと愛着表現について ～ 人とのかかわりの影響はそのあとも続く ～	134人
H30.7.24	外国人 児童生徒教育	外国人児童生徒の指導の方法と留意点	87人
H30.7.25	健康教育	学校におけるアレルギー疾患の対応について	52人
H30.7.25	事務職員研修	教育に効果的な学校事務を考える	27人
H30.7.26	人権教育Ⅰ	ともに生きる社会を創る ～ 障害者差別解消法をふまえて ～	125人
H30.7.30	音楽	新しい学習指導要領、音楽授業をこう変える！ ～ 子どもが授業でキラキラするように ～	42人
H30.7.30	人権教育Ⅱ	多文化共生の学校づくり ～ ヘイトスピーチ対策法を具体化するために ～	72人
H30.7.31	授業力向上Ⅰ	国語科授業づくりのポイント	93人
H30.8.1	教育講演会	教育に絵本を活かすには ～キャリアプラン作り手からのメッセージ～	946人
H30.8.2	学級づくり	思春期のライフスキル教育	16人
H30.8.3			

H30.8.3	生徒指導Ⅰ	保護者対応 ーさまざまな声に向き合う学校を目指してー	71人
H30.8.6	道徳	「教科」時代の道徳授業を創る	100人
H30.8.6	情報教育	ICTを活用した授業づくり	24人
H30.8.7	郷土教育	郷土の偉人に学ぶ教育の実践から	47人
H30.8.7	生徒指導Ⅱ	不登校児童生徒へのかかわりにあたって	38人
H30.8.8	生徒指導Ⅲ	Q-Uを活用した学級づくり ～ 分析と対策 ～	64人
H30.8.21	体育/保健体育	器械運動が苦手な先生こそ受講してほしい 「器械運動講座」	50人
H30.8.23	特別支援教育Ⅱ	発達性ディスレクシア（読み書き障害）の理解と具体的 指導ー 根拠のある評価と学習支援の効果 ー	57人
H30.8.24	外国語活動/外国語	新小学校学習指導要領を踏まえた外国語活動及び、外国 語科の指導 ～ 『Let's Try!』 『We Can!』 の効果的な活用法～	84人
H30.8.24	教育課程	新学習指導要領に対応した 資質・能力を育む授業と教育課程	56人
H30.8.27	授業力向上Ⅱ	学力向上のための様々な授業方策	89人
H30.8.28	理科	小学校理科の授業づくり	43人
H30.9.22	乳幼児教育Ⅲ	領域「表現」における保育実践を考えるー幼稚園教育要 領・保育所保育指針等の改訂を受けてー	40人
H30.11.20	人権教育学習会	へこたれへん ～人はきつとつながれる～	68人
H30.12.14	人権教育Ⅲ	新しい人権教育の創造へ ～ ジブリ・ディズニーからTVドラマ9.9の世界へ、 そして・・・ ～	70人
計			2,971人

[平成29年度の人権学習推進事業費 117,120円を統合]

事業名	教育相談事業費				学校支援課		
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他			
3,753,367					3,753,367	3,654,209	

子どもや保護者・教職員への教育相談（電話、面談）及び臨床心理士によるカウンセリングを実施し、幼児児童生徒の生活や心の問題等について解決すべく、支援を行った。

相談延件数 1,125件

教育相談 545件（面接 241件、電話 304件）

カウンセラー相談 580件（180回実施）

[相談延件数]

(単位 件)

校種	就学前	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	他	不明	計
面接相談	27	24	16	58	12	53	40	7	3	0	0	1	241件
電話相談	39	15	18	29	40	43	28	31	34	19	3	5	304件
カウンセラー相談	49	38	45	70	51	51	79	27	49	60	57	4	580件
計	115	77	79	157	103	147	147	65	86	79	60	10	1,125件

[月別相談件数]

(単位 件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面接相談	25	19	17	20	22	15	21	25	12	21	21	23	241件
電話相談	16	22	30	28	27	33	26	25	20	22	29	26	304件
カウンセラー相談	44	44	49	54	47	46	48	53	40	46	56	53	580件
計	85	85	96	102	96	94	95	103	72	89	106	102	1,125件

事業名	子ども支援研究センター管理運営事業費					学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
14,660,969				2,949,746	11,711,223	14,502,792	

施設を利用する市民の安全と利用者の余暇・レクリエーション等の活動の場を保障するため、施設の円滑な運営と安全な施設管理に努めた。

光熱水費 5,464,610円、施設維持管理等委託料 3,706,152円、消耗品費 160,039円 ほか
 体育室利用者数（延1,169団体 34,941人）
 ミーティングルーム利用者数（延254団体 3,486人）

月	体育室利用者数				ミーティング室利用者数	
	団体延数	大人	子ども	合計	団体延数	計
4月	98団体	1,537人	249人	1,786人	19団体	333人
5月	99団体	2,226人	272人	2,498人	30団体	396人
6月	102団体	3,814人	2,367人	6,181人	41団体	114人
7月	100団体	1,999人	400人	2,399人	17団体	209人
8月	100団体	1,677人	479人	2,156人	19団体	262人
9月	92団体	4,591人	733人	5,324人	15団体	232人
10月	103団体	2,480人	722人	3,202人	18団体	304人
11月	98団体	2,258人	635人	2,893人	17団体	375人
12月	91団体	1,574人	886人	2,460人	21団体	240人
1月	92団体	1,505人	566人	2,071人	18団体	450人
2月	90団体	1,497人	318人	1,815人	21団体	317人
3月	104団体	1,730人	426人	2,156人	18団体	254人
計	1,169団体	26,888人	8,053人	34,941人	254団体	3,486人

事業名	子ども支援研究センター施設整備事業費					学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
6,964,920					6,964,920	16,463,908	

児童生徒の学校復帰や社会的自立を支援・指導するための「鈴の森教室」の空調工事を行い、安全な学習環境の提供及び施設環境の改善に努めた。

教育関係工事費 6,964,920円

事業名	子ども支援研究一般経費					学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,593,480					1,593,480	1,354,880	

要覧・たより・ホームページ等による広報活動を行うとともに、子どもに係る総合的な支援研究機関として、効果的効率的な業務遂行と運営に努めた。

借上料 508,440円、通信運搬費 341,697円、消耗品費 649,371円 ほか
 センターだより 10回発行

(款) 10教育費 (項) 2小学校費 (目) 1学校管理費

(単位 円)

事業名	小学校施設管理運営事業費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
460,707,737				2,975,116	457,732,621	478,254,691

小学校40校（うち4校休校）の運営及び維持管理等に要する経費を支出した。主な経費としては非常勤職員賃金、光熱水費、消耗品費等の学校運営に要する経費や修繕料、各種業務委託等の維持管理に要する経費を支出した。

共済費 5,215,062円

賃金 32,592,982円（非常勤職員賃金及び通勤費用）

需用費 258,375,773円

（消耗品費 70,595,814円 光熱水費 144,178,065円 修繕料 36,707,353円 ほか）

役務費 12,688,813円（通信運搬費 8,390,537円 手数料 4,224,236円 ほか）

委託料 49,658,594円

（施設維持管理等委託料 44,163,970円 その他の委託料 5,494,624円）

使用料及び賃借料 73,819,594円（借上料 72,427,654円 使用料 1,391,940円）

原材料費 2,870,145円

備品購入費 24,109,024円

負担金 1,377,750円

平成30年5月1日現在 学校数 36校 児童数 8,788人

学校名	学級数	児童数	学校名	学級数	児童数	学校名	学級数	児童数
第一小	10学級	182人	機殿小	7学級	49人	豊田小	7学級	148人
第二小	9学級	145人	朝見小	6学級	94人	中原小	8学級	150人
第三小	14学級	243人	掃水小	11学級	207人	天白小	22学級	515人
第四小	21学級	540人	漕代小	7学級	77人	鵜小	7学級	98人
第五小	23学級	566人	花岡小	25学級	587人	小野江小	15学級	318人
幸小	23学級	490人	松尾小	15学級	292人	米ノ庄小	8学級	171人
松江小	15学級	351人	大河内小	7学級	99人	柿野小	8学級	82人
伊勢寺小	10学級	177人	南小	7学級	73人	粥見小	7学級	94人
阿坂小	7学級	87人	射和小	9学級	175人	香肌小	4学級	20人
松ヶ崎小	6学級	46人	山室山小	23学級	602人	宮前小	7学級	78人
港小	13学級	281人	徳和小	32学級	794人			
東黒部小	4学級	35人	豊地小	10学級	179人			
西黒部小	7学級	88人	中川小	26学級	655人	計	440学級	8,788人

事業名	小学校施設整備事業費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
94,250,920			10,900,000		83,350,920	102,301,920

小学校施設の維持修繕工事を行い、教育環境の整備に努めた。

学校名	事業内容	事業費	事業費内訳	
			工事費	委託料等
第一小	外構附帯工事	7,457,400	7,457,400	0
西黒部小	外壁改修工事	10,566,720	10,566,720	0
朝見小	プールサイド改修工事	4,259,520	4,259,520	0
花岡小	屋上防水改修工事	11,514,960	11,514,960	0
花岡小	受変電設備更新工事	25,387,560	25,387,560	0
山室山小ほか1校	消火ポンプユニット改修工事（山室山小、中原小）	6,246,720	6,246,720	0
徳和小	屋内運動場屋根塗装改修工事	9,686,520	9,686,520	0
豊地小	プールサイド他塗装改修工事	2,970,000	2,970,000	0
中原小	インターホン設置工事	1,500,120	1,500,120	0
中原小	消火管改修工事	4,674,240	4,674,240	0
天白小	スロープ設置工事	4,197,960	4,197,960	0
計		88,461,720	88,461,720	0

修繕料 5,789,200円

事業名	小学校空調設備整備事業費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
593,783,713	95,506,000		449,100,000		49,177,713	276,260

小中学校45校の普通教室等への空調設備整備に向けて、実施事業者を選定するための事業審査委員会の開催に係る経費等を支出した。また、空調設備整備に向け、事業契約を締結した。（小学校35校）

報酬 120,000円（委員5人 4回開催）、旅費 339,960円

需用費 50,150円（消耗品費 48,350円 食糧費 1,800円）

委託料 46,474,220円

松阪市立小中学校空調設備整備DBO事業実施設計業務委託 53,660,162円

（内、小学校空調設備整備事業費分 39,046,999円）

平成30年度（前払分） 11,714,101円 令和元年度 27,332,898円

松阪市立小中学校空調設備整備DBO事業工事監理委託 22,997,212円

（内、小学校空調設備整備事業費分 16,734,426円）

平成30年度（前払分） 5,020,327円 令和元年度 11,714,099円

第一小学校外3校教室間仕切設置他工事設計業務委託 4,762,800円

松阪市立小中学校空調設備整備事業における発注支援業務委託 34,560,000円

（内、小学校空調設備整備事業費分 24,976,992円）

工事請負費 546,799,383円

松阪市立小中学校空調設備整備DBO事業施工業務 1,629,267,480円

（内、小学校空調設備整備事業費分 1,185,067,056円）

平成30年度（前払分） 474,026,823円 令和元年度 711,040,233円

第一小学校外1校教室間仕切設置他工事 39,442,680円

天白小学校外1校教室間仕切設置他工事 33,329,880円

事業名	地域材活用学校環境整備事業費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,669,648					6,669,648	7,882,038

木に親しむ環境づくりと地場産業の活性化を目的に整備を行った木製机・椅子の維持管理を行った。

需用費（修繕料） 4,597,560円（再加工 1,038枚 破損修理 机 163台、椅子 154脚）
 原材料費 2,072,088円（交換用天板 362枚）

事業名	小学校トイレ改修事業費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
125,672,040			119,300,000		6,372,040	—

小学校33校の実施設計を行い、小学校14校（東黒部小、西黒部小、機殿小、朝見小、掬水小、漕代小、射和小、天白小、鶴小、小野江小、米ノ庄小、粥見小、香肌小、宮前小）の校舎内及び体育館のトイレの洋式化等を行った。

委託料 32,344,920円

第二小学校外4校トイレ改修工事設計業務委託 4,812,480円
 幸小学校外4校トイレ改修工事設計業務委託 4,836,240円
 掬水小学校外6校トイレ改修工事設計業務委託 6,619,320円
 花岡小学校外4校トイレ改修工事設計業務委託 4,755,240円
 豊田小学校外3校トイレ改修工事設計業務委託 3,884,760円
 米ノ庄小学校外6校トイレ改修工事設計業務委託 7,436,880円

工事請負費 93,327,120円

西黒部小学校トイレ改修工事 3,599,640円
 掬水小学校外2校トイレ改修工事 20,038,320円
 射和小学校外2校トイレ改修工事 17,809,200円
 米ノ庄小学校外3校トイレ改修工事 36,779,400円
 粥見小学校トイレ改修工事 3,996,000円
 宮前小学校外1校トイレ改修工事 11,104,560円

事業名	小学校ブロック塀等対策事業費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
20,062,763	7,690,000				12,372,763	—

公共施設ブロック塀等実態調査により、確認された経年劣化等の伴うコンクリートブロック塀等の撤去及びフェンス等の設置を行った。

学校名	事業内容	事業費
第一小	コンクリートブロック塀撤去及びフェンス設置	2,528,280
第四小	コンクリートブロック塀撤去及びフェンス設置	5,627,880
幸小	コンクリートブロック塀撤去及びフェンス設置	3,414,960
松ヶ崎小	コンクリートブロック塀撤去及びフェンス設置	3,984,120
徳和小	コンクリートブロック塀撤去及びフェンス設置	
港小	コンクリートブロック塀撤去及びフェンス設置	496,800
西黒部小	コンクリートブロック塀撤去及びフェンス設置	801,986
射和小	コンクリートブロック塀撤去及びフェンス設置	1,332,777
米ノ庄小	コンクリートブロック塀撤去及びフェンス設置	475,200
天白小	コンクリートブロック塀撤去	966,600
香肌小	コンクリートブロック塀撤去	297,000
宮前小	コンクリートブロック塀撤去	137,160
	計	20,062,763

事業名	小学校トイレ改修事業費（繰越分）					教育総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
84,122,280	16,542,000		59,600,000		7,980,280	—

小学校3校（第四小、第五小、徳和小）の実施設計を行い、小学校3校の校舎内及び体育館のトイレの洋式化等を行った。

委託料 6,056,640円

第四小学校トイレ改修工事設計業務委託 2,862,000円

徳和小学校外1校トイレ改修工事設計業務委託 3,194,640円

工事請負費 78,065,640円

第四小学校トイレ改修工事 42,800,400円

第五小学校外1校トイレ改修工事 35,265,240円

（款）10教育費 （項）2小学校費 （目）2教育振興費 (単位 円)

事業名	要保護及び準要保護児童生徒援助事業費					学校教育課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
110,537,903	350,000				110,187,903	120,128,027

給食費、修学旅行費等支払うことが困難な家庭に対して、就学援助費を給付し、保護者の経済的負担の軽減を図った。

就学援助費支給額

	準要保護者（対象者：1,559人）		要保護者（対象者：31人）	
	対象者	支給額	対象者	支給額
学用品費	1,554人	16,908,205円		
通学用品費	1,309人	2,762,255円		
校外活動費	1,446人	1,903,128円		
給食費	1,556人	72,404,329円		
新入学学用品費（小1）	43人	1,745,800円		
新入学学用品費（新入学）	190人	7,714,000円		
修学旅行費	258人	5,893,495円	16人	359,182円
医療費	3人	21,500円	15人	414,170円
計		109,352,712円		773,352円

通信運搬費 265,000円、印刷製本費 143,856円、消耗品費 2,983円

事業名	特別支援教育就学奨励事業費					学校教育課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,293,194	3,179,000				4,114,194	5,111,005

特別支援学級等へ在籍する児童生徒に給食費、修学旅行費等の一部を給付し、保護者の経済的負担の軽減を図った。

特別支援教育就学奨励費支給額 (対象者：176人)

	対象者	支給額
学用品費	176人	999,319円
通学用品費	139人	153,777円
校外活動費	169人	110,581円
給食費	174人	4,211,783円
新入学学用品費	37人	1,502,200円
修学旅行費	28人	315,534円
計		7,293,194円

事業名	遠距離通学支援事業費				学校教育課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
4,748,500					4,748,500	5,058,000

通学距離が4km以上の児童に対して、路線バス定期券の交付、タクシーによる輸送を実施し、遠距離通学を行う児童生徒を支援した。

支給状況

		人数	支給額
バス	大河内小学校	23人	640,000円
	南小学校	40人	827,000円
	射和小学校	80人	1,906,000円
	計	143人	3,373,000円
タクシー	第四小学校	7人	1,375,500円
計		150人	4,748,500円

事業名	教育振興一般経費				学校教育課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
472,603					472,603	287,995

手数料 139,595円、消耗品費 100,043円 ほか

(款) 10教育費 (項) 2小学校費 (目) 3学校建設費 (単位 円)

事業名	小学校給食配膳施設整備事業費				教育総務課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
13,816,440					13,816,440	—

嬉野及び三雲管内の小学校でセンター方式の給食が新たに令和元年9月開始となるため、中川小、豊田小に配膳室の整備を行った。また、宮前小(飯高中)への飯南学校給食センターからの配送が新たに令和元年9月開始となるため、受け入れる宮前小に配膳室等の整備を行うための設計を行った。

委託料 1,676,160円

宮前小学校給食配膳室整備他工事設計業務委託 1,676,160円

工事請負費 12,140,280円

豊田小学校外1校給食配膳室増築工事 12,140,280円

事業名	第三小学校校舎大規模改造事業費（繰越分）				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
283,290,898	57,758,000		178,000,000		47,532,898	146,798,781

第三小学校の校舎は、昭和50年3月建築で老朽化が著しいほか、肢体不自由児が在籍する中、エレベーターがないという状況にあり、バリアフリーの推進及び教育環境の改善を図るため、校舎の大規模改造を実施する。
平成30年度は、第三小学校校舎大規模改造工事（第2期）、第三小学校エレベーター設置工事（一部平成29年度より繰越）を実施した。

消耗品費 441,898円
 手数料 365,040円（無人機械警備機器等移設手数料ほか）
 委託料 2,502,360円
 校内LAN環境構築等に係る業務委託 736,560円
 第三小学校エレベーター設置工事監理業務委託 1,765,800円
 工事請負費 279,018,440円
 第三小学校校舎大規模改造工事（第2期）その1 61,756,560円
 第三小学校校舎大規模改造工事（第2期）その2 179,946,360円
 第三小学校エレベーター設置工事 契約額 56,369,520円
 （平成30年度支払額 37,315,520円）
 備品購入費 963,160円（図書室用机椅子等）

事業名	粥見小学校校舎改築事業費（繰越分）				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
573,435,657	98,587,000		392,900,000		81,948,657	377,378,848

粥見小学校の校舎は、昭和34年5月と8月建築で老朽化が著しいほか、バリアフリーの推進、給食昇降機がないなどの教育環境の改善を図るため、校舎の改築を実施する。
平成30年度は、昨年度に引き続き粥見小学校校舎改築工事を実施し、平成31年3月に竣工した。

消耗品費 280,369円、印刷製本費 49,248円
 通信運搬費 9,360円、手数料 846,444円（機械警備機器撤去手数料ほか）
 委託料 12,997,604円
 粥見小学校校舎改築工事監理業務委託 契約額 17,820,000円
 （平成30年度支払額 11,090,000円）
 パソコン教室等の機器移設及び校内LAN構築等に係る業務委託 989,280円
 物品移転作業業務委託 491,400円
 ネットワーク切替業務委託 232,524円
 粥見小学校校舎改築工事落成式典業務委託 194,400円
 工事請負費 553,777,032円
 粥見小学校校舎改築工事（建築）契約額 722,941,200円
 （平成30年度支払額 429,941,200円）
 粥見小学校校舎改築工事（電気設備）契約額 87,246,720円
 （平成30年度支払額 52,348,032円）
 粥見小学校校舎改築工事（機械設備）契約額 105,337,800円
 （平成30年度支払額 62,747,800円）
 粥見小学校屋外附帯工事 4,320,000円
 粥見小学校コンクリートブロック塀等改修工事 4,320,000円
 駐車場舗装修繕工事 100,000円
 備品購入費 5,475,600円（職員用机椅子等）

(款) 10教育費 (項) 3中学校費 (目) 1学校管理費

(単位 円)

事業名	中学校施設管理運営事業費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
207,343,921				1,290,254	206,053,667	214,838,763

中学校11校の運営及び維持管理等に要する経費を支出した。主な経費としては光熱水費、消耗品費、非常勤職員賃金といった学校運営に要する経費や修繕料、各種業務委託といった維持管理に要する経費を支出した。

- 共済費 3,338,774円
- 賃金 20,738,406円 (非常勤職員賃金及び通勤費用)
- 需用費 104,693,315円
(消耗品費 35,689,304円 光熱水費 50,732,137円 修繕料 15,435,839円 ほか)
- 役務費 4,233,016円 (通信運搬費 3,162,448円 手数料 1,058,228円 ほか)
- 委託料 22,383,614円
(施設維持管理等委託料 17,952,642円 その他の委託料 4,430,972円)
- 使用料及び賃借料 32,988,749円 (借上料 32,576,034円 使用料 412,715円)
- 原材料費 2,593,591円
- 備品購入費 15,953,456円
- 負担金 421,000円

平成30年5月1日現在 学校数 11校 生徒数 3,943人

学校名	学級数	生徒数	学校名	学級数	生徒数	学校名	学級数	生徒数
殿町中	15学級	376人	東部中	10学級	259人	三雲中	16学級	491人
鎌田中	14学級	388人	大江中	2学級	17人	飯南中	4学級	108人
久保中	22学級	666人	西中	14学級	439人	飯高中	4学級	57人
中部中	21学級	635人	嬉野中	17学級	507人	計	139学級	3,943人

事業名	中学校施設整備事業費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
46,498,320			17,200,000		29,298,320	46,403,280

中学校施設の維持修繕工事を行い、教育環境の整備に努めた。

学校名	事業内容	事業費	事業費内訳	
			工事費	委託料等
殿町中	防球ネット設置工事	8,222,040	8,222,040	0
久保中	玄関庇防水改修工事	2,282,040	2,282,040	0
西中	屋内運動場屋根折板裏改修工事	34,808,400	34,808,400	0
殿町中ほか1校	施設維持修繕工事設計業務委託 (殿町中、西中)	1,185,840	0	1,185,840
計		46,498,320	45,312,480	1,185,840

事業名	多気中学校分担金				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
238,169,000			207,600,000		30,569,000	24,647,000

多気町松阪市学校組合に係る分担金を交付し、組合運営及び教育施設の充実を図った。工事分については、多気中学校校舎が築50年以上経過し、経年による老朽化が著しいため、平成29年～令和3年度で教育環境の改善を図るため、校舎の改築を実施する。

[松阪市分担金] 238,169,000円 [多気町分担金] 545,035,000円 全体分担金額 783,204,000円
内訳

区 分	通常分	工事分	合 計
平等割 (20%)	8,990,000	69,330,000	78,320,000
生徒数割 (40%)	9,357,000	72,147,000	81,504,000
世帯数割 (40%)	10,376,000	80,013,000	90,389,000
普通交付税算入調整分	△12,044,000		△12,044,000
計	16,679,000	221,490,000	238,169,000

事業名	中学校空調設備整備事業費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
193,525,960	40,763,000		136,000,000		16,762,960	—

空調設備整備に向け、事業契約を締結した。(中学校10校)

委託料 15,845,791円

松阪市立小中学校空調設備整備DBO事業実施設計業務委託 53,660,162円

(内、中学校空調設備整備事業費分 14,613,163円)

平成30年度(前払分) 4,383,947円 令和元年度 10,229,216円

松阪市立小中学校空調設備整備DBO事業工事監理委託 22,997,212円

(内、中学校空調設備整備事業費分 6,262,786円)

平成30年度(前払分) 1,878,836円 令和元年度 4,383,950円

松阪市立小中学校空調設備整備事業における発注支援業務委託 34,560,000円

(内、中学校空調設備整備事業費分 9,583,008円)

工事請負費 177,680,169円

松阪市立小中学校空調設備整備DBO事業施工業務 1,629,267,480円

(内、中学校空調設備整備事業費分 444,200,424円)

平成30年度(前払分) 177,680,169円 令和元年度 266,520,255円

事業名	中学校トイレ改修事業費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
25,222,320			23,900,000		1,322,320	—

中学校8校の実施設計を行い、中学校3校(大江中、飯南中、飯高中)の校舎内及び体育館のトイレの洋式化等を行った。

委託料 8,326,800円

殿町中学校外4校トイレ改修工事設計業務委託 4,884,840円

飯南中学校外2校トイレ改修工事設計業務委託 3,441,960円

工事請負費 16,895,520円

飯高等学校外2校トイレ改修工事 16,895,520円

事業名	多気中学校分担金（繰越分）					教育総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
22,151,000					22,151,000	—

多気町松阪市学校組合に係る分担金を交付し、教育施設の充実を図った。多気中学校校舎は、築50年以上が経過し、経年による老朽化が著しいため、平成29年～令和3年度で教育環境の改善を図るため、校舎の改築を実施する。

平成30年度は、基本設計及び実施設計を実施した。

〔松阪市分担金〕 22,151,000円 〔多気町分担金〕 45,772,000円 全体分担金額 67,923,000円
内訳

区 分	工 事 分
平等割（20%）	6,792,000
生徒数割（40%）	7,531,000
世帯数割（40%）	7,828,000
計	22,151,000

事業名	中学校防災防犯対策事業費（繰越分）					教育総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,423,920	2,008,000		3,700,000		1,715,920	27,630,720

地震に対する非構造物の耐震化対策として、市内中学校1校の武道場の吊り天井を改修し、建物の安全性の向上を図った。

工事請負費 7,423,920円

大江中学校武道場天井改修工事 7,423,920円

事業名	中学校トイレ改修事業費（繰越分）					教育総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
57,351,240	7,115,000		44,500,000		5,736,240	—

中学校3校（久保中、中部中、東部中）の実施設計を行い、中学校3校の校舎内及び体育館のトイレの洋式化等を行った。

委託料 3,147,120円

久保中学校外2校トイレ改修工事設計業務委託 3,147,120円

工事請負費 54,204,120円

久保中学校外2校トイレ改修工事 54,204,120円

(款) 10教育費 (項) 3中学校費 (目) 2教育振興費

(単位 円)

事業名	要保護及び準要保護児童生徒援助事業費				学校教育課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
87,530,139	407,000	74,820			87,048,319	87,002,253

給食費、修学旅行費等支払うことが困難な家庭に対して、就学援助費を給付し、保護者の経済的負担の軽減を図った。

就学援助費支給額

	準要保護者 (対象者：798人)		要保護者 (対象者：17人)	
	対象者	支給額	対象者	支給額
学用品費	797人	17,013,420円		
通学用品費	545人	1,167,975円		
校外活動費	610人	1,371,608円		
給食費	793人	38,622,731円		
新入学学用品費 (中1)	13人	616,200円		
新入学学用品費 (新入学)	256人	12,134,400円		
修学旅行費	261人	15,584,099円	12人	701,541円
医療費	0人	0円	5人	159,640円
計		86,510,433円		861,181円

通信運搬費 102,635円、印刷製本費 55,890円

事業名	特別支援教育就学奨励事業費				学校教育課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,691,489	1,602,000				2,089,489	2,727,693

特別支援学級等へ在籍する児童生徒に給食費、修学旅行費等の一部を給付し、保護者の経済的負担の軽減を図った。

特別支援教育就学奨励費支給額 (対象者：57人)

	対象者	支給額
学用品費	57人	628,680円
通学用品費	40人	43,857円
校外活動費	51人	57,437円
給食費	57人	1,462,178円
新入学学用品費	17人	805,800円
通学費	1人	30,800円
修学旅行費	22人	662,737円
計		3,691,489円

事業名	遠距離通学支援事業費				学校教育課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
396,000					396,000	352,000

通学距離が6km以上の生徒に対して、路線バス定期券等を交付し、遠距離通学を行う生徒を支援した。

支給状況

	人数	支給額
中部中学校	5人	396,000円

事業名	教育振興一般経費				学校教育課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,067,053					1,067,053	1,056,025

手数料 414,407円、使用料及び賃借料（入場料） 534,441円 ほか

(款) 10教育費 (項) 3中学校費 (目) 3学校建設費 (単位 円)

事業名	中学校給食配膳施設整備事業費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
89,227,440			30,800,000		58,427,440	30,386,880

嬉野及び三雲管内の中学校でセンター方式の給食が新たに令和元年9月開始となるため、嬉野中の配膳室の増築工事等を実施した。

手数料 21,600円

委託料 1,723,680円

嬉野中学校給食配膳室増築他工事監理業務委託 1,723,680円

工事請負費 87,482,160円

嬉野中学校給食配膳室増築他工事 87,482,160円

事業名	三雲中学校校舎増築事業費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
239,038,489	56,277,000		141,000,000		41,761,489	—

三雲中学校の生徒増に伴う普通教室（2教室）等の増築工事を実施した。

また、併せて嬉野及び三雲管内の中学校でセンター方式の給食が新たに令和元年9月開始となるため、配膳室の設置、給食搬入口、校舎内部改修等の施設整備を実施した。

消耗品費 425,663円、使用料及び賃借料 2,880円

手数料 291,600円（無人機械警備機器等移設手数料）

委託料 7,650,720円

三雲中学校校舎増築他工事監理業務委託 5,004,720円

三雲中学校校舎増築他工事設計意図伝達業務委託 972,000円

校内LAN環境構築等に係る業務委託 1,674,000円

工事請負費 226,431,720円

松阪市立三雲中学校校舎増築他工事 226,431,720円

備品購入費 4,235,906円（生徒用机椅子等）

事業名	鎌田中学校校舎改築事業費					教育総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
311,755,562	27,650,000		253,700,000		30,405,562	66,822,656

鎌田中学校の校舎は、昭和33年12月と昭和36年5月に建設され、平成9年度に耐震補強工事を実施しているものの老朽化が著しく、教育環境の改善を図るため校舎の改築を実施する。

平成30年度は、鎌田中学校校舎改築工事及びテニスコート整備工事を実施した。（負担金分、市単分）

報償費 480,000円、旅費 260,620円、消耗品費 485,108円、使用料及び賃借料 11,700円

工事請負費 309,531,990円

鎌田中学校校舎改築工事（建築）契約額 1,890,345,600円

（平成30年度支払額 前払金 756,138,240円のうち 218,014,697円）

鎌田中学校校舎改築工事（電機設備）契約額 208,440,000円

（平成30年度支払額 前払金 83,376,000円のうち 24,039,511円）

鎌田中学校校舎改築工事（機械設備）契約額 294,457,680円

（平成30年度支払額 前払金 117,783,072円のうち 33,959,982円）

テニスコート整備工事 33,517,800円

原材料費 699,732円、備品購入費 277,412円、負担金、補助及び交付金 9,000円

事業名	鎌田中学校校舎改築事業費（繰越分）					教育総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
695,668,722	105,579,000		513,100,000		76,989,722	—

鎌田中学校の校舎は、昭和33年12月と昭和36年5月に建設され、平成9年度に耐震補強工事を実施しているものの老朽化が著しく、教育環境の改善を図るため校舎の改築を実施する。

平成30年度は、鎌田中学校校舎改築工事を実施した。（交付金分）

委託料 14,385,600円

鎌田中学校校舎改築工事監理業務委託 契約額 47,952,000円

（平成30年度支払額 前払分 14,385,600円）

工事請負費 681,283,122円

鎌田中学校校舎改築工事（建築）契約額 1,890,345,600円

（平成30年度支払額 前払金 756,138,240円のうち 538,123,543円）

鎌田中学校校舎改築工事（電機設備）契約額 208,440,000円

（平成30年度支払額 前払金 83,376,000円のうち 59,336,489円）

鎌田中学校校舎改築工事（機械設備）契約額 294,457,680円

（平成30年度支払額 前払金 117,783,072円のうち 83,823,090円）

(款) 10教育費 (項) 4幼稚園費 (目) 1幼稚園管理費

(単位 円)

事業名	幼稚園管理運営事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
323,915,901		150,000		45,961,851	277,804,050	293,854,927

公立幼稚園21園（うち2園は休園）の正規職員の不足に伴う補充や職員の産休・育休・病休の代替として非常勤職員を雇用する経費及び管理運営に要する経費を支出した。

(平成31年3月1日現在)

非常勤職員種別	人数	非常勤職員種別	人数
園長	11人	病休代替講師	1人
正規補充講師	33人	預かり保育担当	4人
正規補充養護助教諭	3人	幼稚園生活アシスタント	43人
育休代替講師	8人	正規補充労務員	13人
産休代替講師	2人	計	118人

(平成30年5月1日現在)

幼稚園名	園児数	幼稚園名	園児数	幼稚園名	園児数	幼稚園名	園児数
鎌田幼稚園	22人	掃水幼稚園	26人	大石幼稚園	12人	豊田幼稚園	47人
伊勢寺幼稚園	53人	漕代幼稚園	3人	松江幼稚園	83人	中原幼稚園	50人
阿坂幼稚園	11人	花岡幼稚園	81人	山室幼稚園	16人	三雲北幼稚園	67人
港幼稚園	10人	松尾幼稚園	62人	豊地幼稚園	37人	三雲南幼稚園	111人
西黒部幼稚園	65人	射和幼稚園	59人	中川幼稚園	137人	計(19園)	952人

保育園・幼稚園の今後についての意見交換会

地域名	開催日	開催場所	参加者	参加者人数
大石地区	平成30年9月12日	大石地区防災センター	大石幼稚園保護者	10人
	平成30年9月12日	大石地区市民センター	みなみ保育園保護者	2人

[平成29年度の幼児園施設管理運営事業費18,852,355円を統合]

事業名	幼稚園施設整備事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,546,280					11,546,280	10,297,800

幼稚園施設の維持修繕工事を行い、教育環境の整備に努めた。なお松江幼稚園ではメインアプローチ部分の柱・梁取替等を行った。また、掃水幼稚園では平成31年4月からの3歳児保育開始に伴い、廊下、保育室の照明等の改修を行った。

幼稚園名	事業内容	事業量	事業費	事業費内訳
				工事費
松江幼稚園	メインアプローチ部分柱梁取替等	柱取替 8本等		8,519,987
掃水幼稚園	廊下、照明設備改修 手洗い設置	廊下改修 A=83㎡ LED照明 6個 手洗い(2人用) 1基	11,546,280	3,026,293
計			11,546,280	11,546,280

事業名	幼稚園空調設備整備事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
77,461,920	3,802,000		69,900,000		3,759,920	—

幼稚園児の熱中症対策等として空調の整備工事を行い、教育環境の整備に努めた。(14園32室)

幼稚園名	事業内容	事業量	事業費	事業費内訳	
				工事費	委託料
鎌田幼稚園ほか13園	空調設置・改修に伴う基本設計及び実施設計	14園32室	11,651,040	0	11,651,040
鎌田幼稚園ほか10園	空調設備設置工事に伴う工事監理業務委託	11園22室	1,144,800	0	1,144,800
中川幼稚園ほか2園	空調設備設置工事に伴う工事監理業務委託	3園10室	972,000	0	972,000
鎌田幼稚園ほか3園	空調設備設置工事	4園 6室	9,020,160	9,020,160	0
伊勢寺幼稚園ほか2園	空調設備設置工事	3園 5室	10,576,440	10,576,440	0
掃水幼稚園ほか1園	空調設備設置工事	2園 5室	8,967,240	8,967,240	0
阿坂幼稚園ほか1園	空調設備設置工事	2園 6室	8,610,840	8,610,840	0
花岡幼稚園ほか1園	空調設備設置工事	2園 5室	7,949,880	7,949,880	0
中川幼稚園	空調設備設置工事	1園 5室	18,569,520	18,569,520	0
計			77,461,920	63,694,080	13,767,840

事業名	公立幼稚園等施設型給付事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0					0	0

平成27年度から施行された子ども・子育て支援新制度に伴い、松阪市に居住する1号認定子どもが、松阪市外の公立幼稚園や公立認定こども園を利用した場合に施設に支給する必要がある施設型給付費を計上したが、対象者がなかった。

事業名	幼稚園ブロック塀等対策事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,597,480	1,015,000				2,582,480	—

地震災害等における被害を想定し、倒壊の危険性のあるブロック塀の安全対策工事を行い、園児の安全性を確保した。(2園)

幼稚園名	事業内容	事業量	事業費	事業費内訳
				工事費
花岡幼稚園	フェンス取り壊し工 フェンス設置工 (目隠し及びネットフェンス)	L=19.5m	745,200	745,200
掃水幼稚園	既設CB(コンクリートブロック) 及びフェンス撤去 メッシュフェンスH=2.0m 新設	L=56.3m	2,852,280	2,852,280
計			3,597,480	3,597,480

(款) 10教育費 (項) 4幼稚園費 (目) 2私立幼稚園費

(単位 円)

事業名	私立幼稚園就園奨励費補助金				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
29,586,500	9,862,000				19,724,500	28,601,500

私立幼稚園に在園する園児(松阪市に住所を有する)の保護者に対し、設置者が保育料等を減免した場合、当該設置者に対し補助した。(補助対象園5園 ※市内2園・市外3園)

補助金等内訳

幼稚園名	補助金額	対象人数	幼稚園名	補助金額	対象人数
梅村幼稚園	17,544,500円	124人	津幼稚園(津市)	62,200円	1人
まつさか幼稚園	10,639,100円	78人	神宮五十鈴川幼稚園(伊勢市)	62,200円	1人
のべの幼稚園(津市)	1,278,500円	11人	計	29,586,500円	215人

事業名	私立幼稚園振興補助金				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
516,445					516,445	514,495

市内の私立幼稚園の運営に要する費用のうち、園児の内科及び歯科検診の実施に伴う経費の一部を補助した。(市内2園)

対象園

幼稚園名	補助金額
梅村幼稚園	286,445円
まつさか幼稚園	230,000円

事業名	私立幼稚園等施設型給付事業費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,957,210	1,000,644	1,055,587			1,900,979	2,531,260

平成27年度から施行された子ども・子育て支援新制度に伴い、新制度の幼稚園に移行した私立幼稚園や私立認定こども園(市外の同施設を含む)を松阪市に居住する1号認定子どもが利用した場合に施設に対し施設型給付費を支給した。対象園 市外4園(対象の1号認定子ども 8人)

対象園

幼稚園名	支給額
ルーテル二葉認定こども園(津市)	1,128,400円
高田幼稚園(津市)	252,910円
暁の星認定こども園(伊勢市)	2,310,720円
ゆたかこども園(伊勢市)	265,180円

(款) 10教育費 (項) 5社会教育費 (目) 1社会教育総務費

(単位 円)

事業名	教育集会所管理運営事業費				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,482,666					2,482,666	2,317,900

教育集会所施設12館の維持管理運営経費

事業名	PTA連合会運営費補助金				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
777,000					777,000	793,000

PTA連合会が実施する研修会や講演会、広報啓発活動等の事業に対し補助することにより、PTA活動の振興と充実に努めた。

事業主体	事業費	市補助金	成果
松阪市 PTA連合会	4,817,691	777,000	PTA相互の連携を図り、園児・児童・生徒の健全な育成に寄与する事業を開催した。（「はぐくむ～子どもたちの未来のために～」をテーマとした「保護者と教職員の語る会」トーク21、家庭教育部講演会、進路フェスタ等）

事業名	社会教育一般経費				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,767,879					1,767,879	1,556,203

内部管理経費

需用費 568,629円、役務費 486,930円、使用料及び賃借料 149,040円

報酬 245,000円、旅費 259,280円、負担金・補助及び交付金 59,000円

(款) 10教育費 (項) 5社会教育費 (目) 2公民館費

(単位 円)

事業名	生涯学習振興事業費				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,921,885				306,600	12,615,285	12,393,803

各公民館において、生涯学習を振興し、家庭や地域の教育力の向上と活力あるコミュニティづくりを推進するため、多様な定期講座や子育て支援の講座などを開催した。

	講座数	開催延日数	受講者延数	施設数
本庁管内	351講座	547日	15,901人	26施設
嬉野管内	178講座	358日	5,773人	7施設
三雲管内	193講座	517日	6,601人	5施設
飯南管内	30講座	101日	1,205人	1施設
飯高管内	76講座	365日	4,669人	6施設
計	828講座	1,888日	34,149人	45施設

事業名	公民館管理運営事業費					生涯学習課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
130,974,080				1,460,060	129,514,020	116,848,445

公民館施設の適正な管理運営を推進した。

共済費 6,487,480円、賃金 41,568,917円、需用費 14,235,467円、役務費 2,790,707円、
委託料 6,165,599円、使用料及び賃借料 19,300,412円、備品購入費 981,618円
報酬 39,360,000円、旅費 76,880円、原材料費 7,000円

事業名	公民館施設整備事業費					生涯学習課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,814,667			9,200,000		2,614,667	76,531,865

施設を充実し、利用者に対する利便性の向上を図った。松阪公民館のホール他2室の吸音工事を実施し、市民ニーズに答えた。また台風の影響を受けた三雲図書室を天白小学校に移転し、地域開放型図書館として新たな生涯学習拠点施設の整備を行った。

第二公民館トイレ改修工事 9,696,240円

実施設計業務委託料 1,335,960円、工事請負費 8,360,280円

松阪公民館改修工事（吸音工事） 993,600円（委託料）

三雲公民館移転に伴う三雲図書室移転にかかる費用 1,124,827円

消耗品費 111,895円、修繕費 345,600円 備品購入費667,332円

事業名	三雲・天白公民館移転事業費					生涯学習課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,114,476				1,168,000	2,946,476	—

平成30年度に上陸した台風の影響及び施設の老朽化等により使用禁止となった三雲・天白公民館の移転を行うための実施設計等を行った。

役務費：334,800円（現公民館石綿含有調査）

調査業務委託料：1,581,120円（三雲地域振興局地質調査）

実施設計委託料：1,753,488円（前払金）

その他の委託料：445,068円（三雲図書室書架等運搬業務）

事業名	中川コミュニティセンター管理運営事業費					生涯学習課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,835,833				598,550	4,237,283	5,037,901

中川コミュニティセンターの適正な管理運営を推進した。

共済費 3,304円、賃金 1,302,526円、需用費 2,577,741円、役務費 98,341円、
委託料 771,552円、使用料及び賃借料 82,369円

事業名	生涯学習センター管理運営事業費					生涯学習課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
16,729,261				934,271	15,794,990	17,095,321

生涯学習センターの適正な管理運営を推進した。

共済費 3,341円、賃金 889,102円、需用費 10,336,060円、役務費 240,481円、
委託料 3,718,332円、使用料及び賃借料 1,541,945円

(款) 10教育費 (項) 5社会教育費 (目) 3図書館費

(単位 円)

事業名	図書館管理運営事業費				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
156,001,050					156,001,050	136,926,025

指定管理者制度により、図書館業務の効率化を推進し、住民サービスの向上を図った。

報酬 112,000円、需用費 250,506円、委託料 138,005,960円、使用料及び賃借料 17,632,584円

	貸出冊数	利用者数	蔵書数	登録者累計
松阪図書館	670,733冊	189,282人	269,276冊	65,288人
嬉野図書館	239,436冊	54,851人	140,245冊	
三雲図書室	12,496冊	3,588人	28,811冊	2,596人
計	922,665冊	247,721人	438,332冊	67,884人

スタッフ、ボランティア団体等による絵本の読み聞かせ、おはなし会、親子ふれあい講座等を開催し、家庭教育力の向上を図った。計 131回開催（スタッフおはなし会は除く）

特別行事

松阪図書館：図書館見学22回、おはなし会11回開催

嬉野図書館：図書館見学6回、おはなし会12回開催

事業名	学校読書室等支援事業費				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,281,103					19,281,103	20,763,504

市内小中学校に司書を配置し、読書室の環境整備や地域ボランティアの育成などを行い、子どもたちの読書活動を活性化させることで、市図書館の利用拡大や家庭での読書活動の充実を図った。

松阪市立中学校10校及び小学校36校を定期的に巡回

派遣回数：中学校週2回、小学校月1回程度（1回につき3～5時間）

年間派遣回数：中学校810回、小学校396回 学校読書室支援センター369回 計 1,575回

調べる学習コンクールの開催

応募総数 132点（小学校の部 129点、中学校の部 3点）

表彰状授与式（H30. 11. 28 教育委員会事務局2階教育委員会室）受賞作品 17点

ビブリオバトル松阪大会の開催（第4回、第5回）

第4回：H30. 5. 27 中学生3人、一般7人 計10人

第5回：H31. 2. 2 中学生2人、一般3人 計5人

事業運営委託料 17,899,999円、その他委託料 986,256円、役務費 81,648円、使用料及び賃借料 313,200円

(款) 10教育費 (項) 6保健体育費 (目) 1学校保健体育費

(単位 円)

事業名	結核対策事業費				学校教育課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
135,638					135,638	152,446

結核精密検査、問診票の配付などの結核対策を実施し、集団感染の防止を図った。

胸部X線検査受診者数 39人 (小学校 30人、中学校 9人)

事業名	児童・生徒の健康診断事業費				学校教育課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
50,407,313					50,407,313	50,454,440

学校保健安全法の規定により学校医45人、歯科医師43人、薬剤師36人に委嘱し、健康診断、健康相談、保健指導、疾病の予防処置、感染症の予防、歯に関する健康診断、環境衛生検査、薬品等に関し必要な指導及び助言等により児童生徒の健康増進を図った。

耳鼻科検診、眼科検診、心臓検診、尿検査の実施により、疾病の予防、児童・生徒の健康増進を図った。

検査名	対象	人数
耳鼻咽喉科・眼科検診	小1、小5、中1	4,230人
尿検査 (1次・2次)	小、中	12,712件
心臓検診 (心電図)	小1、小4、中1	4,201人
就学時健康診断 (内科)	就学前児童	1,349人
就学時健康診断 (歯科)	就学前児童	1,351人

事業名	学校職員健康診断事業費				学校教育課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,784,160					8,784,160	9,029,566

学校職員の健康診断を実施し、健康増進を図った。

検査名	人数
健康診断	902人
人間ドック指導区分判定	598人
B型肝炎検査	39人
胃部X線検査	214人

事業名	スポーツエキスパート活用事業費				学校教育課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
670,150					670,150	514,600

中学校運動部活動の指導に外部指導者13人を活用し、生徒への技術指導及び運動部顧問への指導等を行い、運動部活動の充実を図った。

事業名	学校プール夏季休業中管理運営補助金					学校教育課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,485,100					1,485,100	1,545,600

園児児童生徒の体力づくりなどのため、夏季休業中の小学校のプールをPTAに貸与し、運営費として補助金を交付した。

実施PTA学校数	34校
実施日数	175日
延参加児童数	8,759人

事業名	松阪市学校保健会補助金					学校教育課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
150,513					150,513	152,548

学校保健の充実と振興を図るための研修会や勉強会等の開催を奨励し、園児・児童・生徒の健康保持増進を図るため補助金を交付した。

事業名	日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金					学校教育課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,804,215				3,864,280	7,939,935	11,895,220

学校管理下で発生した災害に対して医療費等を保護者に支払うことにより保護者の負担軽減を図った。
小学校 8,816人、中学校 3,951人 計 12,767人

事業名	学校水泳民間プール施設活用事業費					学校教育課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
803,563					803,563	—

老朽化した学校プールに代わって民間プールを活用することで、指導面・施設面での質の向上と、管理面・財政面での負担軽減を図った。

事業名	学校保健体育一般経費					学校教育課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,951,458					13,951,458	14,144,279

学校プール薬品、学校環境衛生検査の実施、検診に使用する保健備品（視力検査器、体重計等）の購入などにより学校保健の充実を図った。

消耗品費 5,808,128円、備品購入費 1,365,596円、手数料費 1,709,280円
分担金・負担金1,848,057円 ほか

三重県学校保健会分担金	216,427円
三重県中学校体育連盟負担金	1,064,610円
松阪地区中学校体育連盟負担金	552,020円
よい歯のコンクール表彰記念品分担金	15,000円

(款) 10教育費 (項) 6保健体育費 (目) 2学校給食費

(単位 円)

事業名	学校給食単独調理場管理運営事業費				給食管理課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
175,394,482				268,949	175,125,533	180,350,683

安全・安心な学校給食を安定的に提供するため、本庁管内24小学校単独調理場において、円滑な調理業務の実施と衛生管理の徹底を図った。

区 分	支出額
非常勤調理員等共済費	14,692,740円
非常勤調理員等賃金	93,635,182円
給食施設及び設備の維持管理費	28,137,320円
消耗品費	9,332,807円
ガス代等燃料費	10,942,703円
光熱水費	3,155,404円
修繕料	3,371,650円
切手代等通信運搬費	52,779円
検便等手数料	1,281,977円
調理の迅速化、能率化のための委託	36,850,672円
給食用リフト保守点検業務委託	2,963,520円
米飯加工委託	30,821,103円
食缶洗浄・残飯処理委託等	3,066,049円
非常勤職員採用適性検査委託	108,864円
給食調理済食品及び原材料の保存委託	1,969,704円

事業名	学校給食単独調理場施設整備事業費				給食管理課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,678,320					1,678,320	3,214,080

第四小学校における給食室床の防滑工事により、作業能率の向上を図った。

区 分	支出額
給食室床改修工事(第四)	1,678,320円

事業名	学校給食単独調理場備品等整備事業費				給食管理課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,504,124					3,504,124	20,584,237

調理備品の更新等を行い、本庁管内24小学校単独調理場における作業能率及び衛生管理の向上を図った。

区 分	支出額
給食用什器の更新等による食環境の改善	1,251,784円
給食備品購入による作業能率の向上	2,252,340円
食器洗浄機(幸)	1,458,000円
球根皮むき機(徳和)	286,956円
野菜裁断機(第五)	222,480円
加熱蒸散機(各校で共用)	194,400円
その他、洗濯機・ガス警報器等	90,504円

事業名	学校給食センター管理運営事業費				給食管理課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
123,352,944				155,159	123,197,785	117,232,391

安全・安心な学校給食を安定的に提供するため、嬉野学校給食センター、三雲学校給食センター、飯南学校給食センター、飯高学校給食センター（宮前調理場・森調理場）において、円滑な調理業務の実施と衛生管理の徹底を図った。

給食の充実を図るための協議組織として運営委員会を開催し、学校給食センターの実施運営について協議した。

報酬対象者 延35人 @5,000円 嬉野 6/25 三雲 6/15 飯南 6/21 飯高 6/19
ベルランチ 7/10 飯南・飯高（合同） 1/25

区 分	支出額
運営委員会委員報酬	175,000円
非常勤調理員等共済費	9,003,709円
非常勤調理員等賃金	58,135,000円
給食施設及び設備の維持管理費	30,199,732円
消耗品費	5,949,830円
ガス代等燃料費	6,633,423円
光熱水費	10,893,009円
修繕料	4,096,823円
電話代等通信運搬費	446,897円
検便等手数料	1,383,828円
自動車損害保険料	129,350円
使用料及び賃借料	523,372円
自動車重量税	143,200円
調理の迅速化、能率化のための委託等	24,931,289円
警備業務委託	673,920円
浄化槽保守点検委託	998,352円
消防施設保守管理委託	77,328円
給食用リフト保守点検業務委託	482,760円
害虫駆除作業委託	99,792円
ボイラー定期点検委託	205,200円
厨房機器点検委託	86,400円
食缶洗浄・残飯処理委託等	4,241,511円
米飯加工委託	18,066,026円
排水管清掃委託	183,600円
給食調理済食品及び原材料の保存委託	724,614円

事業名	学校給食センター備品等整備事業費				給食管理課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
27,450,671					27,450,671	6,799,277

調理備品の更新や給食用リフト改修工事等を行い、学校給食センター等における作業能率及び衛生管理の向上を図った。また、平成31年度から幼稚園での3歳児給食を全園で開始するにあたり、食器・食缶等を準備した。

区 分	支出額
給食用什器の更新等による食環境の改善	4,846,878円
給食用リフト修繕（宮前小）	1,521,720円
給食用リフト改修工事（嬉野・三雲）	7,083,320円
給食備品購入による作業能率の向上	13,998,753円
真空冷却器（飯南）	3,132,000円
自動食器・食缶洗浄機（飯南）	7,398,000円
幼稚園給食用食缶・移動台	2,661,768円
その他、洗濯機・フードプロセッサ等	806,985円

事業名	学校給食センターベルランチ管理運営事業費	給食管理課				
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
157,006,513				5,712	157,000,801	158,157,120

安全・安心な学校給食を安定的に提供するため、学校給食センターベルランチにおいて、円滑な調理業務の実施と衛生管理の徹底を図った。

区 分	支出額
非常勤調理員等共済費	622,959円
非常勤調理員等賃金	3,878,400円
給食施設及び設備の維持管理費	4,679,687円
消耗品費	1,656,634円
公用車ガソリン代等燃料費	176,462円
修繕料	1,641,477円
電話代等通信運搬費	405,626円
検便等手数料	400,935円
使用料及び賃借料	398,553円
調理の迅速化、能率化のための委託等	147,591,860円
清掃委託	1,070,280円
警備委託	111,456円
排水処理点検業務委託	182,736円
消防施設保守管理委託	151,200円
エレベーター・小荷物昇降機・給食用リフト保守管理業務委託	1,570,320円
空調設備保守管理業務委託	897,600円
電気保安業務委託	685,584円
貯水槽清掃委託	43,200円
害虫駆除作業委託	32,400円
ボイラー定期点検委託	1,253,880円
自動扉開閉装置点検委託	216,000円
厨房機器点検委託	1,103,760円
貯湯槽点検整備委託	309,960円
草刈委託	217,031円
調理及び配送業務委託	138,239,784円
一般廃棄物・食品残渣処理委託	1,419,189円
その他、蒸気配管等調査点検業務委託	87,480円
給食調理済食品及び原材料の保存委託	233,607円

事業名	北部学校給食センター建設事業費				給食管理課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
686,190,960			636,200,000		49,990,960	85,165,815

7月に北部学校給食センター建設工事に着手し、令和元年9月の供用開始に向け、スケジュール通り工事を進めた。

工事監理業務委託料（前金払分）（（株）浦野設計 三重支社）

16,200,000円のうち、4,860,000円

設計業務委託料（（株）浦野設計 三重支社）

37,800,000円のうち、平成30年度分26,460,000円

整備及び運営事業発注支援業務委託料 16,430,040円（（株）エイト日本技術開発 三重支店）

建設工事請負費（徳倉建設・北村組・中西製作所特定建設工事共同企業体）

1,732,705,560円のうち、平成30年度分638,440,920円

前金払分 100,000,000円

出来高払分 538,440,920円

区 分	支出額
工事監理業務委託料（前金払分）	4,860,000円
設計業務委託料	26,460,000円
整備及び運営事業発注支援業務委託料	16,430,040円
建設工事請負費（前金払分）	100,000,000円
建設工事請負費（出来高払分）	538,440,920円

（款）10教育費 （項）6保健体育費 （目）3社会体育振興費

（単位 円）

事業名	スポーツ推進委員活動事業費				スポーツ課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,511,345					2,511,345	2,555,514

各地域より選出 任期 2年（平成29年4月1日～平成31年3月31日）委員数 60人

「市長杯」グラウンドゴルフ大会等市主催大会や地域のスポーツ事業の開催、住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行い、スポーツの推進に努めた。

各種研究大会、研修会に参加し、他の自治体におけるスポーツ推進委員の活動など意見交換によりスポーツ推進委員の資質や、活動意欲の向上を図ることができた。

全国スポーツ推進委員研究協議会（鹿児島県鹿児島市）平成30年11月15日（木）～16日（金） 11人

東海四県スポーツ推進委員研究大会（愛知県豊橋市）平成31年2月1日（金）～2日（土） 15人

三重県スポーツ推進委員研究大会（鈴鹿市）平成30年11月10日（土） 11人

松阪地区スポーツ推進委員研修会（明和町）平成30年9月23日（日） 11人

[平成30年度のスポーツ推進委員報酬 1,582,500円]

事業名	全国大会等出場派遣支援事業費				スポーツ課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,110,234				5,110,234		4,828,380

各種全国大会や国際大会に出場する個人・団体を対象に激励金を交付するとともに、スポーツの各種競技大会で優秀な成績を収めた選手に対し、スポーツ賞、スポーツホープ賞、スポーツ大賞を授与し競技者の向上心を高め、トップ選手の育成に努めた。

全国大会や国際大会で優勝又は準優勝した16個人、2団体については、JR松阪駅前に横断幕を掲げ活躍を祝うとともに、広く市民等に周知した。

全国大会等参加激励金内訳

	件数	参加人員
団体	36件	231人
個人	92件	241人
計	128件	472人

スポーツ賞の授与

	件数・人員	備 考
団体	8団体	団体 スポーツ賞 5、スポーツホープ賞 3 個人 スポーツ賞 13、スポーツホープ賞 15 スポーツ賞の中からスポーツ大賞1件を選考し表彰した。 受賞種目 ソフトテニス・日本拳法・空手道・レスリング・柔道・陸上競技・エアロビクス・ボディビル・近代三種・ダンス・ソフトボール・カヌー・BMX・体操・弓道・バレーボール・野球
個人	28人	

事業名	スポーツ大会等運営事業費				スポーツ課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
2,524,379				2,524,379		2,505,319

生涯を通じて健康で充実した生活を営むことができるよう、市民により多くのスポーツに参加する機会の提供を目的に、市長杯18種目19大会（内1種目1大会中止）をはじめ様々なスポーツ大会等を開催した。また、幼児期からのスポーツへの関心を高める取組としてキッズコーディネーショントレーニングを開催した。（参加者：幼児とその保護者60組120人）

市長杯等スポーツイベント事業

種目	開催日	参加人員	会場
第27回「市長杯」松阪市ママさんバレーボール大会（春季）	H30. 4. 8	130人 (9チーム)	さんぎんアリーナ
第28回「市長杯」松阪市ママさんバレーボール大会（秋季）	H30. 11. 18	70人 (6チーム)	大江中学校
松阪市児童水泳記録会	熱中症の危険性が高い為中止		
第14回「市長杯」ソフトバレーボール大会	H30. 10. 7	267人 (57チーム)	さんぎんアリーナほか
第14回「市長杯」松阪市グラウンドゴルフ大会	H30. 10. 28	228人	阪内川スポーツ公園
第14回松阪市長杯卓球大会	H31. 2. 2	348人	さんぎんアリーナ
	H31. 2. 3	162人 ダブルス (53組) 106人	
第3回「市長杯」日本拳法大会	H30. 5. 6	124人	松阪牛の里オーシャンファーム武道館
第3回「市長杯」ゲートボール大会	H30. 5. 5	168人	松阪地区広域衛生センター
第3回「市長杯」少年サッカー大会	H30. 5. 5	150人 (11チーム)	松阪市総合運動公園
	H30. 5. 6		
第3回「市長杯」バスケットボール大会	H30. 10. 14	295人 (男子17チーム) (女子5チーム)	さんぎんアリーナ
	H30. 10. 20		
	H30. 10. 21		

第3回「市長杯」テニス大会	H30. 7. 1 H30. 7. 29 H30. 8. 5	315人	中部台テニスコートほか
第3回「市長杯」小学生バレーボール大会	H31. 2. 24	180人 (16チーム)	さんぎんアリーナほか
第3回「市長杯」ソフトテニス大会	H30. 10. 7	42人	中部台テニスコート
第3回「市長杯」学童軟式野球大会	H31. 3. 17 H31. 3. 21	160人 (8チーム)	阪内川スポーツ公園多目的グラウンドほか
第3回「市長杯」柔道大会	H30. 11. 11	265人	松阪牛の里オーシャンファーム武道館
第3回「市長杯」ソフトボール大会	H30. 11. 25	50人 (4チーム)	松ヶ崎公園グラウンド
第3回「市長杯」ゴルフ大会	H30. 9. 27	39人	三重フェニックスゴルフコース
第3回「市長杯」ふれあいスポーツ大会	H31. 1. 20	101人 (23チーム)	嬉野体育センター
第2回「市長杯」アーチェリー大会	H30. 9. 23	25人	松阪市総合運動公園

地域振興局管内におけるスポーツイベント事業

地域	種目	実施日	参加人員	会場
嬉野	第28回ふれあいフェスティバル	H30. 7. 30	145人	西日本セブンスリーゴルフクラブ
	なめり湖健康ウォーキング	H30. 11. 18	124人	なめり湖周辺
三雲	松阪市シャフルボード大会inみくも	H30. 6. 24	114人	ハートフルみくもスポーツ文化センター
	松阪市スカットボール大会inみくも	台風の影響により中止		
飯南	第12回ジョギング大会in茶倉	H30. 10. 28	149人	リバーサイド茶倉周辺
	第54回市民駅伝飯南大会	H30. 12. 9	R166通行止めにより中止	飯南管内全域
飯高	松阪市ビーチボールバレー大会in飯高	H31. 3. 3	97人	飯高B&G海洋センター

その他委託事業

種目	実施日	参加人員	会場
レクリエーションフェスティバル	H31. 1. 14	165人	子ども支援研究センター
グラウンドゴルフ大会	H30. 9. 8	76人	高須町グラウンドゴルフ場
音楽を楽しもう	H30. 10. 21	69人	みえこどもの城2階
里山ウォーク	H31. 3. 3	27人	飯南町有間野

事業名	シティマラソン事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,000,000				8,000,000		8,000,000

松阪シティマラソンは、市民の体力づくりと健康保持増進のための身近なイベントであるとともに、沿道の地域住民やたくさんのボランティアに協力いただき、全国各地からランナーが集まる松阪最大のスポーツイベントである。第14回大会は、2,918人の参加申込があり、盛大に開催することができた。

開催日 H31.3.10(日) 会場 松阪市総合運動公園周辺

(年代別参加申込者数) 単位：人

年代	計	男	女
10歳未満	38	22	16
10歳代	208	144	64
20歳代	337	210	127
30歳代	519	393	126
40歳代	755	569	186
50歳代	622	472	150
60歳代	334	253	81
70歳代	95	57	38
80歳代	9	6	3
90歳代	1	1	0
計	2,918	2,127	791

(種目別参加申込者数) 単位：人

種目	計	男	女
ハーフ	1,495	1,305	190
5km	728	474	254
3km	406	237	169
ウォーキング	289	111	178
計	2,918	2,127	791

事業名	フルマラソン準備事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,190,620					1,190,620	—

松阪市最大級のスポーツイベントとして、市の魅力を全国に発信し、地域の活性化を図ることを目的にフルマラソンを開催するための準備を行った。

先進地視察

(水戸黄門漫遊マラソン・長野マラソン ほか)

フルマラソン開催基本計画案作成業務委託料 200,000円

フルマラソンコース案作成業務委託料 300,000円 ほか

事業名	市体育協会加盟団体育成強化補助金					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,849,000					1,849,000	1,820,555

松阪市体育協会及びその加盟団体が取り組む育成活動に要する経費の一部を補助することにより、市全体のスポーツ振興を図ることができた。加盟団体数 30団体

事業名	スポーツ少年大会等補助金					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
659,820				659,820		587,840

松阪市スポーツ少年団種目別交流大会5種目及び嬉野剣道大会、県下で開催される三重県スポーツ少年団交流大会への参加支援により、青少年へのスポーツ振興と健全育成に寄与した。

参加者 1,777人

事業名	スポーツ少年団補助金					スポーツ課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,719,286					2,719,286	2,821,000	

各地域において活動するスポーツ少年団の活動を支援することにより、低年齢からの体力づくりと健康増進を図り、青少年の健全育成に寄与した。

松阪市スポーツ少年団登録数 51団 指導者 197人 団員 1,124人

事業名	総合型地域スポーツクラブ推進事業補助金					スポーツ課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
400,000					400,000	400,000	

地域スポーツの担い手として重要な役割となる総合型地域スポーツクラブの円滑な事業活動への支援を行った。幼児から参加ができる教室を含め14教室が開催され、多くの市民が参加できた。

まつさかTAIKYOスポーツクラブ スポーツ教室の開催 14教室 414人 参加

事業名	三重県市町対抗駅伝大会事業費					スポーツ課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,300,000				1,300,000		1,300,000	

「第12回美し国三重市町対抗駅伝」は、三重県庁前から三重交通Gスポーツの杜伊勢までの10区間42.195kmを、小学生から一般までの10人がタスキをつなぐ29市町対抗の駅伝大会であり、松阪市も出場選手を選考し、代表1チームとオープン参加1チームが大会に参加した。また、大会周知を図るとともに沿道において、松阪市の応援拠点を設け、太鼓による応援などで大会の盛り上げを行った。

成績は「総合9位 市の部7位。選手選考から大会当日までに多くの人々がこの大会に関わり市民のスポーツに対する意識高揚を図ることができた。

開催日 H31.2.17（日）

事業名	第76回国民体育大会準備事業費					国体推進室	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
5,087,916				5,087,916		896,077	

「三重とこわか国体」「三重とこわか大会」の開催に向け、大会を成功に導くために必要な開催準備を行った。

負担金 4,766,347円、使用料及び賃借料 203,040円、消耗品費 94,952円、燃料費 23,577円

負担金内訳	内容
第76回国民体育大会松阪市準備委員会 負担金 4,483,784円	第2回総会：H30.7.10 委員147人 第1回競技式典専門委員会：H30.12.14 専門委員12人 第1回宿泊衛生専門委員会：H30.12.14 専門委員13人 第1回輸送交通専門委員会：H30.12.14 専門委員17人 第1回総務企画専門委員会：H30.12.18 専門委員21人 イベントにおける啓発 H30.7.14松阪祇園まつり、H30.9.9健康フェスティバル、H30.10.28社会を明るくする運動、H30.11.25松阪牛まつり、H31.1.6新春松阪かるた大会にて、三重とこわか国体・三重とこわか大会啓発グッズの配布、缶バッジの作成等の啓発活動を行った。 先催地視察、事業概要説明会への出席 いきいき茨城ゆめ国体リハーサル大会の視察：H30.5月～8月 福井しあわせ元気国体の視察：H30.8月～10月 福井市など3市町の説明会に出席：H30.12月 三重とこわか国体高等学校野球（軟式）競技会場等基本設計業務委託
三重とこわか国体・三重とこわか大会多気町・松阪市実行委員会（負担割合1/2） 負担金 282,563円	設立総会・第1回総会：H30.11.7 委員61人 先催地視察 岐阜県揖斐川町：H31.3月 日本カヌー連盟との連絡調整会議 東京都庁：H31.1月 平成30年度国体カヌー競技測量業務委託（県補助金 2,903,000円）

事業名	体育振興一般経費				スポーツ課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
2,499,369				3,087	2,496,282	2,436,777

非常勤職員賃金 1,030,800円
各種協会への分担金等 499,908円
三重県体育施設協会、（公財）三重県体育協会
公用車リース借上料 324,000円 ほか

（款）10教育費 （項）6保健体育費 （目）4体育施設費 (単位 円)

事業名	体育施設管理運営事業費				スポーツ課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
19,843,778				1,865,989	17,977,789	20,283,124

竹輝銅庵モーモースタジアム・嬉野グラウンド・雲出川河川敷グラウンド・飯南グラウンド、東部テニスコート、嬉野体育センター、飯南体育センター、波留運動公園など体育施設の管理経費
嬉野体育施設指定管理委託料 10,698,000円
施設管理委託料 3,492,426円
光熱水費 1,130,399円 ほか

利用状況

施設名	利用者数	施設名	利用者数
竹輝銅庵モーモースタジアム	13,463人	嬉野体育センター	40,518人
嬉野グラウンド	16,085人	飯南体育センター	4,357人
雲出川河川敷グラウンド	3,159人	波留運動公園施設	400人
飯南グラウンド	4,690人		
東部テニスコート	6,051人	計	88,723人

事業名	体育施設整備事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,679,760			4,300,000		15,379,760	13,858,560

ハートフルみくもスポーツ文化センター天井改修工事設計委託 4,312,440円

飯高B&G海洋センター小プール上屋解体工事 7,652,880円

松阪公園プール塗装改修工事 7,714,440円

利用者への安全安心確保のため、ハートフルみくもスポーツ文化センター、飯高B&G海洋センター、松阪公園プールの補修等を行い、事故等の防止に努めた。

事業名	松阪公園プール管理運営事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
18,270,905				1,994,970	16,275,935	19,414,231

7月1日から8月31日まで松阪公園プールを開設し、住民の健康づくり、また夏休み期間中の子どもの体力づくりに努めた。(7月1日のみ無料開放を実施)

開設日数 61日

松阪公園プール利用状況

光熱水費 2,980,960円
 修繕料 2,675,953円
 (幼児用噴水ポンプ修繕 289,440円 ほか)
 プール監視管理業務委託料 11,064,600円 ほか

	H29	H30	前年比
大人	2,945人	2,656人	△ 289
小人	3,895人	3,032人	△ 863
団体	214人	40人	△ 174
免除	2,099人	2,321人	222
計	9,153人	8,049人	△ 1,104

事業名	阪内川スポーツ公園管理運営事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
28,380,881				6,890,922	21,489,959	27,798,672

松阪牛の里オーシャンファーム武道館、多目的グラウンドなどの管理運営を行った。

公園維持管理委託料 21,764,026円
 光熱水費 2,348,731円
 修繕料 1,934,820円
 (浄化槽流入ブロワ取替修繕 391,500円 ほか)
 多目的グラウンド補修工事 1,350,000円 ほか

阪内川スポーツ公園利用状況

施設名		件数	人数
武道館	第一道場	741件	26,164人
	第二道場	709件	11,202人
	第三道場	2,231件	7,033人
	会議室	261件	3,134人
多目的グラウンド		374件	10,739人
テニスコート		2,049件	6,858人
ゲートボール場		241件	2,006人
計		6,606件	67,136人

事業名	阪内川スポーツ公園施設整備事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
32,365,440			30,700,000		1,665,440	5,070,600

市民ニーズに適切に応え、市民一人ひとりが安全で安心してスポーツ活動を実践できるよう、武道館の屋根改修工事を行った。

松阪牛の里オーシャンファーム武道館屋根改修工事 32,365,440円

事業名	指定管理者選定委員会事業費				スポーツ課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
50,200					50,200	—

松阪市嬉野体育施設において市民サービスの向上と施設の効率的・効果的な管理運営を図るため、適切な指定管理者を選定した。

松阪市嬉野体育施設指定管理者選定委員会委員報酬 49,000円
お茶代 1,200円

(款) 10教育費 (項) 6保健体育費 (目) 5中部台運動公園施設費 (単位 円)

事業名	中部台運動公園施設管理運営事業費				スポーツ課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
100,800,873				20,460,812	80,340,061	101,209,973

自然環境、教養文化に対する意識を高め、文化活動の場、また家族の憩いの場、各団体のスポーツ・レクリエーションの場として施設の管理運営を行った。

施設光熱水費 11,304,468円
電気料金 6,527,477円
水道料金 4,776,991円
使用料及び賃借料 1,000,000円
AED借上料 279,144円
自動車借上料 599,508円
体育館個人年間使用券管理システム借上料 105,148円
コピー機借上料 16,200円
備品購入費 421,660円
フットサルゴール一式 366,660円、バーベルシャフト 55,000円
賃金及び賃金共済費 8,752,511円
消耗品費 1,852,531円、修繕料 3,831,265円 (プールろ過機ろ過材交換1,080,000円) ほか

施設名		人数
さんぎんアリーナ	体育館	35,643人
	武道室	2,256人
	卓球室	9,923人
	トレーニング室	14,876人
中部台テニスコート		37,253人
流水プール		15,066人
ソフトボール場		9,056人
計		124,073人

委託料 69,945,061円

区分	事業内容	成果	事業費
公園芝生管理委託		年間約50万人利用	20,524,320円
公園内樹木管理委託	樹木手入工一式		9,529,920円
流水プール管理委託	6月上旬から9月上旬	入場者実績=15,066人	11,755,800円
施設清掃委託	運動公園内清掃業務		4,665,600円
施設警備委託	夜間休日の警備業務		8,595,060円
猿舎清掃業務委託	施設管理運営業務		3,902,580円
草刈等事業運営委託	事業運営業務		5,344,090円
その他	施設管理運営業務		5,627,691円
計			69,945,061円

事業名	中部台運動公園施設整備事業費				スポーツ課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,188,000					1,188,000	24,546,240

さんぎんアリーナ競技場内でフットサル競技が行えるよう壁面に防球ネットを設置した。

工事請負費 1,188,000円
さんぎんアリーナ防球ネット設置工事 1,188,000円

(款) 10教育費 (項) 6保健体育費 (目) 6スポーツ文化センター費

(単位 円)

事業名	スポーツ文化センター管理運営事業費				スポーツ課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
23,944,932				222,700	23,722,232	25,508,232

ハートフルみくもスポーツ文化センター各施設に係る管理運営経費

指定管理委託料 23,652,000円

修繕料 263,520円 ほか

(ハートフルみくもスポーツ文化センター冷温水発生機修繕 123,120円 ほか)

利用状況

施設名	件数	人数
パターゴルフ	75件	670人
テニスコート	751件	2,442人
アスレチックジム	2,977件	16,154人
会議室	286件	13,433人
アリーナ	1,130件	18,563人
イベント広場	10件	1,940人
芝生広場他	1件	35人
計	5,230件	53,237人

(款) 10教育費 (項) 6保健体育費 (目) 7海洋センター費

(単位 円)

事業名	海洋センター管理運営事業費				スポーツ課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,226,162				293,470	6,932,692	8,225,518

体育館及びプールの開設やバドミントン大会・ビーチボールバレーリーグ戦の大会開催等により住民の健康づくり、体力づくりに努めた。

プールは7月21日から8月31日まで36日間開設し、住民の健康づくり、また夏休み期間中の子どもの体力づくりに努めた。(月曜日休館)

非常勤職員賃金 3,402,992円

消耗品費 364,221円

光熱水費 1,046,274円

修繕料 1,057,104円

(飯高B&G海洋センターリモコンスイッチ盤修繕 417,960円ほか)

委託料 652,968円 ほか

利用状況

施設	有料	無料	計
体育館	1,736人	1,124人	2,860人
プール	716人	204人	920人
計	2,452人	1,328人	3,780人

(款) 10教育費 (項) 7青少年教育費 (目) 1青少年育成費

(単位 円)

事業名	青少年健全育成事業費				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,585,387				107,000	6,478,387	7,495,904

行政と市民会議及び各地区健全育成会が一体となり、家庭・学校・地域が連携して、講演会・街頭啓発・環境浄化活動等の青少年健全育成事業を実施した。
また、青少年の指導、育成に関する総合的施策の適切な実施を期するため青少年問題協議会を開催し、必要な関係機関相互の連絡調整を図った。

青少年育成のつどい講演会の開催

あきらめない心 ～前向きに生きることで必ず道は開ける～

(H30. 11. 14 農業屋コミュニティ文化センター 参加人員 383人 利用者満足度調査 94%)

市内22育成会でそれぞれの地域にあった育成活動を委託

5支部(松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高)からなる松阪市青少年育成市民会議に市の青少年育成活動の一部を委託

青少年問題協議会委員報酬(対象者 7人、1回開催)

青少年問題協議会の開催

(H31. 3. 15 教育委員会事務局2階教育委員会室 出席委員 11人)

内容: 松阪市における児童虐待の現状について

事業名	新成人のつどい開催事業費				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
524,142					524,142	449,625

地域の未来を担う新成人が、自立と自覚の節目となるように、「新成人のつどい」を開催した。

新成人による実行委員で式典を開催(恩師からのビデオメッセージ、イントロクイズ、抽選会等を実施)

(H31. 1. 13 クラギ文化ホール 参加人員 1,149人)

事業名	こどもまつり事業費				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,968,559					1,968,559	1,928,941

実行委員会に参画する各ボランティア団体等が、ブースやイベントを提供し、子どもたちが家族や友達と1日楽しく過ごすことができる催し物を提供した。当日は晴天に恵まれ、たくさんの親子連れ等が来場した。

(H30. 4. 22 中部台運動公園芝生広場 参加人員 23,000人)

事業名	子ども会連合会補助金				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
294,000					294,000	294,000

子ども会組織の連携づくりや情報交換、研修会、親子行事等に対する支援を行い、青少年の心身ともに健やかな青少年を育成することを目的に補助した。

事業名	交付先	金額	事業内容及び成果等
子ども会連合会補助金	松阪市子ども会連合会	294千円	球技大会、キャンプ、自然観察会、オセロ大会、ジュニアリーダー研修会等を行い、地域子ども会の充実発展と連絡調整、指導者・育成者の研修養成を図った。

事業名	放課後子ども教室推進事業費					生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,126,400		1,417,000			709,400	2,154,400	

すべての子どもを対象として、安全・安心な子どもの活動拠点を設け、地域住民の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを実施した。

放課後子どもプラン運営委員会委員報酬（対象者 6人、1回開催）

放課後子どもプラン運営委員会の開催

（H31.2.8 教育委員会事務局2階教育委員会室 出席委員 8人）

内容：放課後子ども教室に係る放課後子ども総合プランの推進について

松阪子どもの居場所づくり実行委員会ほか3団体に委託 延参加人員 3,253人

事業名	青少年センター運営事業費					生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
12,343,961				23,352	12,320,609	12,790,440	

補導活動により非行化する恐れのある少年を早期に発見し、青少年の健全育成活動に努めるとともに、環境浄化活動などを実施した。

また、青少年センター運営協議会を開催し、活動報告や活動計画を審議し補導活動のあり方と青少年の非行防止対策等について協議した。

青少年センター職員、補導委員延1,556人で青少年の補導活動（449回）を実施した。

青少年センター運営協議会委員報酬（対象者 5人、1回開催）

青少年センター運営協議会の開催

（H31.3.22 教育委員会事務局2階教育委員会室 出席委員 9人）

内容：平成30年度青少年センター活動結果及び平成31年度活動計画について

事業名	コミュニティ助成事業補助金					生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
800,000				800,000		—	

親子でマジックの専門家の指導を受け、マジックの道具作りを親子で行うことで、親子間のコミュニケーションを促進し、子どもたちの理解力、集中力、探求心を養う教室を行った。

交付先 花岡地区青少年健全育成会

（款）10教育費 （項）7青少年教育費 （目）2堀坂山の家施設費

（単位 円）

事業名	堀坂山の家管理運営事業費					生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
244,025					244,025	276,098	

平成23年度をもって青少年宿泊研修施設としての機能を閉じている「堀坂山の家」の施設維持管理を行った。

(款) 10教育費 (項) 7青少年教育費 (目) 3放課後児童健全育成費

(単位 円)

事業名	放課後児童クラブ活動事業費				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
222,146,070	78,022,000	79,890,000		5,448	64,228,622	193,769,098

市内36小学校区のうち33校区に36の放課後児童クラブを設置するとともに、保護者会にその運営費を補助し、児童に適切な遊び及び生活の場を与え、健全な育成を図った。
また、各クラブにおける会計処理の安定的かつ健全な運営を目的として、市主催による補助金申請研修会や東海税理士会松阪支部による会計処理研修会を開催した。

区分	名 称 (交 付 先)	補助金額	年間開設日数	児童数
本庁	第一よいほキッズクラブ (第一よいほキッズクラブ保護者会)	6,603,255円	251日	31人
	サン・ガーデン (サン・ガーデン保護者会)	7,311,700円	250日	25人
	だいよんのびのびクラブ (だいよんのびのびクラブ保護者会)	7,008,789円	262日	36人
	だいよんのびのびクラブそらぐみ (だいよんのびのびクラブ保護者会)	3,116,000円	228日	13人
	第五ときわっ子 (第五ときわっ子保護者会)	8,412,581円	261日	25人
	第五ときわっ子Jr. (第五ときわっ子保護者会)	8,258,336円	259日	23人
	さいわいこどもクラブ (さいわいこどもクラブ保護者会)	8,207,824円	260日	57人
	松江放課後倶楽部(1) (松江放課後倶楽部父母の会)	8,155,655円	252日	29人
	松江放課後倶楽部(2) (松江放課後倶楽部父母の会)	3,387,800円	237日	26人
	おかげさん家 (おかげさん家保護者会)	2,919,000円	219日	25人
	みなとこどもクラブ (みなとこどもクラブ保護者会)	9,585,193円	275日	36人
	ひがししろべ楽童 (ひがししろべ楽童保護者会)	4,636,531円	253日	17人
	あさみきっずくらぶ (あさみきっずくらぶ保護者会)	5,529,875円	264日	32人
	ていすい子どもハウス (ていすい子どもハウス保護者会 「ていすいおとな組」)	6,068,000円	254日	28人
	こいしろキッズクラブ (こいしろキッズクラブ保護者会)	2,223,000円	238日	11人
	花岡キッズハウス (花岡キッズハウス「おとな組」)	10,576,095円	250日	42人
	まつおキッズクラブ (まつおキッズクラブ父母の会)	6,988,616円	252日	29人
	いざわっこくらぶ (いざわっこくらぶ保護者会)	4,347,600円	254日	15人
	南どんぐりっ子クラブ (南どんぐりっ子クラブ保護者会)	2,364,000円	239日	10人

	ひかりっこ広場 (ひかりっこ広場保護者会)	7,272,700円	251日	42人
	とくわアフタークラブ (とくわアフタークラブ保護者会)	7,596,500円	266日	36人
	第2とくわアフタークラブ (とくわアフタークラブ保護者会)	6,042,531円	265日	33人
嬉野	豊地こどもクラブ (豊池こどもクラブ保護者の会)	6,807,069円	263日	35人
	わかすぎこどもクラブ (中川小学校区放課後児童クラブ保護者会)	8,413,096円	252日	38人
	すぎのここどもクラブ (中川小学校区放課後児童クラブ保護者会)	6,892,727円	252日	32人
	なかがわこどもクラブ (中川小学校区放課後児童クラブ保護者会)	6,344,170円	253日	28人
	なかがわ第二こどもクラブ (中川小学校区放課後児童クラブ保護者会)	7,390,690円	253日	30人
	豊田キッズクラブ (豊田キッズクラブ保護者会)	2,222,200円	239日	14人
	中原キッズクラブ (中原キッズクラブ保護者の会)	7,000,640円	251日	26人
三雲	天白キッズクラブ (天白KIDSきらりクラブ保護者会)	7,122,635円	253日	41人
	第2天白キッズクラブ (天白KIDSきらりクラブ保護者会)	4,704,580円	252日	38人
	よねっこ学童クラブ (よねっこ学童クラブ保護者会)	2,722,743円	231日	15人
	かささぎキッズクラブ (かささぎキッズクラブ親の会)	4,437,600円	284日	14人
	小野江元気っ子クラブ (小野江元気っ子クラブ父母の会)	5,117,453円	262日	40人
飯南	飯南放課後児童クラブ「いいねっこ」 (飯南放課後児童クラブ親の会)	7,820,492円	257日	33人
飯高	スマイルキッズ (スマイルキッズ保護者会)	2,966,300円	241日	28人
計36か所		216,573,976円		1033人

共済費 289,368円

賃金 1,817,400円

講師謝礼金 20,000円

その他消耗品費 74,195円

施設設備修繕料 3,040,359円

通信運搬費 65,612円

手数料 3,800円

浄化槽保守管理業務委託料 45,360円

その他委託料 216,000円

事業名	放課後児童クラブ連絡協議会補助金				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
234,000					234,000	234,000

各放課後児童クラブの運営の均衡を図るとともに、指導員の資質向上を図るため、研修会、連絡会議等に要する経費の一部を補助した。

交付先 松阪市放課後児童クラブ連絡協議会

事業名	青少年教育費国庫支出金返還金				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,630,000					5,630,000	8,467,000

平成29年度子ども・子育て支援交付金の精算による返還金

国庫支出金	子ども・子育て支援交付金（放課後児童健全育成事業）	2,815,000
-------	---------------------------	-----------

平成29年度地域子ども・子育て支援交付金の精算による返還金

県支出金	地域子ども・子育て支援交付金（放課後児童健全育成事業）	2,815,000
------	-----------------------------	-----------

(款) 11災害復旧費 (項) 1農林水産業施設災害復旧費 (目) 1農地等災害復旧費

(単位 円)

事業名	農地等災害復旧事業費				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,002,500		802,000	500,000	988,334	8,712,166	42,211,544

平成30年7月28～29日の台風12号、8月23～24日の台風20号、9月30日～10月1日の台風24号で被災した農地・農業用施設の復旧を行った。

重機借上料 5,667,840円 (23件)

団体営災害復旧事業 1,607,040円 (農地 2件)

工事名	工事内容	工事費
112-2 矢津町田災害復旧工事	ブロック積工 A=10.7㎡	991,440円
112-1 嬉野小原町田災害復旧工事	法面復旧工 N=1式	615,600円
農地計 2件		
団体営災害復旧事業費合計 2件		

市単独災害復旧事業 3,428,460円 (農地 10件、施設 3件)

工事名	工事内容	工事費
六呂木町①災害復旧工事 (農地)	法面復旧工 N=1式	299,160円
伊勢寺町①災害復旧工事 (農地)	法面復旧工 N=1式	289,440円
嬉野合ヶ野町法面災害復旧工事 (農地)	法面復旧工 N=1式	359,640円
嬉野矢下町田災害復旧工事	法面復旧工 N=1式	399,600円
飯南町深野田災害復旧工事	畦畔復旧工 N=1式	108,000円
飯南町深野田災害復旧工事	畦畔復旧工 N=1式	132,840円
飯南町深野畑災害復旧工事	畦畔復旧工 N=1式	108,540円
飯南町深野畑災害復旧工事	畦畔復旧工 N=1式	224,640円
飯南町下仁柿田災害復旧工事	畦畔復旧工 N=1式	294,840円
飯南町深野畑災害復旧工事	畦畔復旧工 N=1式	231,120円
農地計 10件		
西野町①災害復旧工事 (施設)	ため池法面復旧工 N=1式	291,600円
立野町①災害復旧工事 (施設)	水路復旧工 N=1式	299,160円
嬉野薬王寺町水路災害復旧工事	水路復旧工 N=1式	389,880円
施設計 3件		
市単独災害復旧事業費合計 13件		

原材料費 299,160円 (2件)

事業名	農地等災害復旧事業費 (繰越分)				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
72,590,880		67,800,000	1,800,000	1,149,563	1,841,317	—

平成29年10月22日～23日の台風21号で被災した農地・農業用施設の復旧を行った。

団体営災害復旧事業 72,590,880円 (農地 4件、施設 8件)

工事名	工事内容	工事費
112-3 茅原町田災害復旧工事	ブロック積工 A=30.2㎡	1,762,560円
112-4 六呂木町田災害復旧工事	ブロック積工 A=48.9㎡	3,120,120円
112-5 六呂木町田災害復旧工事	ブロック積工 A=18.4㎡	1,291,680円
112-6 山添町田災害復旧工事	土砂撤去工 V=325.0m³	1,870,560円
農地計 4件		

12-1 伊勢寺町十一池災害復旧工事	盛土工 V=1,172m ³ 、ドレーン工 L=48.3m	20,975,760円
12-2 伊勢寺町向側池、田災害復旧工事	盛土工 V=990.0m ³ 、ドレーン工 L=53.0m	13,187,880円
12-3 小阿坂町道路災害復旧工事	フトン籠工 L=13.0m、盛土工 V=96.0m ³	3,000,240円
12-4 御麻生菌町小寺池災害復旧工事	盛土工 V=113.0m ³ 、張芝 A=106.0m ²	6,786,720円
12-5 山添町水路災害復旧工事	土砂撤去工 V=147.8m ³	2,355,480円
12-6 立野町水路災害復旧工事	土砂撤去工 V=314.0m ³	2,396,280円
12-7 嬉野島田町中之池災害復旧工事	ため池法面復旧工 N=1式	14,144,760円
12-8 嬉野森本町水路災害復旧工事	水路復旧工 N=1式	1,698,840円
施設設計 8件		
団体営災害復旧事業費合計 12件		

(款) 11災害復旧費 (項) 1農林水産業施設災害復旧費 (目) 2林業施設災害復旧費

(単位 円)

事業名	林業施設災害復旧事業費				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
38,003,908		9,186,000	2,700,000		26,117,908	38,169,949

平成30年9月3日～5日にかけての台風21号、平成30年9月30日～10月1日にかけての台風24号及び、平成29年10月22日～10月23日にかけての台風21号により被災した林道・作業道等の復旧に伴う工事や、測量設計、バックホウ等の重機借上、生コンクリート等の原材料を支給することで被災箇所の復旧を行った。

区分	事業内容	事業費	事業内訳			
			委託料	借上料	原材料	工事費
測量業務委託	測量設計業務 3路線3か所L=78m	754,920	754,920			
小計(委託)		754,920	754,920			
事業用重機	50路線81か所 崩土除去、路面整正 水路土砂撤去等	20,108,088		20,108,088		
小計(借上料)		20,108,088		20,108,088		
原材料費	4路線 生コンクリートほか	1,987,100			1,987,100	
小計(原材料)		1,987,100			1,987,100	
林道波留相津線(1号箇所)災害復旧工事	復旧延長 L=36m 法枠工A=622.7m ²	12,200,000				12,200,000
林道三峰局ヶ岳線(1号箇所)災害復旧工事	復旧延長L=48m 簡易法枠工A=1072.3m ²	2,953,800				2,953,800
小計(工事)		15,153,800				15,153,800
合計		38,003,908	754,920	20,108,088	1,987,100	15,153,800

事業名	林業施設災害復旧事業費（繰越分）					林業振興課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
101,388,240		91,079,000	6,400,000	158,172	3,751,068	—

平成29年10月22日～10月23日にかけての台風21号により被災した林道の復旧に伴う工事費

区分	事業内容	事業費	事業内訳		
			工事費		
林道飯高北奥線(1号箇所)災害復旧工事	復旧延長 L=47m 補強土壁工 A=231.2m ²	42,118,920	42,118,920		
林道三峰局ヶ岳線(1号箇所)災害復旧工事	復旧延長 L=48m 簡易法枠工 A=1072.3m ²	37,960,920	37,960,920		
林道三峰局ヶ岳線(2号箇所)災害復旧工事	復旧延長 L=20m 補強土壁工 A=65.4m ²	4,062,960	4,062,960		
林道有間野浦谷線(1号箇所)災害復旧工事	復旧延長 L=35m 盛土工 V=495.0m ³	4,698,000	4,698,000		
林道地の添福本線(1号箇所)災害復旧工事	復旧延長 L=34m 盛土工 V=1949m ³	8,106,480	8,106,480		
林道侍線(1号箇所)災害復旧工事	復旧延長 L=16m 補強土壁工 A=40.2m ²	4,440,960	4,440,960		
合計		101,388,240	101,388,240		

〔款〕 11災害復旧費 （項） 2公共土木施設災害復旧費 （目） 1道路橋りょう災害復旧費

（単位 円）

事業名	道路橋りょう災害復旧事業費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,570,922					14,570,922	45,591,033

台風12号及び豪雨（H30.7.28～29）による災害

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
寺谷線	262,440	262,440			
蘭線	582,120	582,120			
塩浜塚本線	1,236,600	1,236,600			
夏明矢下線	199,800	199,800			
赤桶不動線	192,240	192,240			
大崩線	259,200	259,200			
計	2,732,400	2,732,400			

台風20号及び豪雨（H30.8.23～24）による災害

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
櫛田駅東黒部線	216,000	216,000			
南俣線	523,530	523,530			
青田栃谷線	285,660	285,660			
清瀬線	298,080	298,080			
東又線	199,800	199,800			
赤桶不動線	162,000	162,000			
田引旧国道線	66,960	66,960			
田引小田線	37,800	37,800			
桑原旧国道線	196,560	196,560			
木梶落方線	172,800	172,800			
名倉線	64,800	64,800			
野々口宮前旧国道線	122,040	122,040			
木梶旧国道線	1,448,280	1,448,280			
計	3,794,310	3,794,310			

台風21号及び豪雨（H30.9.4～5）による災害

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
岡山伊勢寺線	286,200	286,200			
宮ノ沖深長線	291,600	291,600			
ツヅラ又線	499,500	499,500			
木屋線	199,800	199,800			
桜町2号線	253,800	253,800			
上川道13号線	291,600	291,600			
岩倉線	599,400	599,400			
井之上森本線	297,000	297,000			
樋山線	96,120	96,120			
南俣線	298,350	298,350			
口窄線	294,300	294,300			
木梶落方線	51,840	51,840			
計	3,459,510	3,459,510			

台風24号及び豪雨（H30.9.30～10.1）による災害

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
射和上蛸路線（国災）	785,100			785,100	
矢下線	292,032	292,032			
寺谷線	192,240	192,240			
ツヅラ又線	299,160	299,160			
大石本郷3号線	291,330	291,330			
山見大谷線	290,520	290,520			
岩倉線	291,600	291,600			
日川線	585,360	585,360			
平生東5号線	297,000	297,000			
神名原線	298,080	298,080			
高見線	281,880	281,880			
田引奥山線	155,520	155,520			
栗野田引旧国道線	212,760	212,760			
蓮発電所線	88,560	88,560			
青田栃谷線	223,560	223,560			
計	4,584,702	3,799,602		785,100	

事業名	道路橋りょう災害復旧事業費（繰越分）				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
88,863,480	46,203,170		22,900,000		19,760,310	—

台風21号及び豪雨（H29.10.22～23）による災害

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
セブンスリーゴルフ場1号線	1,345,680	1,345,680			
岡山伊勢寺線（国災）	2,217,240	2,217,240			
下村下蛸路線	871,560	871,560			
下蛸路里中2号線	927,720	927,720			
株戸波留線（国災）	6,773,760	6,773,760			
岩倉線（国災）	3,738,960	3,738,960			
曲殿村線（国災）	1,379,160	1,379,160			
根木御麻生菌線（国災）	29,280,960	29,280,960			
射和下茅原2号線	1,981,800	1,981,800			
出郷3号線（国災）	2,013,120	2,013,120			
上茅原六呂木線	1,590,840	1,590,840			
勢津通学道線	2,280,960	2,280,960			
勢津通学道2号線（国災）	1,906,200	1,906,200			
大溝藤ヶ瀬線（国災）	3,173,040	3,173,040			
射和上蛸路線（国災）	1,793,880	1,793,880			
八田算所線	1,262,520	1,262,520			
名倉線（国災）	9,741,600	9,741,600			
木梶旧国道線（国災）	13,921,200	13,921,200			
木梶旧国道線	2,663,280	2,663,280			
計	88,863,480	88,863,480			

(款) 11災害復旧費 (項) 2公共土木施設災害復旧費 (目) 2河川災害復旧費

(単位 円)

事業名	河川災害復旧事業費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,641,920	859,389		500,000		4,282,531	42,456,142

台風20号及び豪雨 (H30. 8. 23~24) による災害

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
吉谷川	167,400	167,400			

台風21号及び豪雨 (H30. 9. 4~5) による災害

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
岩内川	432,000	432,000			

台風24号及び豪雨 (H30. 9. 30~10. 1) による災害

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
小谷川 (国災)	1,288,440	1,288,440			
木屋谷川	143,640	143,640			
北川	257,040	257,040			
三渡川	178,200	178,200			
小田川	264,600	264,600			
釜岩川	294,840	294,840			
カリバ川	216,000	216,000			
小谷川	583,200	583,200			
東山中部台団地排水路	1,535,760	1,535,760			
池田川	280,800	280,800			
計	5,042,520	5,042,520			

事業名	水防施設災害復旧事業費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,440,800					2,440,800	—

平成30年9月の台風21号により被災した漕代水防倉庫の復旧を行った。

- ・漕代水防倉庫復旧工事 2,440,800円

事業名	河川災害復旧事業費 (繰越分)				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
110,837,880	57,215,794		28,500,000		25,122,086	24,395,360

台風5号及び豪雨 (H29. 8. 7) による災害

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
岩内川 (国災)	2,584,440	2,584,440			
野々口谷川 (国災)	17,516,160	17,516,160			
計	20,100,600	20,100,600			

台風21号及び豪雨 (H29. 10. 22~23) による災害

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
桂瀬川 (国災)	6,423,840	6,423,840			
小田川 (国災)	6,872,040	6,872,040			
カリバ川 (国災)	1,158,840	1,158,840			
矢下川 (国災)	1,082,160	1,082,160			
岩内川 (国災)	4,965,840	4,965,840			
岩内川	5,490,720	5,490,720			
飯福田川 (国災)	3,844,800	3,844,800			
真盛川 (国災)	3,681,720	3,681,720			
古茂喜谷川	1,188,000	1,188,000			
古茂喜谷川 (国災)	3,755,160	3,755,160			
だい川 (国災)	1,053,000	1,053,000			
阿串谷川 (国災)	6,184,080	6,184,080			
水木谷川	1,601,640	1,601,640			
里谷川 (国災)	2,498,040	2,498,040			
里谷川	114,480	114,480			
下之宮谷川 (国災)	2,432,160	2,432,160			
吉谷川 (国災)	7,038,360	7,038,360			
寺海戸谷川 (国災)	2,517,480	2,517,480			
大田奥川 (国災)	2,711,880	2,711,880			
大田奥川	372,600	372,600			
風呂屋谷川	3,359,880	3,359,880			
甚太川	2,392,200	2,392,200			
瀬戸谷川 (国災)	6,638,760	6,638,760			
岩穴川	606,960	606,960			
キトガ谷川 (国災)	1,046,520	1,046,520			
キトガ谷川	954,720	954,720			
金剛川	4,987,440	4,987,440			
吉野川 (国災)	3,539,160	3,539,160			
磯原川 (国災)	2,224,800	2,224,800			
計	90,737,280	90,737,280			

〔款〕11災害復旧費 (項)2公共土木施設災害復旧費 (目)3都市計画施設災害復旧費

(単位 円)

事業名	公園施設災害復旧事業費 (繰越分)				土木課	
決算額	財源内訳				一般財源	【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他		
32,739,120	3,916,597		1,900,000		26,922,523	—

台風21号及び豪雨 (H29.10.22~23) による災害

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
広陽町7号緑地	24,066,720	24,066,720			
中部台運動公園 (国災)	8,672,400	8,672,400			
計	32,739,120	32,739,120			

(款) 11災害復旧費 (項) 3厚生労働施設災害復旧費 (目) 1衛生施設災害復旧費

(単位 円)

事業名	清掃施設災害復旧事業費				清掃政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,786,560					4,786,560	—

台風12号により破損した三雲リサイクルセンターストックヤードテント膜材の張替・塗装など復旧工事を行った。

工事請負費 4,786,560円

事業名	火葬場墓地施設災害復旧事業費 (繰越分)				環境課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,955,760					13,955,760	1,793,556

平成29年の台風21号に伴う豪雨で被災した篠田山霊苑施設内の災害復旧工事を行った。

篠田山霊苑災害復旧工事 13,955,760円

(款) 11災害復旧費 (項) 3厚生労働施設災害復旧費 (目) 2民生施設災害復旧費

(単位 円)

事業名	児童センター施設災害復旧事業費				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
876,312				219,078	657,234	—

平成30年9月30日から10月1日の台風第24号により破損した屋根の修復を行った。

修復面積 23㎡

(款) 11災害復旧費 (項) 4文教施設災害復旧費 (目) 1 保健体育施設災害復旧費

(単位 円)

事業名	中部台運動公園施設災害復旧事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
368,409					368,409	2,032,387

平成30年8月23日の台風20号により破損した中部台運動公園第2駐車場フェンスを修繕した。

修繕料 368,409円

中部台運動公園第2駐車場フェンス修繕 368,409円

事業名	体育施設災害復旧事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,940,760					1,940,760	410,400

平成30年9月30日の台風24号による強風により、嬉野グラウンドベンチ上屋根が3か所根元から折れたため、修繕を行った。

修繕料 1,940,760円

嬉野グラウンドベンチ上屋修繕 1,940,760円

事業名	中部台運動公園施設災害復旧事業費 (繰越分)					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,388,040					4,388,040	-

平成29年10月22日の台風21号の災害によって被災した中部台運動公園施設の原型復旧を行った。

平成29年度に土砂撤去作業及び測量業務委託及び設計業務委託を行い、法面復旧工事については平成30年度に繰越して行った。

工事請負費 4,388,040円

中部台運動公園施設災害復旧工事 4,388,040円

(款) 11災害復旧費 (項) 4文教施設災害復旧費 (目) 2公立学校施設等災害復旧費

(単位 円)

事業名	小学校施設災害復旧事業費					教育総務課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,819,042					3,819,042	525,960

台風20、21、24号により被災した各小学校の破損修繕と風倒木の除去を行った。

修繕料 2,285,442円

鵜小体育館天窓修繕、第三小高鉄棒修繕、機殿小フェンス修繕 ほか

委託料 1,533,600円

風倒木剪定・伐採作業業務委託 (第二小、第三小、第五小、射和小 ほか)

事業名	中学校施設災害復旧事業費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,678,703	726,000				4,952,703	921,240

台風12、21、24号により被災した各中学校の破損修繕と風倒木の除去等を行った。

消耗品費 10,000円

修繕料 3,260,303円

鎌田中体育館外壁修繕、東部中屋上タンク塔外壁修繕 ほか

委託料 226,800円

風倒木剪定・伐採作業業務委託（東部中、西中）

工事請負費 2,181,600円

殿町中学校バックネット設置工事 2,181,600円

(款) 11災害復旧費 (項) 5商工施設災害復旧費 (目) 1商工施設災害復旧費

(単位 円)

事業名	観光施設災害復旧事業費				観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
635,580				317,790	317,790	—

台風により損傷した観光交流施設（道の駅 茶倉駅）屋根の復旧を行い、施設の安全・快適・効率的な利用を図ることにより、利用者満足度の向上に努めた。

観光交流施設（道の駅 茶倉駅）屋根の棟及び屋根材修繕 635,580円

平成30年度利用者数 41,586人（リバーサイド茶倉 6,704人、茶倉駅 34,882人）

事業名	文化施設災害復旧事業費				文化課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,566,745				3,073,546	3,493,199	—

台風21号により被災した旧長谷川邸、原田二郎旧宅の復旧を行った。

旧長谷川邸 正面玄関軒裏破損、表塀瓦ズレ、大蔵等漆喰剥落、大正座敷瓦破損 他

4,266,000円

原田二郎旧宅 大屋根瓦葺き替え、軒折れ他

2,300,745円

(款) 12公債費 (項) 1公債費 (目) 1元金

(単位 円)

事業名	長期債償還元金				財務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,477,177,470					5,477,177,470	4,470,991,404

市債の状況

平成29年度末 現在高	平成30年度末 現在高	増減額
45,813,911,476	47,683,234,006	1,869,322,530

借入先別利率別市債現在高

借入利率区分	財政融資資金		旧郵政公社資金		地方公共団体金融機構資金		市中銀行	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1.0%未満	128	18,411,127,935	15	392,313,406	4	677,448,000	47	14,032,872,089
1.0%以上 2.0%未満	65	4,423,670,966	21	621,776,801	8	255,244,980	11	1,440,699,852
2.0%以上 3.0%未満	34	648,744,322	5	117,699,411	16	185,766,687	0	0
3.0%以上 4.0%未満	4	21,499,017	2	48,693,852	4	22,028,528		
4.0%以上 5.0%未満	2	12,096,826	0	0	2	8,397,013		
計	233	23,517,139,066	43	1,180,483,470	34	1,148,885,208	58	15,473,571,941
借入利率区分	その他の金融機関		共済等				合計	
	件数	金額	件数	金額			件数	金額
1.0%未満	33	3,961,803,472	10	733,775,945			237	38,209,340,847
1.0%以上 2.0%未満	10	1,259,204,904	6	397,470,000			121	8,398,067,503
2.0%以上 3.0%未満	1	10,900,000					56	963,110,420
3.0%以上 4.0%未満							10	92,221,397
4.0%以上 5.0%未満							4	20,493,839
計	44	5,231,908,376	16	1,131,245,945			428	47,683,234,006

(款) 12公債費 (項) 1公債費 (目) 2利子

(単位 円)

事業名	長期債償還利子				財務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
310,553,716					310,553,716	374,225,536

事業名	一時借入金利子				会計管理課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						—

平成30年度においては一時借入を実施する必要がなかったため実績無

事業名	基金繰替運用利子				会計管理課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						19

平成30年度においては基金繰替運用を実施する必要がなかったため実績無

(款) 14諸支出金 (項) 1基金費 (目) 1財政調整基金費

(単位 円)

事業名	財政調整基金積立金				財務課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
813,000,000					813,000,000	799,000,000

地方財政法第7条第1項に基づく積立金 813,000,000円

平成30年度末現在高 9,858,953,599円

特 別 会 計

競輪事業

○ 決算状況 (単位 円)

収 入		支 出	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
1 事業収入	12,612,059,800	1 総務費	192,069,325
1 入場料	1,664,800	2 事業費	12,759,505,137
2 勝者投票券売上金	12,610,395,000	3 公債費	116,602
2 使用料及び手数料	954,396	4 予備費	0
3 財産収入	106,534	5 諸支出金	15,000,000
4 繰入金	162,000,000		
5 諸収入	324,742,681		
6 繰越金	306,902,562		
計 (A)	13,406,765,973	計 (B)	12,966,691,064
収 益 金 (A) - (B)			440,074,909
翌年度へ繰越すべき財源			0
実質収支額			440,074,909

○ 事業収入 12,612,059,800

・ 入場料 1,664,800

区分	入 場 料 (円)				
	平成30年度				平成29年度
	本 場		川越場外 特観席	計	
	特観席	サイクル			
第1回		48,000	94,000	142,000	191,300
第2回		62,500	60,000	122,500	210,000
第3回		40,500	80,000	120,500	175,500
第4回		34,500	58,000	92,500	118,500
第5回		93,000	156,000	249,000	143,000
第6回 (ミット [△])					250,000
第7回 (ミット [△])					358,500
第8回		124,800	119,000	243,800	355,500
第9回 (記念)		152,000	126,000	278,000	113,500
第10回		156,500	182,000	338,500	312,500
第11回 (ミット [△])					270,500
第12回		44,000	34,000	78,000	119,500
計		755,800	909,000	1,664,800	2,618,300

区分	入 場 者 数 (人)					
	平成30年度			平成29年度		
	本場	川越場外	計	本場	川越場外	計
第1回	2,548	2,637	5,185	3,661	2,648	6,309
第2回	2,328	1,807	4,135	2,957	2,876	5,833
第3回	2,664	2,440	5,104	2,714	3,011	5,725
第4回	2,066	2,227	4,293	2,590	2,598	5,188
第5回	4,893	3,925	8,818	2,665	2,291	4,956
第6回 (ミット [△])				4,725	3,510	8,235
第7回 (ミット [△])				5,315	4,655	9,970
第8回	5,224	3,689	8,913	3,593	3,844	7,437
第9回 (記念)	7,078	2,693	9,771	2,400	1,948	4,348
第10回	4,858	4,126	8,984	6,668	2,945	9,613
第11回 (ミット [△])				4,650	4,719	9,369
第12回	2,032	1,411	3,443	2,775	2,584	5,359
計	33,691	24,955	58,646	44,713	37,629	82,342

- ・ 勝者投票券売上金 12,610,395,000

区分	勝 者 投 票 券 売 上 金 (円)					
	平成30年度					平成29年度
	本場	川越場外	電話投票	臨時場外	計	
第1回	27,216,900	29,650,200	200,199,000	514,335,400	771,401,500	2,112,148,900
第2回	19,161,300	11,547,800	37,106,500	45,613,900	113,429,500	328,805,900
第3回	27,518,600	26,109,000	169,745,700	658,932,000	882,305,300	85,703,300
第4回	23,397,100	22,632,800	108,725,000	243,642,800	398,397,700	393,664,300
第5回	35,018,000	21,099,200	92,723,800	148,291,100	296,132,100	117,079,200
第6回 (ミット [△])			311,723,100	482,480,600	794,203,700	274,280,600
第7回 (ミット [△])			310,940,100	563,860,100	874,800,200	322,364,200
第8回	38,551,900	26,042,100	377,279,200	1,088,917,900	1,530,791,100	623,476,900
第9回 (記念)	74,403,100	35,023,800	830,486,700	3,801,153,200	4,741,066,800	108,859,000
第10回	21,615,600	16,997,400	67,160,300	145,612,400	251,385,700	5,076,424,200
第11回 (ミット [△])			358,672,600	635,191,800	993,864,400	731,416,600
第12回	24,623,300	14,003,700	231,804,300	692,185,700	962,617,000	1,078,963,700
計	291,505,800	203,106,000	3,095,566,300	9,020,216,900	12,610,395,000	11,253,186,800

総務費

- 一般職員給 43,790,549 (事業運営にかかる職員等の人件費)
- 総務一般経費 2,220,961 (一般管理事務経費)
- 競輪事業財政調整基金積立金 146,057,815 (収益、基金利子の積立金)
(平成30年度末現在高 212,296,999)

事業費

○ 普通競輪開催事業費 7,596,319,402（普通競輪開催にかかる選手賞金や払戻金ほか開催経費総額）

○ 日本競輪選手会三重支部補助金 2,240,000

・ 負担金、補助及び交付金 2,240,000

補助金名称	金額
(一社) 日本競輪選手会三重支部選手育成事業補助金	2,160,000
全日本プロ選手権自転車競技大会補助金	30,000
中部地区プロ自転車競技大会補助金	50,000
計	2,240,000

○ スポーツ振興研修センター補助金 83,927,000

・ 負担金、補助及び交付金 83,927,000

補助金名称	金額
(一財) 松阪スポーツ振興研修センター補助金	83,927,000

空調設備改修工事を実施

○ 記念競輪開催事業費 4,439,667,454（開設68周年記念競輪開催にかかる経費）

平成31年1月24日～27日の4日間にわたり、松阪競輪開設68周年記念「蒲生氏郷杯王座競輪」を開催。本場入場者7,078人、総売上4,741,066,800円。

開催中は場内にて、来場促進及びファンサービスを目的としたイベントを実施した。「大道芸」「グルメブース」「未確定車券抽選会」「予想会」「2＝9肉キャンペーン」等を行い、多くのファンや家族連れで賑わった。

○ 包括業務委託事業費 491,400,000（開催業務等を包括的に民間に委ねる委託料経費）

・ 開催業務委託 329,400,000

発売・払戻・開催従事員の手配・レース中継・広告宣伝・ファンサービス・イベント・施設管理など競輪開催業務全般を民間事業者に委ねることで、経費削減や事業の効率化を図った。

・ 施設整備委託 162,000,000

メインスタンド耐震補強工事、投票棟1工事など、安心・安全な競輪運営が可能な施設を目指して改修を進めた。

○ 収益分配金 145,951,281（包括業務委託基本契約第9条第2項の規定による分配金）

公債費

○ 一時借入金利息 116,602（記念競輪等臨時場外開設資金運用にかかる一時借入金利息）

諸支出金

○ 一般会計繰出金 15,000,000（地方財政への寄与を目的とし一般会計へ繰出）

国民健康保険事業

(単位 円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 国民健康保険税	3,429,244,604	1 総務費	327,621,017
2 使用料及び手数料	1,982,440	1 総務管理費	323,925,618
3 県支出金	12,008,759,420	2 徴税費	3,496,279
1 特定健康診査等負担金	60,398,000	3 運営協議会費	199,120
2 保険給付費等交付金	11,948,361,420	2 保険給付費	11,901,560,294
4 財産収入	80,880	1 療養諸費	10,304,783,194
5 繰入金	1,557,194,630	2 高額療養費	1,535,503,862
6 繰越金	1,243,750,596	3 移送費	0
7 諸収入	44,491,737	4 出産育児諸費	49,123,238
		5 葬祭諸費	12,150,000
		3 国民健康保険事業費納付金	4,393,669,139
		1 医療給付費分	2,974,469,112
		2 後期高齢者支援金等分	1,032,022,975
		3 介護納付金分	387,177,052
		4 共同事業拠出金	2,226
		5 保健事業費	133,822,303
		6 公債費	0
		7 諸支出金	1,173,686,359
		8 予備費	0
計	18,285,504,307	計	17,930,361,338
歳入歳出差引額			355,142,969
翌年度へ繰越すべき財源			0
実質収支額			355,142,969

総務費

327,621,017

○ 総務管理費 323,925,618

- ・ 一般職員給 206,856,473
- ・ 一般管理経費 111,689,601
国民健康保険事業に係る一般事務経費
(国民健康保険税の賦課通知・保険証更新・委託料・共同電算処理手数料等)
- ・ 国保事業協力交付金 1,490,134
- ・ 三重県国民健康保険団体連合会負担金 3,889,410

○ 徴税費 3,496,279

- ・ 賦課徴収費 142,680 国民健康保険税の徴収等にかかる経費
- ・ 納税奨励費 3,353,599 国民健康保険税の金融機関口座振替、コンビニ収納取扱及び公金クレジット決済の手数料

・ 保険税の状況

区 分	調 定 額	収 納 額	収納率
現年課税分	3,324,871,700円	3,015,595,529円	90.70%
一般分	3,303,219,828円	2,995,349,703円	90.68%
退職者分	21,651,872円	20,245,826円	93.51%
滞納繰越分	2,130,120,556円	413,649,075円	19.42%
一般分	2,053,657,020円	402,303,355円	19.59%
退職者分	76,463,536円	11,345,720円	14.84%
計	5,454,992,256円	3,429,244,604円	62.86%

・ 保険税率

【 】内は平成29年度

区 分	医 療 分	支 援 金 分	介 護 分
所得割	7.6% 【7.8%】	2.7% 【2.7%】	2.7% 【2.4%】
均等割	21,800円 【30,200円】	9,500円 【10,400円】	11,500円 【11,500円】
平等割	17,800円 【30,300円】	7,000円 【10,400円】	6,000円 【8,200円】
課税限度額	54万円 【54万円】	19万円 【19万円】	16万円 【16万円】

○ 運営協議会費 199,120 国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議するための経費

保険給付費

11,901,560,294 国民健康保険団体連合会を通じて保険医療機関等へ支払う費用

- 療養諸費 10,304,783,194 国民健康保険団体連合会の診療報酬審査に対する費用含む
- 高額療養費 1,535,503,862 高額療養費・高額介護合算の自己負担に対する償還払い等の費用
- 出産育児諸費 49,123,238 出産に対する一時金の費用
- 葬祭諸費 12,150,000 葬祭に対する一時金の費用

・ 保険給付の状況

(H30年度事業年報より)

区 分	件 数	決 算 額
療養の給付等	一 般	600,453件 10,133,373,802
	退 職	4,685件 66,015,930
	小 計	605,138件 10,199,389,732
療養費	一 般	11,752件 70,143,735
	退 職	118件 1,086,049
	小 計	11,870件 71,229,784
高額療養費	一 般	54,100件 1,521,800,144
	退 職	179件 12,704,870
	小 計	54,279件 1,534,505,014
高額介護合算療養費	一 般	50件 998,848
	退 職	0件 0
	小 計	50件 998,848
その他の給付	審査支払手数料	34,163,678
	出産育児諸費	118件 49,123,238
	葬祭諸費	243件 12,150,000
	移送費	0件 0
	合 計	671,698件 11,901,560,294

※ 一般状況

(H30年度事業年報平均より)

保険者負担率	一般・退職 70% 義務教育就学前 80% 70歳以上74歳までの方 80% (一定以上所得者 70%)
加入世帯数	23,194 世帯
被保険者数	一般 36,369 人 退職 241 人 計 36,610 人
1世帯当り保険税調定額	143,351 円
被保険者1人当り保険税調定額	90,819 円
被保険者1人当り保険給付費	325,090 円
保険税調定額の保険給付費に対する割合	27.94 %
保険税調定額の歳出に対する割合	18.54 %

国民健康保険事業費納付金

4,393,669,139

三重県が、市町が支払う保険給付費の全額を賄う保険給付費等交付金の財源として市町から徴収するもので、県全体の保険給付費の必要額の見込みを立て、必要額を市町ごとの所得水準や医療費水準等を考慮して決定し、市町は納付金として県に支払う経費

- 医療給付費分 2,974,469,112
- 後期高齢者支援金等分 1,032,022,975
- 介護納付金分 387,177,052

共同事業拠出金

2,226

高額医療費共同事業拠出金等を国民健康保険団体連合会へ支払う経費

保健事業費

133,822,303

被保険者の健康の保持増進に関する教育指導事業に要する経費

- 特定健康診査等事業費 118,062,616
 - ・ 事務経費 9,068,778
 - ・ 委託料 108,993,838

メタボリックシンドロームの発見、予防、改善、生活習慣病の予防、健康保持と増進の自覚を高め、生活習慣病の有病者および予備群の方を減らし医療費の適正化を図る経費

特定健康診査対象者数

28,323人 受診者数 10,522人 受診率 37.2% (目標 43.7%)

動機付け支援及び積極的支援者数

964人 利用者数 172人 利用率 17.8% (目標 23.8%)

- 保健衛生普及費 15,474,487
 - ・ レセプト点検事務経費 5,362,414
 - ・ 医療費のお知らせ通知 3,781,124
 - ・ 保健事業負担金 2,730,949
 - ・ 健康フェスティバル補助金 2,700,000
 - ・ 歯の健康まつり補助金 900,000
- 疾病予防費 178,200

○ 貸付事業 107,000 高額療養費及び出産育児一時金を基準とした資金の貸付

事業名	件数	金額
高額医療費資金貸付金	4件	107,000
一般	4件	107,000
退職	0件	0
出産費資金貸付金	0件	0
計	4件	107,000

諸支出金 1,173,686,359

- 保険税過誤納還付金等 10,988,083
- 平成26年度財政調整交付金返還金 1,423,000
- 平成27年度財政調整交付金返還金 1,129,000
- 平成29年度療養給付費（退職者医療）交付金の確定による返還金 22,140,996
- 平成29年度療養給付費等負担金の確定による返還金 198,356,333
- 平成29年度特定健康診査・保健指導国負担金の確定による返還金 4,130,000
- 平成29年度特定健康診査・保健指導県負担金の確定による返還金 4,130,000
- 平成29年度一般会計繰出金確定による返還金 36,991,067
- 国保支払準備基金積立金 894,397,880 （平成30年度末現在高 1,777,984,463）

介護保険事業

(単位 円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 保険料	3,691,108,695	1 総務費	377,060,704
2 使用料及び手数料	316,796	2 保険給付費	16,202,272,442
3 国庫支出金	4,511,506,019	3 地域支援事業費	637,218,327
4 支払基金交付金	4,471,485,000	4 基金積立金	180,957,000
5 県支出金	2,480,025,557	5 公債費	0
6 財産収入	167,238	6 諸支出金	128,740,407
7 繰入金	2,567,386,904		
8 繰越金	292,714,521		
9 諸収入	34,690,027		
計	18,049,400,757	計	17,526,248,880
歳入歳出差引額		523,151,877	
翌年度へ繰越すべき財源		0	
実質収支額		523,151,877	

総務費

- 一般職員給 151,870,703 (事業運営にかかる職員の人件費)
- 一般管理経費 43,360,235 (介護保険事業に係る一般経費、非常勤職員賃金等)
- 三重県国民健康保険団体連合会負担金 279,046 (第三者行為求償事務に対する負担金)
- 賦課徴収事業費 22,136,096 (介護保険第1号被保険者介護保険料に関する賦課・徴収に係る費用)

保 険 料 の 状 況	区 分	調 定 額	収 納 額	収納率
	現年度分	3,699,863,098円	3,671,373,578円	99.23%
	特別徴収	3,414,937,704円	3,414,937,704円	100.00%
	普通徴収	284,925,394円	256,435,874円	90.00%
	滞納繰越分	80,163,755円	19,735,117円	24.62%
	普通徴収	80,163,755円	19,735,117円	24.62%
	計	3,780,026,853円	3,691,108,695円	97.65%
	特別徴収	3,414,937,704円	3,414,937,704円	100.00%
	普通徴収	365,089,149円	276,170,991円	75.64%

- 認定調査等事業費 83,820,786 (要介護認定・要支援認定の処理に関する経費、主治医意見書作成、認定結果通知等に関する費用)
- 認定審査会運営事業費 74,273,458 (介護認定審査会の設置運営等に関する費用)

※ 一般状況

	H31年4月1日現在	H30年4月1日現在	増 減	増減率
総人口	164,089人	165,040人	△951人	△ 0.58%
65歳以上人口	47,883人	47,542人	341人	0.72%
高齢化率	29.18%	28.81%	0.37%	

※ 要介護（要支援）認定者数 平成31年3月末日現在

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2
第1号被保険者	1,156人	1,296人	2,196人	2,047人
65歳以上75歳未満	168人	146人	213人	187人
75歳以上	988人	1,150人	1,983人	1,860人
第2号被保険者	12人	23人	32人	38人
総数	1,168人	1,319人	2,228人	2,085人

要介護3	要介護4	要介護5	計
1,688人	1,339人	1,001人	10,723人
165人	116人	120人	1,115人
1,523人	1,223人	881人	9,608人
22人	18人	25人	170人
1,710人	1,357人	1,026人	10,893人

※ 要介護（要支援）認定申請件数 (単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規申請	193	237	225	216	246	195	223	195	203	259	204	241	2,637
更新申請	400	369	412	359	377	382	323	337	386	397	485	471	4,698
変更申請	74	77	79	66	64	78	75	71	68	71	66	93	882
計	667	683	716	641	687	655	621	603	657	727	755	805	8,217

※ 要介護（要支援）認定審査件数 (単位：件)

	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2
件数	40	796	673	1,539	1,365
構成比	0.52%	10.37%	8.78%	20.05%	17.79%

要介護3	要介護4	要介護5	計
1,225	1,153	883	7,674
15.96%	15.02%	11.51%	100.0%

※ 所得段階別第1号被保険者数

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階
賦課期日（平成30年6月1日）	9,068人	5,224人	4,534人	4,819人	6,925人	3,201人	4,062人
年度末現在（平成31年3月31日）	8,679人	5,080人	4,461人	5,075人	6,844人	3,318人	4,139人

第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階	第13段階	第14段階	計
4,736人	2,820人	1,291人	314人	205人	88人	221人	47,508人
4,873人	3,018人	1,415人	353人	223人	100人	239人	47,817人

- 趣旨普及事業費 819,180(介護保険制度の周知、普及、促進を図る費用)
- 地域密着型サービス運営委員会事業費 42,360(地域密着型サービスの事業者指定、サービスの運営等に係る費用)
- 介護サービス事業所監査事業費 188,840(介護サービス事業所実地指導等に係る費用)
- 医療介護連携システム事業費 270,000
(平成30年6月から在宅医療・介護情報共有システム利用料 27,000円×10か月)

保険給付費

○ 保険給付費 16,202,272,442

・ 保険給付の状況

区 分		件 数	回数 (延日数)	給 付 額
介護サービス等	居宅介護サービス給付費	149,145件	2,337,177日	7,632,505,359円
	特例居宅介護サービス給付費	0件	—	0円
	地域密着型介護サービス給付費	12,489件	217,223日	1,794,992,492円
	特例地域密着型介護サービス給付費	0件	—	0円
	施設介護サービス給付費	17,253件	499,822日	4,422,966,139円
	特例施設介護サービス給付費	0件	—	0円
	居宅介護福祉用具購入費	599件	—	15,691,838円
	居宅介護住宅改修費	621件	—	49,224,481円
	居宅介護サービス計画給付費	65,865件	—	966,303,808円
	特例居宅介護サービス計画給付費	0件	—	0円
介護予防サービス等	介護予防サービス給付費	9,432件	196,836日	135,299,629円
	特例介護予防サービス給付費	0件	—	0円
	地域密着型介護予防サービス給付費	50件	1,422日	4,512,573円
	特例地域密着型介護予防サービス給付費	0件	—	0円
	介護予防福祉用具購入費	125件	—	2,881,422円
	介護予防住宅改修費	256件	—	20,670,272円
	介護予防サービス計画給付費	7,672件	—	33,823,300円
	特例介護予防サービス計画給付費	0件	—	0円
高額介護サービス	高額介護サービス費	35,524件	—	366,977,993円
	高額介護予防サービス費	200件	—	132,669円
特定入所者介護サービス	特定入所者介護サービス費	21,004件	526,415日	698,396,643円
	特例特定入所者介護サービス費	0件	—	0円
	特定入所者介護予防サービス費	29件	133日	160,840円
	特例特定入所者介護予防サービス費	0件	—	0円
高額医療合算介護サービス	高額医療合算介護サービス費	1,801件	—	45,551,272円
	高額医療合算介護予防サービス費	12件	—	99,798円
その他	審査支払手数料	257,062件	—	12,081,914円
計		579,139件	3,779,028日	16,202,272,442円

地域支援事業費

○ 地域包括支援センター事業費 141,115,197

地域包括支援センター運営事業委託料

センター名	委託料
第一地域包括支援センター (委託先: 松阪地区医師会)	27,500,000円
第二地域包括支援センター (委託先: 松阪市社会福祉協議会)	27,500,000円
第三地域包括支援センター (委託先: 松阪市社会福祉協議会)	22,000,000円
第四地域包括支援センター (委託先: 嘉祥会)	33,000,000円
第五地域包括支援センター (委託先: 太陽の里)	27,500,000円

* 地域包括支援センター運営協議会 3回

* 高齢者実態把握事業 703件

○ 介護給付適正化等事業費 7,532,604

区 分	実 績	事業費
介護給付費用の通知	26,027通	4,455,791円
ケアプラン研修事業	2回	100,000円
介護相談員派遣事業	258回	1,850,565円
住宅改修支援事業	49件	98,000円
介護給付適正化手数料	257,062件	1,028,248円

○ 高齢者支援事業費 43,587,164

区 分	実 績	事業費
徘徊高齢者家族支援サービス	1件	11,772円
徘徊SOSネットワークまつさか運営会議	1回	449,353円
紙オムツ給付事業	延8,821人	33,460,950円
家族介護慰労金支給	0件	0円
成年後見制度利用支援事業	実人数6人	1,967,777円
配食サービス事業	延25,623食	7,686,900円
虐待防止ネットワーク啓発	7回	10,412円

* 徘徊SOSネットワークまつさか本人事前登録者数 61人

(平成30年度末登録者累計 294人)

○ 安心生きがい支援事業費 80,060

* 家族介護教室 37回

* 認知症サポーター養成講座 80回、養成数 2,138人(平成30年度末登録者数 24,240人)

○ 在宅医療・介護連携推進事業費 21,870,509

* 松阪地域在宅医療・介護連携拠点 平成30年4月設置

* 松阪地域在宅医療・介護連携拠点運営委員会 準備会 3回

* 三重県在宅医療連携アドバイザー事業 講師：櫃本真事氏 打ち合わせ1回 講演会2回

* 地域包括ケア推進会議 3回 (推進会議委員36名)

* 地域包括ケア推進会議 運営幹事会 11回

* 多職種勉強会 2回

* 顔の見える連携部会 (打ち合わせ 3回、ICT情報共有システム勉強会 7回)

* 第3回在宅医療に関するアンケート結果配布 (平成29年11月実施分)

* 広報まつさか「安心のまちづくり～高齢者の暮らしを考える」毎月連載

○ 生活支援体制整備事業費 27,600,000

生活支援コーディネーター委託料

センター名	委託料
第一地域包括支援センター (委託先：松阪地区医師会)	5,500,000円
第二地域包括支援センター (委託先：松阪市社会福祉協議会)	5,500,000円
第三地域包括支援センター (委託先：松阪市社会福祉協議会)	5,500,000円
第四地域包括支援センター (委託先：嘉祥会)	5,500,000円
第五地域包括支援センター (委託先：太陽の里)	5,500,000円

* 生活支援サービス担い手養成研修 2回

○ 認知症総合支援事業費 35,656,750

認知症地域支援推進員委託料

センター名	委託料
第一地域包括支援センター（委託先：松阪地区医師会）	5,500,000円
第二地域包括支援センター（委託先：松阪市社会福祉協議会）	5,500,000円
第三地域包括支援センター（委託先：松阪市社会福祉協議会）	5,500,000円
第四地域包括支援センター（委託先：嘉祥会）	5,500,000円
第五地域包括支援センター（委託先：太陽の里）	5,500,000円

- * 松阪市認知症初期集中支援チーム開設（平成30年4月）
- * 認知症市民フォーラム（映画上映会） 1回
- * 「RUN伴」協力による市民啓発 1回
- * 高齢者安心見守り隊養成講座 18回 養成数 288人（平成30年度末登録数 1,207人）
- * 高齢者安心見守り隊フォローアップ研修 32回
- * 認知症に寄り添う部会 1回

※ 介護予防・生活支援サービス事業対象者数（平成30年度末） 327人

○ 介護予防・生活支援サービス事業費 266,507,063

- * 訪問型（現行＋緩和）＋通所型（現行＋緩和）サービス費用 延13,001件
- * 通所型（住民主体） 5か所 延参加者数 3,790人

○ 介護予防ケアマネジメント事業費 39,645,503

- * 介護予防ケアマネジメント費用 延8,975件

○ 高額介護予防サービス費等相当事業費 603,659

- * 高額介護予防サービス費用 延237件

○ 一般介護予防事業費 51,986,946

事業所名	利用人数	事業費
うきさと憩センター	922人	11,600,000円
いきいきサロン	1,688人	7,863,000円
サテライト型	2,055人	9,065,000円
ふれんどデイ	1,504人	6,700,000円

過疎地等において、閉じこもりがちな高齢者の方に日常動作訓練や教養・スポーツ活動など、デイサービスと同等のサービスを行った。

プログラム	実施回数	延参加人数
介護予防教室	1,094回	17,127人
ボランティアの育成（いきサポ）	20クール	1,647人
ボランティアの活動支援（いきサポフォロー等）	77回	918人
介護相談会・介護保険啓発等	64回	748人
イベント（健康）	3回	196人

- * 高齢者ボランティアポイント事業（登録者数） 406人
- * 住民主体型サービス立ち上げ補助 5か所

○ 審査支払手数料 1,032,872

- * 47円×21,976件

基金積立金

○ 介護保険給付費支払準備基金積立金 180,957,000（平成30年度末現在高 823,954,574円）

諸支出金

- 第1号被保険者保険料還付金 2,981,510
- 過年度分償還金等 125,758,897 (平成29年度介護給付費等精算に伴う返還金)

後期高齢者医療事業

(単位 円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 保険料	1,353,433,091	1 総務費	66,143,565
2 使用料及び手数料	96,560	2 後期高齢者医療広域 連合納付金	3,579,078,423
3 繰入金	2,284,250,346	3 公債費	0
4 繰越金	40,134,500	4 諸支出金	53,058,639
5 諸収入	56,926,029	5 予備費	0
6 国庫支出金	1,447,000		
計	3,736,287,526	計	3,698,280,627
歳入歳出差引額		38,006,899	
翌年度へ繰越すべき財源		0	
実質収支額		38,006,899	

○ 対象者（被保険者）の状況

75歳以上のすべての方及び65歳以上で一定の障がいがあり、制度に加入することを選択した方（生活保護受給者を除く）

(平成30年9月30日現在)

区 分	被 保 険 者 数		一 部 負 担 割 合			
		うち65歳以上75歳未満障がい者	1 割	比率	3 割	比率
松 阪 市	24,704人	507人	23,676人	95.84%	1,028人	4.16%
三重県全体 (松阪市分含む)	266,782人	3,151人	253,146人	94.89%	13,636人	5.11%

○ 保険料の状況

・ 計算方法

均等割額	+	所得割額	=	保険料賦課額	賦課限度額
42,965 円		(前年中の総所得金額等－基礎控除額33万円) × 8.86%			62万円

・ 所得の低い方等に対する軽減措置

低所得の方に対し一定の軽減基準により適用される均等割軽減（9割軽減、8.5割軽減、5割軽減、2割軽減）、また、被用者保険の被扶養者であった方に適用される均等割軽減（5割軽減）をそれぞれ実施した。

〈均等割軽減の基準〉

同一世帯の世帯主及び被保険者の軽減判定所得の合計額により、下表のとおり軽減する。

軽 減 割 合	軽 減 の 基 準
9割軽減	33万円以下であって被保険者全員の年金収入が80万円以下 (その他各種所得がない)
8.5割軽減	33万円以下
5割軽減	(33万円+27.5万円×当該世帯の被保険者の人数) 以下
2割軽減	(33万円+50万円×当該世帯の被保険者の人数) 以下

- ①65歳以上の方の公的年金所得は15万円を控除
- ②営業等、農業、不動産所得のある方は専従者控除前の所得
- ③専従者給与は所得に算入しない
- ④土地建物等の譲渡所得があった場合は特別控除前の所得

〈被用者保険の被扶養者〉

後期高齢者医療制度に加入する前日に被用者保険の被扶養者であった場合、均等割を5割軽減し、所得割を課さない。

- ・保険料の徴収方法は、原則、特別徴収（年金天引き）であるが、申し出による口座振替への変更を実施した。
- ・災害により保険料の減免基準に該当した方に対し保険料の減免を実施した。

・賦課、収納状況

(単位 円)

区 分	松 阪 市		三 重 県 全 体 (松阪市分含む)	
		収納率		収納率
(現年度) 特別徴収+普通 徴収	調定額	1,356,246,097	17,100,601,791	99.46%
	収納額	1,348,876,492	17,008,793,689	
(滞納繰越分) 普通徴収	調定額	10,880,763	179,533,651	43.20%
	収納額	4,556,599	77,574,917	
計	調定額	1,367,126,860	17,280,135,442	98.88%
	収納額	1,353,433,091	17,086,368,606	

総務費

- 一般職員給 36,177,895
一般職員 6人
- 一般管理経費 25,402,077
後期高齢者医療制度の運用に伴う、電算システム委託経費及び一般事務経費
- 徴収事業費 4,563,593
保険料徴収に伴う、各種通知物郵送経費及び口座振替手数料

後期高齢者医療広域連合納付金

- 共通経費負担金 16,328,000
広域連合における一般会計運営経費（広域連合議員及び一般職員等人件費、運営協議会開催経費等）のうち、県下29市町において負担する分を、均等割 10%、人口割 45%、高齢者人口割 45%の割合で各市町が按分し、松阪市負担分を広域連合に納付した。
- 一般管理事務費負担金 51,526,000
広域連合における特別会計運営経費（被保険者証交付、医療費通知、電算システム管理経費等）のうち、県下29市町において負担する分を、共通経費負担金と同様の割合で各市町が按分し、松阪市負担分を広域連合に納付した。
- 健康診査事業費負担金 18,587,000
健康診査に係る保険給付分のうち、県下29市町において負担する分を、共通経費負担金と同様の割合で各市町が按分し、松阪市負担分を広域連合に納付した。
- 健康診査事業事務費負担金 6,752,000
健康診査に係る事務経費（審査支払手数料、受診券交付、システム管理経費等）のうち、県下29市町において負担する分を、共通経費負担金と同様の割合で各市町が按分し、松阪市負担分を広域連合に納付した。
- 保険料負担金 1,352,954,077
松阪市被保険者から徴収した保険料を、広域連合に納付した。

○ 保険基盤安定制度負担金 459,699,346

松阪市被保険者における、低所得者及び被用者保険の被扶養者の保険料軽減分負担金を広域連合に納付した。

保険基盤安定制度負担金対象軽減分

- ・均等割9割及び8.5割軽減のうち7割軽減分
- ・均等割5割軽減分
- ・均等割2割軽減分
- ・被用者保険の被扶養者均等割5割軽減分

保険料軽減分における負担割合 県 軽減総額×3/4、市 軽減総額×1/4

○ 療養給付費負担金 1,673,232,000

松阪市被保険者の療養給付費における、松阪市負担分(1/12)を広域連合に納付した。

※下記の表(療養費の状況)と決算額の相違は、翌年度に精算により調整される。

- ・療養費の状況

区 分	松 阪 市		三 重 県 全 体 (松阪市分含む)	
	件 数	金 額	件 数	金 額
現物給付費	692,782件	19,699,329,529円	7,705,076件	203,152,725,596円
療養給付費	692,782件	19,699,329,529円	7,705,076件	203,152,725,596円
現金支給費	37,300件	288,607,387円	396,945件	3,427,989,829円
柔道整復師の施術	6,032件	43,734,155円	88,390件	711,208,501円
高額療養費	26,445件	157,947,157円	256,514件	1,787,501,062円
高額介護合算療養費	1,933件	20,354,603円	15,656件	171,309,229円
標準負担額差額	(81件)	222,690円	(476件)	1,506,590円
その他療養費	2,890件	66,348,782円	36,385件	756,464,447円
計	730,082件	19,987,936,916円	8,102,021件	206,580,715,425円
被保険者数 (平成30年9月30日現在)	24,704人		266,782人	
年間1人当り医療費	809,097円		774,343円	
1件当り医療費	27,378円		25,497円	

諸支出金

○ 保険料還付金 3,361,212

平成29年度以前収入分の保険料において保険料額変更(減額)等に伴う過誤納金を、松阪市被保険者及び年金保険者に還付した。

○ 保険料還付加算金 2,900

保険料額変更(減額)に伴う過納金を、松阪市被保険者に還付する際、還付加算金を加算した。

○ 過年度分返還金 49,694,527

広域連合における過年度分療養給付費の精算により、平成29年度納付金に対し返還があり、特別会計で歳入したものを一般会計へ返還した。

簡易水道事業

○ 決算状況

(単位；円)

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 使用料及び手数料	2,592,000	1 総務費	389,634
2 繰越金	456,356	2 事業費	4,158,242
3 諸収入	1,881,000		
歳 入 合 計	4,929,356	歳 出 合 計	4,547,876
歳 入 歳 出 差 引 額			381,480
翌年度へ繰越すべき財源			0
実 質 収 支 額			381,480

総務費

○ 一般職員給 389,634

事業費

○ 朝見簡易水道管理事業費 4,158,242

- ・簡易水道水質検査手数料 2,230,092
- ・簡易水道ポンプ電気料金 1,215,441
- ・施設維持管理等委託料 600,000
- ・その他経費 112,709

《施設の状況》

地区名	本庁管内
	朝見
戸 数	300戸

戸別合併処理浄化槽整備事業

○ 決算状況 (単位 円)

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 分担金及び負担金	1,125,684	1 総務費	24,015,486
2 使用料及び手数料	123,087,660	2 事業費	168,924,869
3 国庫支出金	11,309,000	1 業務費	130,188,712
4 県支出金	9,389,000	2 建設改良費	38,736,157
5 財産収入	42,125	3 公債費	55,616,294
6 繰入金	81,599,708		
7 繰越金	5,162,056		
8 市債	24,300,000		
計	256,015,233	計	248,556,649
歳入歳出差引額			7,458,584
翌年度へ繰越すべき財源			0
実質収支額			7,458,584

総務費

- 一般職員給 17,079,458
- 一般管理経費 2,573,903
- 市町村整備型浄化槽減債基金積立金 4,357,110 (平成30年度末現在高 91,098,274)
- 市町村整備型浄化槽基金積立金 5,015 (平成30年度末現在高 8,552,548)

事業費

- 施設維持管理事業費 130,188,712
- 合併浄化槽設置管理基数 2,098基 (平成30年度末現在)

区 分	内 容		事業費
需用費	消耗品費	浄化槽放流水消毒剤 他	2,920,752
	修繕料	浄化槽保守点検時等修繕料	10,002,780
役務費	手数料	浄化槽法定検査手数料	7,999,600
委託料		浄化槽清掃委託料	84,640,572
		浄化槽保守管理業務委託料	24,472,800
		浄化槽管理システム保守委託料	110,160
使用料及び賃借料		浄化槽管理システムPCリース料	42,048
計			130,188,712

- 生活排水処理施設整備事業費 38,736,157

区 分	内 容	事業費	事業費内訳	
			工事費	その他
需用費	消耗品費	395,515		395,515
役務費	切手	16,000		16,000
使用料及び賃借料	積算システム利用料他	32,162		32,162
工事請負費	5人槽 20基	20,379,600	20,379,600	
	7人槽 10基	13,899,600	13,899,600	
	18人槽 1基	4,013,280	4,013,280	
計		38,736,157	38,292,480	443,677

公債費

- 長期債償還元金 46,352,151
- 長期債償還利子 9,264,143
- ※ 市債の状況

平成29年度末 現在高	平成30年度末 現在高	増減額
641,774,007	619,721,856	△ 22,052,151

農業集落排水事業

○決算状況

(単位 円)

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 使用料及び手数料	16,783,680	1 総務費	6,067,757
2 繰入金	52,970,478	2 事業費	35,963,789
3 繰越金	133,788	3 公債費	28,058,478
4 諸収入	626,927		
計	70,514,873	計	70,090,024
歳入歳出差引額			424,849
翌年度へ繰越すべき財源			0
実質収支額			424,849

(目) 一般管理費

- 一般職員給 4,797,009
農業集落排水事業における担当職員1人分の人件費
- 一般管理経費 1,270,748

(目) 施設管理費

○小野地区施設維持管理費

(単位 円)

区分	内容	事業費	事業費内訳	
			委託料	その他
汚水処理場、中継ポンプ等の光熱水費・修繕料・通信費・汚泥引抜き手数料等	施設の維持管理に係る経常経費	6,947,045		6,947,045
汚水処理施設維持管理業務委託	巡回点検 週1回、定期点検 30日に1回	3,004,560	3,004,560	
農業集落排水処理施設等維持管理業務委託	日常点検 週2回	341,120	341,120	
計		10,292,725	3,345,680	6,947,045

○高木地区施設維持管理費

区分	内容	事業費	事業費内訳	
			委託料	その他
汚水処理場、中継ポンプ等の光熱水費・修繕料・通信費・汚泥引抜き手数料等	施設の維持管理に係る経常経費	10,272,843		10,272,843
汚水処理施設維持管理業務委託	巡回点検 週1回、定期点検 14日に1回	5,066,280	5,066,280	
自家用電気工作物保安管理業務委託	保安管理業務委託	158,112	158,112	
農業集落排水処理施設等維持管理業務委託	日常点検 週2回	341,120	341,120	
計		15,838,355	5,565,512	10,272,843

○須賀・川北地区施設維持管理費

区分	内容	事業費	事業費内訳	
			委託料	その他
汚水処理場、中継ポンプ等の 光熱水費・修繕料・通信費・ 汚泥引抜き手数料等	施設の維持管理に係 る経常経費	5,761,865		5,761,865
須賀・川北クリーンセンター 汚水処理施設保守点検業務委 託	定期点検 14日に1回	3,912,732	3,912,732	
自家用電気工作物保安管理業 務委託	保安管理業務委託	158,112	158,112	
計		9,832,709	4,070,844	5,761,865

(目) 元金

○長期債償還元金 22,332,677

(目) 利子

○長期債償還利子 5,725,801

※市債の状況

平成29年度末 現 在 高	平成30年度末 現 在 高	増減額
249,869,836	227,537,159	△22,332,677

住宅新築資金等貸付事業

(単位 円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 事業収入	9,950,982	1 総務費	3,748,112
2 県支出金	683,000	2 公債費	6,911,412
3 財産収入	139,041		
4 繰越金	1,675,393		
計	12,448,416	計	10,659,524
歳入歳出差引額			1,788,892
翌年度へ繰越すべき財源			0
実質収支額			1,788,892

(目) 一般管理費

- 一般職員給 1,200,000円
- 一般管理経費 103,112円
平成8年度に貸付制度が終了したことによる貸付金回収のための事務経費
- 住宅新築資金等貸付事業基金積立金 2,445,000円 (平成30年度末現在高 72,032,698円)

(目) 元金

- 長期債償還元金 6,478,686円

(目) 利子

- 長期債償還利子 432,726円

※ 市債の状況

平成29年度末 現 在 高	平成30年度末 現 在 高	増減額
14,750,363	8,271,677	△ 6,478,686

※ 貸付金の状況

平成29年度末 現 在 高	平成30年度末 現 在 高	増減額
264,641,536	255,864,505	△ 8,777,031

※ 利子収入 1,173,951円

地方自治法第241条第5項の規定による書類

基金の運用状況

(H31. 3. 31現在)

土地開発基金

(単位:金額 円、地積 m²)

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減額	決算年度末現在高
基 金	現 金	422,048,421	71,528,805	493,577,226
	土地開発公社運用金	913,316,749	△70,944,018	842,372,731
	計	1,335,365,170	584,787	1,335,949,957
土 地	地 積	17,137.89	0.00	17,137.89
	価 格	186,036,250	0	186,036,250
合 計		1,521,401,420	584,787	1,521,986,207